

目 次

I アンケート調査の概要.....	1
1 調査の目的.....	1
2 調査概要.....	1
3 報告書の見方.....	2
II 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査結果.....	3
調査について.....	3
問1 あて名のご本人様について.....	4
問2 あなたのご家族や生活状況について.....	6
問3 からだを動かすことについて.....	15
問4 食べることについて.....	24
問5 毎日の生活について.....	30
問6 地域での活動について.....	39
問7 就労について.....	44
問8 たすけあいについて.....	45
問9 健康について.....	50
問10 認知症について.....	58
問11 その他.....	65
生活機能評価項目別のリスク判定.....	104
III 在宅介護実態調査結果.....	120
A票 調査対象者様ご本人について、お伺いします.....	123
B票 主な介護者の方について、お伺いします.....	155
IV 介護サービス事業所調査（訪問系＋施設・通所系）.....	171
1 職員の状況.....	171
2 貴事業所（等）について.....	182
3 サービスの提供について.....	186
4 職員の確保について.....	190
5 研修や資格に関することについて.....	192
6 事業所（等）の運営に関することについて.....	193
V 居宅介護支援事業所調査.....	207
1 事業所・人材の状況.....	207
2 介護支援専門員としての業務.....	213
3 意見・要望.....	221
資料編.....	222

I アンケート調査の概要

I 調査の目的

本調査は、「第 11 次木津川市高齢者福祉計画・第 10 期木津川市介護保険事業計画（令和 9 年度～令和 11 年度）」の策定にあたり、市民の現在の心身の状況や、介護保険制度・高齢者福祉サービスに対する考えや意向などを把握するとともに、効果的な介護予防施策や取組の基礎資料とすることを目的として実施したものです。

2 調査概要

（１）市民向け調査

	調査区分	
	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	在宅介護実態調査
調査対象	令和 8 年 1 月 9 日現在で、要介護認定（要介護 1～5）を受けていない 65 歳以上の市民（無作為抽出）	令和 5 年 4 月 1 日以降に介護保険の更新申請又は区分変更申請等を行い、認定調査を受けた在宅の市民（無作為抽出）
調査期間	令和 8 年 1 月 30 日（金）～ 2 月 13 日（金）	
調査方法	郵送配布、郵送回収（Web 回答可）	
配布数	2,400 件	1,000 件
有効回収数 [有効回収率]	1,654 件 (郵送：1,530 件、Web：124 件) [68.9%]	592 件 [59.2%]

（２）事業所向け調査

	調査区分		
	訪問系事業所	施設・通所系事業所	居宅介護支援事業所
調査対象	市内の介護サービス事業所		
調査期間	令和 8 年 2 月 3 日（火）～ 2 月 17 日（火）		
調査方法	メール送信、メール・FAXにて回収		
配布数	総数 103 件		
	35 件	48 件	20 件
有効回収数 [有効回収率]	61 件[59.2%]		
	18 件 [51.4%]	25 件 [52.1%]	18 件 [90.0%]

3 報告書の見方

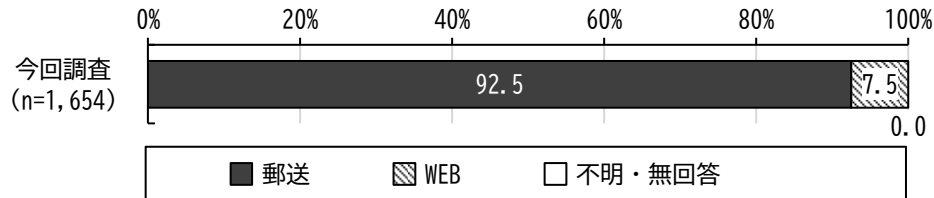
- ◇回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても反映しています。
- ◇複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- ◇図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- ◇図表中の「n (number of case)」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。
- ◇本文中の設問の選択肢は簡略化している場合があります。
- ◇「その他」「不明・無回答」を除き、回答の高いもの**第1位**、**第2位**、**第3位**にそれぞれ網掛けをしています。
- ◇前回調査（令和4年）との比較は、差が3ポイント以上の項目のみ記載しています。これは、本調査のサンプル数を踏まえた誤差の範囲（約±2.8ポイント）を考慮し、実質的な変化の目安として設定したものです。
前回調査との差についてはZ検定（比率の差の検定）を実施しており、「有意な差がみられます」は統計的に有意（ $p < 0.05$ ）、「統計的には有意な差はみられません」は3ポイント以上の差があるものの統計的には偶然の範囲内であることを示します。
- ◇性別・年齢・居住地区・認定状況による属性別の分析では、カイ二乗検定（ $p < 0.05$ ）を実施しています。統計的に有意な差が認められた場合は具体的な傾向を記載し、有意な差が認められなかった場合は「大きな差はみられません」と記載しています。

Ⅱ 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査結果

調査について

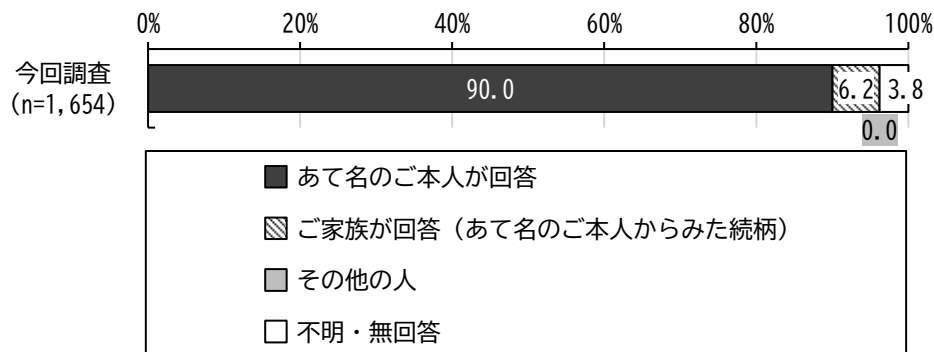
回答方法（〇は1つ）

回答方法は、「郵送」が92.5%と最も高く、次いで、「WEB」が7.5%となっています。



回答者（〇は1つ）

回答者は、「あて名のご本人が回答」が90.0%と最も高く、次いで、「ご家族が回答（あて名のご本人からみた続柄）」が6.2%となっています。

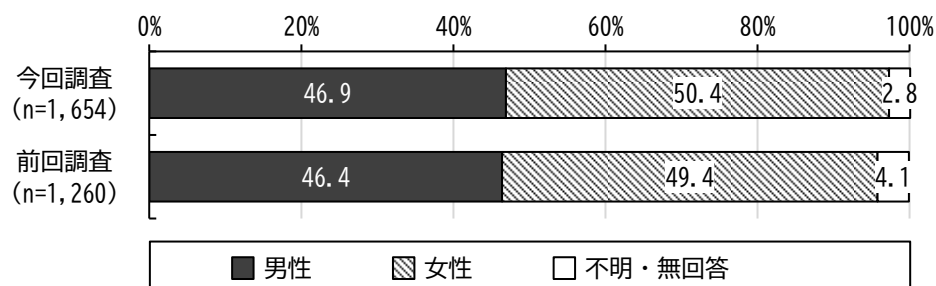


問Ⅰ あて名のご本人様について

(1) 性別をお教えてください(○は1つ)

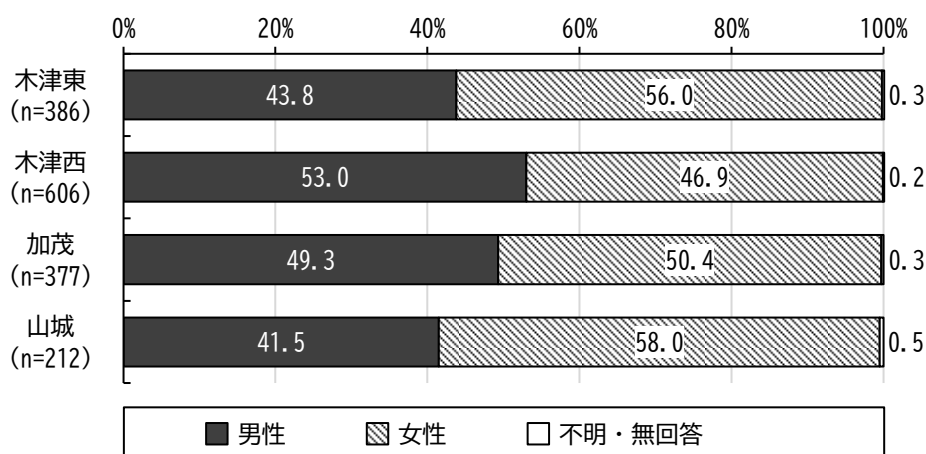
性別は、「男性」が46.9%、「女性」が50.4%となっています。

前回調査と同様の傾向となっています。



性別×居住地区別

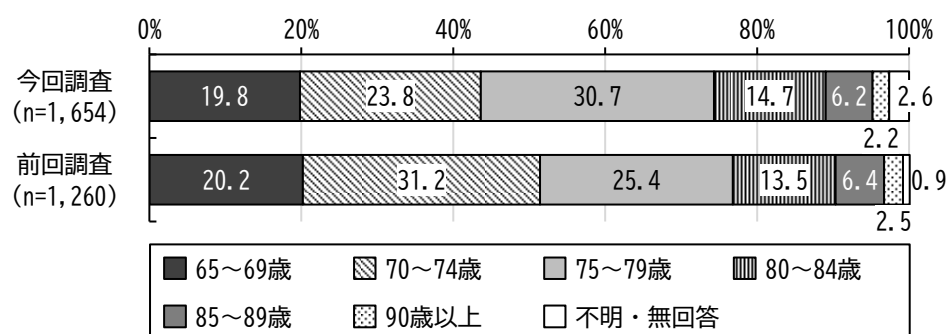
居住地区別にみると、木津東、加茂、山城では「女性」、木津西では「男性」がそれぞれ高くなっています。



(2) 年齢をお教えてください(○は1つ)

年齢は、「75～79歳」が30.7%と最も高く、次いで、「70～74歳」が23.8%、「65～69歳」が19.8%となっています。

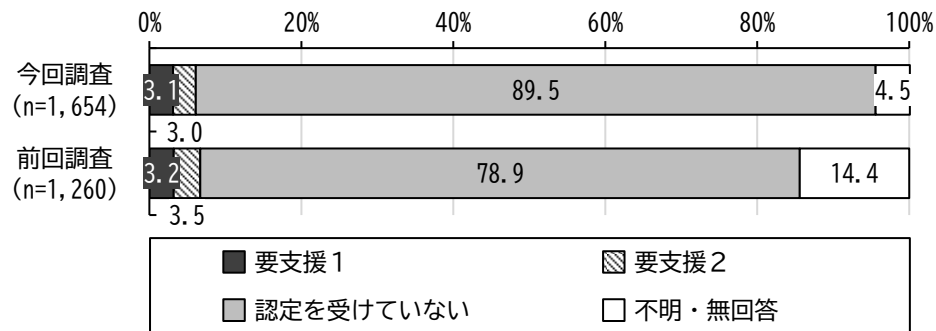
前回調査に比べて、「70～74歳」が7.4ポイント減少していますが、統計的には有意な差はみられません。



(3) 要介護認定の有無について教えてください(○は1つ)

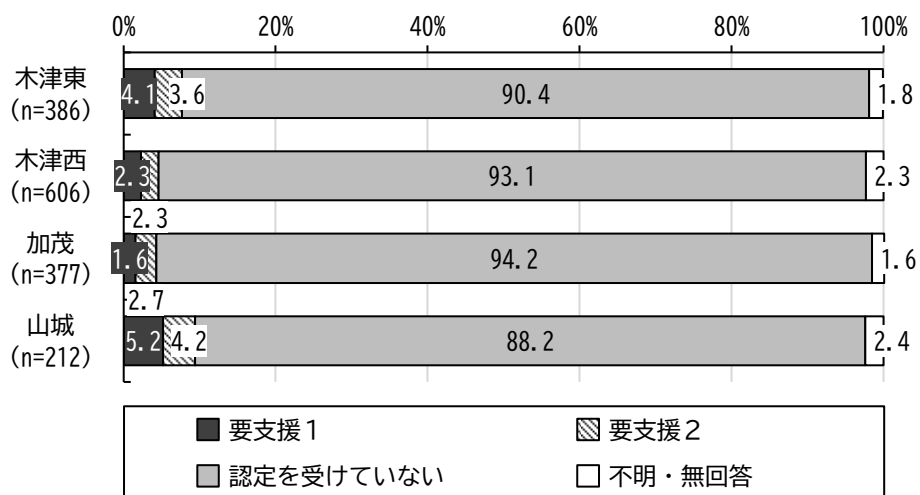
要介護認定の有無は、「認定を受けていない」が 89.5%と最も高く、次いで、「要支援1」が 3.1%、「要支援2」が 3.0%となっています。

前回調査に比べて、「認定を受けていない」が 10.6 ポイント増加しており、有意な差がみられます。



要介護認定の有無×居住地区別

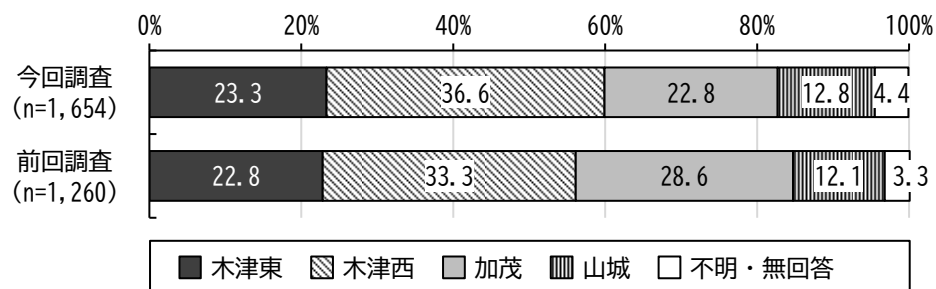
居住地区別にみると、すべての地区で「認定を受けていない」が最も高くなっていますが、山城では「要支援1・2」が 9.4%と全体の 6.1%に比べて多くなっており、加茂地区では「要支援1・2」が 4.3%とやや少なくなっています。



(4) お住まいの地域について教えてください(○は1つ)

居住地区は、「木津西」が 36.6%と最も高く、次いで、「木津東」が 23.3%、「加茂」が 22.8%となっています。

前回調査に比べて、「加茂」が 5.8 ポイント減少していますが、統計的には有意な差はみられません。

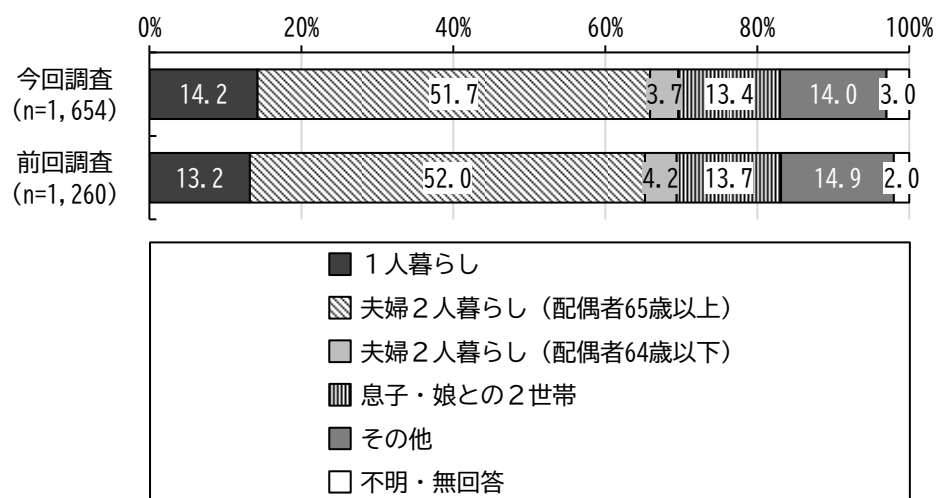


問2 あなたのご家族や生活状況について

(1) 家族構成をお教えてください（○は1つ）

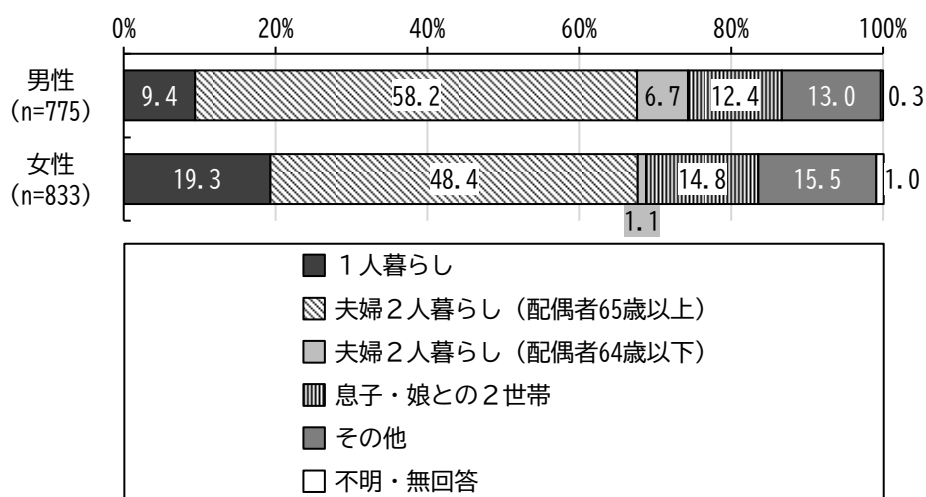
家族構成は、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が51.7%と最も高く、次いで、「1人暮らし」が14.2%、「息子・娘との2世帯」が13.4%となっています。

前回調査と同様の傾向となっています。



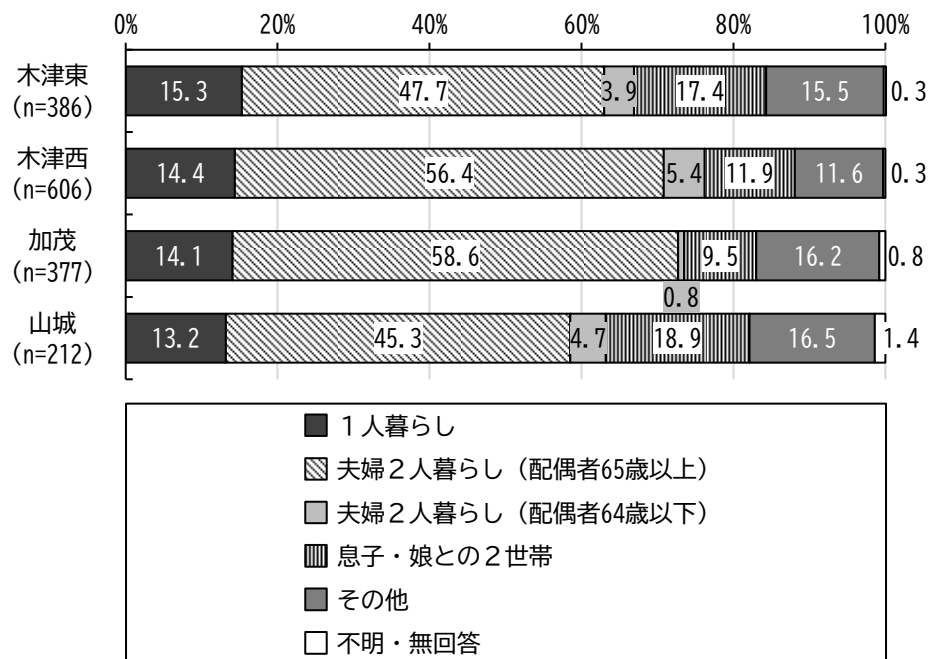
家族構成×性別

性別にみると、男性は「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が58.2%と、女性に比べて9.8ポイント多く、「夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）」が6.7%と、女性に比べて5.6ポイント多くなっています。一方、「1人暮らし」は女性が19.3%と、男性に比べて9.9ポイント多くなっています。



家族構成×居住地区別

居住地区別にみると、いずれの地区でも「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が高くなっています。全体の「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が51.7%に対して、木津西・加茂で全体に比べて高くなっており、一方木津東・山城では全体に比べて低くなっています。



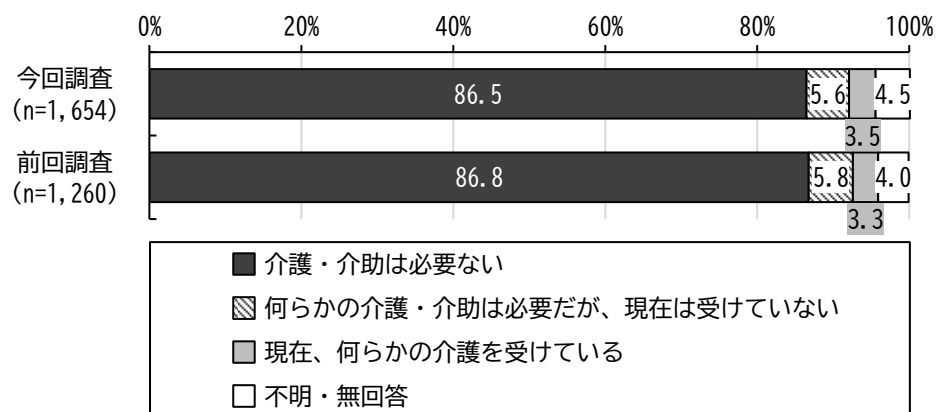
◇その他回答：有効回答者数：223人（223件）

「その他」の主な回答内容（分類）	
分 類	件 数
夫婦＋子	98
息子と同居	40
娘と同居	34
三世代同居	5
親と同居	11
兄弟姉妹と同居	11
その他	24

(2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか（○は1つ）

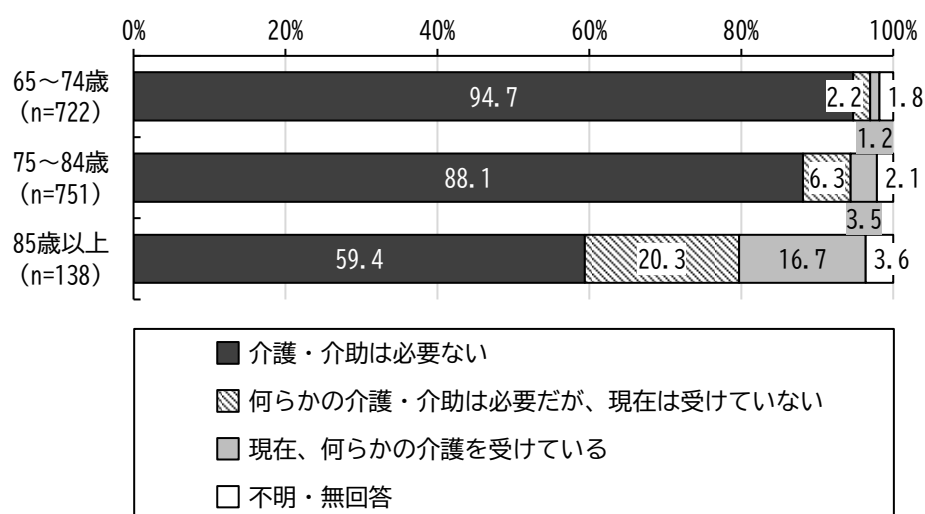
介護・介助の必要性は、「介護・介助は必要ない」が86.5%と最も高く、次いで、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が5.6%、「現在、何らかの介護を受けている」が3.5%となっています。

前回調査と同様の傾向となっています。



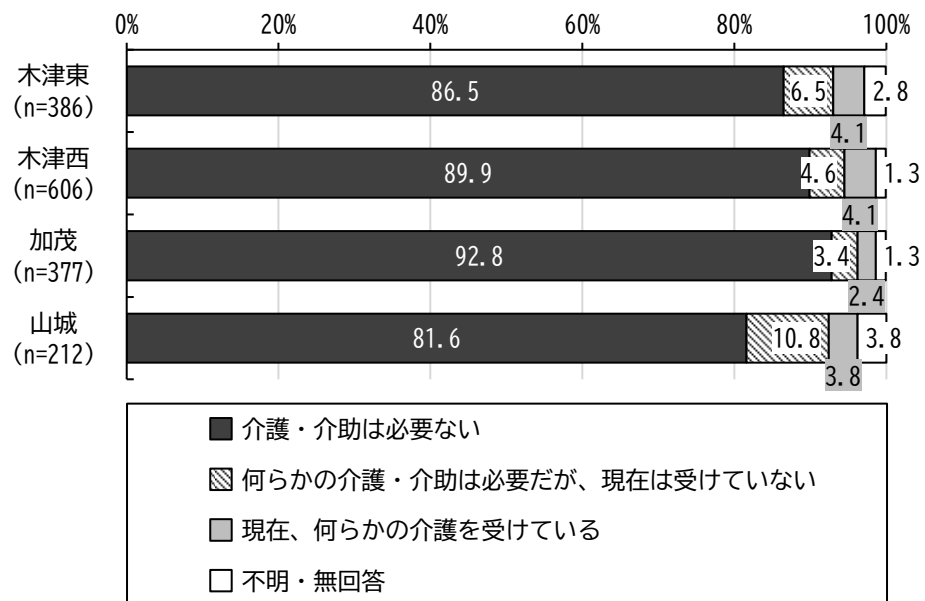
介護の必要性×年齢

年齢別にみると、「介護・介助は必要ない」がそれぞれ最も高くなっていますが、年齢が上がるにつれて「介護・介助は必要ない」が低くなっています。



介護の必要性×居住地区別

居住地区別にみると、いずれの地区でも「介護・介助は必要ない」が高くなっています。全体の「介護・介助は必要ない」が86.5%に対して、木津西・加茂で全体に比べて高くなっており、一方山城では全体に比べて低くなっています。

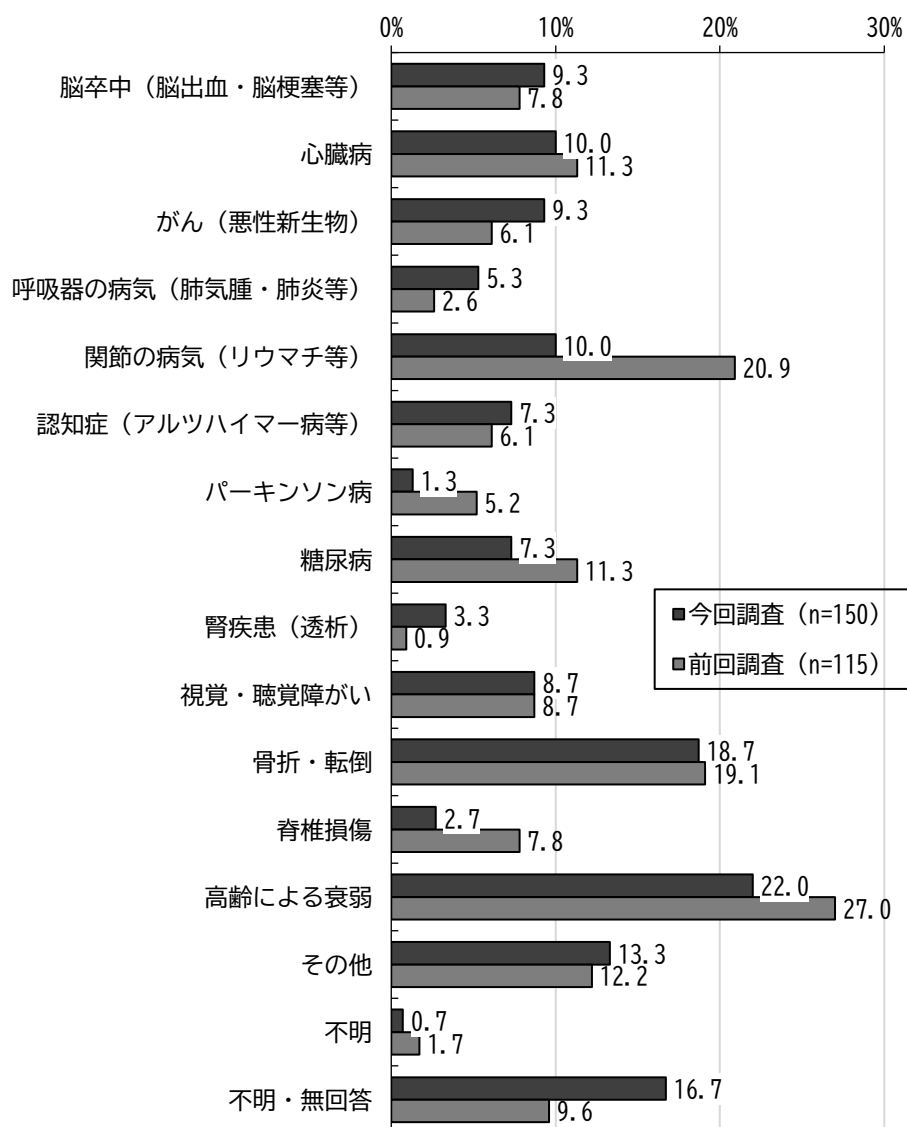


(2) で「2.」「3.」(介護・介助が必要)と回答した方にお伺いします。

(2-1) 介護・介助が必要になった主な原因は何ですか(○はいくつでも)

介護・介助が必要になった主な原因は、「高齢による衰弱」が22.0%と最も高く、次いで、「骨折・転倒」が18.7%、「心臓病」「関節の病気(リウマチ等)」がともに10.0%となっています。

前回調査に比べて、「関節の病気(リウマチ等)」が10.9ポイント減少しています。また、「がん(悪性新生物)」が3.2ポイント増加しています。一方、「糖尿病」が4.0ポイント、「パーキンソン病」が3.9ポイント減少していますが、いずれも統計的には有意な差はみられません。



◇その他回答：有効回答者数：18人(のべ20件)

「その他」の主な回答内容(分類)	
分類	件数
腰痛・脊椎疾患	8
膝・関節疾患	3
加齢・老化	2
外傷・手術後	3
精神疾患	1
その他	3

介護が必要になった主な原因×性別・年齢別・認定状況

性別にみると、男性では「呼吸器の病気（肺気腫・肺炎等）」「がん（悪性新生物）」が女性に比べてそれぞれ9.6ポイント、7.8ポイント多くなっています。一方、女性では「骨折・転倒」「関節の病気（リウマチ等）」が男性に比べてそれぞれ11.5ポイント、5.7ポイント多くなっています。

年齢別にみると、65～74歳では「骨折・転倒」が最も高くなっていますが、85歳以上では「高齢による衰弱」が最も高くなっています。また、「認知症（アルツハイマー病等）」「心臓病」は年齢が上がるにつれて多くなっています。

認定状況別にみると、介護認定を受けていない高齢者では「関節の病気（リウマチ等）」が要支援1・2に比べて5.3ポイント多くなっています。一方、要支援1・2では「骨折・転倒」が介護認定を受けていない高齢者と比べて、12.5ポイント多くなっています。

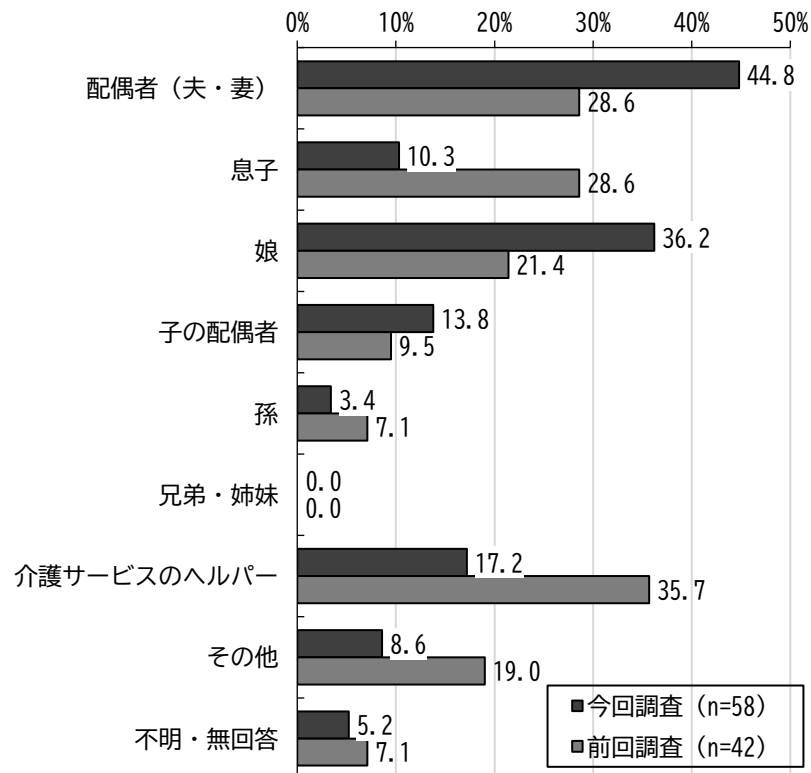
	単位：％	梗塞中（脳出血・脳	心臓病	がん（悪性新生物）	腫呼吸器の病気（肺炎等）	関節の病気（リウマチ等）	認知症（アルツハイマー病等）	パーキンソン病	糖尿病	腎疾患（透析）	視覚・聴覚障がい	骨折・転倒	脊椎損傷	高齢による衰弱	その他	不明	不明・無回答
	今回調査（n=150）	9.3	10.0	9.3	5.3	10.0	7.3	1.3	7.3	3.3	8.7	18.7	2.7	22.0	13.3	0.7	16.7
性別	男性（n=65）	10.8	12.3	13.8	10.8	6.2	7.7	3.1	7.7	6.2	10.8	12.3	3.1	23.1	12.3	0.0	15.4
	女性（n=84）	8.3	8.3	6.0	1.2	11.9	7.1	0.0	7.1	1.2	7.1	23.8	2.4	20.2	14.3	1.2	17.9
年齢	65～74歳（n=25）	12.0	4.0	8.0	4.0	4.0	0.0	8.0	4.0	8.0	0.0	28.0	4.0	4.0	16.0	0.0	8.0
	75～84歳（n=73）	11.0	8.2	11.0	2.7	13.7	6.8	0.0	5.5	4.1	11.0	15.1	1.4	12.3	11.0	1.4	19.2
	85歳以上（n=51）	5.9	15.7	7.8	9.8	7.8	11.8	0.0	11.8	0.0	9.8	19.6	3.9	45.1	15.7	0.0	15.7
認定状況	要支援1・2（n=58）	8.6	13.8	8.6	8.6	6.9	6.9	0.0	5.2	3.4	10.3	25.9	5.2	24.1	17.2	0.0	8.6
	認定を受けていない（n=82）	9.8	7.3	8.5	2.4	12.2	7.3	2.4	7.3	3.7	8.5	13.4	1.2	19.5	9.8	1.2	24.4

(2) で「3.」(介護・介助を受けている)と回答した方にお伺いします。

(2-2) 主にどなたの介護、介助を受けていますか(○はいくつでも)

主に介護・介助を受けている方は、「配偶者(夫・妻)」が44.8%と最も高く、次いで、「娘」が36.2%、「介護サービスのヘルパー」が17.2%となっています。

前回調査に比べて、「介護サービスのヘルパー」が18.5ポイント減少していますが、統計的には有意な差はみられません。また、「子の配偶者」が4.3ポイント増加し、「孫」が3.7ポイント減少していますが、いずれも統計的には有意な差はみられません。



◇その他回答：有効回答者数：5人(5件)

「その他」の主な回答内容(分類)	
分 類	件 数
施設・サービス	3
近所	1
家族	1

主な介護者×性別・年齢別・認定状況別

性別にみると、男性では「配偶者（夫・妻）」が女性に比べて26.8ポイント多くなっています。一方、女性では「娘」「介護サービスのヘルパー」が男性に比べてそれぞれ26.9ポイント、19.5ポイント多くなっています。

年齢別にみると、65～74歳では「配偶者（夫・妻）」が最も高くなっていますが、85歳以上では「娘」が最も高くなっています。また、「子の配偶者」「介護サービスのヘルパー」「息子」はいずれも年齢が上がるにつれて多くなっています。

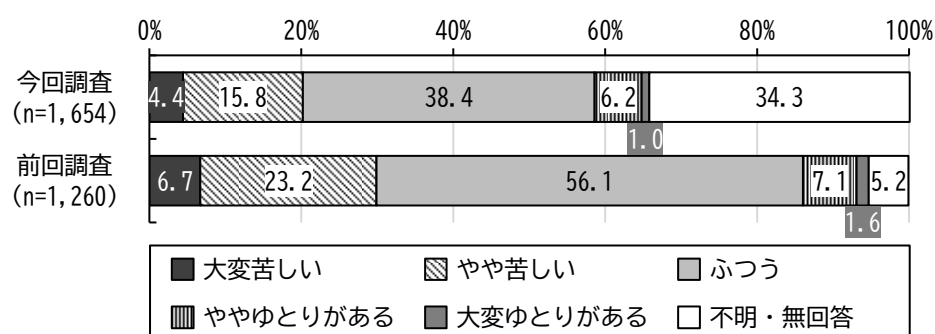
認定状況別にみると、介護認定を受けていない高齢者では「配偶者（夫・妻）」が要支援1・2に比べて20.3ポイント多くなっています。一方、要支援1・2では「介護サービスのヘルパー」が介護認定を受けていない高齢者と比べて、それぞれ29.4ポイント多くなっています。

	単位：％	妻 配偶者 (夫・妻)	息子	娘	子の 配偶者	孫	兄弟・ 姉妹	の介 護サ ービ ス	その他	不明・ 無回答
	今回調査 (n=58)	44.8	10.3	36.2	13.8	3.4	0.0	17.2	8.6	5.2
性別	男性 (n=21)	61.9	9.5	19.0	9.5	0.0	0.0	4.8	14.3	4.8
	女性 (n=37)	35.1	10.8	45.9	16.2	5.4	0.0	24.3	5.4	5.4
年齢	65～74歳 (n=9)	88.9	0.0	44.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1
	75～84歳 (n=26)	42.3	7.7	26.9	3.8	0.0	0.0	19.2	7.7	7.7
	85歳以上 (n=23)	30.4	17.4	43.5	30.4	8.7	0.0	21.7	13.0	0.0
認定 状況	要支援1・2 (n=34)	35.3	8.8	35.3	17.6	5.9	0.0	29.4	8.8	5.9
	認定を受けていない (n=18)	55.6	11.1	33.3	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	5.6

(3) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか（○は1つ）

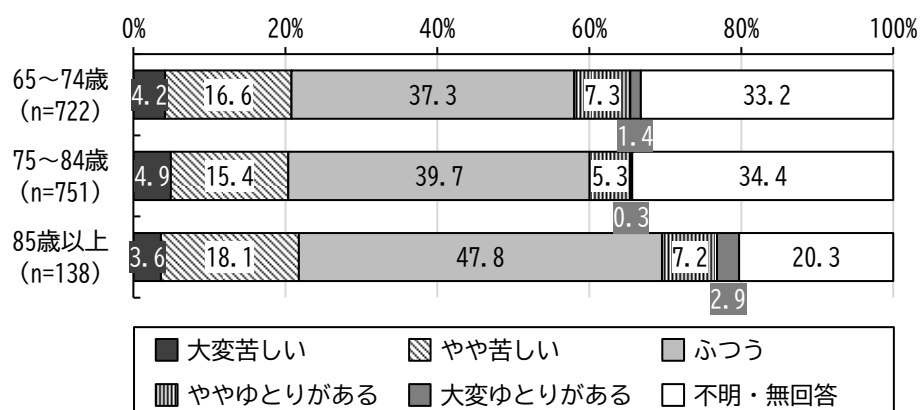
経済的な暮らしの状況は、「ふつう」が38.4%と最も高く、次いで、「やや苦しい」が15.8%、「ややゆとりがある」が6.2%となっています。

前回調査に比べて、「ふつう」が17.7ポイント減少していますが、統計的には有意な差はみられません。



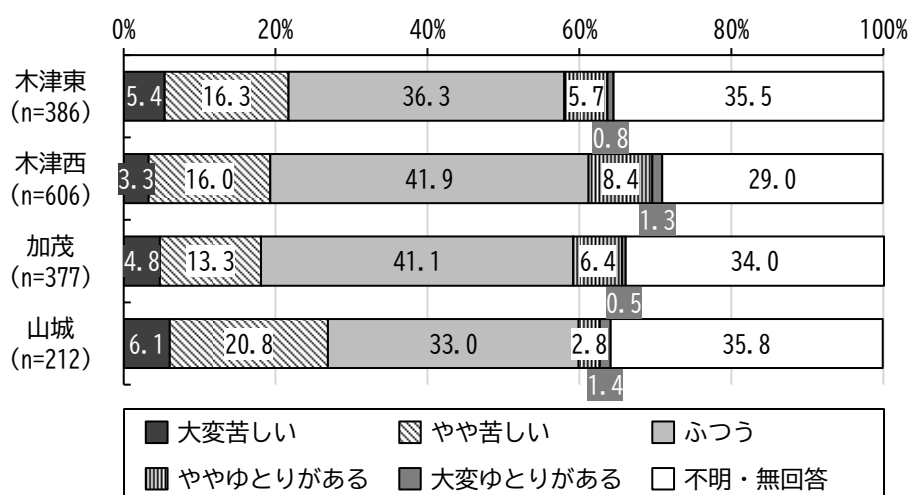
経済状況×年齢別

年齢別にみると、「ふつう」がそれぞれ最も高く、65～74歳が37.3%、75～84歳が39.7%、85歳以上が47.8%と、年齢が上がるにつれて多くなっています。



経済状況×居住地区別

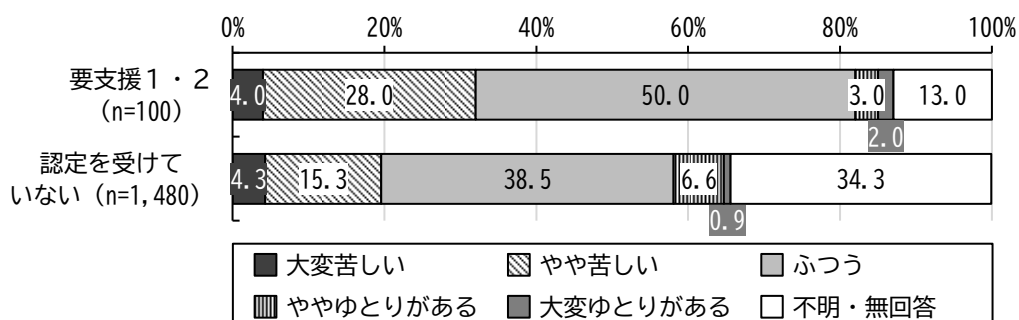
居住地区別にみると、すべての地区で「ふつう」が最も高く、全体の「ふつう」が38.4%に対して、木津西で全体に比べて高くなっており、一方山城では全体に比べて低くなっています。



経済状況×認定状況別

認定状況別にみると、「ふつう」がそれぞれ最も高くなっていますが、介護認定を受けていない高齢者では「ややゆとりがある」が6.6%と、要支援1・2の3.0%に比べて3.6ポイント多くなっています。

一方、要支援1・2では「やや苦しい」「ふつう」がそれぞれ12.7ポイント、11.5ポイント多くなっています。

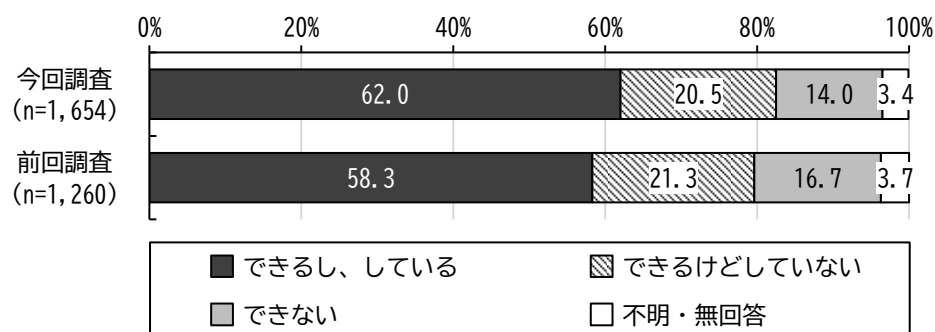


問3 からだを動かすことについて

(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか (○は1つ)

階段昇降の状況は、「できるし、している」が62.0%と高くなっています。

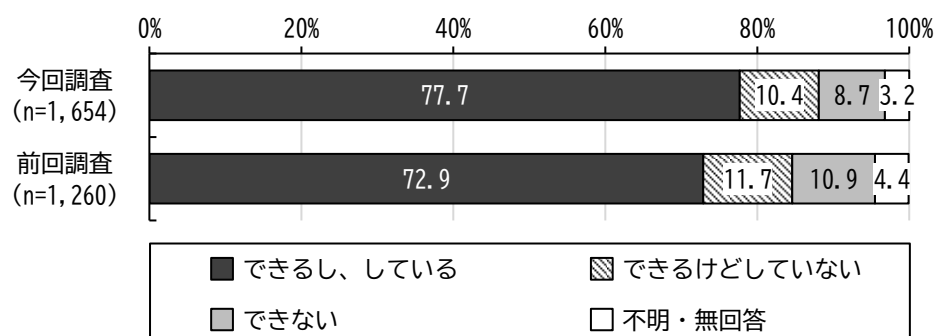
前回調査に比べて、「できるし、している」が3.7ポイント増加していますが、統計的には有意な差はみられません。



(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか (○は1つ)

椅子からの立ち上がりの状況は、「できるし、している」が77.7%と高くなっています。

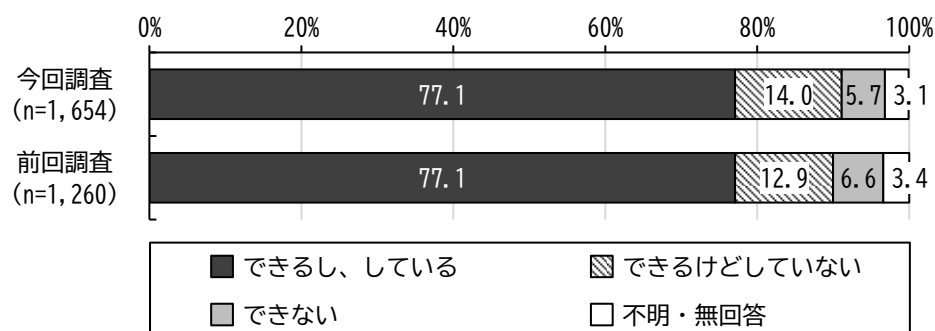
前回調査に比べて、「できるし、している」が4.8ポイント増加していますが、統計的には有意な差はみられません。



(3) 15分位続けて歩いていますか (○は1つ)

15分程度の歩行の状況は、「できるし、している」が77.1%と高くなっています。

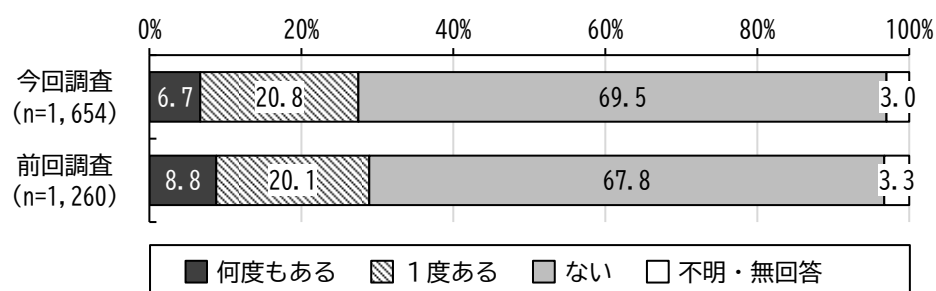
前回調査と同様の傾向となっています。



(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか (○は1つ)

過去1年間の転倒経験は、「ない」が69.5%と最も高く、次いで、「1度ある」が20.8%、「何度もある」が6.7%となっています。

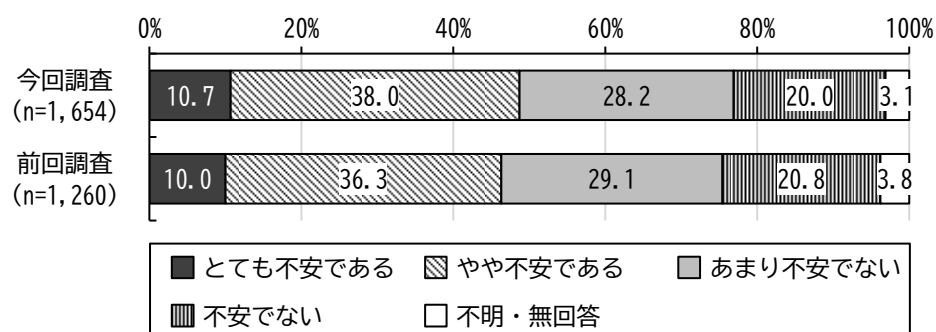
前回調査と同様の傾向となっています。



(5) 転倒に対する不安は大きいですか (○は1つ)

転倒に対する不安は、「やや不安である」が38.0%と最も高く、次いで、「あまり不安でない」が28.2%、「不安でない」が20.0%となっています。

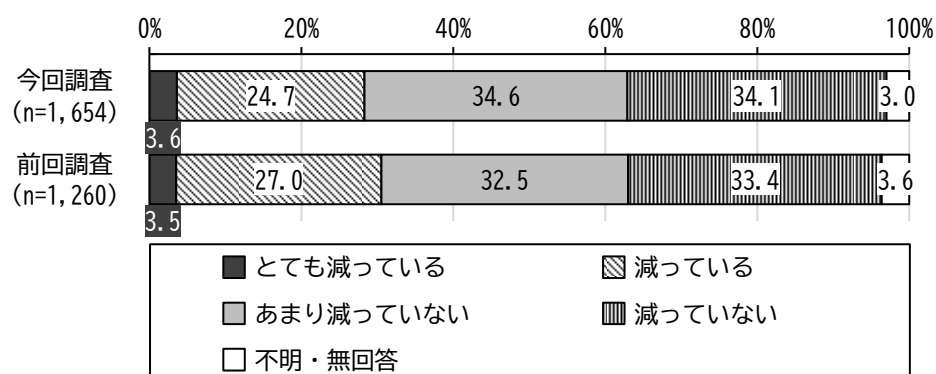
前回調査と同様の傾向となっています。



(6) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか (○は1つ)

外出回数の変化は、「あまり減っていない」が34.6%と最も高く、次いで、「減っていない」が34.1%、「減っている」が24.7%となっています。

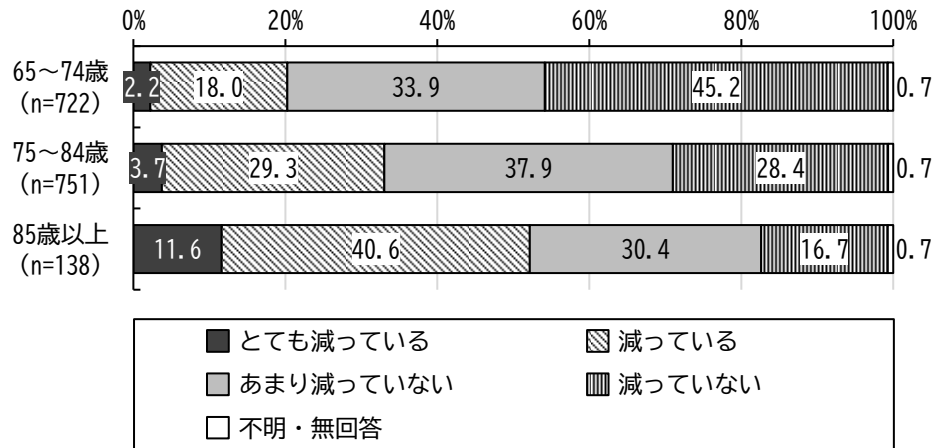
前回調査と同様の傾向となっています。



外出回数の減少×年齢別

年齢別にみると、65～74歳では「減っていない」が最も高くなっていますが、85歳以上では「減っている」が最も高くなっています。また、「減っていない」は65～74歳が45.2%、75～84歳が28.4%、85歳以上が16.7%と、年齢が上がるにつれて少なくなっています。

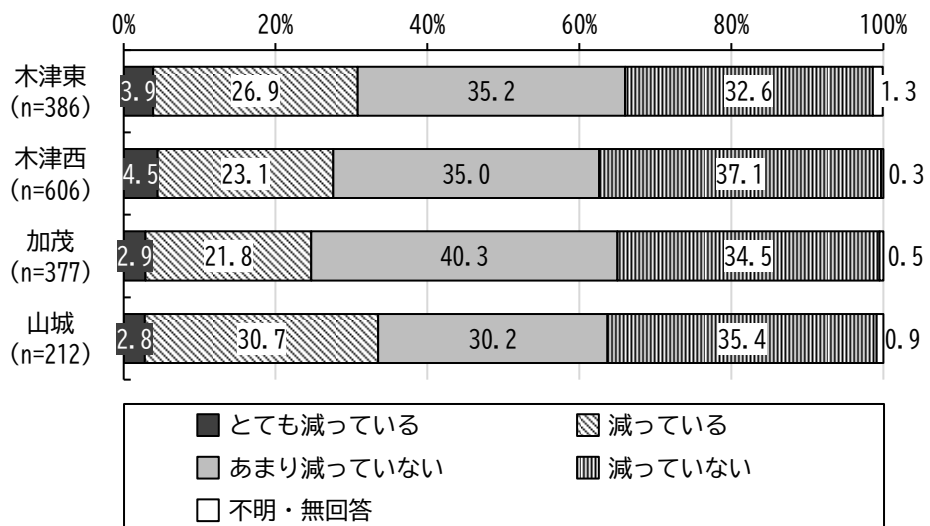
また、「減っている」「とても減っている」は年齢が上がるにつれて多くなっています。



外出回数の減少×居住地区別

居住地区別にみると、木津東・加茂では「あまり減っていない」、木津西・山城では「減っていない」がそれぞれ最も高くなっています。

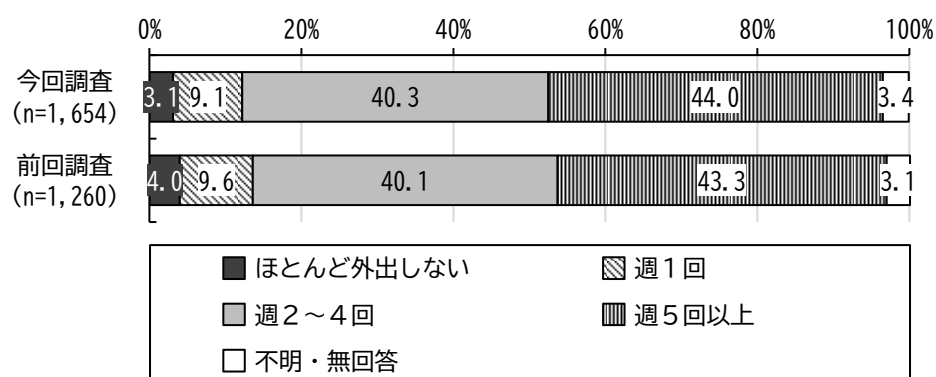
なかでも、加茂では「あまり減っていない」が40.3%と全体に比べて5.7ポイント高くなっています。また、山城では「減っている」が30.7%と全体に比べて6.0ポイント高くなっています。



(7) 週に1回以上は外出※していますか (○は1つ)

週に1回以上の外出状況は、「週5回以上」が44.0%と最も高く、次いで、「週2～4回」が40.3%、「週1回」が9.1%となっています。

前回調査と同様の傾向となっています。

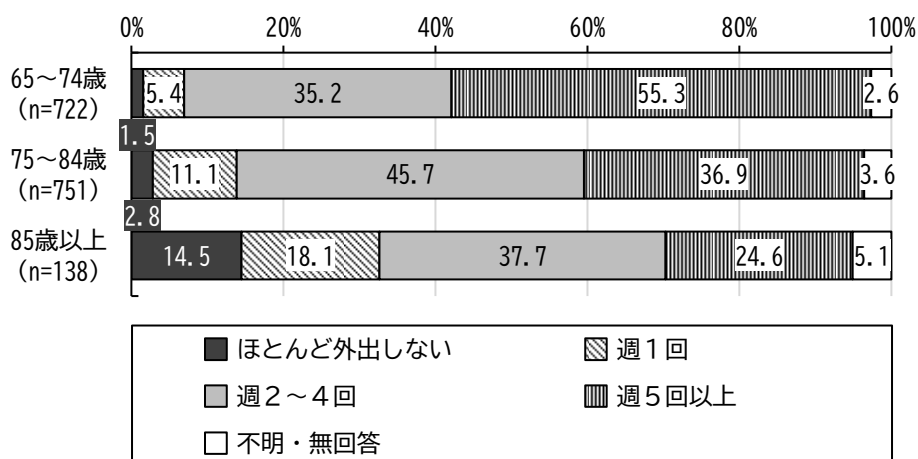


※買い物、通院、趣味の活動、運動、散歩、農作業などを含む。

週1回以上の外出×年齢別

年齢別にみると、65～74歳では「週5回以上」が55.3%と最も高くなっていますが、85歳以上では「週2～4回」が最も高くなっています。

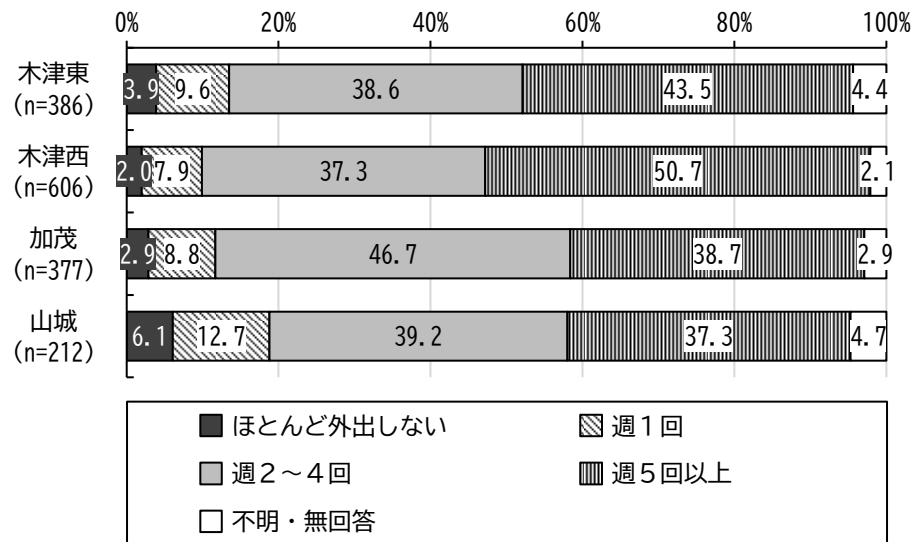
また、「ほとんど外出しない」「週1回」は年齢が上がるにつれて多くなっています。



週1回以上の外出×居住地区別

居住地区別にみると、木津東、木津西では「週5回以上」、山城、加茂では「週2～4回」がそれぞれ最も高くなっています。

木津西では「週5回以上」が50.7%と全体に比べて6.7ポイント高くなっています。また、加茂では「週2～4回」が46.7%と全体に比べて6.4ポイント高くなっています。

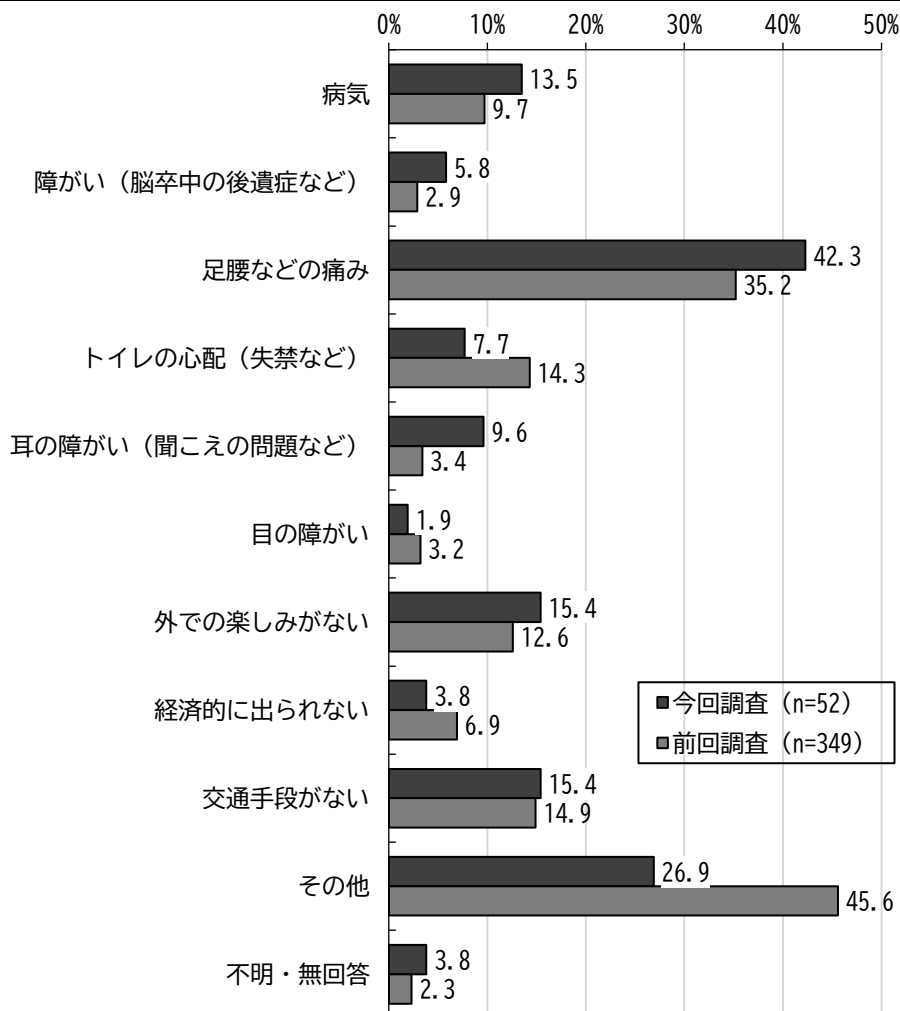


(7) で「1.ほとんど外出しない」と回答した方にお伺いします。

(7-1) 外出していない理由は、次のどれですか（いくつでも）

外出していない理由は、「足腰などの痛み」が42.3%と最も高く、次いで、「外での楽しみがない」「交通手段がない」がともに15.4%となっています。

前回調査に比べて、「病気」が3.8ポイント増加、「経済的に出られない」が3.1ポイント減少していますが、統計的には有意な差はみられません。



◇その他回答：有効回答者数：13人（13件）

「その他」の主な回答内容（分類）	
分 類	件 数
歩行困難・身体の問題	4
外出の必要がない	3
施設入所中	1
感染症予防	1
家族の介護	1
その他	3

外出していない理由×性別・年齢別・居住地区別

性別にみると、男性では「外での楽しみがない」「経済的に出られない」が女性に比べてそれぞれ 21.9 ポイント、7.4 ポイント多くなっています。一方、女性では「交通手段がない」「耳の障がい（聞こえの問題など）」が男性に比べてそれぞれ 8.9 ポイント、4.6 ポイント多くなっています。

年齢別にみると、「足腰などの痛み」「耳の障がい（聞こえの問題など）」は年齢が上がるにつれて多くなっています。

居住地区別にみると、いずれの地区でも「足腰などの痛み」がそれぞれ最も高くなっています。

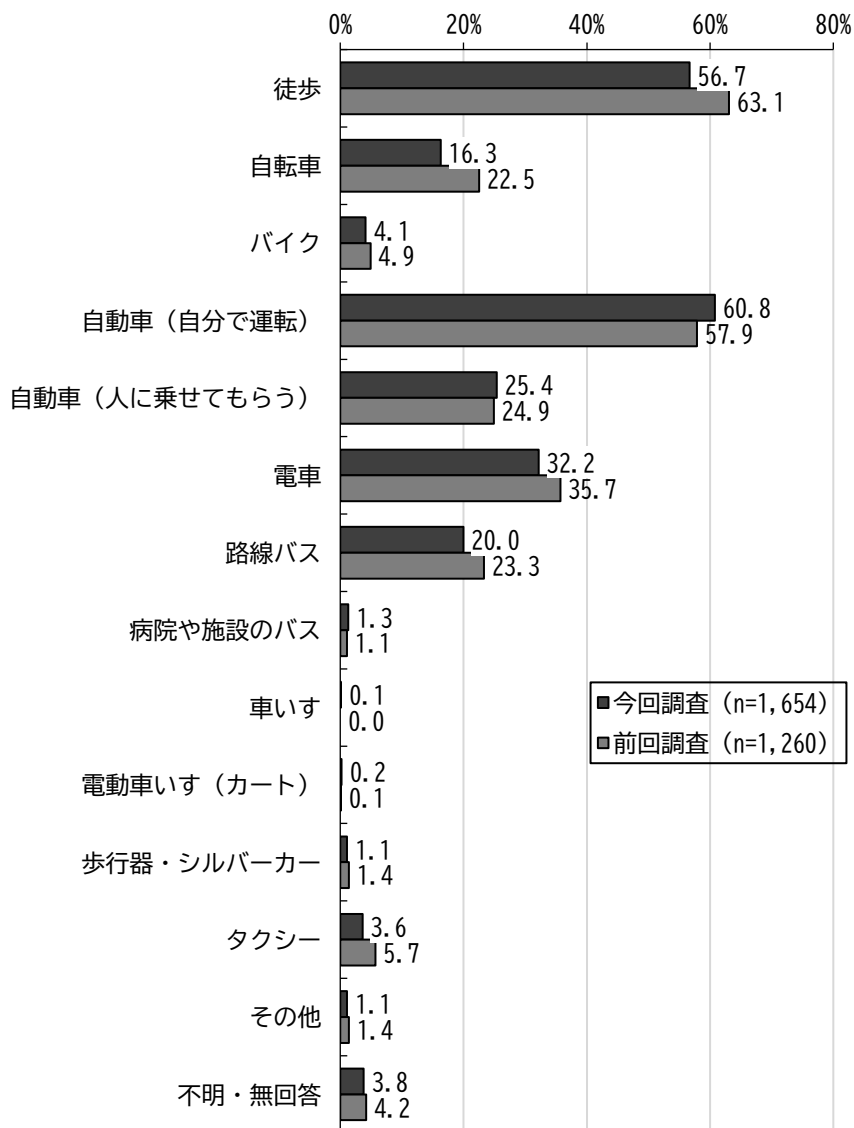
	単位：％	病気	障がい（脳卒中の後遺症など）	足腰などの痛み	トイレの心配（失禁など）	耳の障がい（聞こえの問題など）	目の障がい	外での楽しみがない	経済的に出られない	交通手段がない	その他	不明・無回答
	今回調査 (n=52)	13.5	5.8	42.3	7.7	9.6	1.9	15.4	3.8	15.4	26.9	3.8
性別	男性 (n=27)	14.8	7.4	40.7	7.4	7.4	3.7	25.9	7.4	11.1	25.9	0.0
	女性 (n=25)	12.0	4.0	44.0	8.0	12.0	0.0	4.0	0.0	20.0	28.0	8.0
年齢	65～74歳 (n=11)	9.1	9.1	36.4	9.1	0.0	0.0	36.4	9.1	9.1	27.3	0.0
	75～84歳 (n=21)	14.3	0.0	42.9	0.0	9.5	4.8	9.5	4.8	19.0	14.3	4.8
	85歳以上 (n=20)	15.0	10.0	45.0	15.0	15.0	0.0	10.0	0.0	15.0	40.0	5.0
居住地区	木津東 (n=15)	13.3	0.0	40.0	0.0	20.0	6.7	20.0	6.7	40.0	20.0	6.7
	木津西 (n=12)	8.3	16.7	33.3	16.7	8.3	0.0	33.3	0.0	8.3	41.7	0.0
	加茂 (n=11)	0.0	0.0	45.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1	45.5	0.0
	山城 (n=13)	23.1	7.7	53.8	15.4	7.7	0.0	7.7	7.7	0.0	7.7	7.7

すべての方にお伺いします。

(8) 外出する際の移動手段は何ですか (〇はいくつでも)

外出の際の移動手段は、「自動車 (自分で運転)」が 60.8%と最も高く、次いで、「徒歩」が 56.7%、「電車」が 32.2%となっています。

前回調査に比べて、「徒歩」が 6.4 ポイント減少していますが、統計的には有意な差はみられません。また、「電車」が 3.5 ポイント、「路線バス」が 3.3 ポイント減少していますが、いずれも統計的には有意な差はみられません。



◇その他回答：有効回答者数：17 人 (のべ 19 件)

「その他」の主な回答内容 (分類)			
分 類	件 数	分 類	件 数
家族の車	6	介護タクシー	1
デイサービス送迎	3	歩行補助具	1
コミュニティバス	3	その他	4
自転車	1		

外出の際の移動手段×性別・年齢別・居住地区別・認定状況別

性別にみると、男性では「自動車（自分で運転）」「バイク」が女性に比べてそれぞれ 23.7 ポイント、4.7 ポイント多くなっています。一方、女性では「自動車（人に乗せてもらう）」が男性に比べて 19.7 ポイント多くなっています。

年齢別にみると、65～74 歳では「自動車（自分で運転）」が最も高くなっていますが、85 歳以上では「徒歩」が最も高くなっています。また、「電車」は年齢が上がるにつれて少なくなっており、一方で「自動車（人に乗せてもらう）」「タクシー」「路線バス」は年齢が上がるにつれて多くなっています。

居住地区別にみると、木津東・加茂・山城では「自動車（自分で運転）」、木津西では「徒歩」がそれぞれ最も高くなっています。なかでも、木津東では「自動車（自分で運転）」が 54.7%と全体に比べて 6.1 ポイント低くなっています。また、木津西では「徒歩」が 67.3%と全体に比べて 10.6 ポイント高くなっています。

認定状況別にみると、介護認定を受けていない高齢者では「自動車（自分で運転）」「電車」が要支援 1・2 と比べて、それぞれ 38.8 ポイント、21.1 ポイント多くなっています。一方、要支援 1・2 では「自動車（人に乗せてもらう）」「歩行器・シルバーカー」が介護認定を受けていない高齢者と比べて、それぞれ 19.2 ポイント、11.5 ポイント多くなっています。

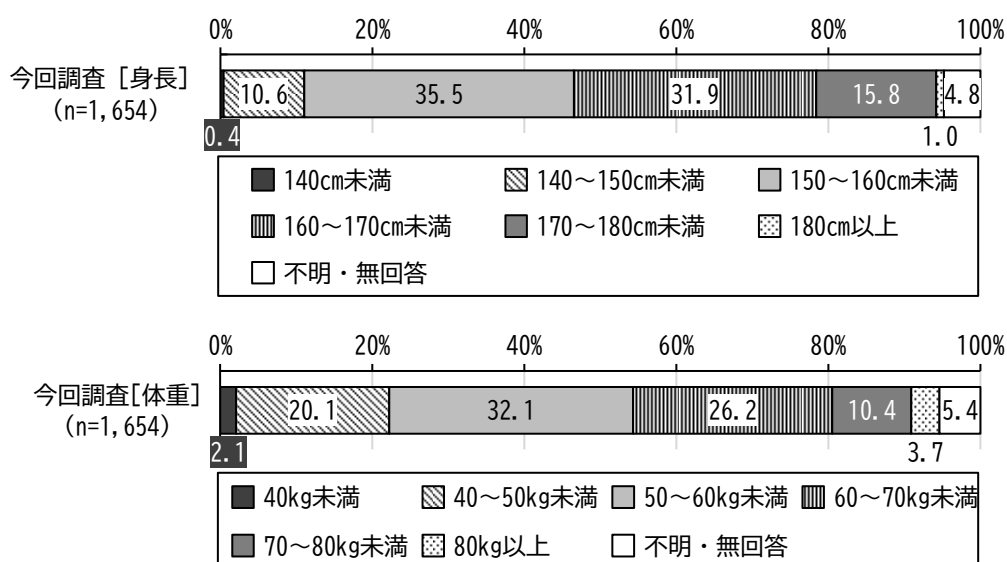
	単位：%	徒歩	自転車	バイク	自動車（自分で運転）	自動車（人に乗せてもらう）	電車	路線バス	病院や施設のバス	車いす	電動車いす（カートの）	歩行器・シルバーカー	タクシー	その他	不明・無回答
	今回調査 (n=1,654)	56.7	16.3	4.1	60.8	25.4	32.2	20.0	1.3	0.1	0.2	1.1	3.6	1.1	3.8
性別	男性 (n=775)	57.9	17.5	6.6	73.3	14.8	33.3	18.7	1.0	0.1	0.3	0.6	3.0	0.6	3.9
	女性 (n=833)	56.2	15.2	1.9	49.6	34.5	31.6	21.1	1.6	0.1	0.2	1.7	4.3	1.4	3.5
年齢	65～74歳 (n=722)	58.6	16.2	5.3	72.2	19.7	36.8	17.6	0.3	0.0	0.0	0.1	1.2	0.3	4.3
	75～84歳 (n=751)	56.3	17.2	3.7	57.1	28.8	30.6	21.2	1.1	0.0	0.4	0.9	4.5	1.1	3.2
	85歳以上 (n=138)	52.9	13.0	0.7	23.2	31.9	18.8	26.1	7.2	1.4	0.7	8.0	11.6	5.1	3.6
居住地区	木津東 (n=386)	54.4	19.2	4.4	54.7	29.3	30.1	23.8	1.8	0.3	0.0	1.6	4.4	1.0	5.4
	木津西 (n=606)	67.3	19.5	3.0	57.3	21.3	40.3	23.6	1.5	0.0	0.5	0.8	4.3	0.7	2.6
	加茂 (n=377)	55.2	7.4	4.8	71.1	26.5	31.0	19.4	0.3	0.3	0.3	0.8	2.9	1.3	3.4
	山城 (n=212)	37.3	18.4	5.2	64.6	26.9	18.9	5.2	1.4	0.0	0.0	1.9	2.4	1.9	3.8
認定状況	要支援 1・2 (n=100)	51.0	9.0	3.0	25.0	43.0	13.0	23.0	11.0	0.0	2.0	12.0	12.0	3.0	1.0
	認定を受けていない (n=1,480)	57.8	17.0	4.3	63.8	23.8	34.1	19.9	0.6	0.1	0.1	0.5	3.1	0.8	3.8

問4 食えることについて

(1) 身長・体重(数値を記入)

身長は、「150～160cm 未満」が35.5%と最も高く、次いで、「160～170cm 未満」が31.9%、「170～180cm 未満」が15.8%となっています。

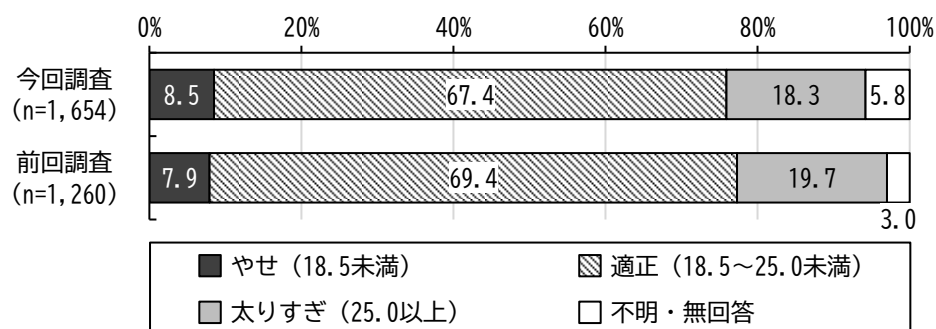
体重は、「50～60kg 未満」が32.1%と最も高く、次いで、「60～70kg 未満」が26.2%、「40～50kg 未満」が20.1%となっています。



BMI (身長・体重より算出)

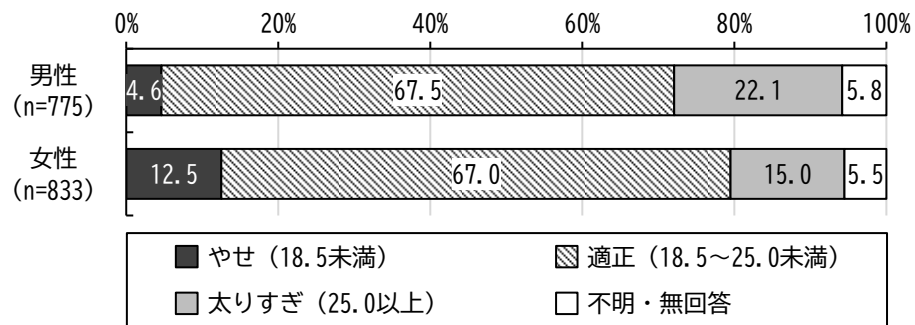
BMIは、「適正(18.5～25.0 未満)」が67.4%と最も高く、次いで、「太りすぎ(25.0 以上)」が18.3%、「やせ(18.5 未満)」が8.5%となっています。

前回調査に比べて有意な差はみられません。



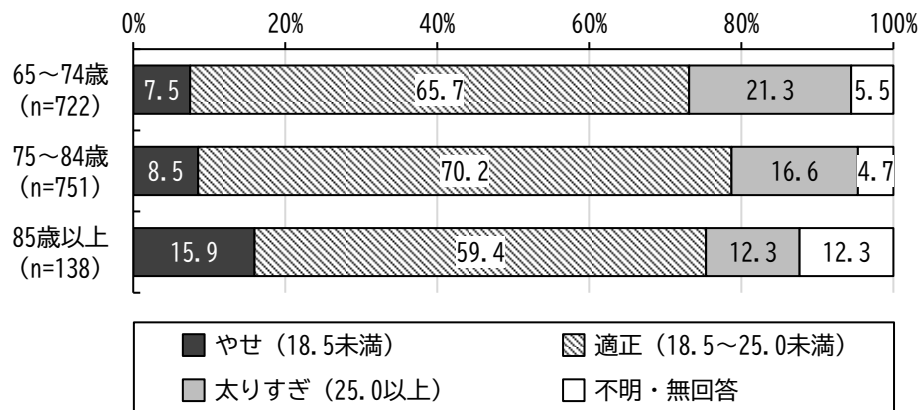
BMI × 性別

性別にみると、「適正（18.5～25.0未満）」がそれぞれ最も高くなっていますが、男性では「太りすぎ（25.0以上）」が22.1%と女性に比べて7.1ポイント多く、女性では「やせ（18.5未満）」が12.5%と男性に比べて7.9ポイント多くなっています。



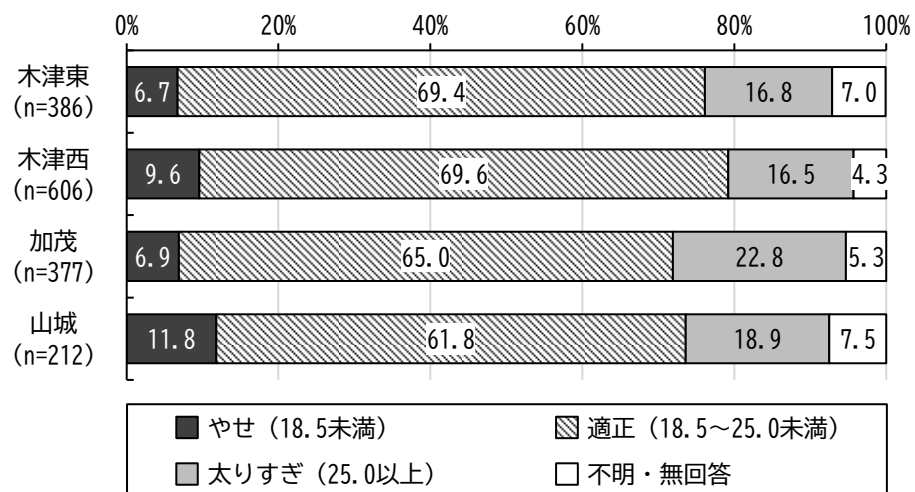
BMI × 年齢別

年齢別にみると、「適正（18.5～25.0未満）」がそれぞれ最も高くなっていますが、85歳以上では「やせ（18.5未満）」が15.9%と65～74歳の7.5%、75～84歳の8.5%に比べて高くなっています。



BMI × 居住地区別

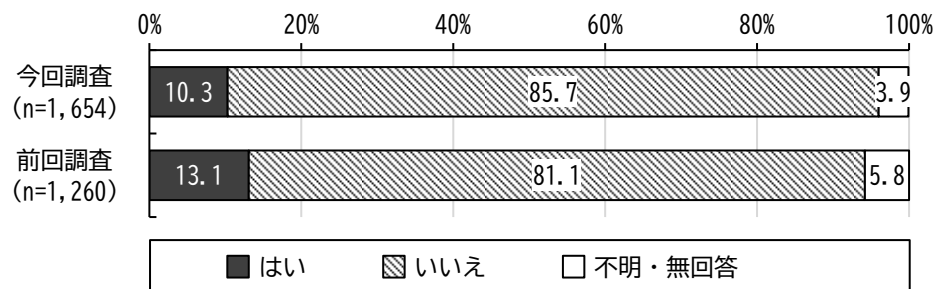
居住地区別にみると、「適正（18.5～25.0未満）」がそれぞれ最も高くなっていますが、山城では「適正（18.5～25.0未満）」が61.8%と他の地域の65.0～69.6%に比べて低くなっています。



(2) 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか(○は1つ)

6か月間の体重減少の有無は、「いいえ」が85.7%、「はい」が10.3%となっています。

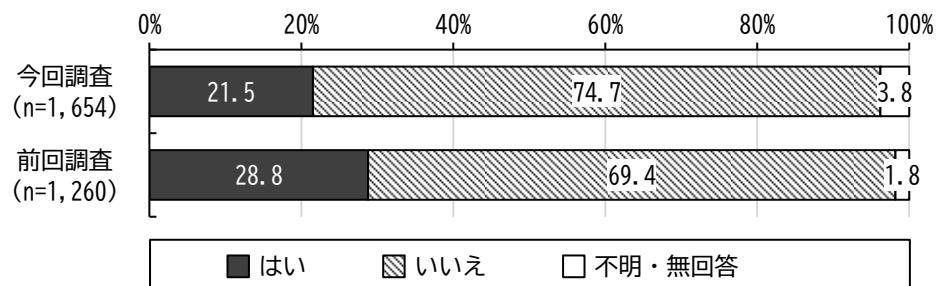
前回調査に比べて、「いいえ」が4.6ポイント増加していますが、統計的には有意な差はみられません。



(3) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか(○は1つ)

固いものが食べにくくなったかは、「いいえ」が74.7%、「はい」が21.5%となっています。

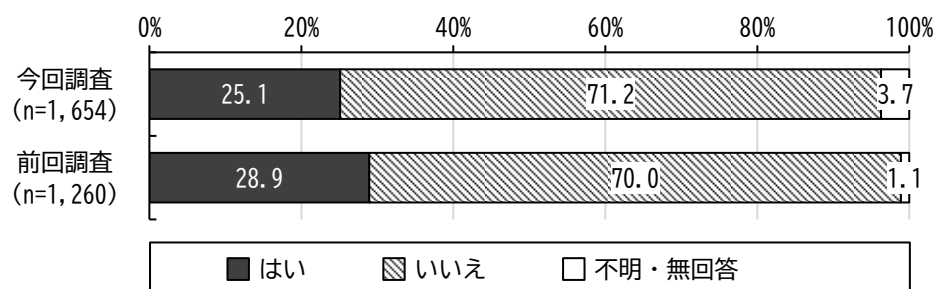
前回調査に比べて、「いいえ」が5.3ポイント増加しており、有意な差がみられます。



(4) お茶や汁物等でむせることがありますか(○は1つ)

むせた経験は、「いいえ」が71.2%、「はい」が25.1%となっています。

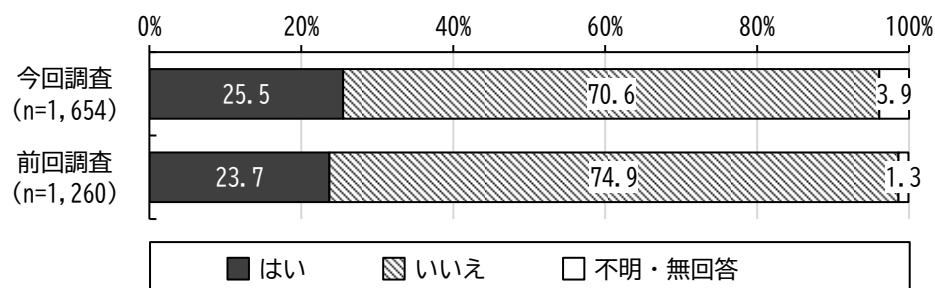
前回調査に比べて、「はい」が3.8ポイント減少していますが、統計的には有意な差はみられません。



(5) 口の渇きが気になりますか (○は1つ)

口の渇きの状況は、「いいえ」が70.6%、「はい」が25.5%となっています。

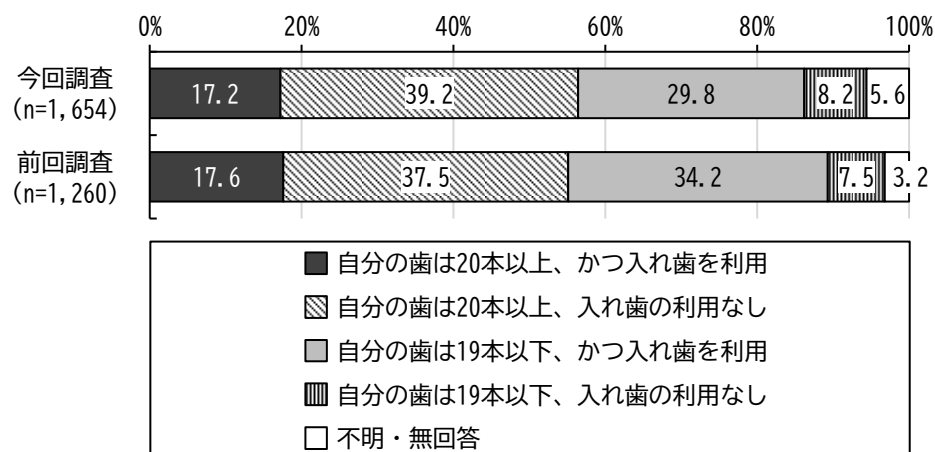
前回調査に比べて、「いいえ」が4.3ポイント減少していますが、統計的には有意な差はみられません。



(6) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください (○は1つ)

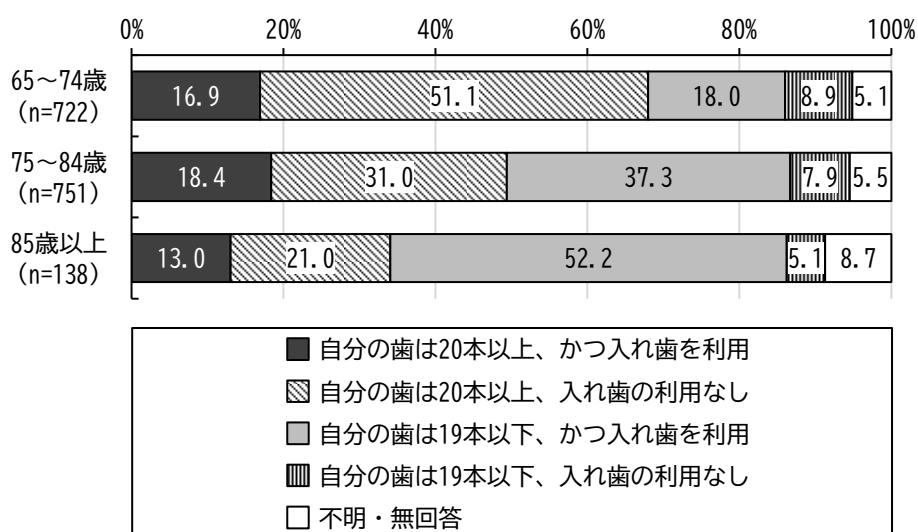
歯の数と入れ歯の利用状況は、「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が39.2%と最も高く、次いで、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が29.8%、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」が17.2%となっています。

前回調査に比べて、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が4.4ポイント減少していますが、統計的には有意な差はみられません。



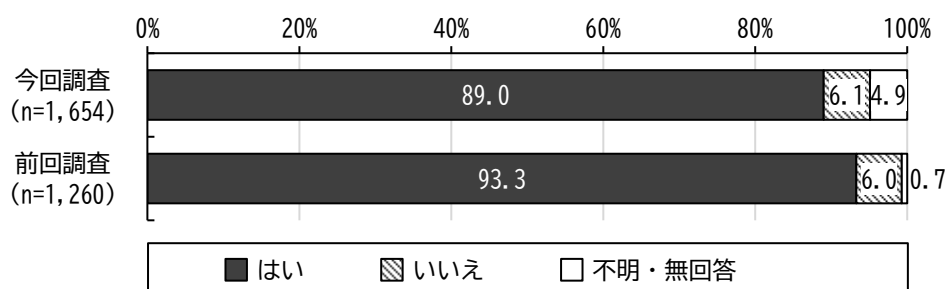
歯の数と入れ歯の利用状況×年齢別

年齢別にみると、65～74歳では「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が51.1%と最も高くなっていますが、85歳以上では「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が52.2%と最も高くなっています。



(7) 歯磨き（人にやってもらう場合も含む）または入れ歯の手入れを毎日していますか（○は1つ）

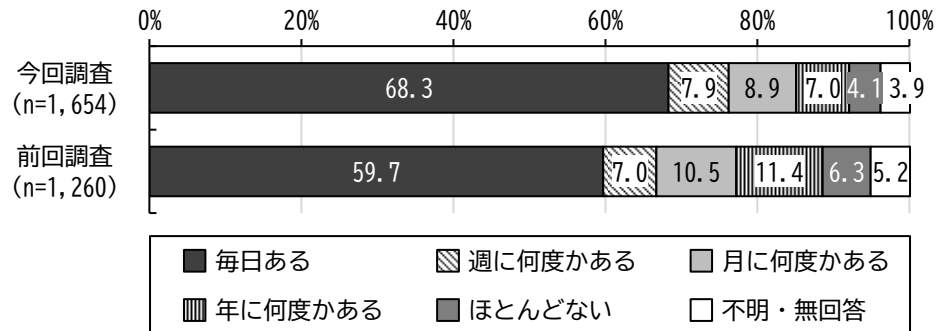
歯磨きや入れ歯の手入れを毎日しているかは、「はい」が89.0%、「いいえ」が6.1%となっています。前回調査に比べて、「はい」が4.3ポイント減少していますが、統計的には有意な差はみられません。



(8) どなたかと食事をとる機会がありますか(○は1つ)

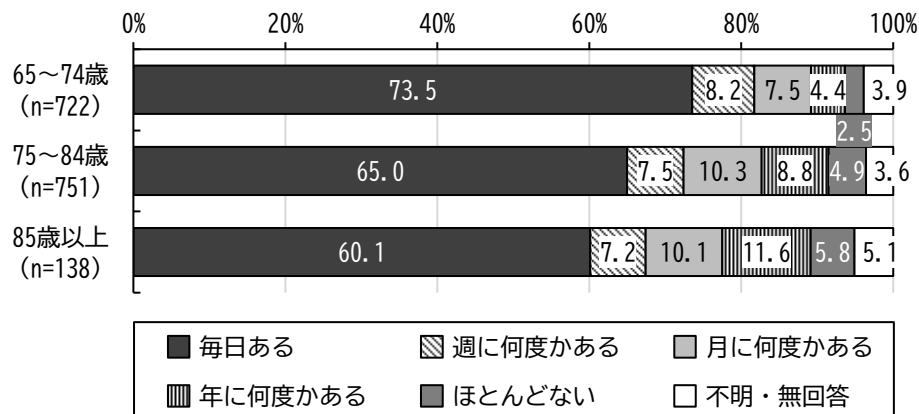
どなたかと食事をとる機会は、「毎日ある」が68.3%と最も高く、次いで、「月に何度かある」が8.9%、「週に何度かある」が7.9%となっています。

前回調査に比べて、「毎日ある」が8.6ポイント増加しており、有意な差がみられます。また、「年に何度かある」が4.4ポイント減少していますが、統計的には有意な差はみられません。



どなたかと食事をとる機会×年齢別

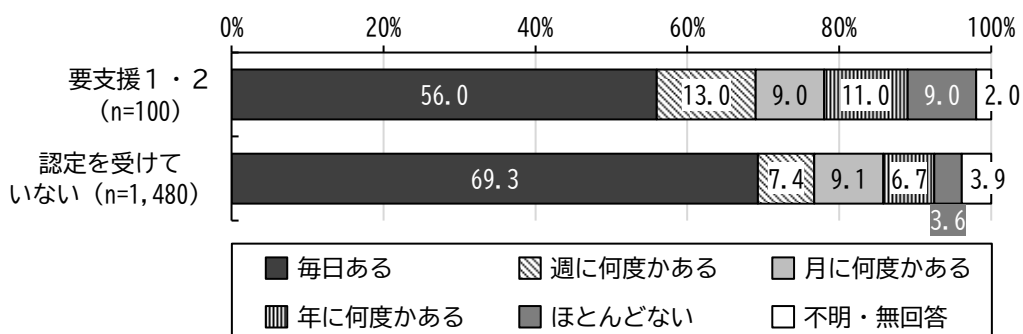
年齢別にみると、「毎日ある」がそれぞれ最も高くなっていますが、年齢が上がるにつれて「毎日ある」が低くなっています。



どなたかと食事をとる機会×認定状況別

認定状況別にみると、介護認定を受けていない高齢者では「毎日ある」が69.3%と、要支援1・2に比べて13.3ポイント多くなっています。

一方、要支援1・2では「週に何度かある」「ほとんどない」が介護認定を受けていない高齢者に比べてそれぞれ5.6ポイント、5.4ポイント多くなっています。

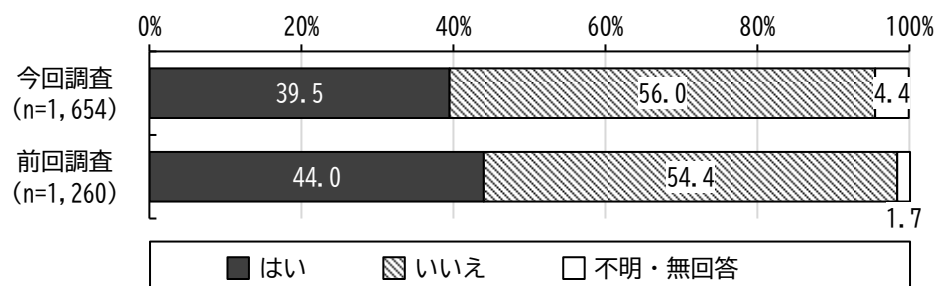


問5 毎日の生活について

(1) 物忘れが多いと感じますか (○は1つ)

物忘れが多いと感じるかは、「いいえ」が56.0%、「はい」が39.5%となっています。

前回調査に比べて、「はい」が4.5ポイント減少していますが、統計的には有意な差はみられません。

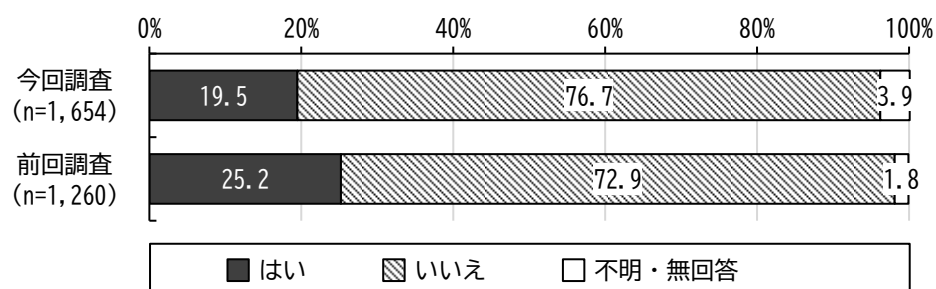


(2) 今日が何月何日かわからない時がありますか (○は1つ)

日時の把握は、「いいえ」が76.7%、「はい」が19.5%となっています。

前回調査に比べて、「はい」が5.7ポイント減少していますが、統計的には有意な差はみられません。

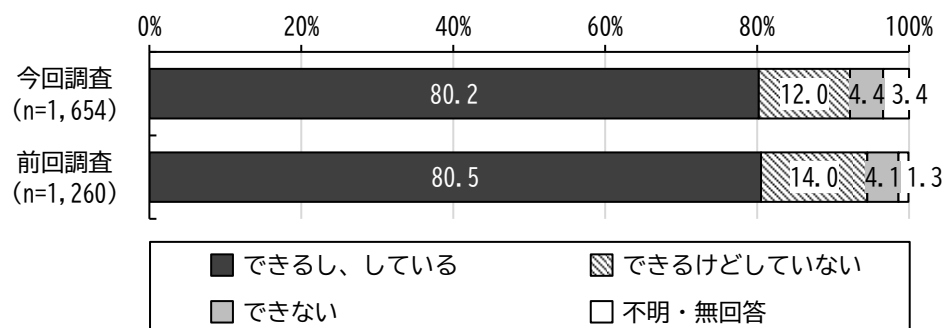
また、「いいえ」が3.8ポイント増加していますが、統計的には有意な差はみられません。



(3) バスや電車を使って1人で外出していますか (自家用車でも可) (○は1つ)

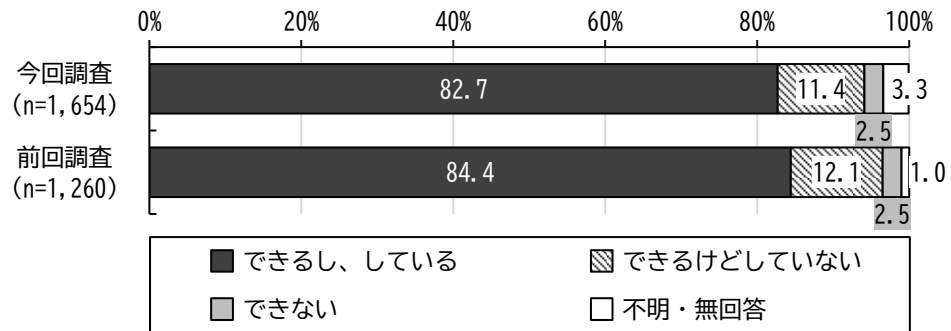
バスや電車を使った一人外出の状況は、「できるし、している」が80.2%と高くなっています。

前回調査と同様の傾向となっています。



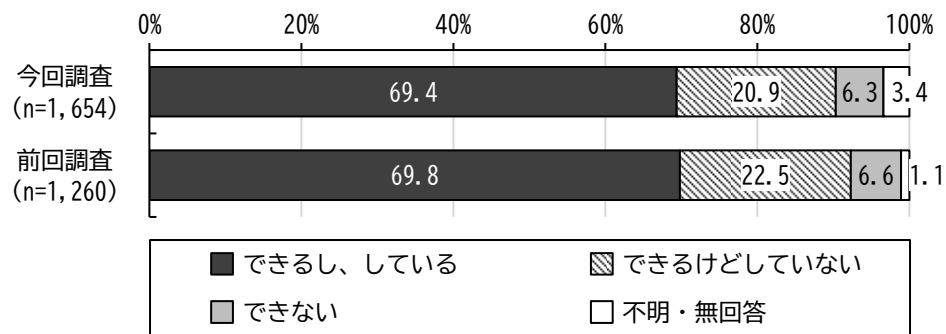
(4) 自分で食品・日用品の買い物をしていますか (〇は1つ)

食品・日用品の買い物の状況は、「できるし、している」が82.7%と高くなっています。
前回調査と同様の傾向となっています。



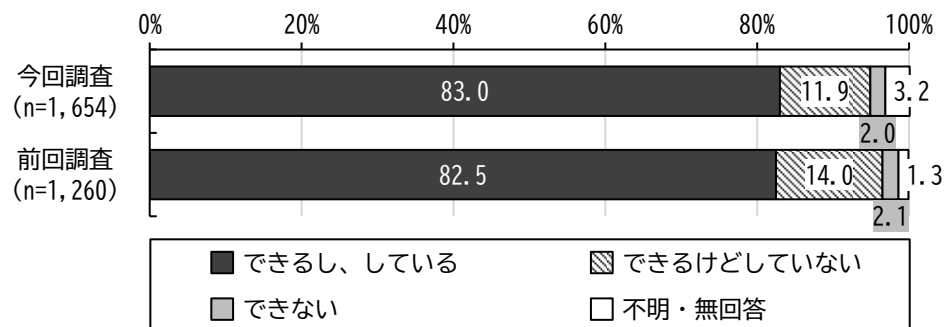
(5) 自分で食事の用意をしていますか (〇は1つ)

食事の用意は、「できるし、している」が69.4%と高くなっています。
前回調査と同様の傾向となっています。



(6) 自分で請求書の支払いをしていますか (〇は1つ)

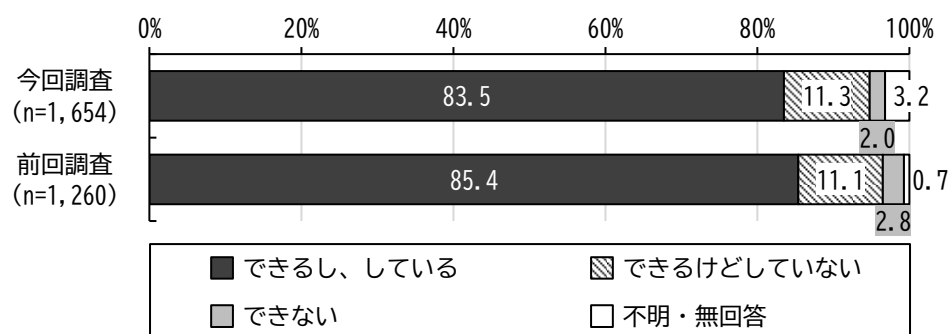
請求書の支払いは、「できるし、している」が83.0%と高くなっています。
前回調査と同様の傾向となっています。



(7) 自分で預貯金の出し入れをしていますか (○は1つ)

預貯金の出し入れは、「できるし、している」が83.5%と高くなっています。

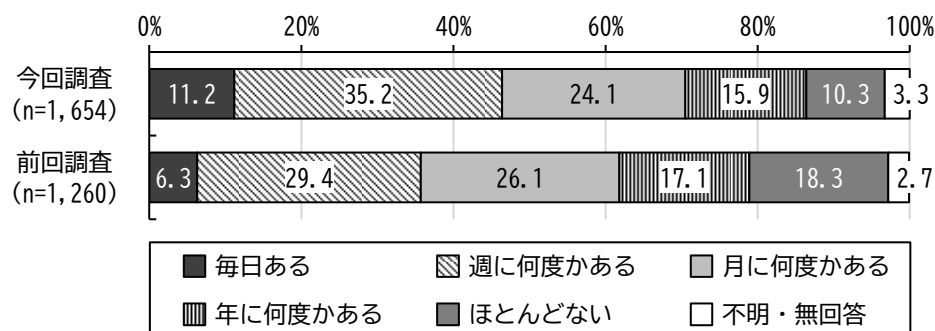
前回調査と同様の傾向となっています。



(8) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか (○は1つ)

友人・知人と会う頻度は、「週に何度かある」が35.2%と最も高く、次いで、「月に何度かある」が24.1%、「年に何度かある」が15.9%となっています。

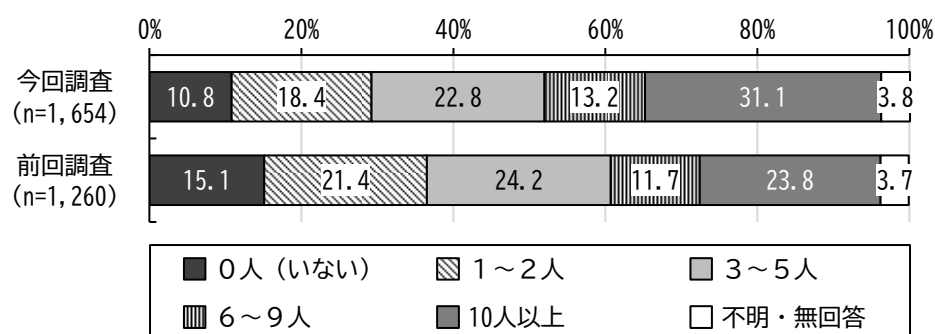
前回調査に比べて、「週に何度かある」が5.8ポイント増加しており、有意な差がみられます。また、「毎日ある」が4.9ポイント増加していますが、統計的には有意な差はみられません。



(9) この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか (○は1つ)

この1か月間に会った友人・知人の人数は、「10人以上」が31.1%と最も高く、次いで、「3～5人」が22.8%、「1～2人」が18.4%となっています。

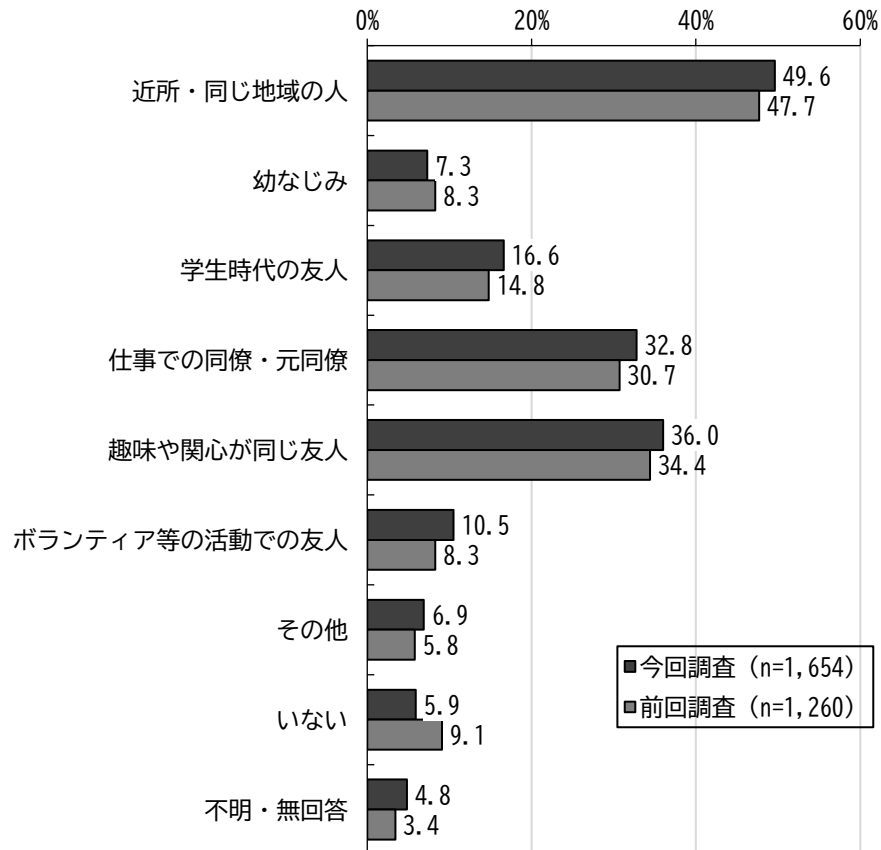
前回調査に比べて、「10人以上」が7.3ポイント増加しており、有意な差がみられます。また、「0人(いない)」が4.3ポイント、「1～2人」が3.0ポイント減少していますが、いずれも統計的には有意な差はみられません。



(10) よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか（〇はいくつでも）

よく会う友人・知人の関係は、「近所・同じ地域の人」が49.6%と最も高く、次いで、「趣味や関心が同じ友人」が36.0%、「仕事での同僚・元同僚」が32.8%となっています。

前回調査に比べて、「いない」が3.2ポイント減少していますが、統計的には有意な差はみられません。



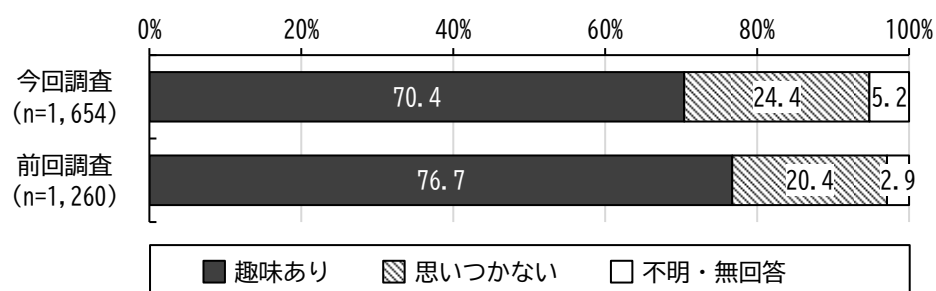
◇その他回答：有効回答者数：108人（のべ109件）

「その他」の主な回答内容（分類）	
分 類	件 数
趣味・サークル仲間	17
スポーツ仲間	8
職場・仕事関係	9
同級生・同窓	1
親族・家族	15
ママ友・子ども関係	6
デイサービス・施設	5
教会・信仰	2
ご近所・地域	1
その他	45

(11) 趣味はありますか (○は1つ)

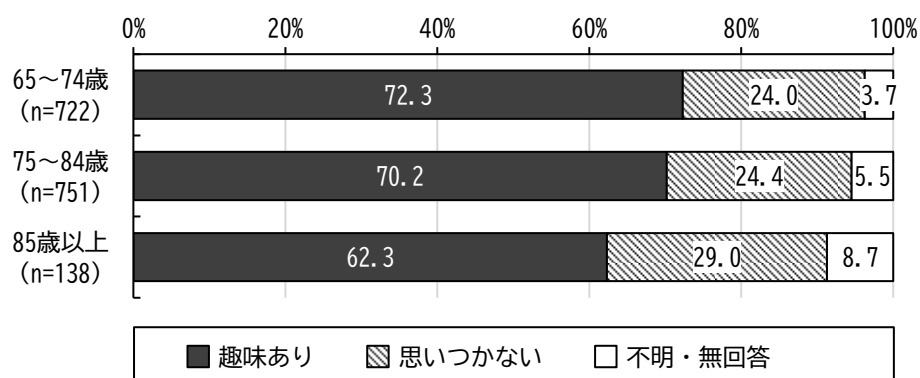
趣味の有無は、「趣味あり」が70.4%、「思いつかない」が24.4%となっています。

前回調査に比べて、「趣味あり」が6.3ポイント減少しており、一方で「思いつかない」が4.0ポイント増加していますが、いずれも統計的には有意な差はみられません。



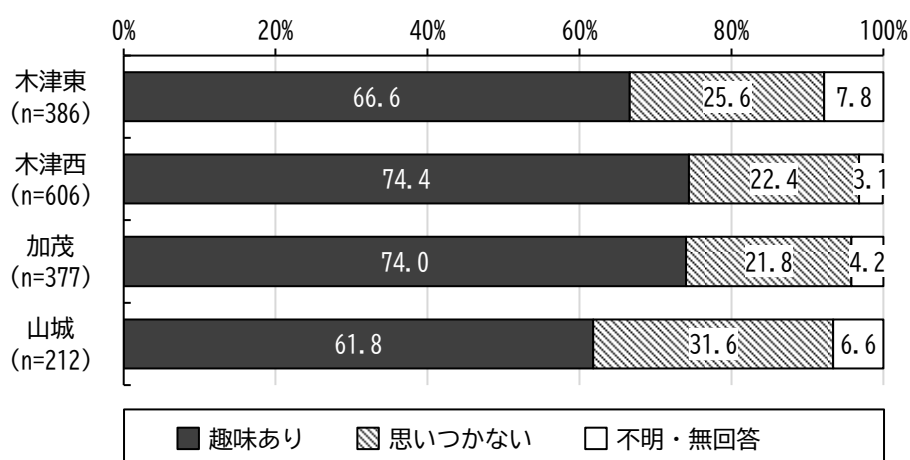
趣味の有無×年齢別

年齢別にみると、「趣味あり」は65～74歳が72.3%、75～84歳が70.2%、85歳以上が62.3%と、年齢が上がるにつれて少なくなっています。



趣味の有無×居住地区別

居住地区別にみると、いずれの地区でも「趣味あり」が高くなっています。全体の「趣味あり」が70.4%に対して、木津西・加茂で全体に比べて高くなっており、一方木津東・山城では全体に比べて低くなっています。



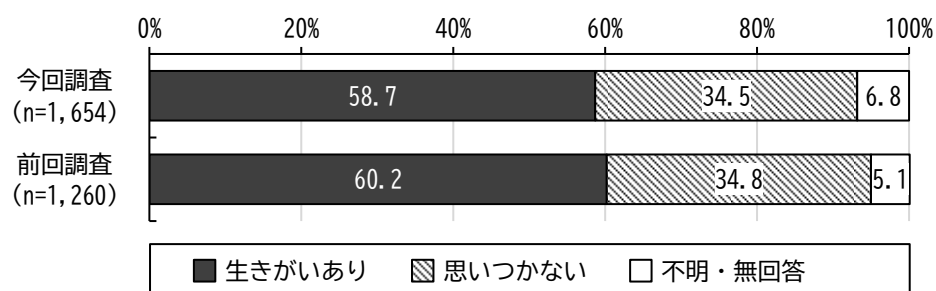
◇その他回答：有効回答者数：1,005 人（のべ 1,447 件）

「その他」の主な回答内容（分類）			
分 類	件 数	分 類	件 数
読書	138	写真・カメラ	13
ゴルフ	98	水泳	15
手芸・編み物・洋裁	122	パソコン・インターネット	22
散歩・ウォーキング	60	ジム・筋トレ	14
家庭菜園・野菜作り	78	卓球	16
園芸・ガーデニング	70	スポーツ観戦	15
将棋・囲碁・ゲーム	71	登山・ハイキング	13
旅行	55	俳句・短歌・川柳	7
楽器演奏	49	茶道	5
ヨガ・体操・太極拳	48	華道・生け花	9
映画鑑賞	35	陶芸	4
カラオケ	27	グラウンドゴルフ・ゲートボール	1
歌・合唱	31	サイクリング	6
料理	33	バイク	11
テニス	29	ボランティア	5
釣り	25	買い物	9
ドライブ	26	競馬・パチンコ等	17
絵画・スケッチ	30	木工・DIY	13
書道・習字	22	西国巡り・寺社巡り	8
ダンス	19	その他スポーツ	6
音楽鑑賞	24	その他	131
テレビ鑑賞	17		

(12) 生きがいがありますか（○は1つ）

生きがいの有無は、「生きがいあり」が58.7%、「思いつかない」が34.5%となっています。

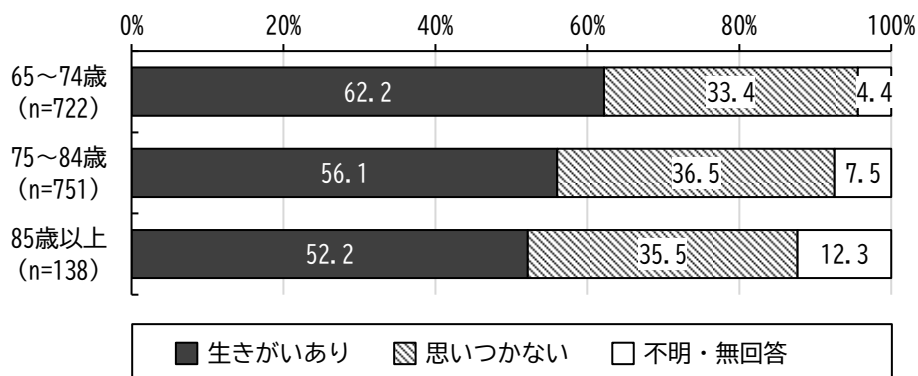
前回調査と同様の傾向となっています。



Ⅱ 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査結果

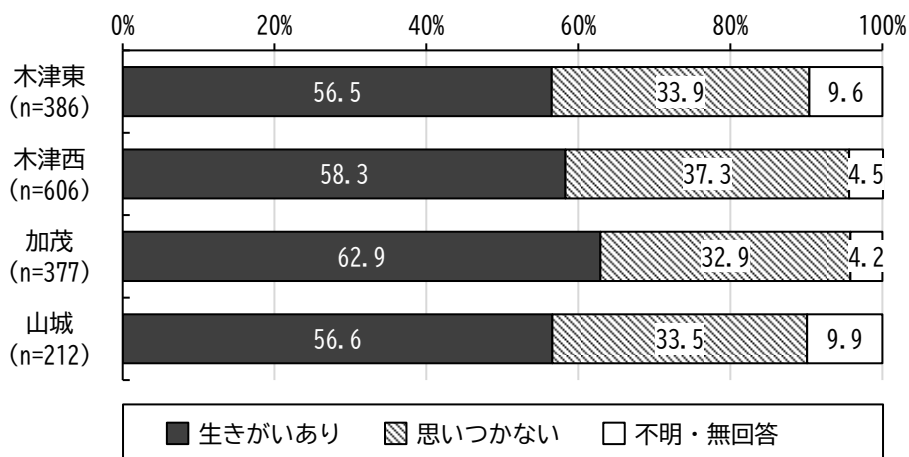
生きがいの有無×年齢別

年齢別にみると、「生きがいあり」は 65～74 歳が 62.2%、75～84 歳が 56.1%、85 歳以上が 52.2%と、年齢が上がるにつれて少なくなっています。



生きがいの有無×居住地区別

居住地区別にみると、いずれの地区でも「生きがいあり」が高くなっています。全体の「生きがいあり」が 58.7%に対して、加茂で全体に比べて高くなっています。

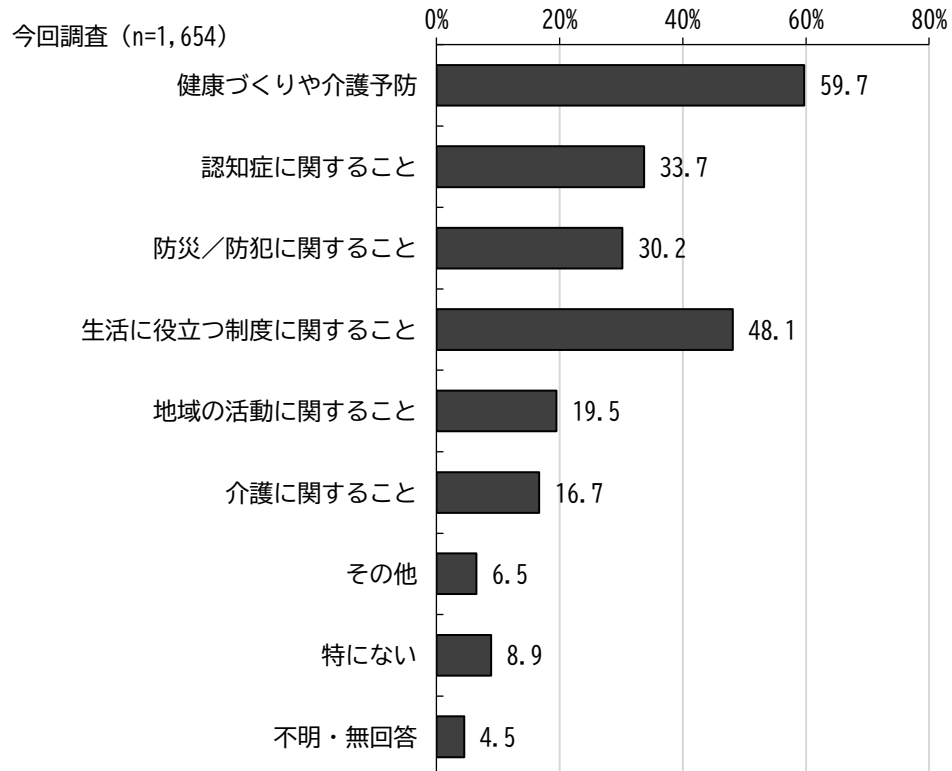


◇生きがいの具体的内容：有効回答者数：764 人（のべ 941 件）

生きがいの主な内容（分類）			
分 類	件 数	分 類	件 数
孫との交流	229	音楽・楽器	15
家族との交流	64	散歩・ウォーキング	7
子ども・家族	37	読書	19
旅行	55	健康で過ごすこと	30
趣味活動	50	地域活動・社会参加	7
仕事・働くこと	57	食事・外食	19
友人・仲間	35	ダンス	3
家庭菜園・畑仕事	37	登山	3
園芸・ガーデニング	26	手芸・編み物	7
ゴルフ	18	料理	6
ペット	22	学び・研究	6
ボランティア	18	信仰	10
スポーツ・運動	21	その他	127
歌・カラオケ	13		

(13) どのような情報に関心がありますか（〇はいくつでも）

関心のある情報は、「健康づくりや介護予防」が59.7%と最も高く、次いで、「生活に役立つ制度に関すること」が48.1%、「認知症に関すること」が33.7%となっています。

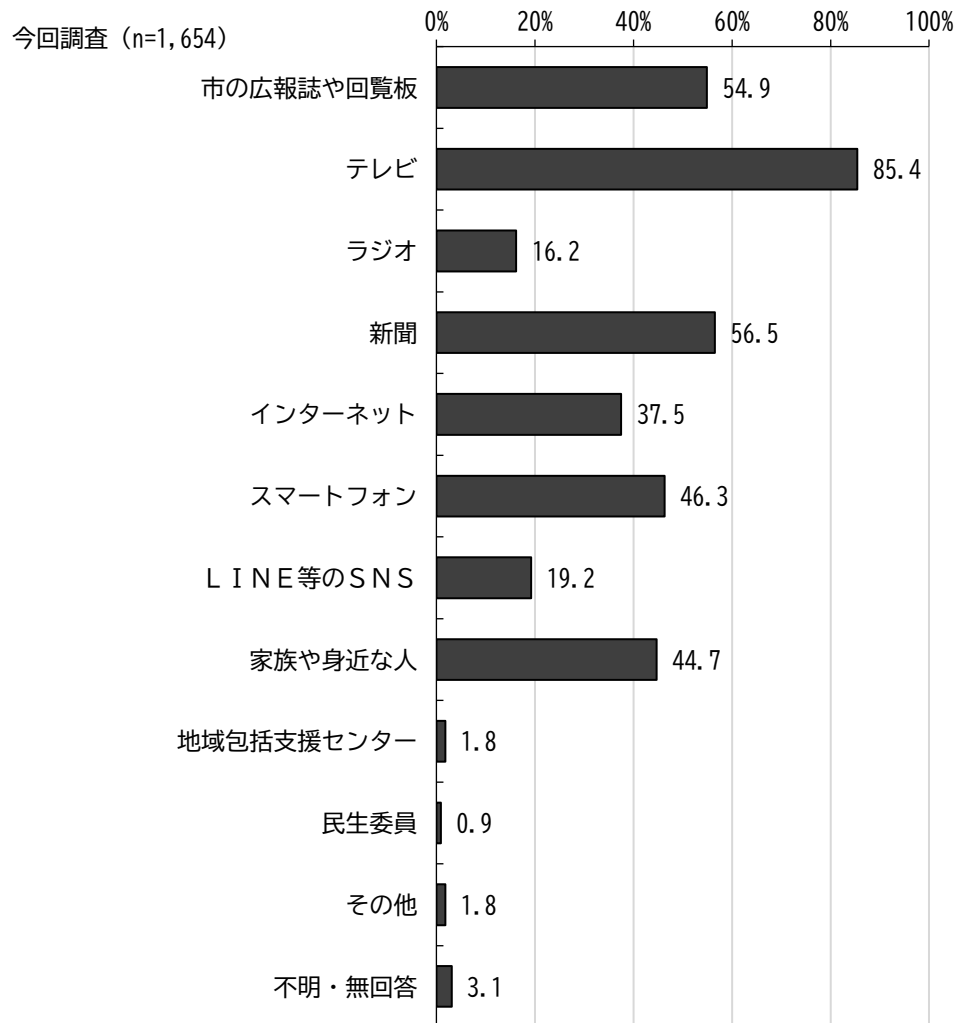


◇その他回答：有効回答者数：104 人（のべ 110 件）

「その他」の主な回答内容（分類）	
分 類	件 数
スポーツ・運動	8
文化・芸術・音楽	10
旅行・観光	1
政治・経済・社会・国際	39
健康・医療	2
グルメ・料理	5
趣味関連	5
仕事関連	3
ペット・動物	2
その他	35

(14) 普段、どのような方法で情報を得ていますか（〇はいくつでも）

情報の取得方法は、「テレビ」が85.4%と最も高く、次いで、「新聞」が56.5%、「市の広報誌や回覧板」が54.9%となっています。



◇その他回答：有効回答者数：27人（のべ30件）

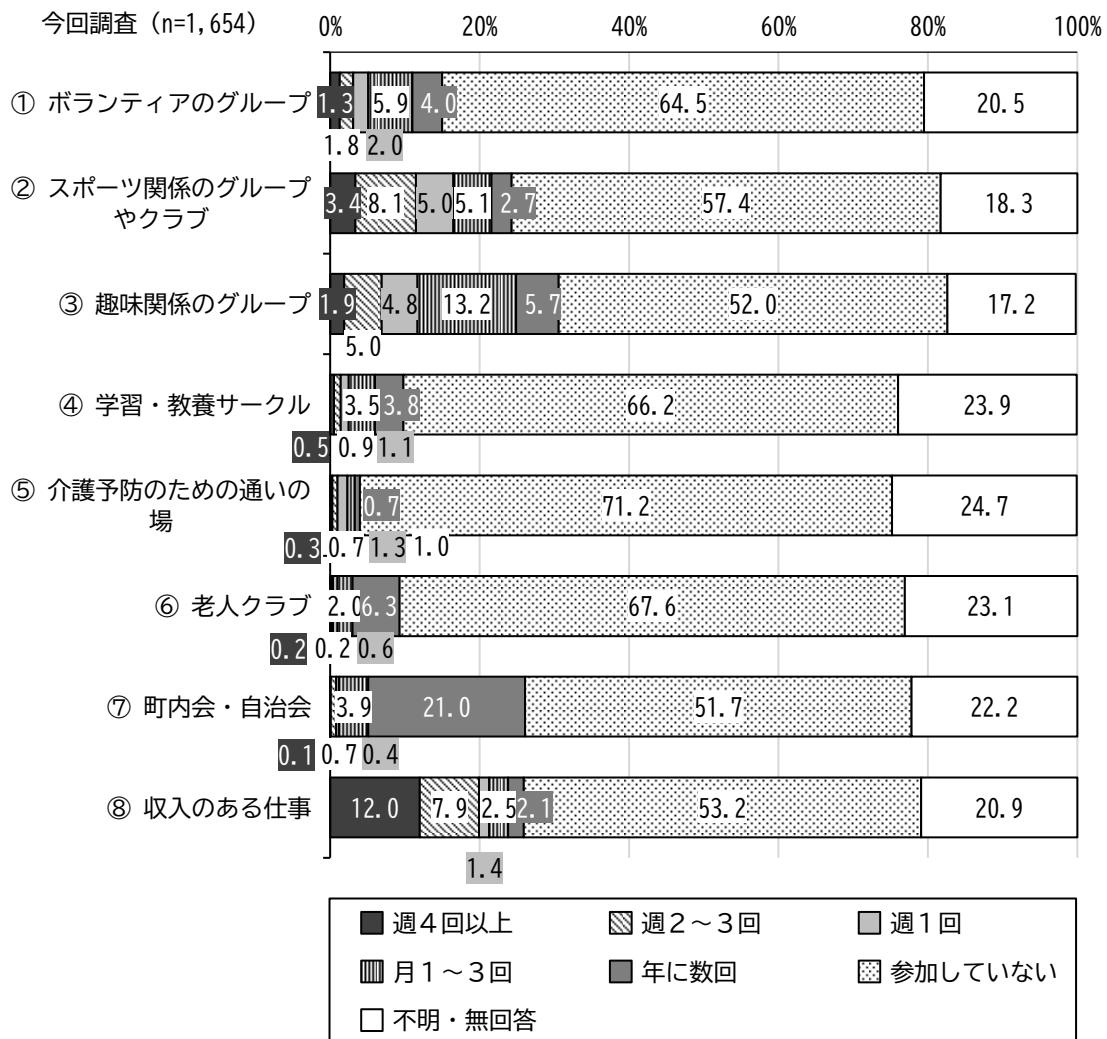
「その他」の主な回答内容（分類）	
分 類	件 数
友人・知人	6
職場・仕事関係	2
サークル・趣味仲間	5
自治会・地域	1
SNS・インターネット	2
図書館	2
その他	12

問6 地域での活動について

(1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか

①～⑧のいずれの活動においても「参加していない」が最も高くなっています。

いずれかの頻度で参加している割合（「年に数回」以上の合計）をみると、「③趣味関係のグループ」が30.6%と最も高く、次いで、「⑦町内会・自治会」が26.1%、「⑧収入のある仕事」が25.9%となっています。一方、「⑤介護予防のための通いの場」は4.0%と最も低くなっています。

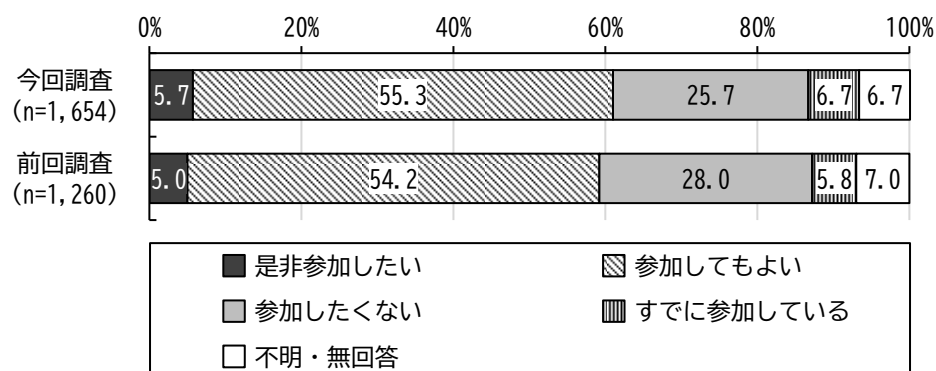


Ⅱ 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査結果

- (2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか（〇は1つ）

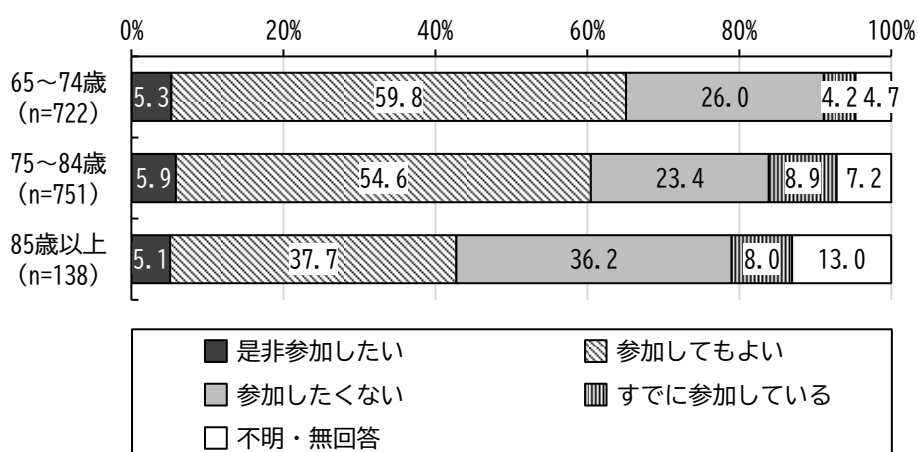
地域活動への参加意向（参加者）は、「参加してもよい」が55.3%と最も高く、次いで、「参加したくない」が25.7%、「すでに参加している」が6.7%となっています。

前回調査と同様の傾向となっています。



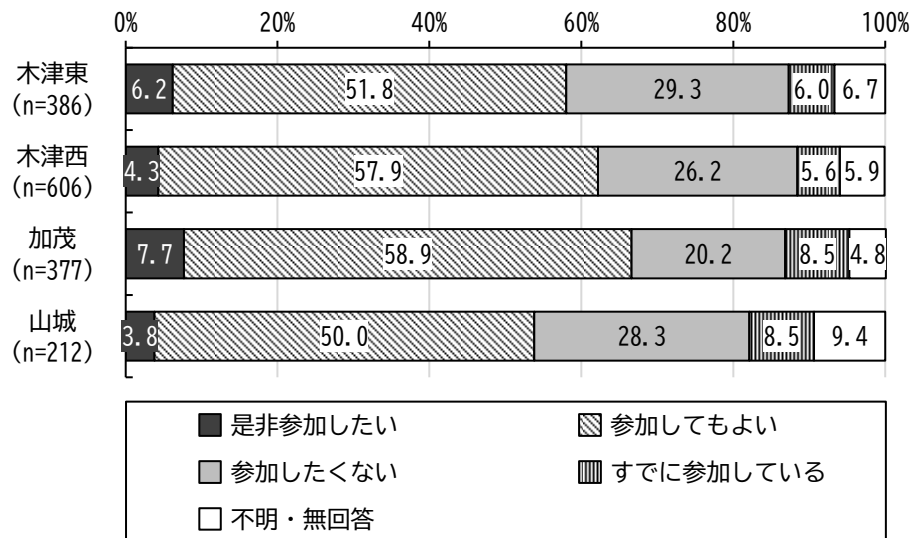
健康づくり活動や趣味等のグループ活動への参加意欲×年齢別

年齢別にみると、「参加してもよい」がそれぞれ最も高くなっていますが、年齢が上がるにつれて「参加してもよい」が低くなっています。



健康づくり活動や趣味等のグループ活動への参加意欲×居住地区別

居住地区別にみると、いずれの地区でも「参加してもよい」が最も高くなっています。全体の「参加してもよい」が55.3%に対して、加茂で全体に比べて高くなっており、一方木津東・山城では全体に比べて低くなっています。



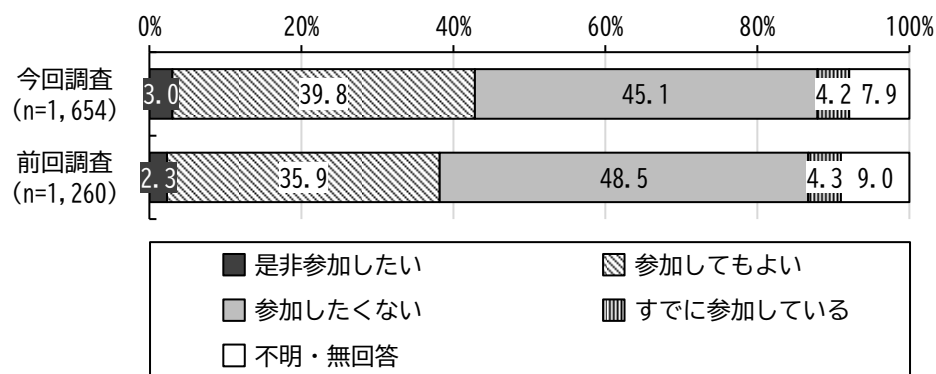
◇その他回答：有効回答者数：271 人（のべ 306 件）

「その他」の主な回答内容（分類）	
分 類	件 数
体調・体力面の不安	61
仕事がある	28
面倒・おっくう	34
時間がない	50
人付き合いが苦手	28
興味・関心がない	40
高齢のため	10
個人で活動	14
交通・場所の問題	6
介護がある	4
すでに参加している	2
特になし	2
その他	27

(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか（○は1つ）

地域活動への参加意向（企画・運営）は、「参加したくない」が45.1%と最も高く、次いで、「参加してもよい」が39.8%、「すでに参加している」が4.2%となっています。

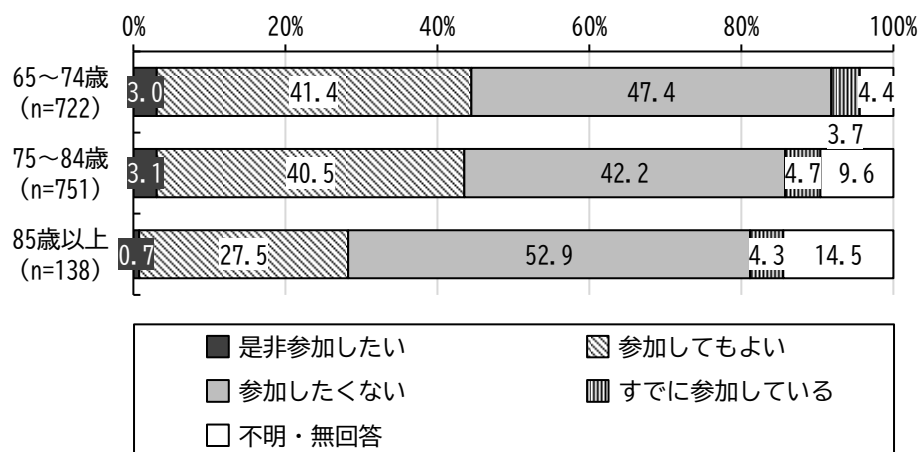
前回調査に比べて、「参加してもよい」が3.9ポイント増加し、「参加したくない」が3.4ポイント減少していますが、いずれも統計的には有意な差はみられません。



健康づくり活動や趣味等のグループ活動への企画・運営意欲×年齢別

年齢別にみると、いずれの年齢層でも「参加したくない」が最も高く、65～74歳が47.4%、75～84歳が42.2%、85歳以上が52.9%となっています。

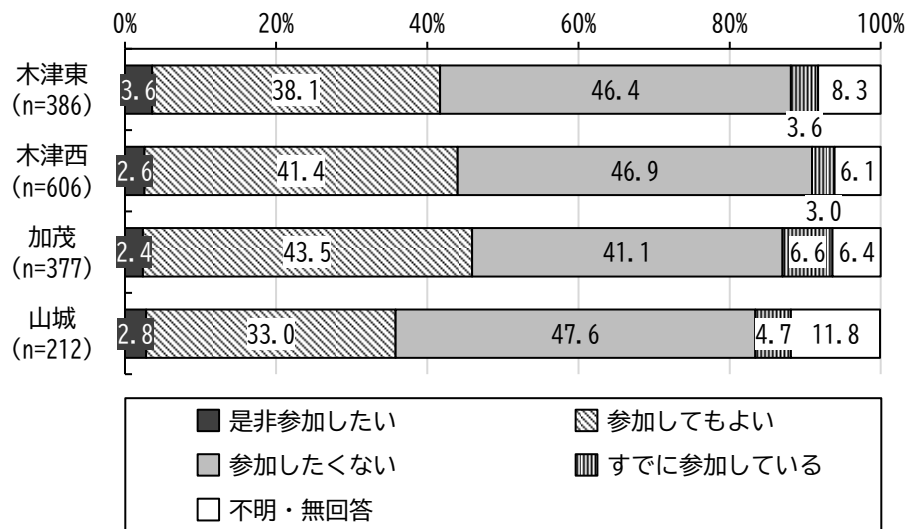
また、「参加してもよい」は年齢が上がるにつれて少なくなっています。



健康づくり活動や趣味等のグループ活動への企画・運営意欲×居住地区別

居住地区別にみると、木津東・木津西・山城では「参加したくない」、加茂では「参加してもよい」がそれぞれ最も高くなっています。

なかでも、山城では「参加してもよい」が33.0%と全体に比べて6.8ポイント低くなっています。



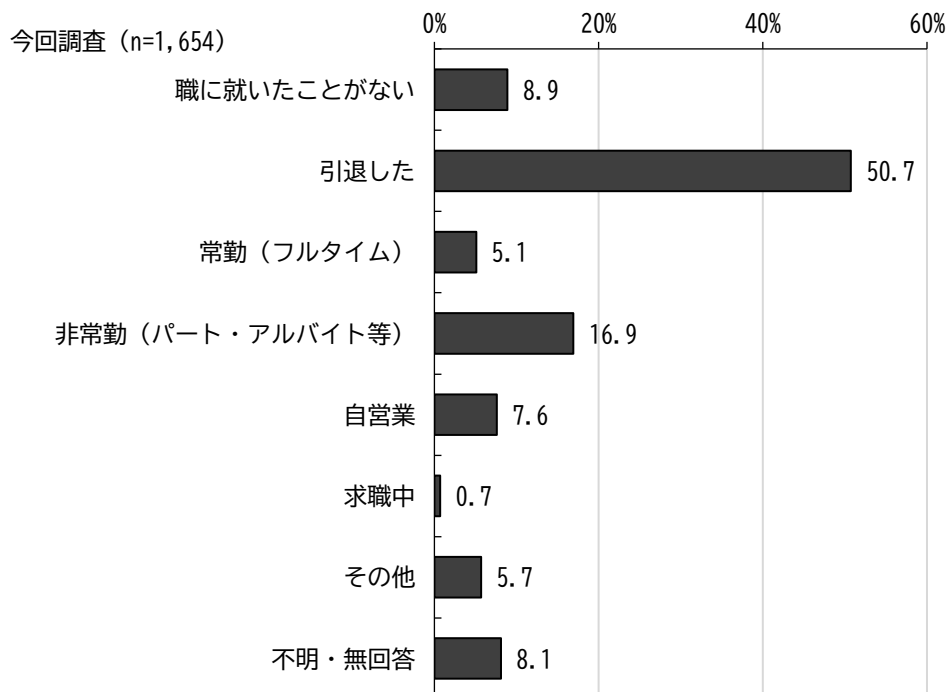
◇その他回答：有効回答者数：447人（のべ511件）

「その他」の主な回答内容（分類）	
分 類	件 数
体調・体力面	58
仕事がある	33
面倒・おっくう	55
時間がない	82
自信がない・無理	99
人付き合いが苦手	13
興味・関心がない	17
高齢のため	31
参加者としてなら可	6
前問と同じ	22
特になし	2
その他	93

問7 就労について

(1) 現在のあなたの就労状態はどれですか（○はいくつでも）

就労状態は、「引退した」が50.7%と最も高く、次いで、「非常勤（パート・アルバイト等）」が16.9%、「職に就いたことがない」が8.9%となっています。



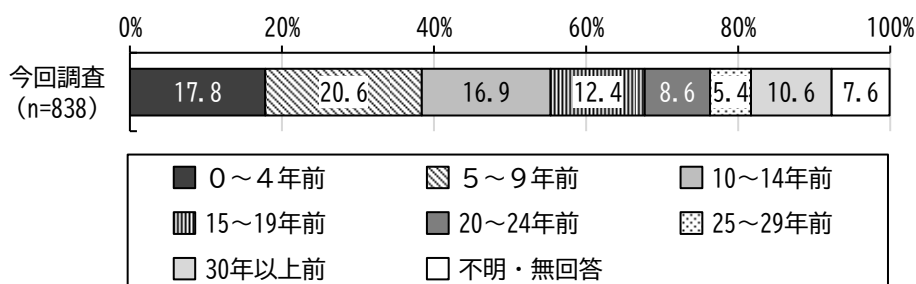
◇その他回答：有効回答者数：83人（のべ85件）

「その他」の主な回答内容（分類）			
分 類	件 数	分 類	件 数
農業・家業	14	パート・週数日	8
シルバー人材	10	無職・退職	6
主婦・家事	11	できない	1
会社役員・顧問	5	その他	26
講師・指導者	4		

(1) で「2. 引退した」と回答した方にお伺いします。

(1-1) あなたはいつ引退しましたか（数値を記入）

引退した時期は、「5～9年前」が20.6%と最も高く、次いで、「0～4年前」が17.8%、「10～14年前」が16.9%となっています。



※設問の都合上、引退した年を和暦でお聞きしましたが、何年前に引退したかとして集計。

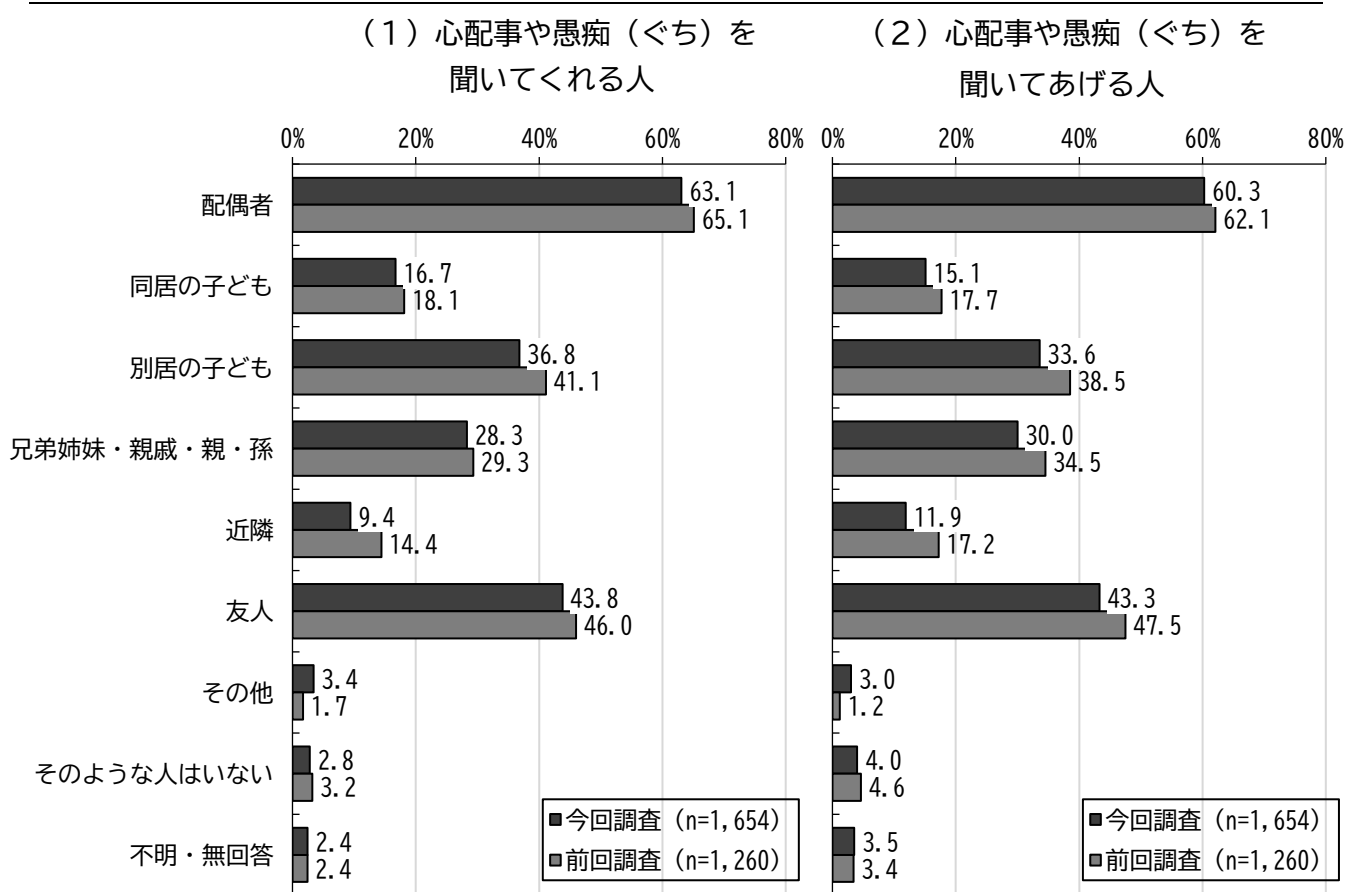
問8 たすけあいについて

(1) あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人（○はいくつでも）

(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人（○はいくつでも）

あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人は、「配偶者」が63.1%と最も高く、次いで、「友人」が43.8%、「別居の子ども」が36.8%となっており、前回調査に比べて、「近隣」が5.0ポイント、「別居の子ども」が4.3ポイント減少していますが、統計的には有意な差はみられません。

反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人は、「配偶者」が60.3%と最も高く、次いで、「友人」が43.3%、「別居の子ども」が33.6%となっており、前回調査に比べて、「近隣」が5.3ポイント減少していますが、統計的には有意な差はみられません。また、「別居の子ども」が4.9ポイント、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が4.5ポイント、「友人」が4.2ポイント減少していますが、いずれも統計的には有意な差はみられません。

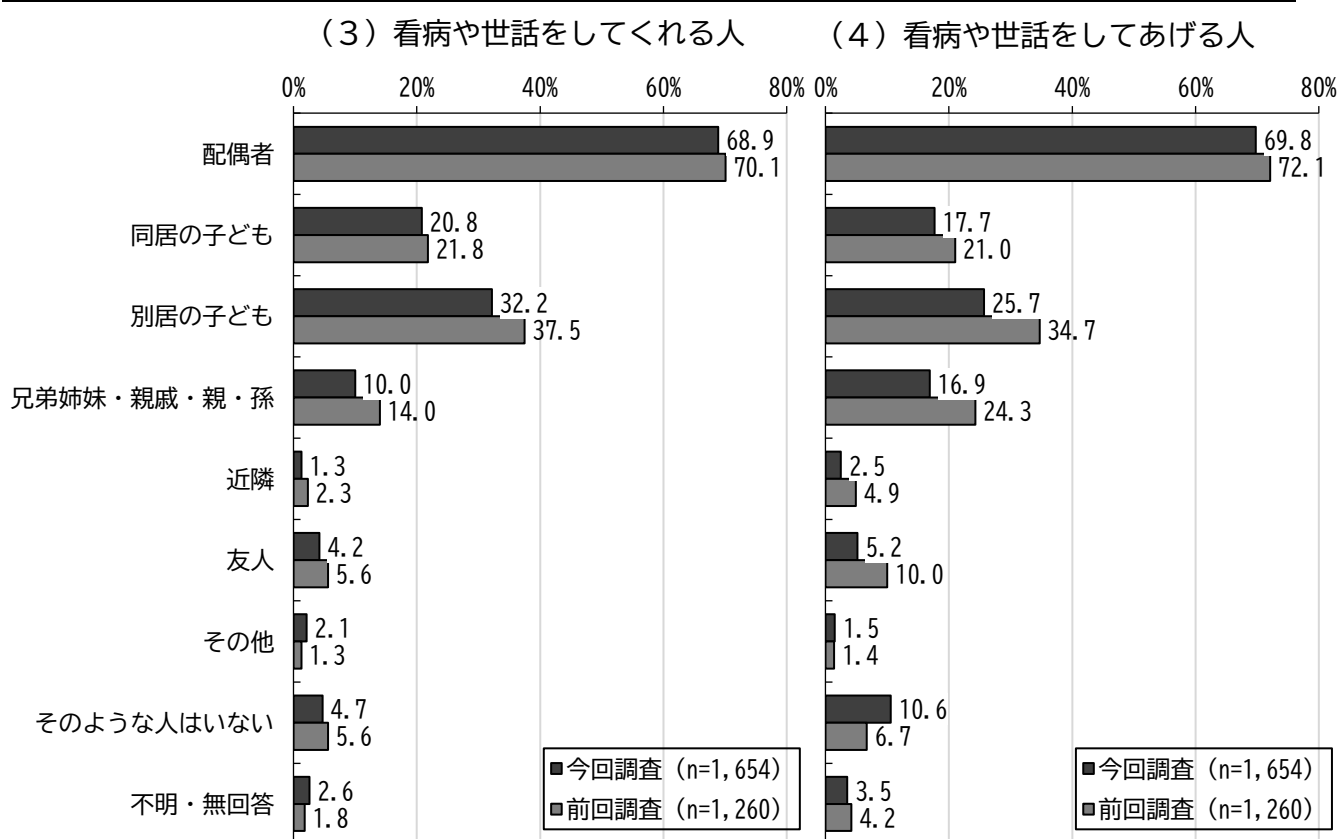


(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人 (○はいくつでも)

(4) 反対に、看病や世話をしてあげる人 (○はいくつでも)

あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人は、「配偶者」が 68.9%と最も高く、次いで、「別居の子ども」が 32.2%、「同居の子ども」が 20.8%となっており、前回調査に比べて、「別居の子ども」が 5.3 ポイント、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が 4.0 ポイント減少していますが、統計的には有意な差はみられません。

反対に、看病や世話をしてあげる人は、「配偶者」が 69.8%と最も高く、次いで、「別居の子ども」が 25.7%、「同居の子ども」が 17.7%となっており、前回調査に比べて、「別居の子ども」が 9.0 ポイント、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が 7.4 ポイント減少しており、有意な差がみられます。また、「そのような人はいない」が 3.9 ポイント増加しています。一方、「同居の子ども」が 3.3 ポイント、「友人」が 4.8 ポイント減少していますが、いずれも統計的には有意な差はみられません。

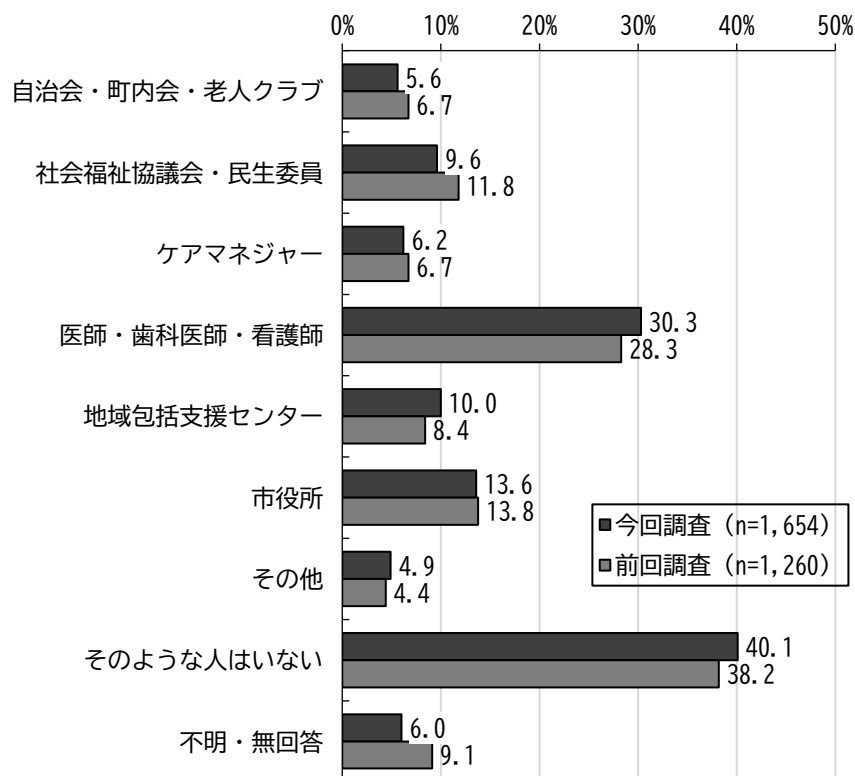


(5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください

(○はいくつでも)

家族・友人以外の相談相手は、「そのような人はいない」が40.1%と最も高く、次いで、「医師・歯科医師・看護師」が30.3%、「市役所」が13.6%となっています。

前回調査と同様の傾向となっています。



家族や友人・知人以外の相談相手×性別・居住地区別

性別にみると、男性では「そのような人はいない」「医師・歯科医師・看護師」が女性に比べてそれぞれ6.0ポイント、4.3ポイント多くなっています。一方、女性では「地域包括支援センター」「ケアマネジャー」が男性に比べてそれぞれ6.2ポイント、3.7ポイント多くなっています。

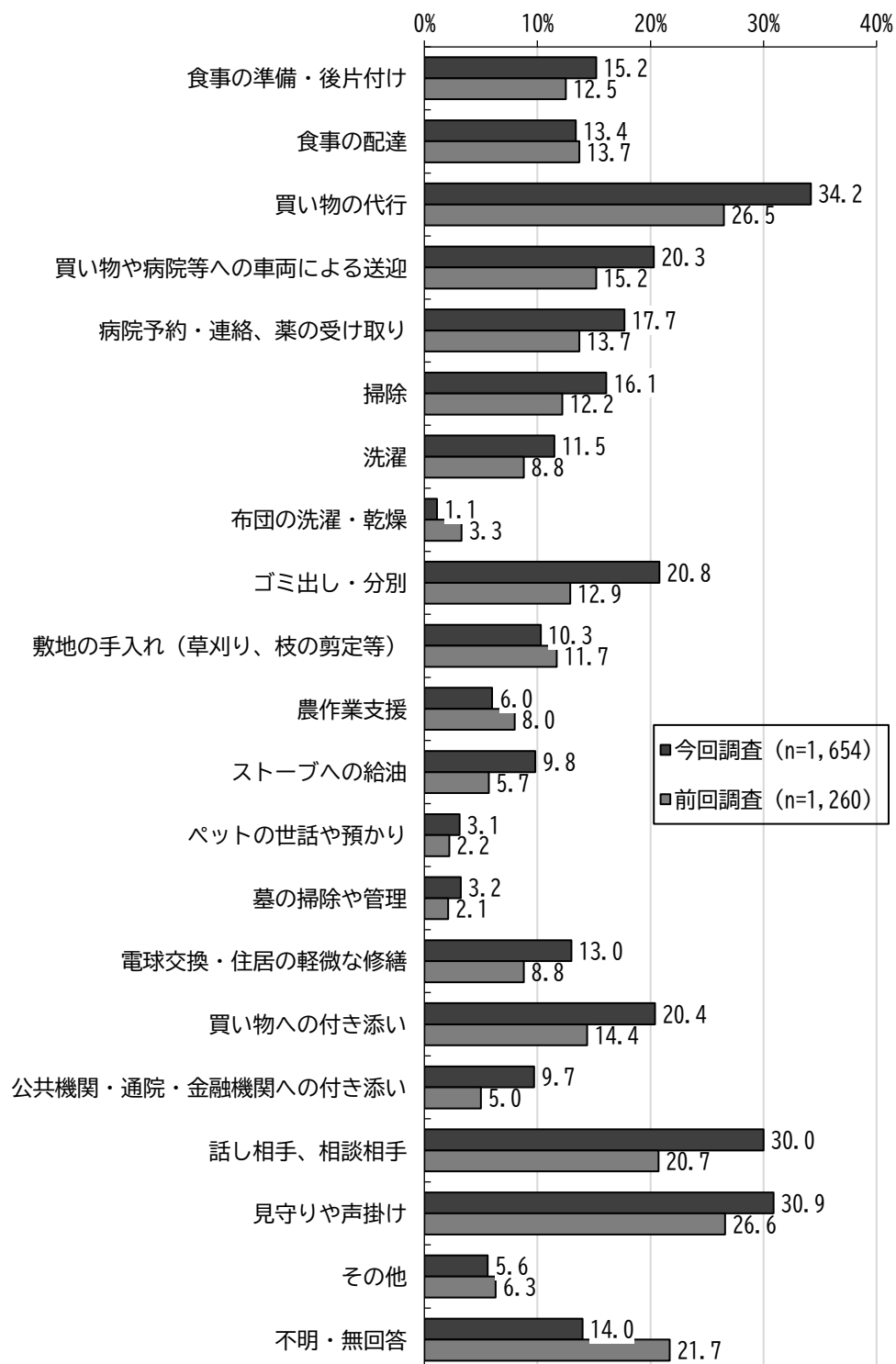
居住地区別にみると、いずれの地区でも「そのような人はいない」が高くなっています。全体の「そのような人はいない」が40.1%に対して、山城では全体に比べて低くなっています。

	単位：%	自治会・町内会・老人クラブ	社会福祉協議会・民生委員	ケアマネジャー	医師・歯科医師・看護師	地域包括支援センター	市役所	その他	そのような人はいない	不明・無回答
	今回調査 (n=1,654)	5.6	9.6	6.2	30.3	10.0	13.6	4.9	40.1	6.0
性別	男性 (n=775)	6.6	8.5	4.3	32.9	6.8	16.1	4.4	43.1	4.3
	女性 (n=833)	4.6	10.7	8.0	28.6	13.0	11.9	5.6	37.1	7.2
居住地区	木津東 (n=386)	6.2	6.7	8.3	29.8	10.9	15.8	4.4	42.2	5.4
	木津西 (n=606)	4.1	8.6	5.1	31.4	8.6	15.7	5.4	42.2	4.5
	加茂 (n=377)	8.2	13.3	4.5	31.3	12.2	10.9	5.3	38.7	3.4
	山城 (n=212)	3.8	9.0	8.5	30.2	8.5	11.3	4.7	32.1	14.2

(6) 次の項目で、生活行為ができにくくなっている高齢者に対する手助けとして、あなた自身が支援できる内容はどれですか（○は5つまで）

生活行為ができにくくなっている高齢者に対する手助けとして、あなた自身が支援できる内容は、「買い物代行」が34.2%と最も高く、次いで、「見守りや声掛け」が30.9%、「話し相手、相談相手」が30.0%となっています。

前回調査に比べて「話し相手、相談相手」が9.3ポイント、「ゴミ出し・分別」が7.9ポイント、「買い物代行」が7.7ポイント、「買い物への付き添い」が6.0ポイント、「買い物や病院等への車両による送迎」が5.1ポイント増加しており、それぞれ有意な差がみられます。



高齢者に対してできる手助け×性別・居住地区別

性別にみると、男性では「買い物の代行」が35.4%と最も高く、女性では「話し相手、相談相手」が37.7%と最も高くなっており、有意な差がみられます。また、男性では「電球交換・住居の軽微な修繕」「買い物や病院等への車両による送迎」が女性に比べて24.5ポイント、20.3ポイント多くなっています。一方、女性では「話し相手、相談相手」「食事の準備・後片付け」が男性に比べて16.4ポイント、12.4ポイント多くなっています。

居住地区別にみると、木津東・木津西・加茂では「買い物の代行」、山城では「見守りや声掛け」がそれぞれ最も高くなっています。なかでも、加茂では「買い物や病院等への車両による送迎」が26.3%と全体に比べて6.0ポイント高くなっています。また、山城では「買い物の代行」が28.8%と全体に比べて5.4ポイント低くなっています。

	単位：%	食 事 の 準 備 ・ 後 片 付 け	食 事 の 配 達	買 い 物 の 代 行	送 入 買 い 物 の 車 両 に よ る 送 迎	病 院 予 約 ・ 薬 の 受 け 取 り	掃 除	洗 濯	乾 燥 ・ 布 団 の 洗 濯 ・ 乾	ゴ ミ 出 し ・ 分 別	敷 地 の 手 入 れ （ 草 刈 り ・ 剪 定 等 ）	農 作 業 支 援	油 ス ト ー プ へ の 給
	今回調査 (n=1,654)	15.2	13.4	34.2	20.3	17.7	16.1	11.5	1.1	20.8	10.3	6.0	9.8
性別	男性 (n=775)	9.0	13.9	35.4	30.6	18.3	13.7	6.2	1.2	21.5	18.3	10.5	15.0
	女性 (n=833)	21.4	12.6	33.4	10.3	17.2	18.5	16.3	1.0	20.2	2.6	1.6	4.9
居住地区	木津東 (n=386)	15.8	11.9	31.9	15.8	13.7	16.6	11.4	1.8	18.7	10.6	5.7	7.8
	木津西 (n=606)	13.5	13.5	36.6	21.8	19.6	15.7	9.6	0.7	19.1	9.2	4.6	9.6
	加茂 (n=377)	17.0	15.4	37.4	26.3	20.7	17.2	13.5	0.8	22.3	11.9	6.6	10.6
	山城 (n=212)	18.4	12.3	28.8	14.6	14.2	15.1	12.3	0.9	25.9	10.4	9.0	13.2

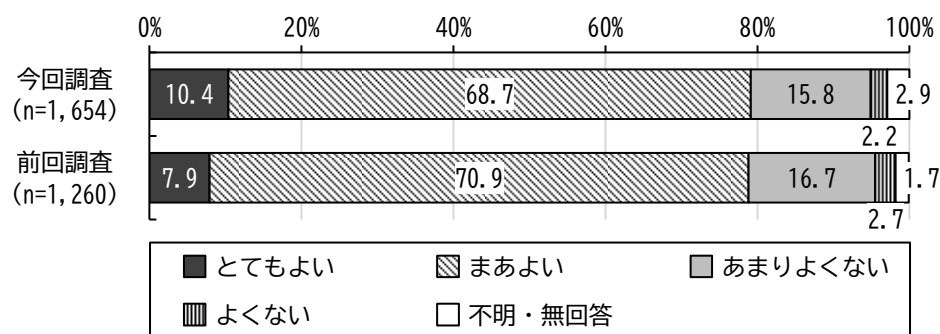
	単位：%	預 け 入 り の 世 話 や	墓 の 掃 除 や 管 理	電 球 交 換 ・ 軽 微 な 修 繕 ・ 住 居	買 い 物 へ の 付 き	公 共 機 関 ・ 金 融 機 関 ・ 通 信	相 話 し 相 手 ・ 相 談	見 守 り や 声 掛 け	そ の 他	不 明 ・ 無 回 答
	今回調査 (n=1,654)	3.1	3.2	13.0	20.4	9.7	30.0	30.9	5.6	14.0
性別	男性 (n=775)	2.8	5.0	25.7	17.4	13.0	21.3	27.5	6.2	10.7
	女性 (n=833)	3.4	1.3	1.2	22.9	6.4	37.7	34.1	4.7	16.8
居住地区	木津東 (n=386)	5.2	3.9	10.6	16.1	7.3	30.6	28.5	7.0	13.0
	木津西 (n=606)	2.1	2.8	14.4	22.6	9.9	28.5	31.8	5.1	14.5
	加茂 (n=377)	2.9	3.2	15.6	23.1	12.2	31.8	32.6	5.0	9.8
	山城 (n=212)	1.4	2.4	9.9	17.0	9.0	30.2	30.7	3.8	20.8

問9 健康について

(1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか (○は1つ)

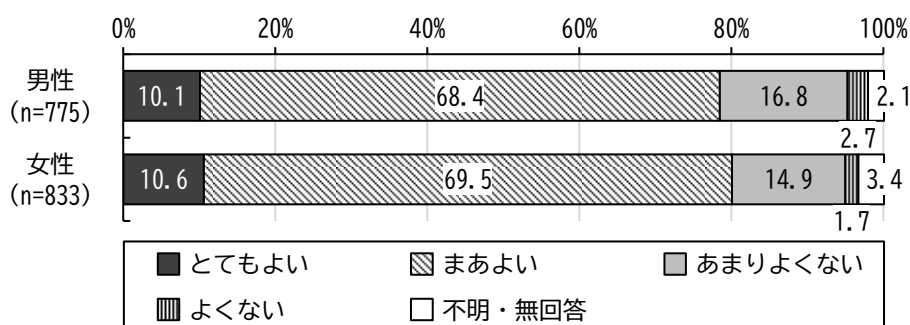
現在の健康状態は、「まあよい」が68.7%と最も高く、次いで、「あまりよくない」が15.8%、「とてもよい」が10.4%となっています。

前回調査と同様の傾向となっています。



健康状態×性別

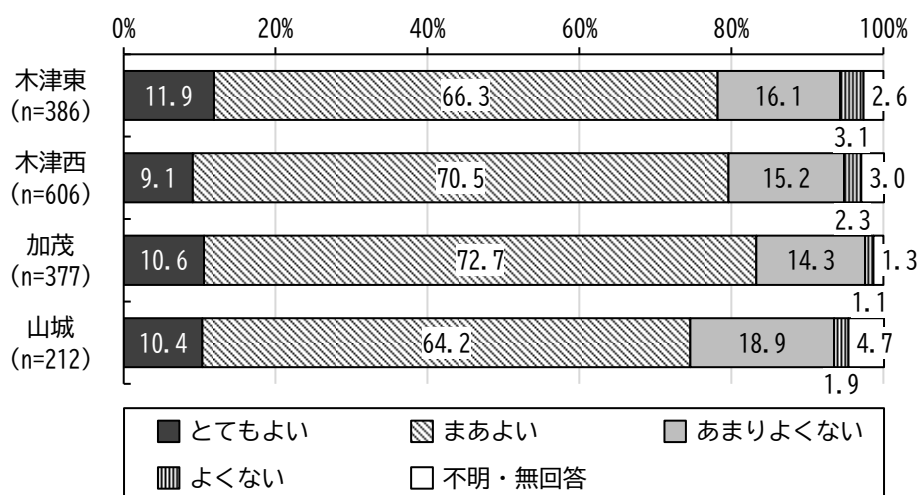
性別にみると、男女ともに「まあよい」が高くなっており、男女での大きな差はみられません。



健康状態×居住地区別

居住地区別にみると、いずれの地区でも「まあよい」が高くなっています。

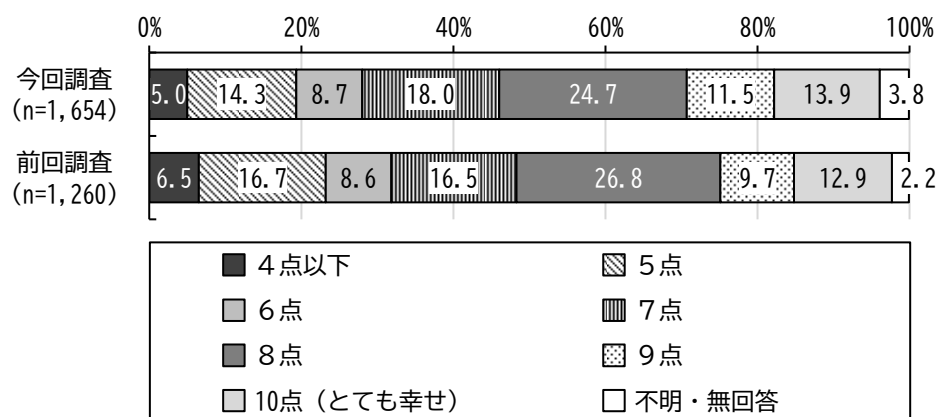
全体の「まあよい」が68.7%に対して、加茂で全体に比べて高くなっており、一方山城では全体に比べて低くなっています。



(2) あなたは、現在どの程度幸せですか（あてはまる点数に○）

幸福度は、「8点」が24.7%と最も高く、次いで、「7点」が18.0%、「5点」が14.3%となっています。

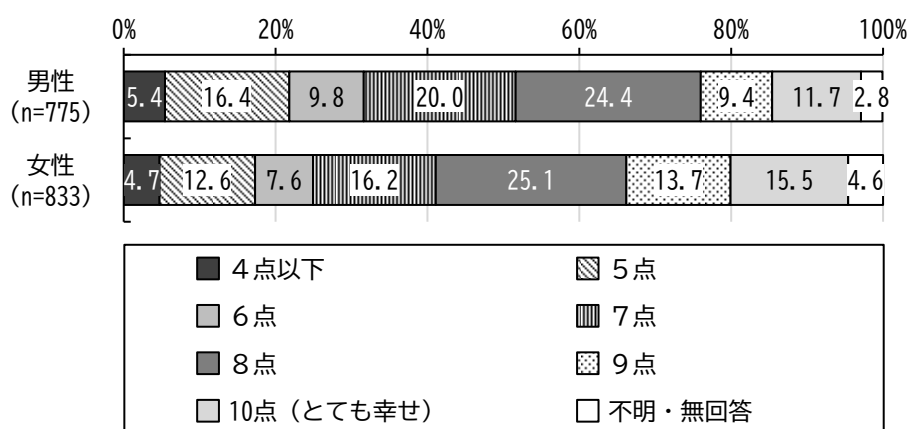
前回調査に比べて有意な差はみられません。



幸福度×性別

性別にみると、「8点」がそれぞれ最も高くなっていますが、高得点（8点以上）の合算では女性が54.3%と男性に比べて8.8ポイント多くなっています。

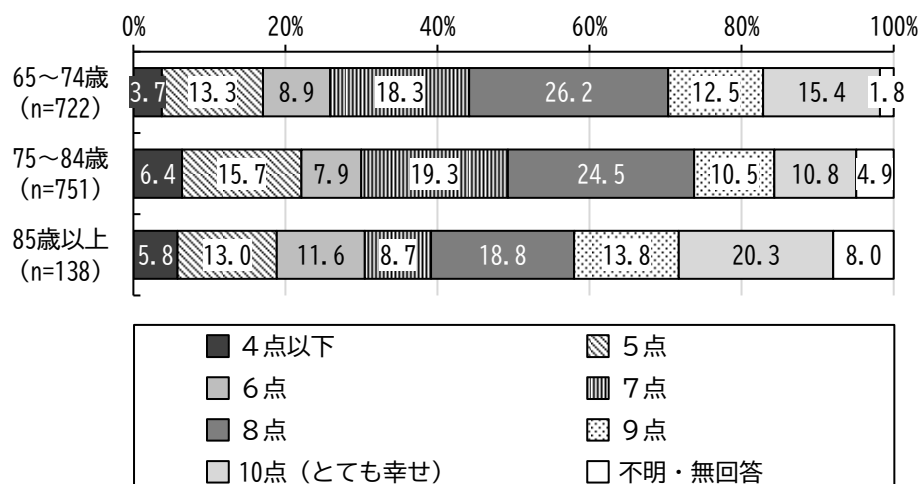
男性では「5点」が16.4%と女性に比べて3.8ポイント多く、女性では「10点（とても幸せ）」が15.5%と男性に比べて3.8ポイント多くなっています。



Ⅱ 介護予防・日常生活圏域二エズ調査結果

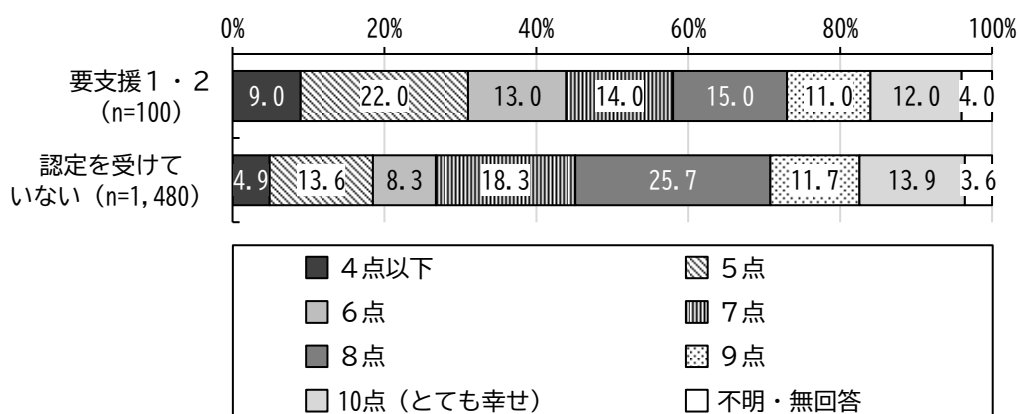
幸福度×年齢別

年齢別にみると、65～74歳・75～84歳では「8点」が最も高くなっていますが、85歳以上では「10点（とても幸せ）」が20.3%と最も高くなっています。



幸福度×認定状況別

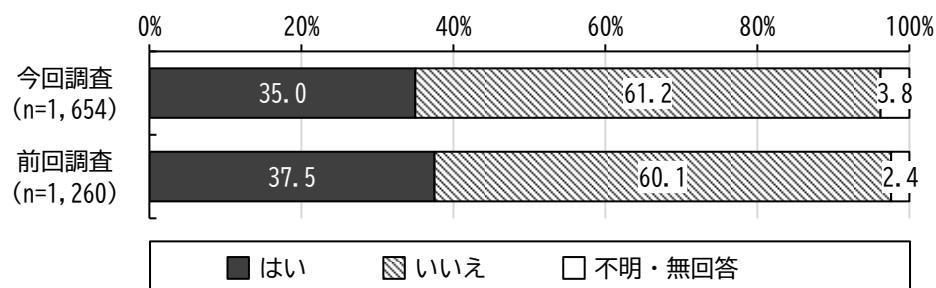
認定状況別にみると、介護認定を受けていない高齢者では「8点」が25.7%と最も高くなっていますが、要支援1・2では「5点」が22.0%と最も高くなっており、有意な差がみられます。



(3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか（○は1つ）

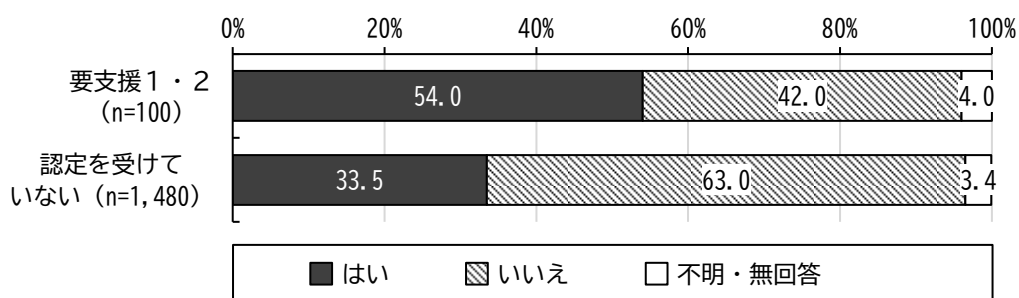
ゆううつな気持ちの経験は、「いいえ」が61.2%、「はい」が35.0%となっています。

前回調査と同様の傾向となっています。



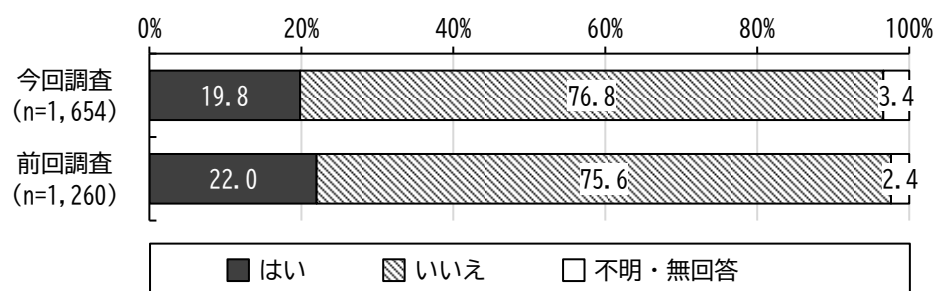
気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりする経験×認定状況別

認定状況別にみると、要支援１・２では「はい」が54.0%と、介護認定を受けていない高齢者の33.5%に比べて20.5ポイント多くなっています。



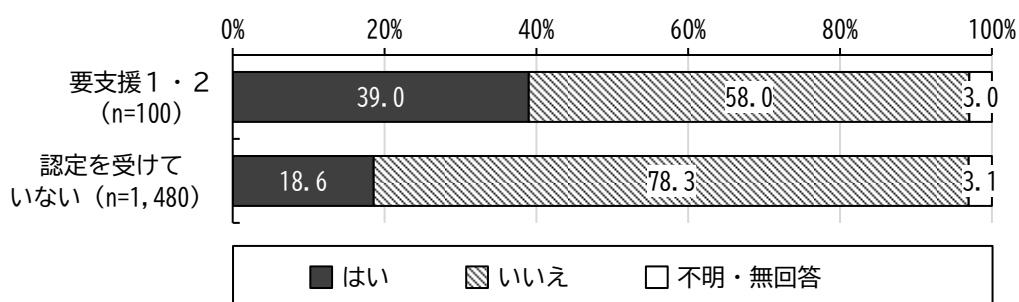
(４) この１か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか (○は１つ)

物事への興味がわかなかった経験の有無は、「いいえ」が76.8%、「はい」が19.8%となっています。前回調査と同様の傾向となっています。



物事に対して興味がわかない、心から楽しめない経験×認定状況別

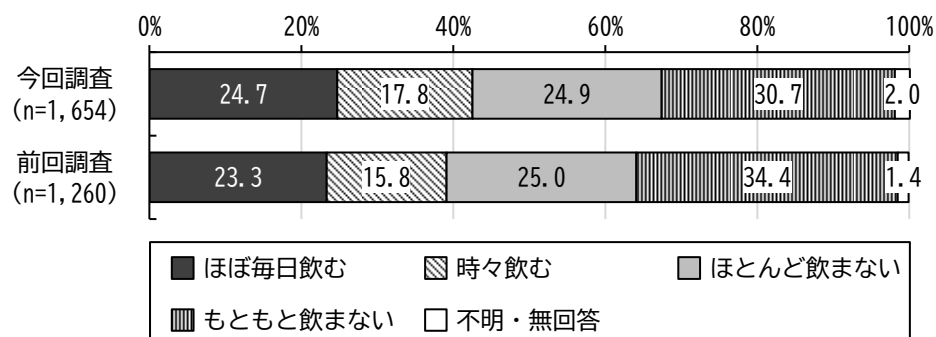
認定状況別にみると、要支援１・２では「はい」が39.0%と、介護認定を受けていない高齢者の18.6%に比べて20.4ポイント多くなっています。



(5) お酒は飲みますか (○は1つ)

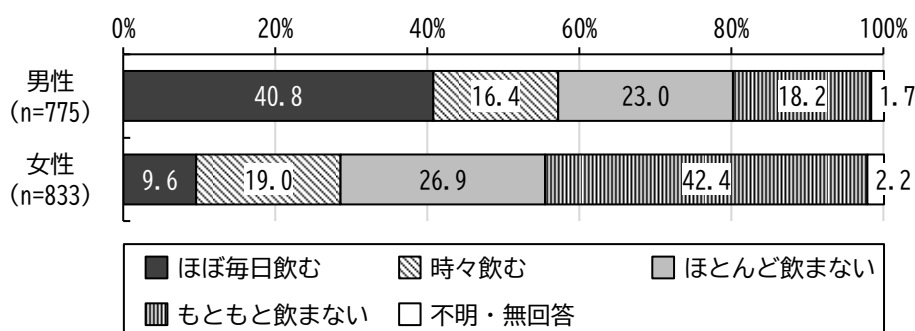
飲酒習慣は、「もともと飲まない」が30.7%と最も高く、次いで、「ほとんど飲まない」が24.9%、「ほぼ毎日飲む」が24.7%となっています。

前回調査に比べて、「もともと飲まない」が3.7ポイント減少していますが、統計的には有意な差はみられません。



飲酒×性別

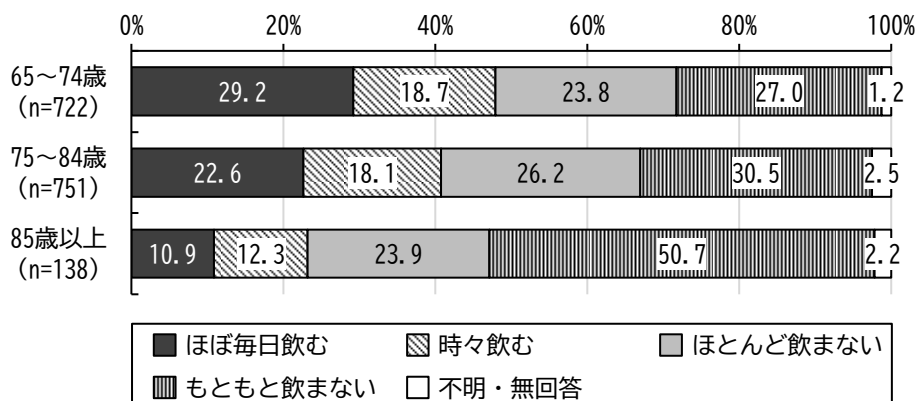
性別にみると、男性では「ほぼ毎日飲む」が40.8%と、女性に比べて31.2ポイント多くなっています。また、女性では「もともと飲まない」「ほとんど飲まない」が男性に比べて、それぞれ24.2ポイント、3.9ポイント多くなっています。



飲酒×年齢別

年齢別にみると、65～74歳では「ほぼ毎日飲む」が最も高くなっていますが、85歳以上では「もともと飲まない」が最も高くなっています。

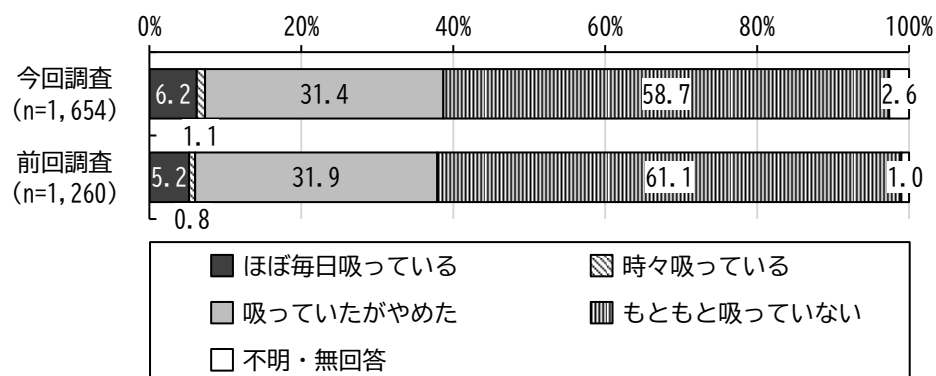
また、「ほぼ毎日飲む」「時々飲む」は年齢が上がるにつれて少なくなっています。



(6) タバコは吸っていますか (○は1つ)

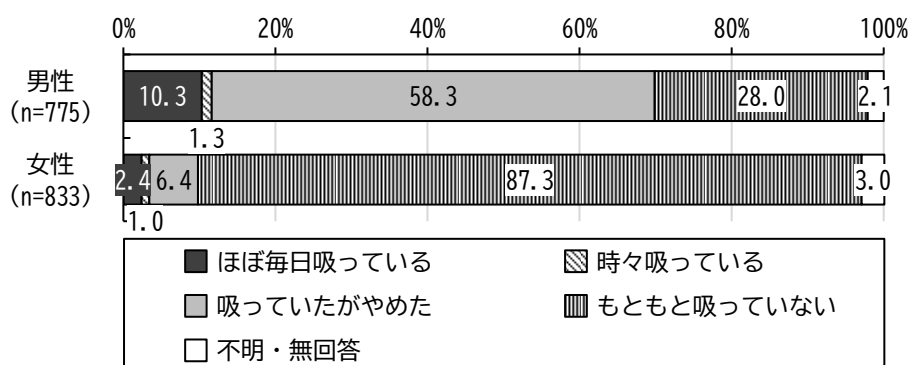
喫煙習慣は、「もともと吸っていない」が58.7%と最も高く、次いで、「吸っていたがやめた」が31.4%、「ほぼ毎日吸っている」が6.2%となっています。

前回調査と同様の傾向となっています。



喫煙×性別

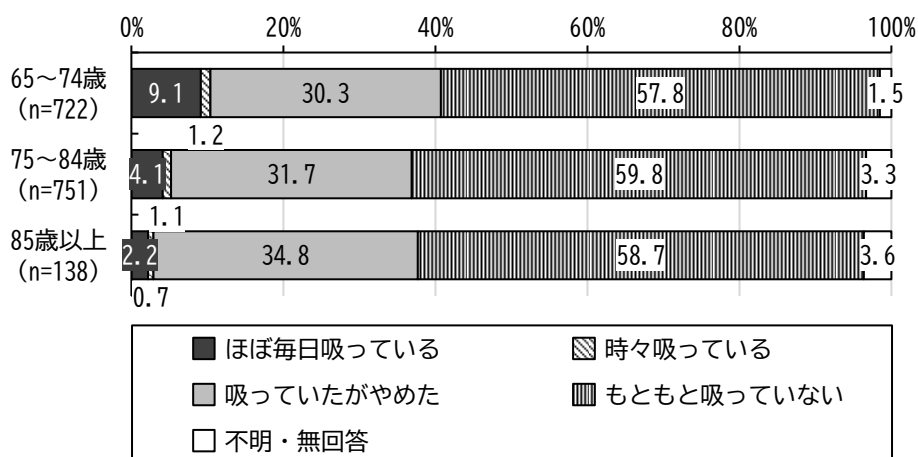
性別にみると、男性は「吸っていたがやめた」、女性は「もともと吸っていない」が最も高くなっています。



喫煙×年齢別

年齢別にみると、いずれの年齢層でも「もともと吸っていない」が最も高く、65～74歳が57.8%、75～84歳が59.8%、85歳以上が58.7%となっています。

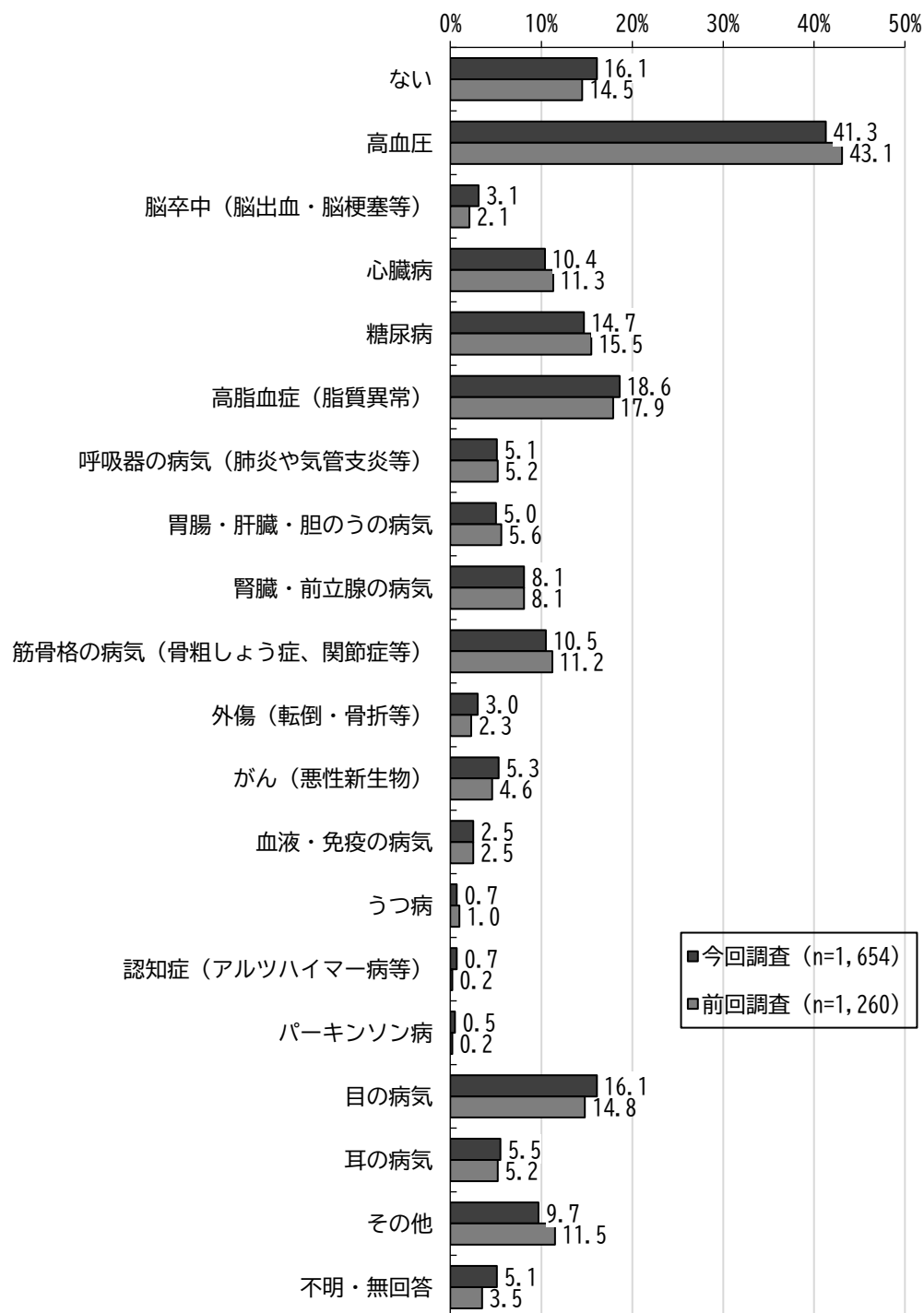
また、「ほぼ毎日吸っている」は年齢が上がるにつれて少なくなっており、一方「吸っていたがやめた」は年齢が上がるにつれて多くなっています。



(7) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか (○はいくつでも)

現在治療中または後遺症のある病気は、「高血圧」が41.3%と最も高く、次いで、「高脂血症 (脂質異常)」が18.6%、「ない」「目の病気」がそれぞれ16.1%となっています。

前回調査と比べると、「ない」「糖尿病」の順位に変動がみられますが、差はそれぞれ1.6ポイント、0.8ポイントと小さく、統計的には有意な差はみられません。



治療中・後遺症のある病気×性別・年齢別・認定状況別

性別にみると、男性では「腎臓・前立腺の病気」「糖尿病」が女性に比べてそれぞれ 13.8 ポイント、10.5 ポイント多くなっています。一方、女性では「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）」「高脂血症（脂質異常）」が男性に比べてそれぞれ 11.8 ポイント、6.7 ポイント多くなっています。

年齢別にみると、いずれの年齢層でも「高血圧」が最も高くなっています。また、「ない」は年齢が上がるにつれて少なくなっており、一方で「耳の病気」「心臓病」「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）」は年齢が上がるにつれて多くなっています。

認定状況別にみると、介護認定を受けていない高齢者では「ない」「高脂血症（脂質異常）」が要支援 1・2 と比べて、それぞれ 13.9 ポイント、5.4 ポイント多くなっています。一方、要支援 1・2 では「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）」「外傷（転倒・骨折等）」が介護認定を受けていない高齢者と比べて、それぞれ 12.3 ポイント、9.7 ポイント多くなっています。

	単位：％	ない	高血圧	脳・卒中（脳出血・脳梗塞等）	心臓病	糖尿病	高脂血症（脂質異常）	呼吸器の病気（肺炎や気管支炎等）	胃腸の病気（肝臓・胆のうの病気）	腎臓・前立腺の病気	筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）	外傷（転倒・骨折等）	がん（悪性新生物）	血液・免疫の病	うつ病
	今回調査 (n=1,654)	16.1	41.3	3.1	10.4	14.7	18.6	5.1	5.0	8.1	10.5	3.0	5.3	2.5	0.7
性別	男性 (n=775)	14.3	44.3	4.4	14.6	20.3	15.4	5.5	5.9	15.2	4.3	1.5	6.2	2.5	0.5
	女性 (n=833)	17.3	38.9	2.2	6.5	9.8	22.1	4.8	4.2	1.4	16.1	4.4	4.4	2.3	0.8
年齢	65～74歳 (n=722)	20.5	35.6	1.9	6.5	13.4	19.9	4.4	5.4	5.7	8.0	1.8	4.7	1.8	0.7
	75～84歳 (n=751)	12.8	47.0	4.4	12.6	16.0	18.8	5.2	4.3	10.3	11.3	3.7	6.0	2.7	0.7
	85歳以上 (n=138)	8.0	41.3	3.6	18.8	16.7	13.8	9.4	7.2	8.7	16.7	5.8	4.3	4.3	0.7
認定状況	要支援 1・2 (n=100)	3.0	50.0	6.0	19.0	14.0	14.0	11.0	4.0	12.0	22.0	12.0	8.0	4.0	1.0
	認定を受けていない (n=1,480)	16.9	41.1	3.0	9.7	14.8	19.4	4.6	5.1	8.0	9.7	2.3	5.0	2.2	0.6

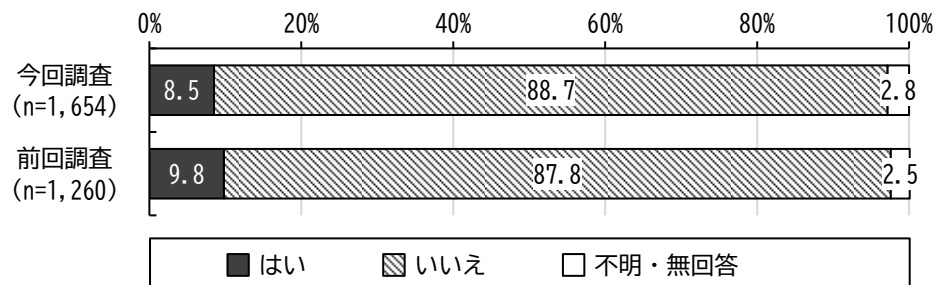
	単位：％	ハインズ知マ（アルツ）	パーキンソン病	目の病気	耳の病気	その他	不明・無回答
	今回調査 (n=1,654)	0.7	0.5	16.1	5.5	9.7	5.1
性別	男性 (n=775)	1.0	0.6	16.3	6.2	9.8	2.7
	女性 (n=833)	0.5	0.4	15.8	4.9	9.6	7.3
年齢	65～74歳 (n=722)	0.1	0.6	15.1	2.4	11.4	4.4
	75～84歳 (n=751)	0.7	0.5	16.9	6.7	8.4	5.3
	85歳以上 (n=138)	4.3	0.0	18.1	16.7	8.7	7.2
認定状況	要支援 1・2 (n=100)	4.0	0.0	20.0	12.0	9.0	5.0
	認定を受けていない (n=1,480)	0.3	0.5	16.1	4.9	9.8	5.1

問 10 認知症について

(1) 認知症の症状がある、または家族に認知症の症状がある人がいますか (○は1つ)

認知症の症状の有無は、「いいえ」が88.7%、「はい」が8.5%となっています。

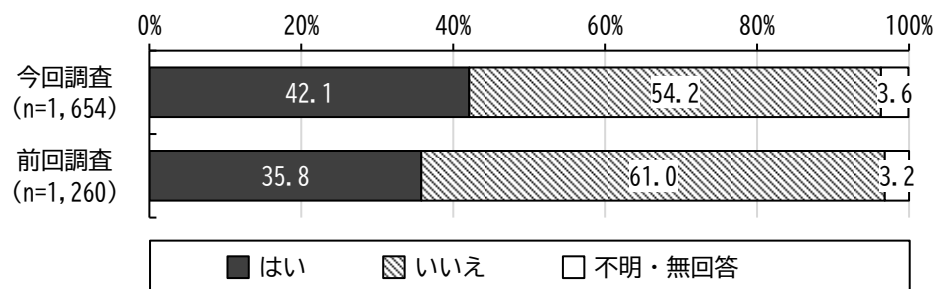
前回調査と同様の傾向となっています。



(2) 認知症に関する相談窓口 (地域包括支援センターなど) を知っていますか (○は1つ)

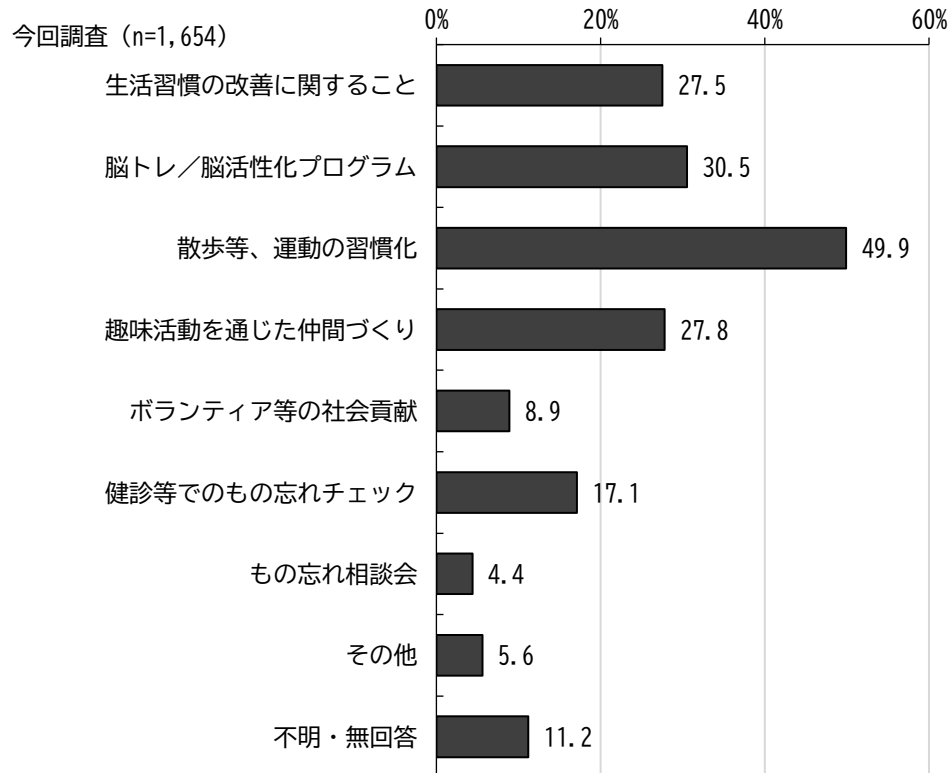
認知症に関する相談窓口の認知度は、「いいえ」が54.2%、「はい」が42.1%となっています。

前回調査に比べて、「はい」が6.3ポイント増加しており、有意な差がみられます。



(3) 認知症予防の取組としてどのような活動に参加したいですか（〇はいくつでも）

関心のある認知症予防の取組は、「散歩等、運動の習慣化」が49.9%と最も高く、次いで、「脳トレ／脳活性化プログラム」が30.5%、「趣味活動を通じた仲間づくり」が27.8%となっています。

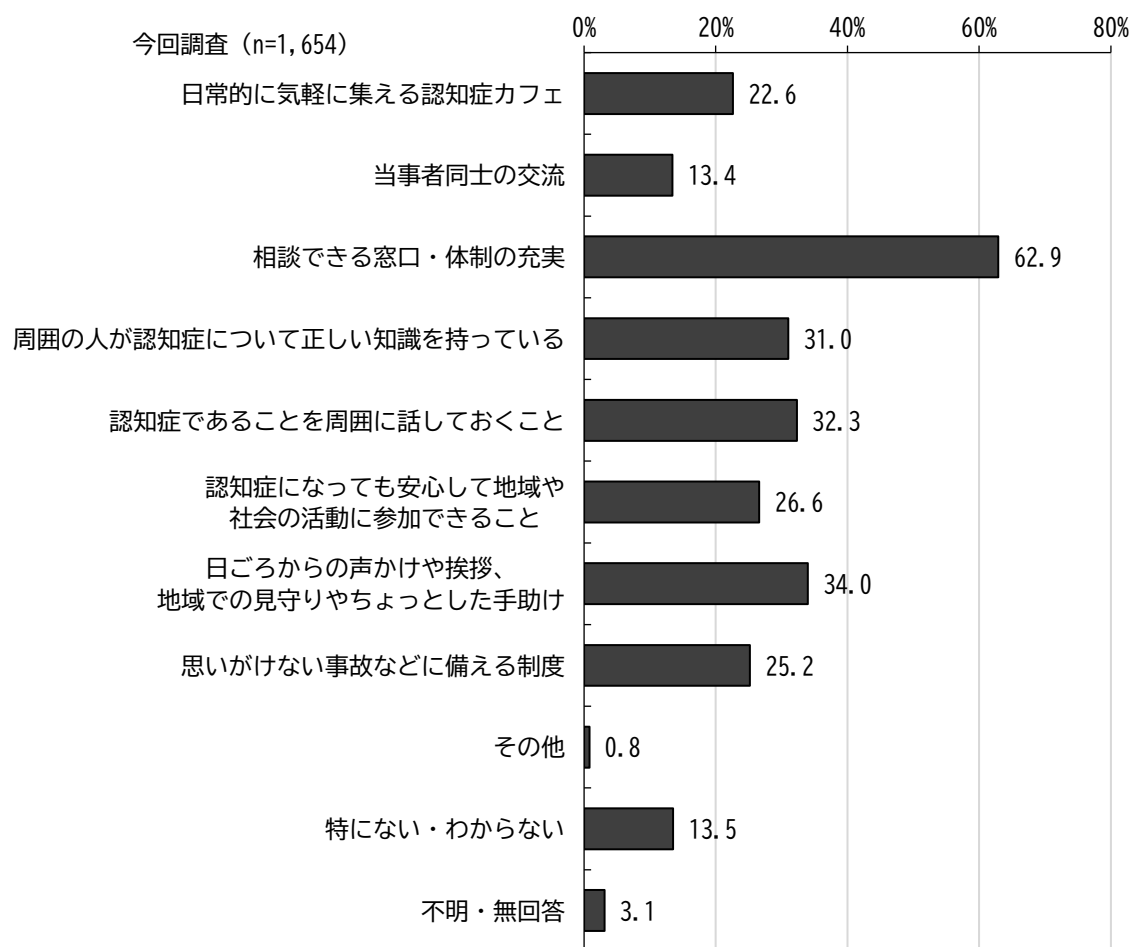


◇その他回答：有効回答者数：53人（のべ55件）

「その他」の主な回答内容（分類）	
分 類	件 数
スポーツ・運動	4
脳トレ・知的活動	2
趣味・文化活動	1
社会参加・交流	2
仕事	5
現在不要・関心なし	15
特になし	2
その他	24

(4) あなたが認知症になった時、どのようなことが必要だと思いますか（○はいくつでも）

認知症になった際に必要と思う支援は、「相談できる窓口・体制の充実」が62.9%と最も高く、次いで、「日ごろからの声かけや挨拶、地域での見守りやちょっとした手助け」が34.0%、「認知症であることを周囲に話しておくこと」が32.3%となっています。



認知症になった際に必要だと思う支援×居住地区別・認定状況別

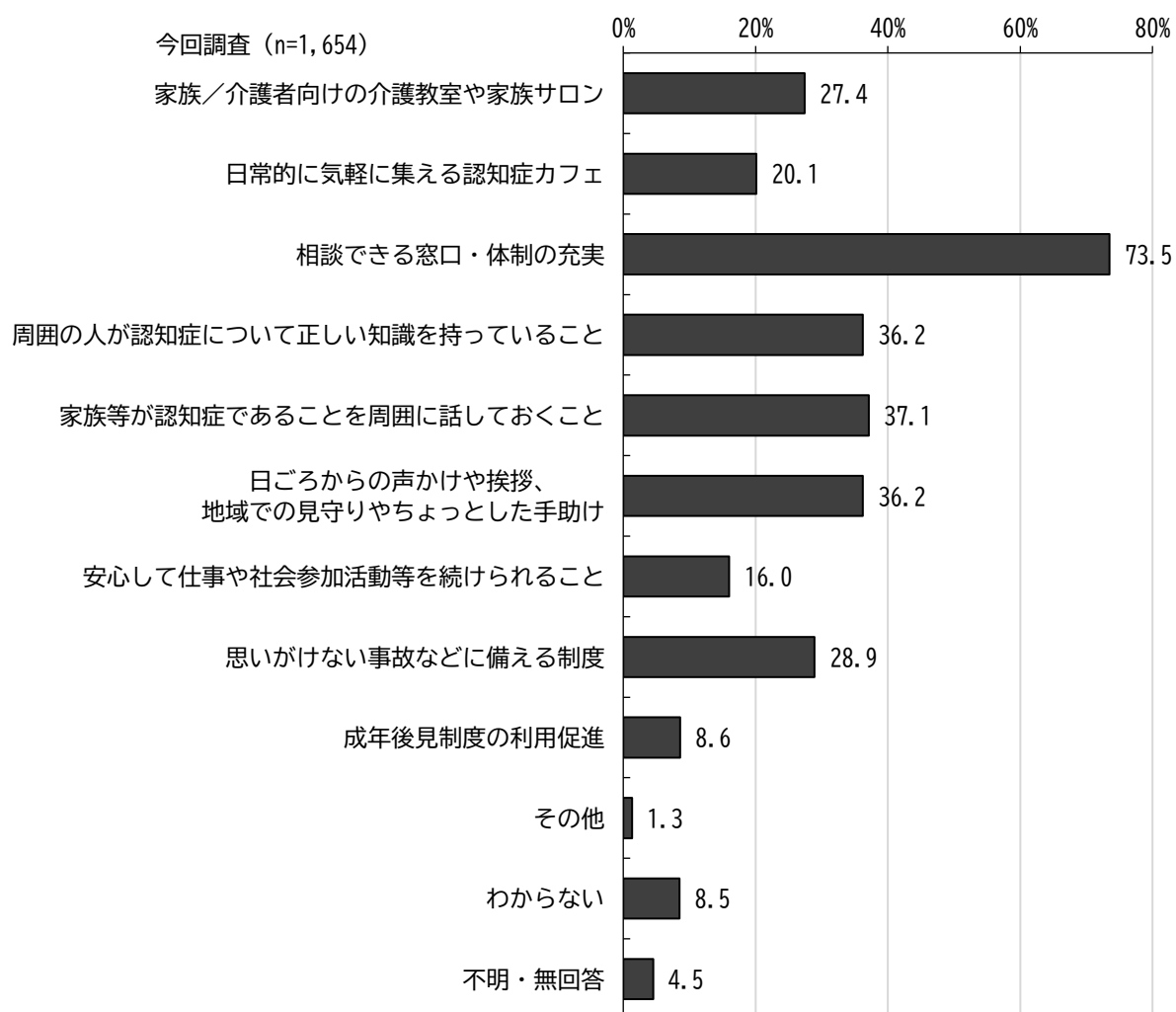
居住地区別にみると、いずれの地区でも「相談できる窓口・体制の充実」が高くなっています。全体の「相談できる窓口・体制の充実」が62.9%に対して、山城では全体に比べて低くなっています。

認定状況別にみると、介護認定を受けていない高齢者では「相談できる窓口・体制の充実」「認知症になっても安心して地域や社会の活動に参加できること」が要支援1・2と比べて、それぞれ13.6ポイント、9.4ポイント多くなっています。一方、要支援1・2では「日常的に気軽に集える認知症カフェ」「当事者同士の交流」が介護認定を受けていない高齢者と比べて、それぞれ7.5ポイント、4.8ポイント多くなっています。

	単位：%	日常的に気軽に集える認知症カフェ	当事者同士の交流	相談できる窓口・体制の充実	周囲の人が認知症について正しい知識を知っている	認知症であることを周囲に話しておくこと	認知症になっても安心して地域や社会の活動に参加できること	認知症になっても安心して地域や社会の活動に参加できること	認知症になっても安心して地域や社会の活動に参加できること	認知症になっても安心して地域や社会の活動に参加できること	認知症になっても安心して地域や社会の活動に参加できること	認知症になっても安心して地域や社会の活動に参加できること
	今回調査 (n=1,654)	22.6	13.4	62.9	31.0	32.3	26.6	34.0	25.2	0.8	13.5	3.1
居住地区	木津東 (n=386)	21.2	11.9	64.8	29.5	30.6	28.8	32.1	26.7	1.3	14.0	1.8
	木津西 (n=606)	22.3	12.5	64.9	31.8	33.2	24.1	31.4	26.2	0.7	13.9	3.1
	加茂 (n=377)	24.7	16.2	62.1	31.6	32.9	28.9	40.1	24.7	0.8	13.0	2.7
	山城 (n=212)	24.1	12.7	58.5	31.1	33.0	25.0	34.4	21.7	0.9	11.8	5.2
認定状況	要支援1・2 (n=100)	30.0	18.0	51.0	26.0	36.0	18.0	35.0	25.0	2.0	15.0	4.0
	認定を受けていない (n=1,480)	22.5	13.2	64.6	31.4	32.4	27.4	33.9	25.5	0.8	13.0	2.8

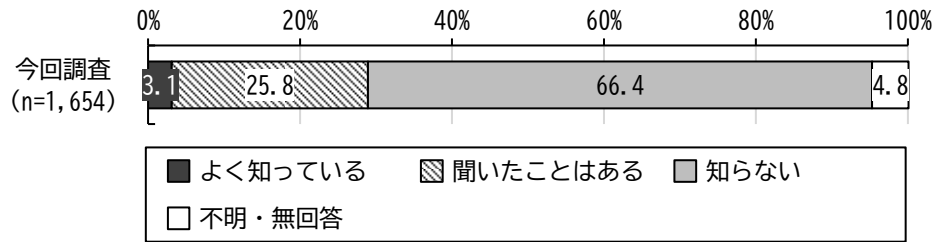
(5) あなたが認知症の家族等を介護する時、どのようなことが必要だと思いますか（〇はいくつでも）

家族が認知症になった際に必要と思う支援は、「相談できる窓口・体制の充実」が73.5%と最も高く、次いで、「家族等が認知症であることを周囲に話しておくこと」が37.1%、「周囲の人が認知症について正しい知識を持っていること」「日ごろからの声かけや挨拶、地域での見守りやちょっとした手助け」がそれぞれ36.2%となっています。



(6) 「新しい認知症観※」について知っていますか (○は1つ)

「新しい認知症観」の認知度は、「知らない」が66.4%と最も高く、次いで、「聞いたことはある」が25.8%、「よく知っている」が3.1%となっています。



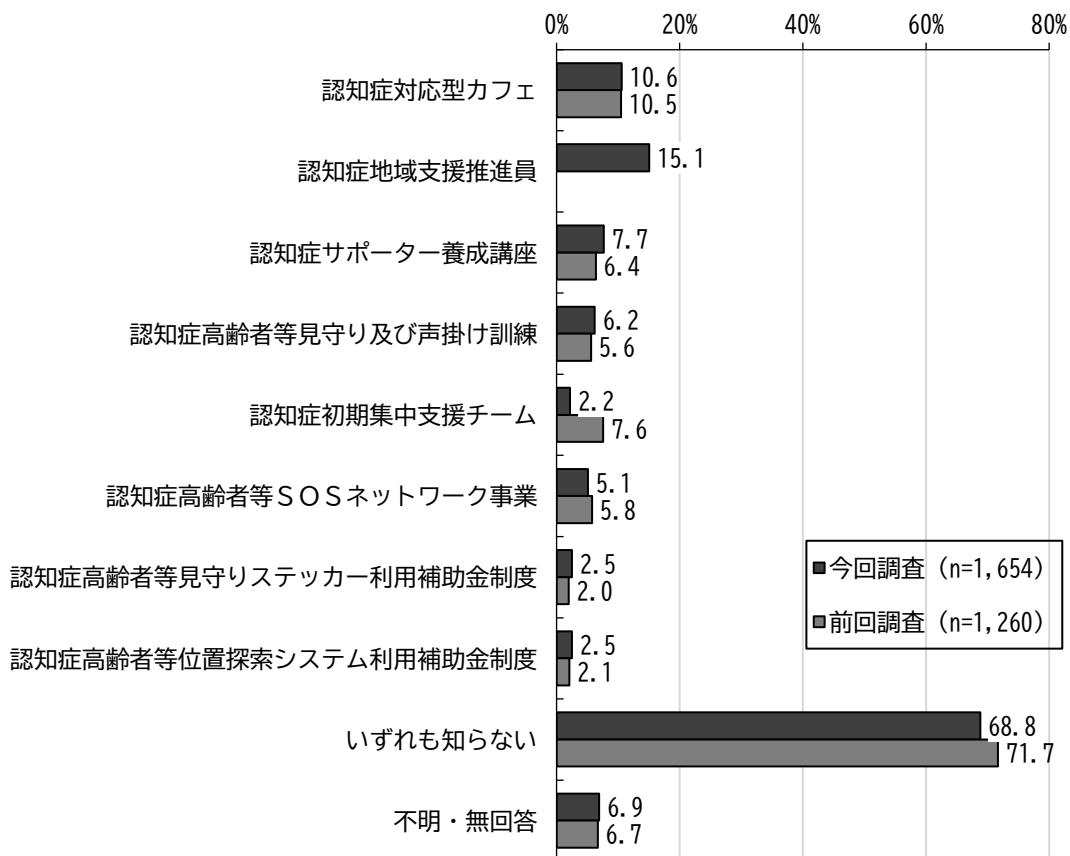
※「新しい認知症観」

令和6年に施行された認知症基本法の基本理念で、認知症になってからも、一人ひとりが個人としてできること・やりたいことがあり、住み慣れた地域で仲間等とつながりながら、希望を持って自分らしく暮らし続けることができるという考え方。

(7) 木津川市の認知症に関する事業を知っていますか (○はいくつでも)

木津川市の認知症に関する事業の認知度は、「いずれも知らない」が68.8%と最も高く、次いで、「認知症地域支援推進員」が15.1%、「認知症対応型カフェ」が10.6%となっています。

前回調査に比べて、「認知症初期集中支援チーム」が5.4ポイント減少しており、有意な差がみられます。



※認知症地域支援推進員は本調査で新設した選択肢です。

認知症に関する市が実施する事業の認知度×性別・居住地区別

性別にみると、男性では「いずれも知らない」が女性に比べて 17.4 ポイント多くなっています。一方、女性では「認知症対応型カフェ」「認知症地域支援推進員」が男性に比べてそれぞれ 7.8 ポイント、6.1 ポイント多くなっています。

居住地区別にみると、いずれの地区でも「いずれも知らない」が高くなっています。全体の「いずれも知らない」が 68.8%に対して、木津西で全体に比べて高くなっており、一方加茂・山城では全体に比べて低くなっています。

	単位：％	認知症対応型カフェ	認知症地域支援推進員	認知症サポーター養成講座	声掛け訓練 認知症高齢者等見守り及び	認知症初期集中支援チーム	認知症高齢者等 SOS ネットワーク事業	認知症高齢者等見守りシステム	認知症高齢者等位置探索システム	いずれも知らない	不明・無回答
	今回調査 (n=1,654)	10.6	15.1	7.7	6.2	2.2	5.1	2.5	2.5	68.8	6.9
性別	男性 (n=775)	6.7	12.1	5.0	5.3	0.9	2.7	1.4	1.5	77.9	4.9
	女性 (n=833)	14.5	18.2	10.4	7.1	3.5	7.6	3.5	3.6	60.5	8.2
居住地区	木津東 (n=386)	10.1	16.6	7.8	4.4	1.8	6.0	1.8	1.3	69.2	6.2
	木津西 (n=606)	11.2	10.9	6.8	5.0	2.5	5.1	2.5	2.0	73.6	5.9
	加茂 (n=377)	10.3	19.9	9.0	7.7	2.1	4.8	2.1	4.0	65.3	5.0
	山城 (n=212)	10.8	17.5	9.9	10.8	2.8	5.2	4.7	4.7	62.3	11.3

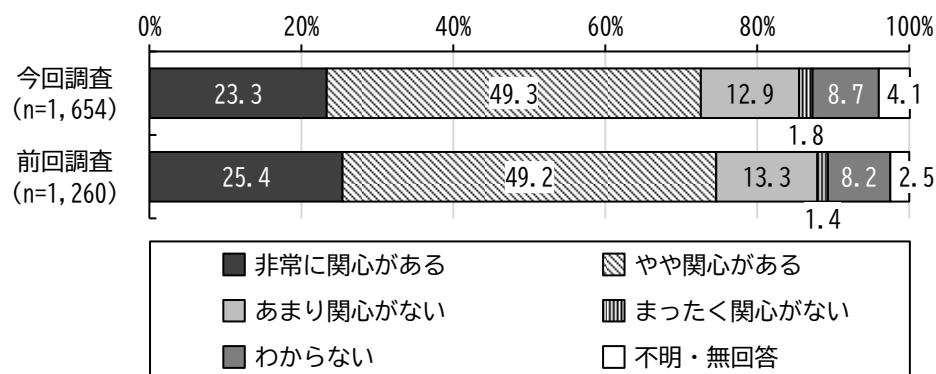
問Ⅱ その他

(1) 介護予防についてお伺いします。

(1-1) あなたは、介護予防（介護が必要になることを予防すること）について関心がありますか（○は1つ）

介護予防への関心は、「やや関心がある」が49.3%と最も高く、次いで、「非常に関心がある」が23.3%、「あまり関心がない」が12.9%となっています。

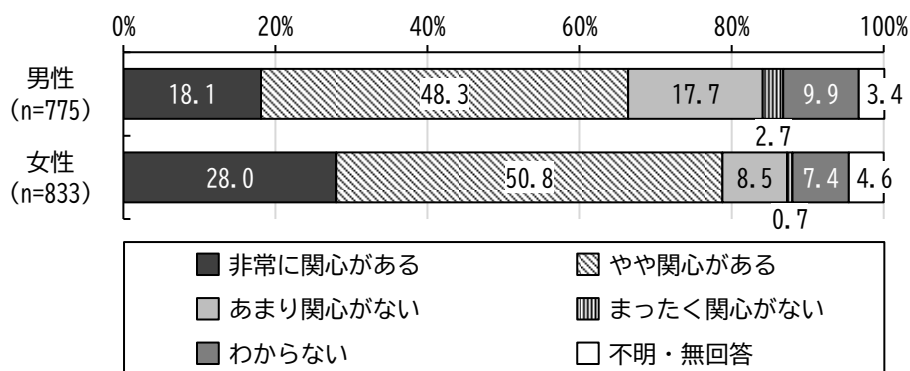
前回調査と同様の傾向となっています。



介護予防への関心×性別

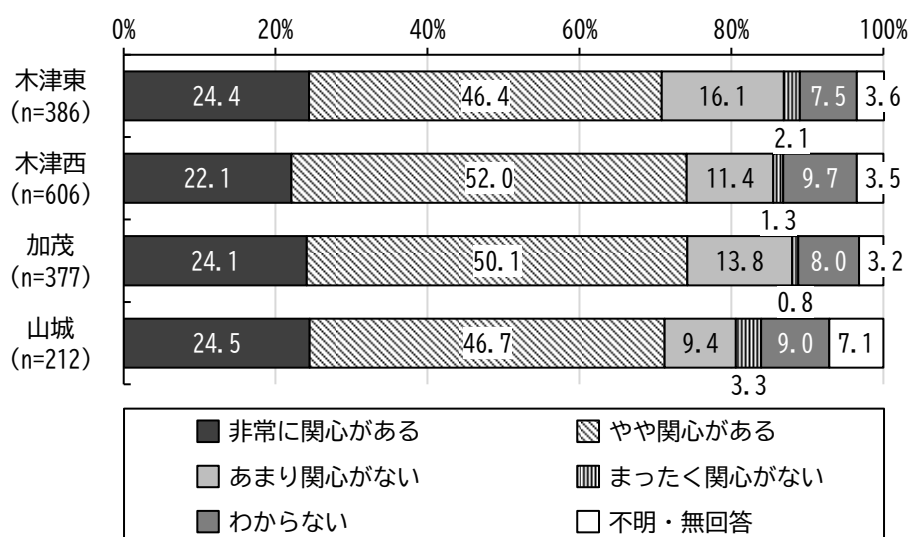
性別にみると、「やや関心がある」がそれぞれ最も高くなっています。

また、女性では「非常に関心がある」が28.0%と、男性に比べて9.9ポイント多くなっており、一方、「あまり関心がない」では男性が17.7%と、女性に比べて9.2ポイント多くなっています。



介護予防への関心×居住地区別

居住地区別にみると、いずれの地区でも「やや関心がある」が高くなっています。全体の「あまり関心がない」12.9%と比較して、木津東では16.1%と全体に比べて多く、一方で山城では9.4%と全体に比べて少なくなっています。

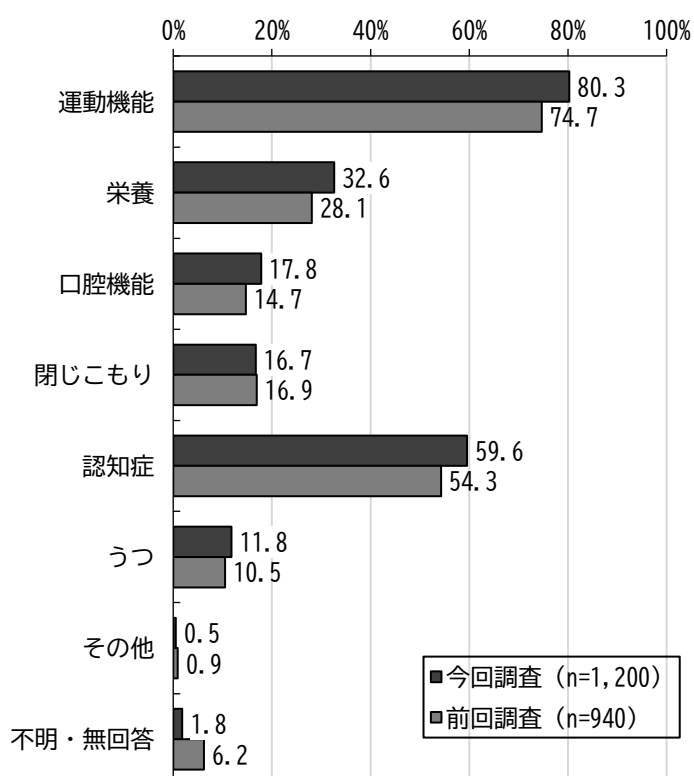


(1-1) で「1.」「2.」(関心がある)と回答した方にお伺いします。

(1-1-1) どのような介護予防に関心がありますか (〇は3つまで)

関心のある介護予防の種類は、「運動機能」が80.3%と最も高く、次いで、「認知症」が59.6%、「栄養」が32.6%となっています。

前回調査に比べて、「運動機能」が5.6ポイント、「認知症」が5.3ポイント増加しており、それぞれ有意な差がみられます。また、「栄養」が4.5ポイント、「口腔機能」が3.1ポイント増加していますが、いずれも統計的には有意な差はみられません。



関心のある介護予防の項目×性別・年齢別・居住地区別・認定状況別

性別にみると、男性では「認知症」が女性に比べて4.9ポイント多くなっています。一方、女性では「栄養」「閉じこもり」が男性に比べてそれぞれ6.7ポイント、5.9ポイント多くなっています。

年齢別にみると、いずれの年齢層でも「運動機能」が最も高くなっています。「閉じこもり」「うつ」はいずれも年齢が上がるにつれて多くなっています。

居住地区別にみると、いずれの地区でも「運動機能」が高くなっています。全体の「運動機能」が80.3%に対して、木津西、加茂では全体に比べて高く、木津東、山城では全体に比べて低くなっています。

認定状況別にみると、介護認定を受けていない高齢者では「運動機能」「認知症」が要支援1・2と比べて、それぞれ17.7ポイント、13.1ポイント多くなっています。一方、要支援1・2では「閉じこもり」「栄養」が介護認定を受けていない高齢者と比べて、それぞれ6.1ポイント、3.3ポイント多くなっています。

	単位：%	運動機能	栄養	口腔機能	閉じこもり	認知症	うつ	その他	不明・無回答
	今回調査 (n=1,200)	80.3	32.6	17.8	16.7	59.6	11.8	0.5	1.8
性別	男性 (n=514)	80.9	28.8	17.5	13.0	62.8	10.5	0.4	1.4
	女性 (n=656)	80.8	35.5	18.0	18.9	57.9	13.3	0.6	2.0
年齢	65～74歳 (n=524)	85.5	31.7	17.7	13.4	66.8	11.5	0.4	0.8
	75～84歳 (n=550)	80.2	32.9	18.7	17.5	54.4	11.8	0.4	2.0
	85歳以上 (n=97)	59.8	36.1	13.4	26.8	55.7	16.5	2.1	5.2
居住地区	木津東 (n=273)	77.3	31.9	15.0	18.3	58.2	12.1	0.7	1.8
	木津西 (n=449)	83.1	34.1	20.9	13.8	61.0	11.8	0.2	1.6
	加茂 (n=280)	83.2	32.9	17.9	17.9	62.9	8.9	0.7	1.8
	山城 (n=151)	78.8	28.5	13.9	17.9	54.3	17.9	0.7	2.0
認定状況	要支援1・2 (n=73)	64.4	35.6	17.8	21.9	47.9	11.0	0.0	6.8
	認定を受けていない (n=1,081)	82.1	32.3	17.9	15.8	61.0	12.1	0.6	1.3

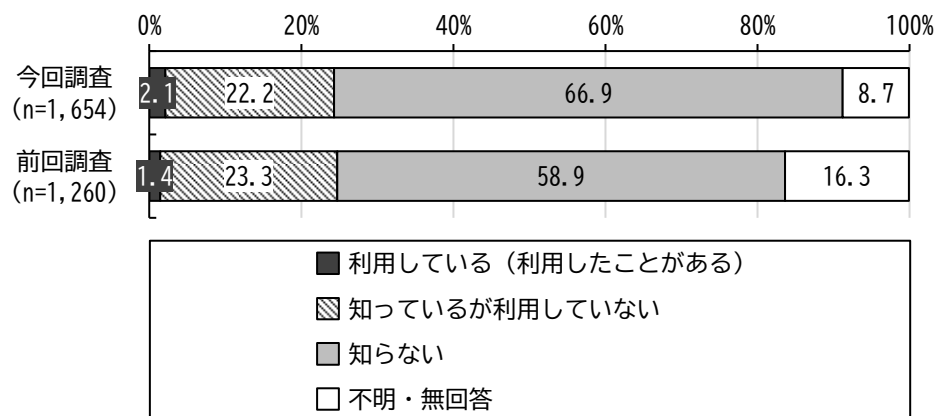
すべての方にお伺いします。

(1-2) あなたは次の介護予防事業を利用したことがありますか(それぞれ○は1つ)

① 生きがい対応型デイサービス事業(元気デイ)

生きがい対応型デイサービス事業(元気デイ)は、「知らない」が66.9%と最も高く、次いで、「知っているが利用していない」が22.2%、「利用している(利用したことがある)」が2.1%となっています。

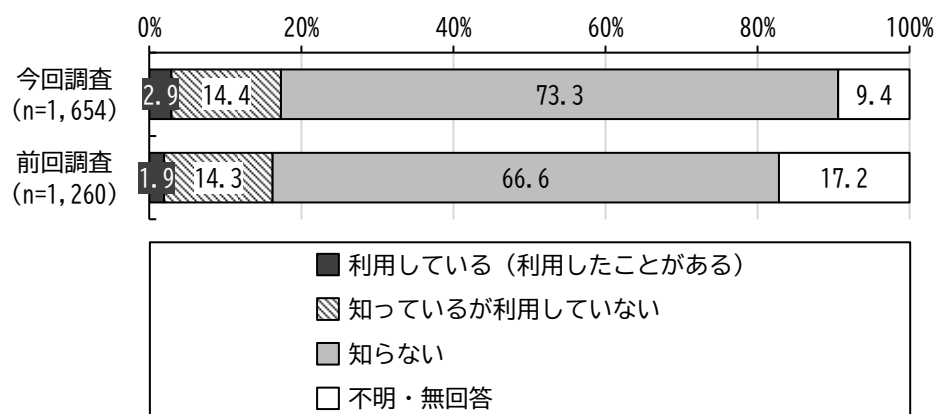
前回調査に比べて「知らない」が8.0ポイント増加しており、有意な差がみられます。



② 一般高齢者運動器機能向上事業(元気でいきなりクラブ)

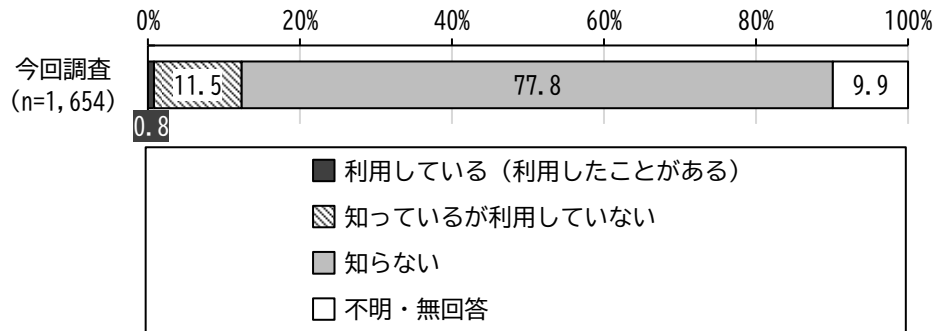
一般高齢者運動器機能向上事業(元気でいきなりクラブ)は、「知らない」が73.3%と最も高く、次いで、「知っているが利用していない」が14.4%、「利用している(利用したことがある)」が2.9%となっています。

前回調査に比べて「知らない」が6.7ポイント増加しており、有意な差がみられます。



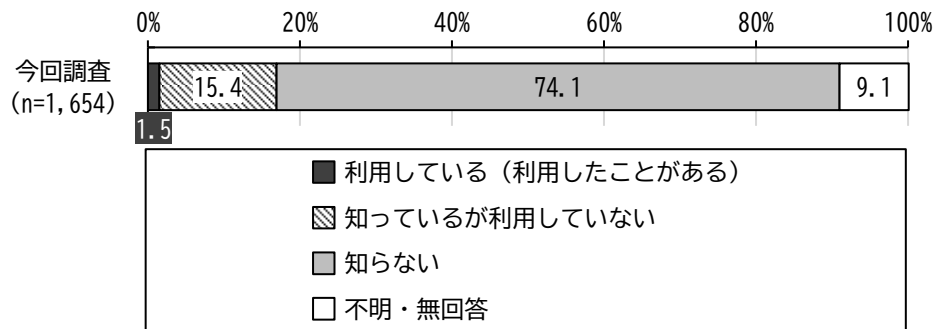
③ 介護予防サポーター養成事業

介護予防サポーター養成事業は、「知らない」が77.8%と最も高く、次いで、「知っているが利用していない」が11.5%、「利用している（利用したことがある）」が0.8%となっています。



④ 地域リハビリテーション活動支援事業

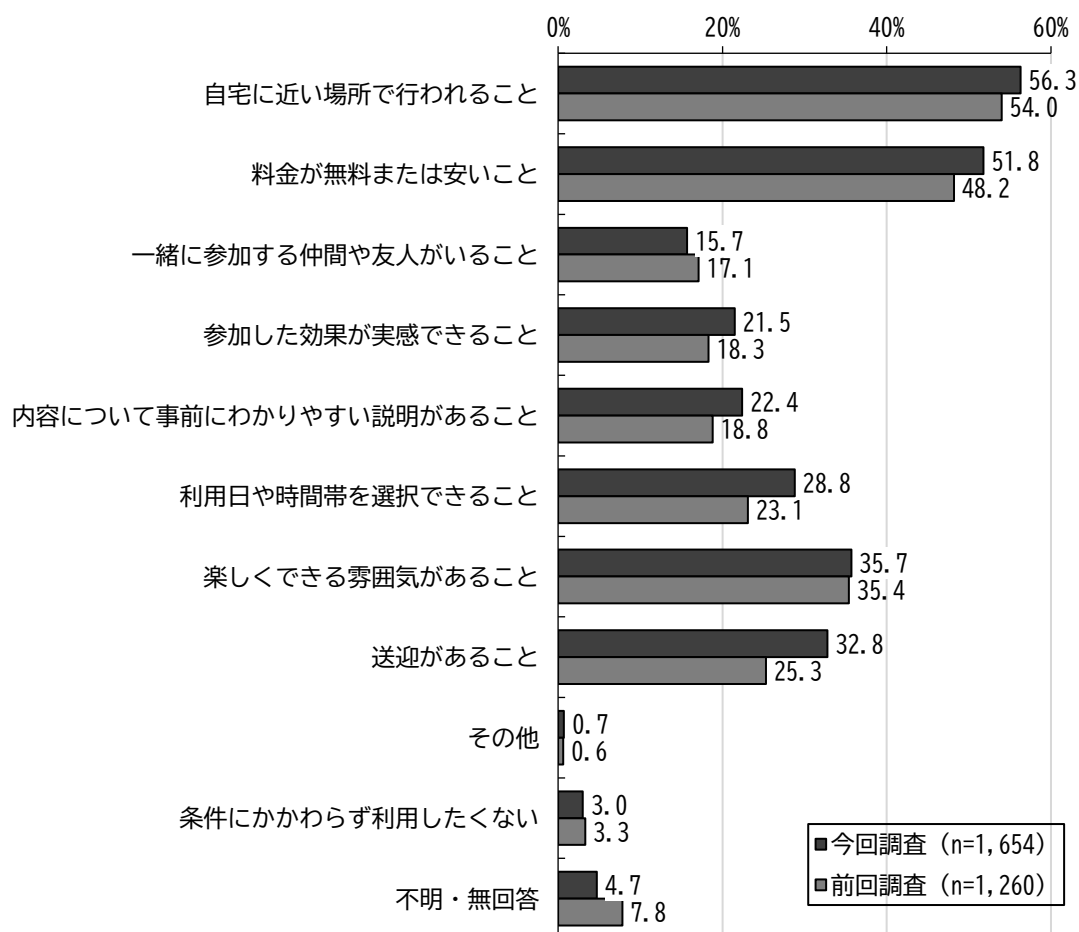
地域リハビリテーション活動支援事業は、「知らない」が74.1%と最も高く、次いで、「知っているが利用していない」が15.4%、「利用している（利用したことがある）」が1.5%となっています。



(1-3) 介護予防事業を利用するために必要な条件は何だと思いますか（〇は3つまで）

介護予防事業を利用するために必要な条件は、「自宅に近い場所で行われること」が56.3%と最も高く、次いで、「料金が無料または安いこと」が51.8%、「楽しくできる雰囲気があること」が35.7%となっています。

前回調査に比べて、「送迎があること」が7.5ポイント、「利用日や時間帯を選択できること」が5.7ポイント増加しており、それぞれ有意な差がみられます。また、「料金が無料または安いこと」が3.6ポイント、「内容について事前にわかりやすい説明があること」が3.6ポイント、「参加した効果が実感できること」が3.2ポイント増加していますが、いずれも統計的には有意な差はみられません。



介護予防事業を利用するために必要な条件×性別・年齢別・居住地区別・認定状況

性別にみると、男性では「料金が無料または安いこと」「参加した効果が実感できること」が女性に比べてそれぞれ8.0ポイント、4.3ポイント多くなっています。一方、女性では「送迎があること」「楽しくできる雰囲気があること」が男性に比べてそれぞれ11.2ポイント、9.8ポイント多くなっています。

年齢別にみると、65～74歳では「料金が無料または安いこと」が、75～84歳では「自宅に近い場所で行われること」が、85歳以上では「送迎があること」がそれぞれ最も高くなっています。また、「料金が無料または安いこと」「内容について事前にわかりやすい説明があること」は年齢が上がるにつれて少なくなっています。また、「送迎があること」は年齢が上がるにつれて多くなっています。

居住地区別にみると、木津東・山城では「料金が無料または安いこと」、木津西・加茂では「自宅に近い場所で行われること」がそれぞれ最も高くなっています。なかでも、木津東では「料金が無料または安いこと」「送迎があること」が全体に比べてそれぞれ5.2ポイント、5.3ポイント高くなっています。

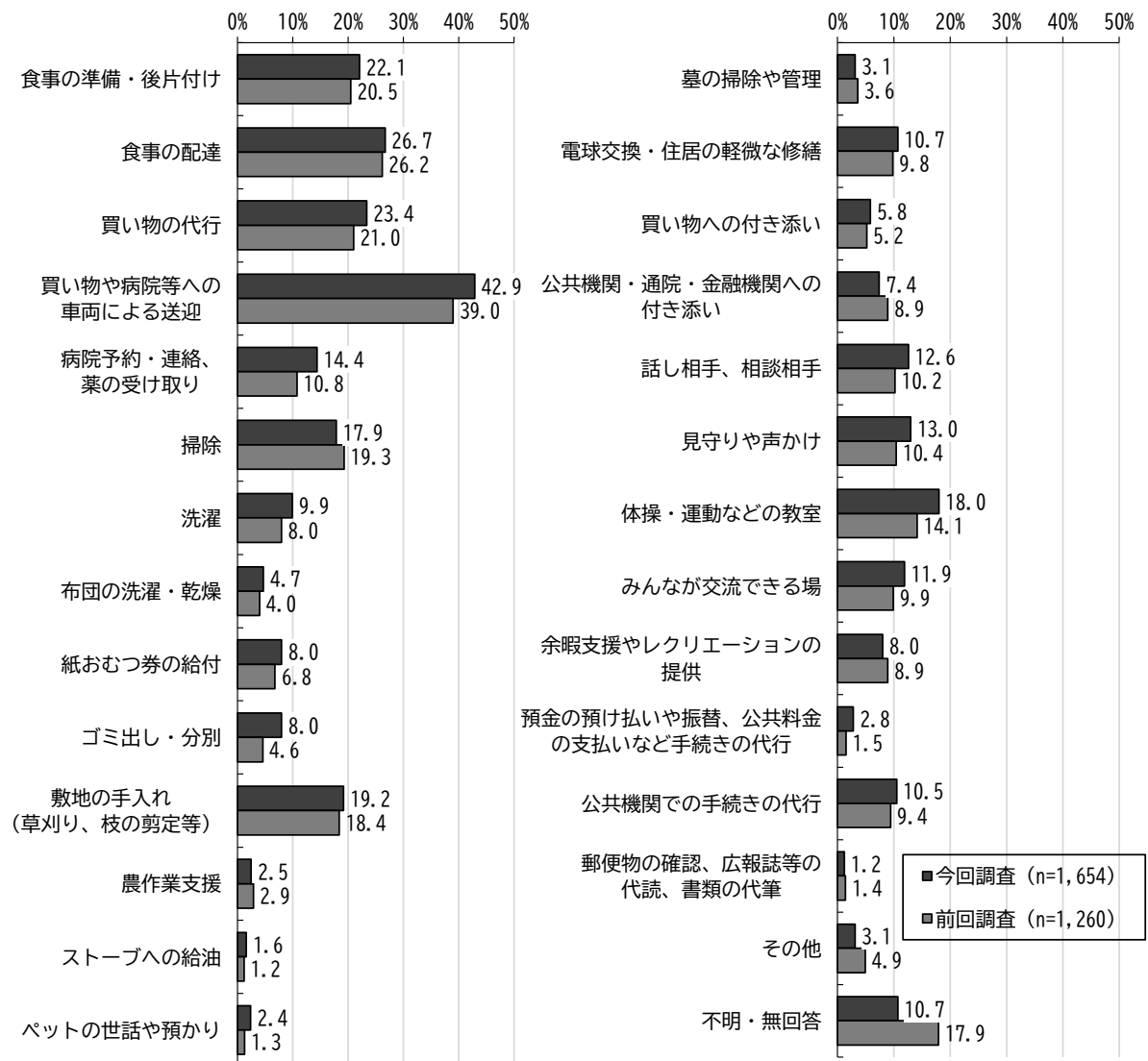
認定状況別にみると、介護認定を受けていない高齢者では「内容について事前にわかりやすい説明があること」「利用日や時間帯を選択できること」が要支援1・2と比べて、それぞれ11.5ポイント、9.1ポイント多くなっています。一方、要支援1・2では「送迎があること」が介護認定を受けていない高齢者に比べて24.8ポイント多くなっています。

	単位：％	自宅に近い場所で行われること	料金が無料または安いこと	一緒に参加する仲間や友人がいること	参加した効果が実感できること	内容について説明が事前に行われること	利用日や時間帯を選択できること	楽しくできる雰囲気があること	送迎があること	その他	条件にかかわらず利用しにくいこと	不明・無回答
	今回調査 (n=1,654)	56.3	51.8	15.7	21.5	22.4	28.8	35.7	32.8	0.7	3.0	4.7
性別	男性 (n=775)	56.4	56.1	12.5	23.7	23.1	28.9	30.5	27.1	1.3	4.8	3.6
	女性 (n=833)	57.3	48.1	19.0	19.4	21.8	29.7	40.3	38.3	0.1	1.4	5.2
年齢	65～74歳 (n=722)	57.9	58.6	14.7	21.9	24.2	28.9	36.6	29.5	0.6	3.5	3.0
	75～84歳 (n=751)	57.3	48.7	16.5	22.1	21.4	29.6	35.3	32.6	0.8	2.5	5.2
	85歳以上 (n=138)	47.8	37.0	18.1	15.2	18.8	29.0	31.9	52.9	0.7	3.6	7.2
居住地区	木津東 (n=386)	53.1	57.0	17.9	21.5	21.5	26.2	33.9	38.1	0.0	3.1	4.7
	木津西 (n=606)	58.9	47.9	13.4	21.9	26.4	32.5	36.5	31.0	0.5	3.3	3.1
	加茂 (n=377)	63.4	52.8	16.2	21.5	19.9	29.4	35.5	30.5	1.9	2.4	3.2
	山城 (n=212)	45.3	51.9	17.0	21.2	19.3	25.5	34.0	30.7	0.0	3.8	9.4
認定状況	要支援1・2 (n=100)	49.0	50.0	14.0	22.0	12.0	21.0	38.0	56.0	0.0	4.0	5.0
	認定を受けていない (n=1,480)	57.7	52.4	15.9	21.8	23.5	30.1	35.8	31.2	0.7	2.9	4.3

(2) 在宅生活を続ける上で、利用したいと考えるサービスはどれですか（○は5つまで）

在宅生活を続けるために利用したいサービスは、「買い物や病院等への車両による送迎」が42.9%と最も高く、次いで、「食事の配達」が26.7%、「買い物の代行」が23.4%となっています。

前回調査に比べて「買い物や病院等への車両による送迎」が3.9ポイント、「体操・運動などの教室」が3.9ポイント、「病院予約・連絡、薬の受け取り」が3.6ポイント、「ゴミ出し・分別」が3.4ポイント、「見守りや声かけ」が2.6ポイント高くなっており、それぞれ有意な差がみられます。



在宅生活を続けるために利用したいサービス×性別・年齢別・居住地区別・認定状況別

性別にみると、男性では「洗濯」「食事の準備・後片付け」が女性に比べてそれぞれ9.8ポイント、9.1ポイント多くなっています。一方、女性では「体操・運動などの教室」「電球交換・住居の軽微な修繕」が男性に比べてそれぞれ11.8ポイント、7.2ポイント多くなっています。

年齢別にみると、いずれの年齢層でも「買い物や病院等への車両による送迎」が最も高くなっています。また、「話し相手、相談相手」「食事の配達」「買い物の代行」「余暇支援やレクリエーションの提供」はいずれも年齢が上がるにつれて少なくなっています。

居住地区別にみると、いずれの地区でも「買い物や病院等への車両による送迎」が高くなっています。全体の「買い物や病院等への車両による送迎」が42.9%に対して、加茂で全体に比べて高くなっており、一方木津西では全体に比べて低くなっています。

認定状況別にみると、「買い物や病院等への車両による送迎」がそれぞれ最も高く、介護認定を受けていない高齢者では「食事の配達」「話し相手、相談相手」が要支援1・2と比べて、それぞれ9.6ポイント、6.8ポイント多くなっています。一方、要支援1・2では「買い物や病院等への車両による送迎」「布団の洗濯・乾燥」が介護認定を受けていない高齢者と比べて、それぞれ7.1ポイント、3.4ポイント多くなっています。

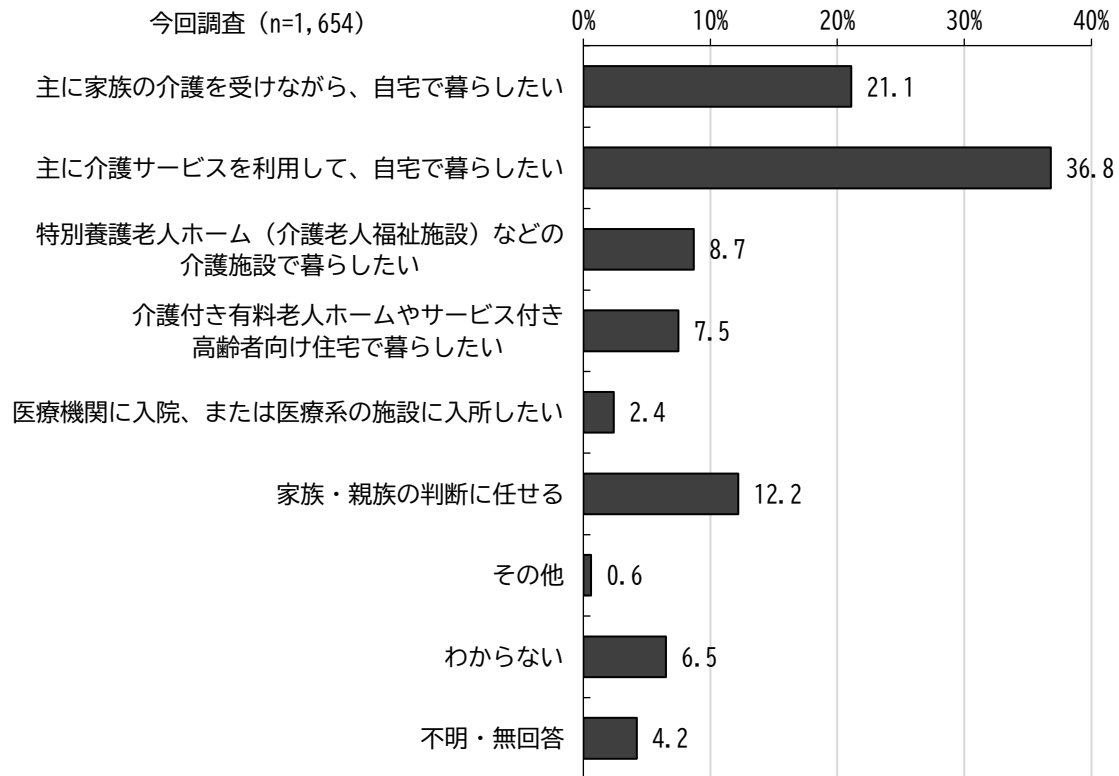
	単位：%	食事の準備・後片付け	食事の配達	買い物の代行	買い物や病院等への車両による送迎	病院受診予約・連絡、薬	掃除	洗濯	布団の洗濯・乾燥	紙おむつ券の給付	ゴミ出し・分別	敷地の手入れ（草刈り枝の剪定等）	農作業支援	ストーブへの給油	ペットの世話や預かり
	今回調査 (n=1,654)	22.1	26.7	23.4	42.9	14.4	17.9	9.9	4.7	8.0	8.0	19.2	2.5	1.6	2.4
性別	男性 (n=775)	26.5	29.5	24.4	40.1	14.2	20.1	15.0	5.7	6.1	8.4	17.9	3.0	1.4	3.1
	女性 (n=833)	17.4	24.1	23.0	45.7	14.8	16.3	5.2	4.0	9.7	7.6	20.5	2.3	1.9	1.8
年齢	65～74歳 (n=722)	20.8	28.8	25.1	41.1	13.9	19.5	10.2	4.2	8.0	8.6	18.7	3.3	1.9	3.2
	75～84歳 (n=751)	22.8	25.8	23.2	45.5	15.4	17.2	9.7	5.2	7.7	7.3	20.1	1.9	1.7	1.9
	85歳以上 (n=138)	21.0	21.7	18.8	39.1	13.0	15.2	8.0	5.1	9.4	8.0	17.4	2.9	0.0	1.4
居住地区	木津東 (n=386)	20.5	24.6	22.8	40.7	15.0	16.1	9.1	4.1	10.6	5.4	19.4	2.1	1.8	3.4
	木津西 (n=606)	22.3	28.2	25.9	39.4	12.9	20.0	10.7	5.6	5.8	7.4	18.2	2.0	1.5	3.3
	加茂 (n=377)	21.8	28.9	19.6	52.0	14.1	17.5	10.1	4.0	7.4	9.3	21.0	1.9	2.1	1.3
	山城 (n=212)	21.7	22.6	25.0	42.0	17.5	17.9	8.5	5.2	9.0	10.4	19.8	6.1	1.4	0.5
認定状況	要支援1・2 (n=100)	16.0	18.0	19.0	50.0	17.0	18.0	6.0	8.0	9.0	5.0	21.0	3.0	1.0	0.0
	認定を受けていない (n=1,480)	22.4	27.6	24.3	42.9	14.3	18.4	10.3	4.6	7.8	8.2	19.1	2.5	1.8	2.6

Ⅱ 介護予防・日常生活圏域二エズ調査結果

	単位：％	墓の掃除や管理	電球交換・住居の軽微な修繕	買い物への付き添い	公共機関・通院・金融機関への付き添い	話し相手、相談相手	見守りや声かけ	体操・運動などの教室	みんなが交流できる場	余暇支援やレクリエーションの提供	預金の預け払いや振替、公共料金の代支払いなど手続きの代行	公共機関での手続きの代行	代筆等の代読、書類の郵便物の確認、広報	その他	不明・無回答
	今回調査 (n=1,654)	3.1	10.7	5.8	7.4	12.6	13.0	18.0	11.9	8.0	2.8	10.5	1.2	3.1	10.7
性別	男性 (n=775)	3.2	6.8	5.0	8.5	10.8	11.7	12.1	9.2	8.1	3.4	11.9	1.7	4.5	9.3
	女性 (n=833)	3.0	14.0	6.6	6.7	13.8	13.8	23.9	14.5	8.2	2.5	9.0	0.8	1.8	11.8
年齢	65～74歳 (n=722)	2.9	10.0	6.5	7.8	13.3	14.1	17.6	9.8	8.9	2.9	10.4	1.9	3.3	8.2
	75～84歳 (n=751)	3.2	10.9	5.3	7.3	12.8	11.6	18.8	14.1	8.4	3.1	11.1	0.8	2.5	11.7
	85歳以上 (n=138)	3.6	11.6	5.1	7.2	5.1	13.0	18.8	12.3	2.9	2.2	6.5	0.0	5.1	17.4
居住地区	木津東 (n=386)	1.8	9.6	4.7	8.5	10.9	13.0	19.9	12.4	8.3	4.1	11.7	0.5	2.3	10.4
	木津西 (n=606)	3.1	12.2	6.8	8.1	13.0	12.4	18.3	9.9	8.1	2.0	10.7	1.8	4.1	10.6
	加茂 (n=377)	3.7	10.3	5.8	7.2	12.5	14.1	18.0	15.1	9.0	3.2	10.9	0.8	3.4	7.7
	山城 (n=212)	4.7	8.5	4.7	5.2	12.3	9.9	13.7	12.7	5.7	2.8	5.7	1.9	1.4	16.5
認定状況	要支援1・2 (n=100)	3.0	13.0	6.0	6.0	6.0	8.0	19.0	12.0	8.0	2.0	8.0	0.0	2.0	19.0
	認定を受けていない (n=1,480)	3.0	10.4	5.9	7.6	12.8	13.4	18.3	11.8	8.2	3.0	10.6	1.3	3.1	9.7

(3) 今後、日常生活に不安を感じたり、介護が必要になった場合に、どこで介護を受けたいと思いますか。あなたの考えにもっとも近いものを選んでください (○は1つ)

今後の介護を受けたい場所は、「主に介護サービスを利用して、自宅で暮らしたい」が 36.8%と最も高く、次いで、「主に家族の介護を受けながら、自宅で暮らしたい」が 21.1%、「家族・親族の判断に任せる」が 12.2%となっています。



Ⅱ 介護予防・日常生活圏域二エズ調査結果

介護が必要になった場合、どこで介護を受けたいか×性別・居住地区別・認定状況別

性別にみると、男性では「主に家族の介護を受けながら、自宅で暮らしたい」が女性に比べて 9.7 ポイント多くなっています。一方、女性では「主に介護サービスを利用して、自宅で暮らしたい」が男性に比べて 8.3 ポイント多くなっています。

居住地区別にみると、いずれの地区でも「主に介護サービスを利用して、自宅で暮らしたい」が高くなっています。全体の「主に介護サービスを利用して、自宅で暮らしたい」が 36.8%に対して、加茂で全体に比べて高くなっており、一方山城では全体に比べて低くなっています。

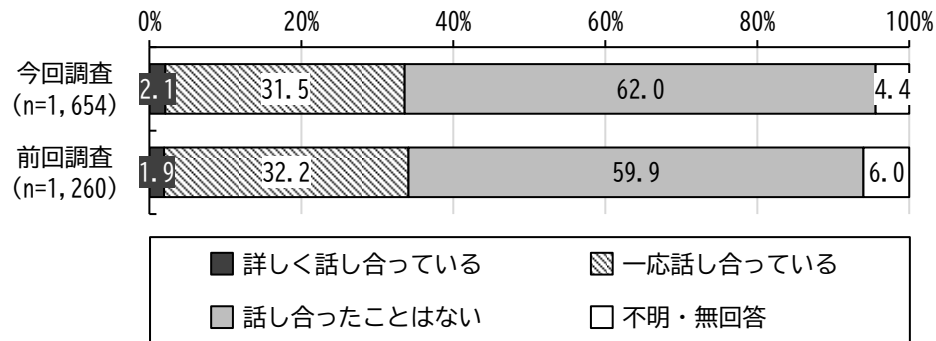
認定状況別にみると、「主に介護サービスを利用して、自宅で暮らしたい」がそれぞれ最も高く、介護認定を受けていない高齢者では「介護付き有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅で暮らしたい」「家族・親族の判断に任せる」が要支援 1・2 と比べて、それぞれ 5.0 ポイント、4.6 ポイント多くなっています。一方、要支援 1・2 では「主に家族の介護を受けながら、自宅で暮らしたい」が介護認定を受けていない高齢者に比べて 5.5 ポイント多くなっています。

	単位：％	主に家族の介護を受けたい がら、自宅で暮らしたい	主に介護サービスを利用 して、自宅で暮らしたい	特別養護老人ホーム（介 護老人福祉施設）などの 介護施設で暮らしたい	介護付き有料老人ホーム やサービス付き高齢者向 け住宅で暮らしたい	医療系の施設に入所した 医療機関に入院、または い	家族・親族の判断に任せ る	その他	わからない	不明・無回答
	今回調査 (n=1,654)	21.1	36.8	8.7	7.5	2.4	12.2	0.6	6.5	4.2
性別	男性 (n=775)	26.1	32.4	9.0	8.1	1.9	11.4	0.4	7.2	3.5
	女性 (n=833)	16.4	40.7	8.4	7.2	3.0	13.0	0.8	5.9	4.6
居住地区	木津東 (n=386)	23.8	36.8	10.1	6.2	2.6	10.6	0.8	5.4	3.6
	木津西 (n=606)	18.3	36.3	8.6	9.9	4.0	11.2	0.8	7.3	3.6
	加茂 (n=377)	22.8	40.3	6.9	6.9	1.3	12.2	0.0	6.4	3.2
	山城 (n=212)	20.3	31.1	10.4	5.2	0.5	17.9	0.5	6.1	8.0
認定状況	要支援1・2 (n=100)	26.0	36.0	10.0	3.0	4.0	8.0	0.0	6.0	7.0
	認定を受けて いない (n=1,480)	20.5	37.1	8.6	8.0	2.4	12.6	0.6	6.4	3.9

(4) あなたは、人生の最終段階における医療・療養について、ご家族等や医療介護関係者と話し合ったことがありますか（〇は1つ）

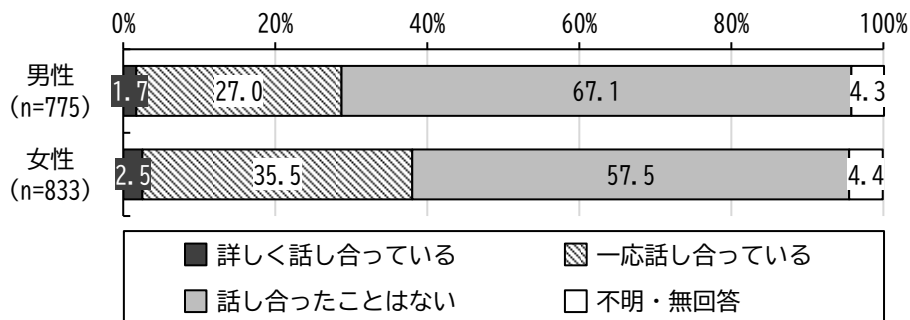
人生の最終段階における医療・療養についての話し合い状況は、「話し合ったことはない」が62.0%と最も高く、次いで、「一応話し合っている」が31.5%、「詳しく話し合っている」が2.1%となっています。

前回調査と同様の傾向となっています。



人生の最終段階について話し合った経験×性別

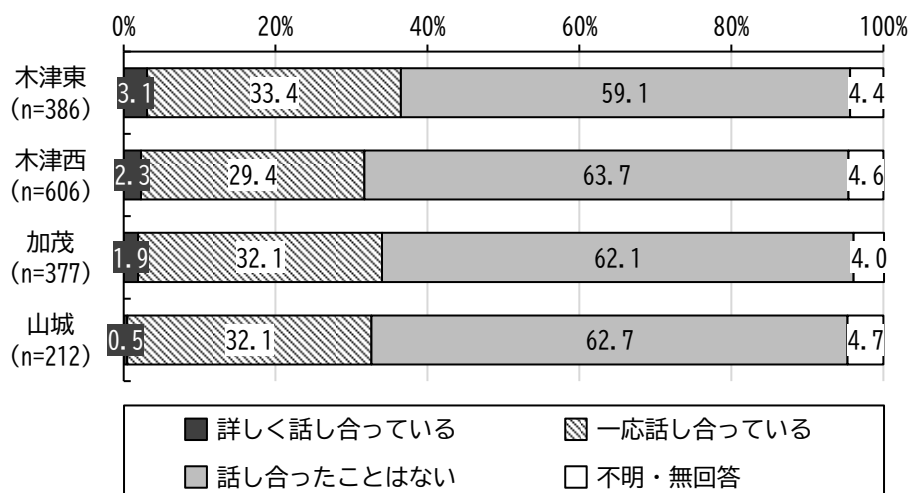
性別にみると、男性は「話し合ったことはない」が67.1%と、女性に比べて9.6ポイント多くなっています。



人生の最終段階について話し合った経験×居住地区別

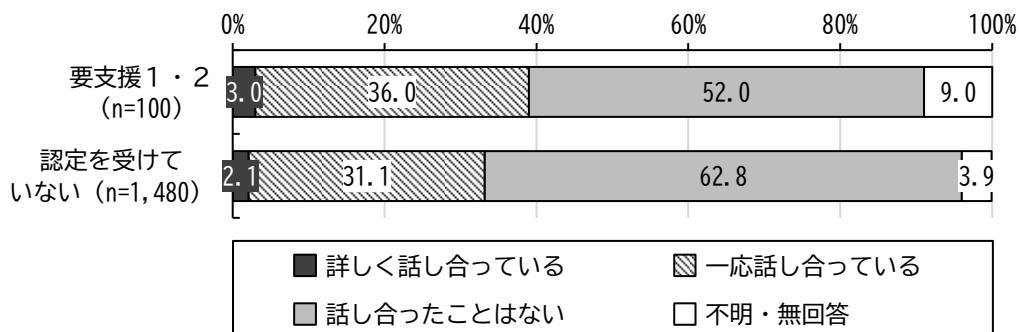
居住地区別にみると、いずれの地区でも「話し合ったことはない」が高くなっています。

全体の「話し合ったことはない」62.0%と比較して、木津東で59.1%とやや少なくなっています。



人生の最終段階について話し合った経験×認定状況別

認定状況別にみると、介護認定を受けていない高齢者では「話し合ったことはない」が62.8%と、要支援1・2の52.0%に比べて10.8ポイント多くなっています。一方、要支援1・2では「一応話し合っている」が36.0%と、介護認定を受けていない高齢者の31.1%に比べて4.9ポイント多くなっています。

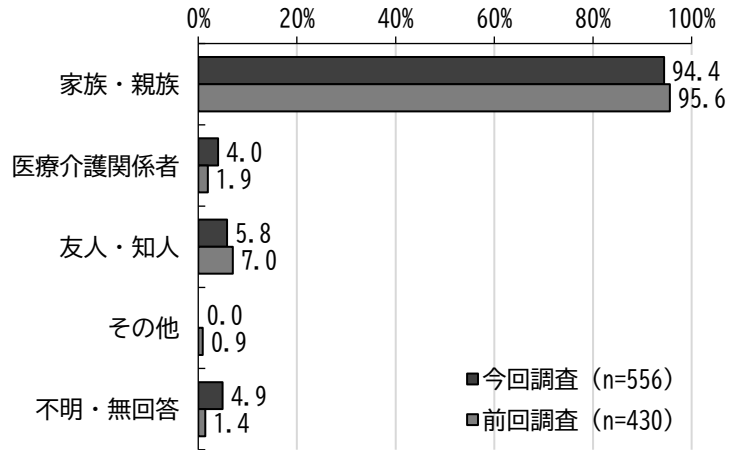


(4) で「1.」「2.」(話し合っている)と回答した方にお伺いします。

(4-1) 誰と話し合われましたか(○はいくつでも)

話し合いの相手は、「家族・親族」が94.4%と最も高く、次いで、「友人・知人」が5.8%、「医療介護関係者」が4.0%となっています。

前回調査と同様の傾向となっています。



人生の最終段階について話し合った相手×性別・居住地区別・認定状況別

性別にみると、「家族・親族」がそれぞれ最も高く、女性では「友人・知人」が男性に比べて4.9ポイント多くなっています。

居住地区別にみると、いずれの地区でも「家族・親族」が高くなっています。全体の「家族・親族」が94.4%に対して、山城では全体に比べて低くなっています。

認定状況別にみると、「家族・親族」がそれぞれ最も高く、介護認定を受けていない高齢者では「友人・知人」が要支援1・2に比べて3.5ポイント多くなっています。一方、要支援1・2では「医療介護関係者」が介護認定を受けていない高齢者に比べて7.5ポイント多くなっています。

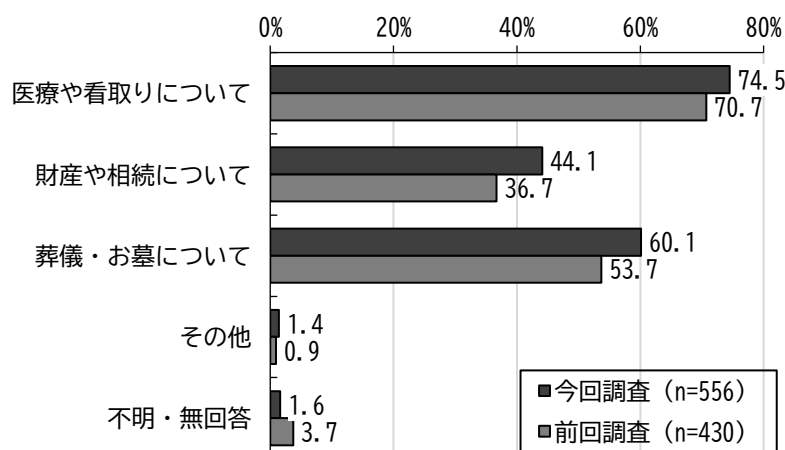
	単位：%	家族・親族	医療介護関係者	友人・知人	その他	不明・無回答
	今回調査 (n=556)	94.4	4.0	5.8	0.0	4.9
性別	男性 (n=222)	94.6	5.0	2.7	0.0	5.4
	女性 (n=317)	94.6	2.5	7.6	0.0	4.4
居住地区	木津東 (n=141)	97.2	5.0	5.7	0.0	2.8
	木津西 (n=192)	94.3	2.1	5.7	0.0	5.2
	加茂 (n=128)	93.8	5.5	5.5	0.0	4.7
	山城 (n=69)	91.3	2.9	7.2	0.0	7.2
認定状況	要支援1・2 (n=39)	94.9	10.3	2.6	0.0	5.1
	認定を受けていない (n=492)	94.7	2.8	6.1	0.0	4.7

(4) で「1.」「2.」(話し合っている)と回答した方にお伺いします。

(4-2) どのようなことを話し合われましたか(○はいくつでも)

話し合った内容は、「医療や看取りについて」が74.5%と最も高く、次いで、「葬儀・お墓について」が60.1%、「財産や相続について」が44.1%となっています。

前回調査に比べて、「財産や相続について」が7.4ポイント、「葬儀・お墓について」が6.4ポイント増加しており、それぞれ有意な差がみられます。また、「医療や看取りについて」が3.8ポイント増加していますが、統計的には有意な差はみられません。



人生の最終段階について話し合った内容×性別・居住地区別・認定状況別

性別にみると、「医療や看取りについて」がそれぞれ最も高く、男性では「財産や相続について」が女性に比べて9.6ポイント多くなっています。

居住地区別にみると、いずれの地区でも「医療や看取りについて」が高くなっています。全体の「医療や看取りについて」が74.5%に対して、山城では全体に比べて低くなっています。

認定状況別にみると、「医療や看取りについて」がそれぞれ最も高く、介護認定を受けていない高齢者では「葬儀・お墓について」が要支援1・2に比べて15.4ポイント多くなっています。

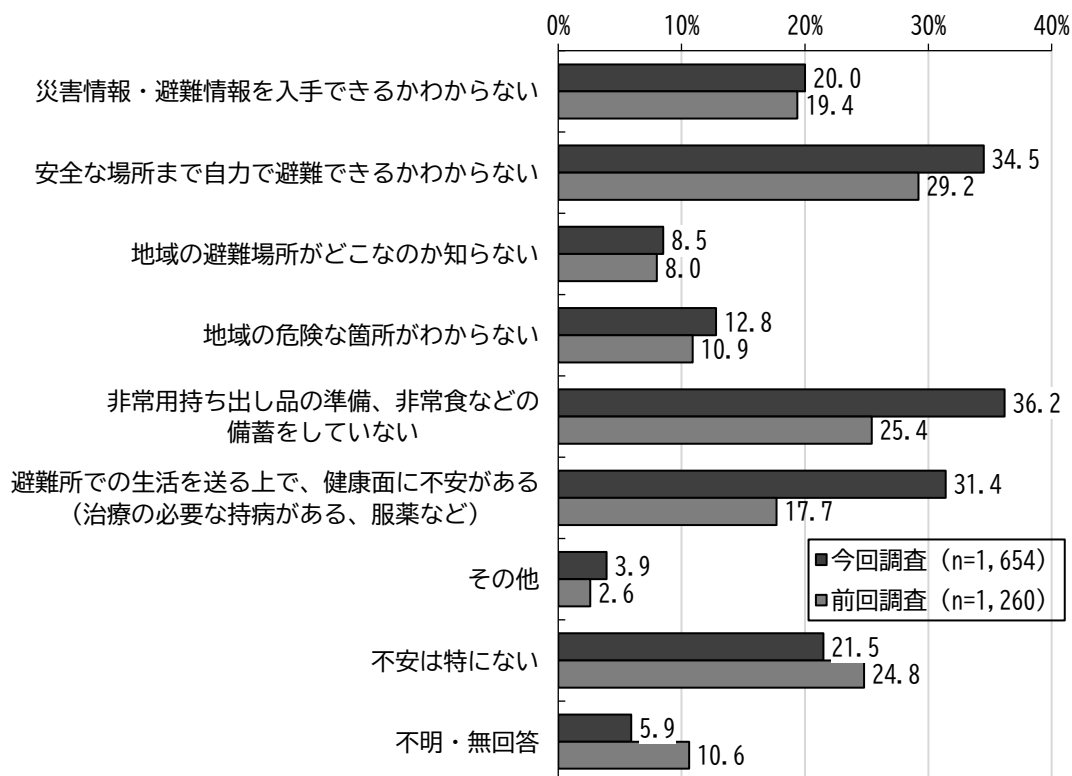
	単位：%	に医療 ついで いや て看 取り	つ財 つ産 い や や 相 続 に	つ葬 い 儀 て ・ お 墓 に	そ の 他	不 明 ・ 無 回 答
	今回調査 (n=556)	74.5	44.1	60.1	1.4	1.6
性別	男性 (n=222)	73.0	50.0	59.5	2.3	0.5
	女性 (n=317)	75.7	40.4	61.5	0.9	1.9
居住地区	木津東 (n=141)	75.2	46.1	58.2	2.1	2.1
	木津西 (n=192)	74.5	44.8	59.4	2.1	0.0
	加茂 (n=128)	76.6	42.2	60.9	0.8	3.9
	山城 (n=69)	68.1	44.9	65.2	0.0	0.0
認定状況	要支援1・2 (n=39)	74.4	46.2	46.2	0.0	2.6
	認定を受けていない (n=492)	74.4	44.5	61.6	1.6	1.2

(5) 災害時の対応についてお伺いします。

(5-1) 地震や風水害などの災害時に対し、不安に思うことはありますか(〇はいくつでも)

災害時に不安に思うことは、「非常用持ち出し品の準備、非常食などの備蓄をしていない」が36.2%と最も高く、次いで、「安全な場所まで自力で避難できるかわからない」が34.5%、「避難所での生活を送る上で、健康面に不安がある(治療の必要な持病がある、服薬など)」が31.4%となっています。

前回調査に比べて、「避難所での生活を送る上で、健康面に不安がある(治療の必要な持病がある、服薬など)」が13.7ポイント、「非常用持ち出し品の準備、非常食などの備蓄をしていない」が10.8ポイント、「安全な場所まで自力で避難できるかわからない」が5.3ポイント増加しており、それぞれ有意な差がみられます。また、「不安は特にない」が3.3ポイント減少していますが、統計的には有意な差はみられません。



災害時に不安に思ふこと×性別・居住地区別・認定状況別

性別にみると、男性は「非常用持ち出し品の準備、非常食などの備蓄をしていない」、女性は「安全な場所まで自力で避難できるかわからない」が最も高くなっています。また、男性では「不安は特にない」が女性に比べて 12.5 ポイント多くなっています。一方、女性では「安全な場所まで自力で避難できるかわからない」「災害情報・避難情報を入手できるかわからない」が男性に比べてそれぞれ 12.2 ポイント、6.1 ポイント多くなっています。

居住地区別にみると、木津東・加茂では「安全な場所まで自力で避難できるかわからない」、木津西・山城では「非常用持ち出し品の準備、非常食などの備蓄をしていない」がそれぞれ最も高くなっています。なかでも、木津東では「安全な場所まで自力で避難できるかわからない」が 40.4%と全体に比べて 5.9 ポイント高くなっています。また、木津西では「安全な場所まで自力で避難できるかわからない」が 26.2%と全体に比べて 8.3 ポイント低くなっています。

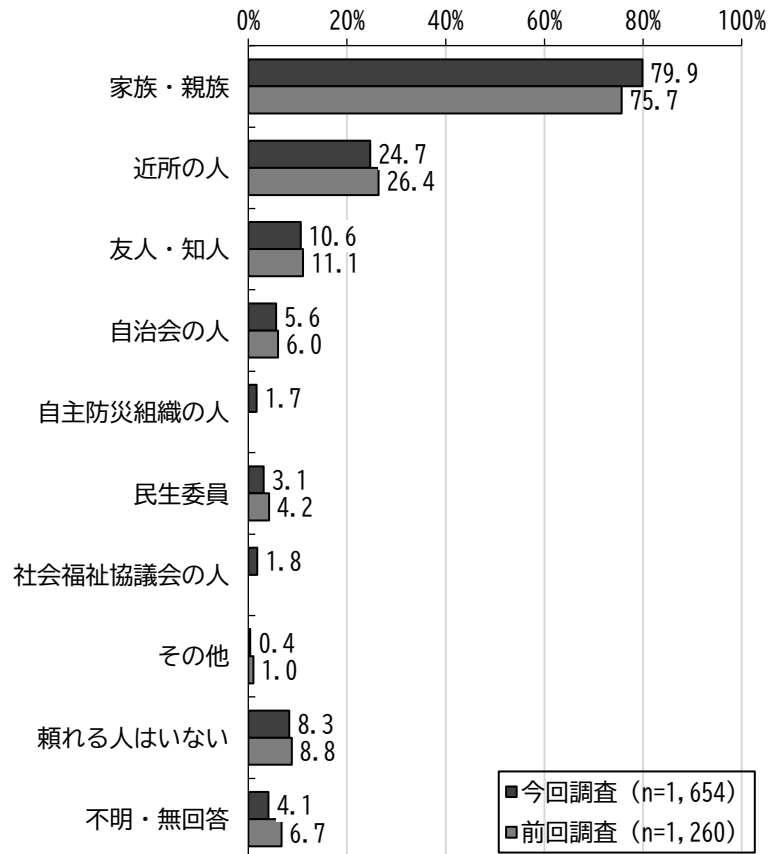
認定状況別にみると、介護認定を受けていない高齢者では「不安は特にない」が要支援 1・2 に比べて 11.2 ポイント多くなっています。一方、要支援 1・2 では「安全な場所まで自力で避難できるかわからない」「避難所での生活を送る上で、健康面に不安がある（治療の必要な持病がある、服薬など）」が介護認定を受けていない高齢者と比べて、それぞれ 22.6 ポイント、16.5 ポイント多くなっています。

	単位：％	災害情報・避難情報を入手できるかわからない	安全な場所まで自力で避難できるかわからない	地域の危険な箇所がわからない	地域の危険な箇所がわからない	非常用持ち出し品の準備、非常食などの備蓄をしていない	避難所での生活を送る上で、健康面に不安がある（治療の必要な持病がある、服薬など）	その他	不安は特にない	不明・無回答
	今回調査 (n=1,654)	20.0	34.5	8.5	12.8	36.2	31.4	3.9	21.5	5.9
性別	男性 (n=775)	16.9	28.4	9.7	11.6	36.1	29.5	3.1	28.0	5.3
	女性 (n=833)	23.0	40.6	7.7	14.0	36.5	33.0	4.3	15.5	6.2
居住地区	木津東 (n=386)	21.5	40.4	10.4	14.2	35.5	31.6	3.6	17.6	4.9
	木津西 (n=606)	17.7	26.2	8.6	12.9	33.7	28.9	3.8	26.1	5.9
	加茂 (n=377)	21.2	36.9	5.6	13.0	36.1	31.0	4.2	21.5	5.3
	山城 (n=212)	21.2	42.9	9.4	9.4	44.3	36.8	3.3	17.0	8.0
認定状況	要支援 1・2 (n=100)	21.0	56.0	9.0	15.0	35.0	47.0	3.0	11.0	12.0
	認定を受けていない (n=1,480)	20.1	33.4	8.7	12.8	36.5	30.5	3.8	22.2	5.1

(5-2) 災害等で避難が必要な際、頼れる人はいますか（○はいくつでも）

災害等で避難が必要な際に頼れる人は、「家族・親族」が79.9%と最も高く、次いで、「近所の人」が24.7%、「友人・知人」が10.6%となっています。

前回調査に比べて、「家族・親族」が4.2ポイント増加していますが、統計的には有意な差はみられません。



※「自主防災組織の人」「社会福祉協議会の人」は本調査で新設した選択肢です。

Ⅱ 介護予防・日常生活圏域二エズ調査結果

災害時に頼れる人×性別・年齢別・居住地区別・認定状況別

性別にみると、「家族・親族」がそれぞれ最も高く、男性では「自治会の人」が女性に比べて 3.9 ポイント多くなっています。一方、女性では「近所の人」が男性に比べて 3.4 ポイント多くなっています。

年齢別にみると、「家族・親族」がそれぞれ最も高くなっていますが、年齢が上がるにつれて「家族・親族」「友人・知人」が低くなっています。また、「自治会の人」「自主防災組織の人」「民生委員」「社会福祉協議会の人」は年齢が上がるにつれて多くなっています。

居住地区別にみると、いずれの地区でも「家族・親族」が高くなっています。全体の「家族・親族」が 79.9%に対して、山城で全体に比べて高くなっています。

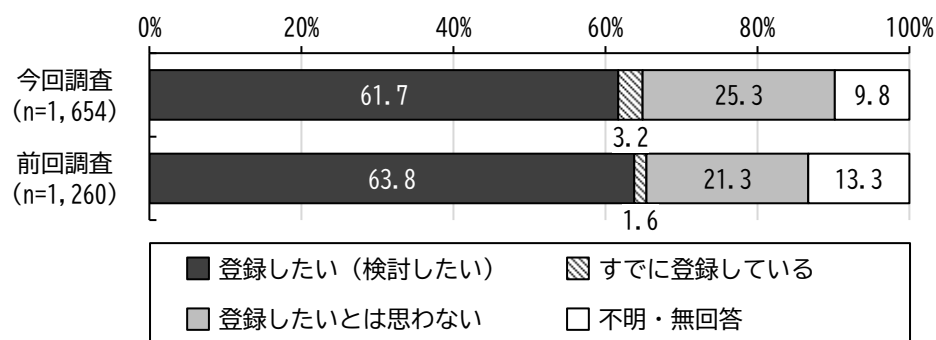
認定状況別にみると、介護認定を受けていない高齢者では「家族・親族」「友人・知人」が要支援 1・2 と比べて、それぞれ 12.0 ポイント、7.3 ポイント多くなっています。一方、要支援 1・2 では「社会福祉協議会の人」が介護認定を受けていない高齢者に比べて 3.5 ポイント多くなっています。

	単位：%	家族・親族	近所の人	友人・知人	自治会の人	自主防災組織の人	民生委員	社会福祉協議会の人	その他	頼れる人はいない	不明・無回答
	今回調査 (n=1,654)	79.9	24.7	10.6	5.6	1.7	3.1	1.8	0.4	8.3	4.1
性別	男性 (n=775)	80.4	22.8	10.1	7.6	1.9	2.6	1.3	0.8	9.7	3.7
	女性 (n=833)	80.0	26.2	11.5	3.7	1.3	3.6	2.0	0.0	6.7	4.2
年齢	65～74歳 (n=722)	83.8	19.8	11.6	5.3	1.0	1.8	0.8	0.4	8.2	1.9
	75～84歳 (n=751)	78.0	29.0	10.9	6.0	1.9	3.9	2.1	0.4	7.9	5.1
	85歳以上 (n=138)	72.5	25.4	5.8	6.5	3.6	6.5	3.6	0.0	9.4	8.7
居住地区	木津東 (n=386)	79.5	22.5	8.3	4.9	1.3	2.3	0.8	0.5	9.1	3.6
	木津西 (n=606)	80.5	20.5	8.9	6.4	1.3	2.3	1.5	0.5	7.4	4.3
	加茂 (n=377)	79.3	31.3	14.3	5.8	2.4	4.2	2.4	0.3	8.8	4.0
	山城 (n=212)	83.5	28.3	15.6	3.8	1.9	5.2	2.8	0.0	5.7	4.2
認定状況	要支援 1・2 (n=100)	69.0	20.0	4.0	6.0	1.0	5.0	5.0	0.0	9.0	10.0
	認定を受けていない (n=1,480)	81.0	24.9	11.3	5.6	1.6	3.0	1.5	0.4	8.0	3.5

(5-3) 災害時の避難に支援が必要な方を対象とした名簿※について、ご自身が避難時に支援を必要とする状態になったとき、名簿に登録したいですか（○は1つ）

避難行動要支援者名簿への登録意向は、「登録したい（検討したい）」が61.7%と最も高く、次いで、「登録したいとは思わない」が25.3%、「すでに登録している」が3.2%となっています。

前回調査に比べて、「登録したいとは思わない」が4.0ポイント増加していますが、統計的には有意な差はみられません。



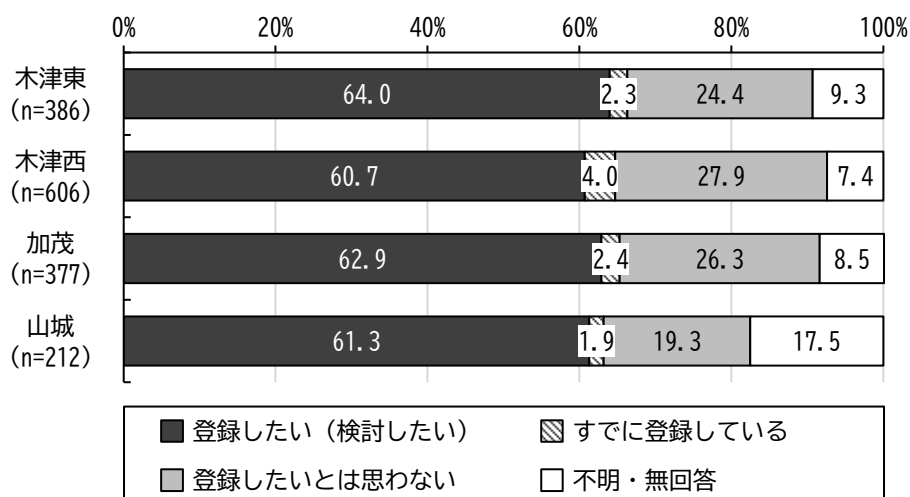
※「木津川市避難行動要支援者名簿登録制度」

避難行動要支援者名簿に登録され、名簿情報提供の同意が得られた場合、市から避難支援等関係者（民生委員、行政地域、自主防災組織、社会福祉協議会など）へ名簿情報を提供し、平時からの声かけや避難訓練への参加の呼びかけに活用されます。災害時は、名簿情報提供の同意にかかわらず、名簿情報を避難支援等関係者に提供します。

木津川市避難行動要支援者名簿への登録意向×居住地区別

居住地区別にみると、いずれの地区でも「登録したい（検討したい）」が高くなっています。

全体の「登録したい（検討したい）」61.7%と比較して、木津東では64.0%とやや多くなっています。



Ⅱ 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査結果

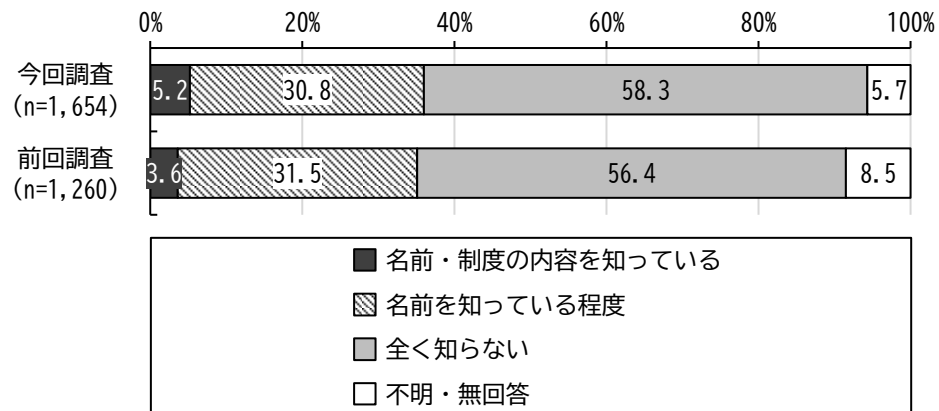
(6) 高齢者の権利擁護（高齢者の権利や生活、財産等の保護）のための制度についてお伺いします。

(6-1) 次の事業や制度を知っていますか（それぞれ○は1つ）

①日常生活自立支援事業の認知度

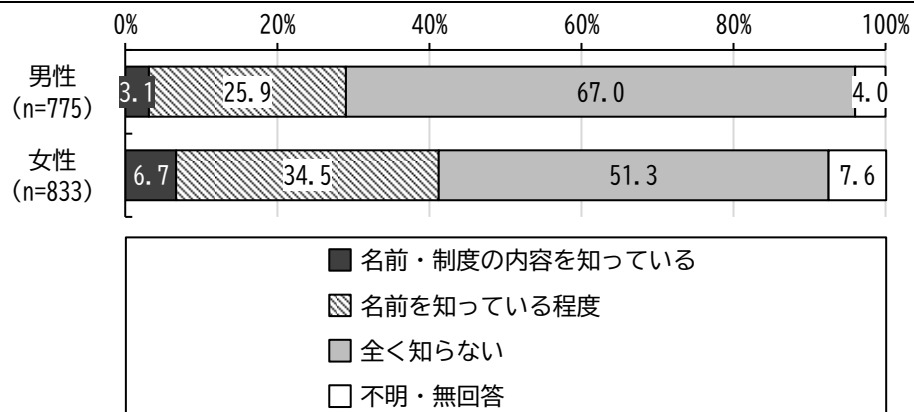
日常生活自立支援事業の認知度は、「全く知らない」が58.3%と最も高く、次いで、「名前を知っている程度」が30.8%、「名前・制度の内容を知っている」が5.2%となっています。

前回調査に比べて「名前・制度の内容を知っている」が1.6ポイント増加していますが、概ね同様の傾向となっています。



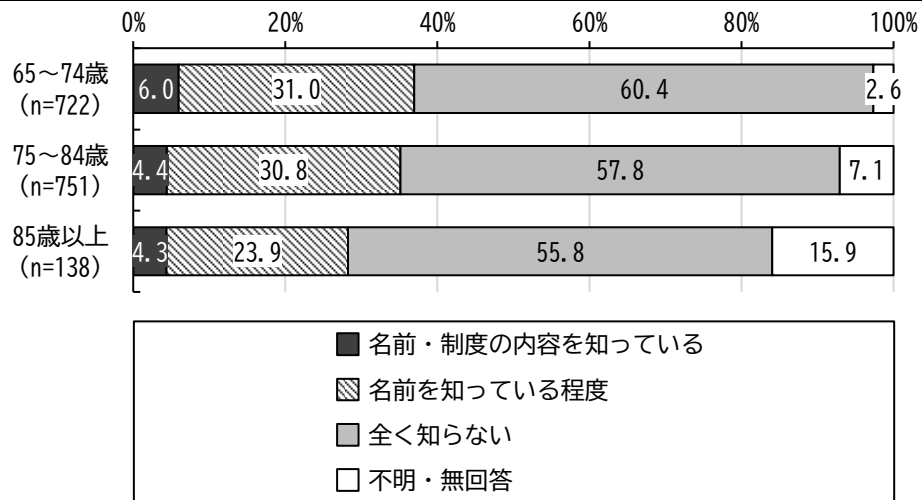
日常生活自立支援事業の認知度×性別

性別にみると、「全く知らない」がそれぞれ最も高くなっていますが、男性では67.0%と、女性に比べて15.7ポイント多くなっています。



日常生活自立支援事業の認知度×年齢別

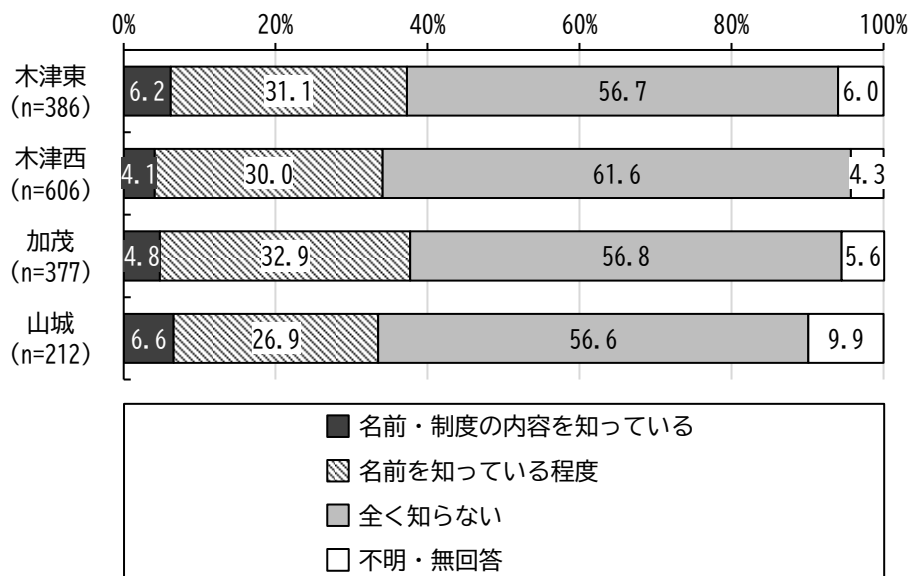
年齢別にみると、「全く知らない」がそれぞれ最も高くなっています。「名前・制度の内容を知っている」「名前を知っている程度」は年齢が上がるにつれて低くなっています。



日常生活自立支援事業の認知度×居住地区別

居住地区別にみると、いずれの地区においても「全く知らない」がそれぞれ最も高くなっています。

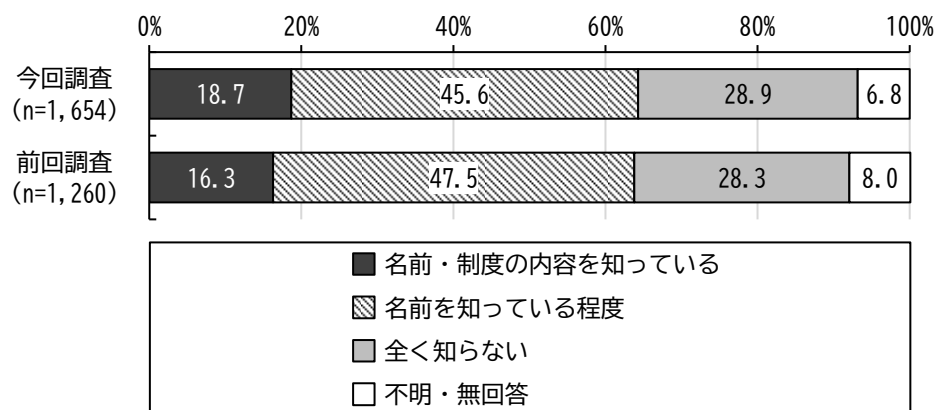
「名前・制度の内容を知っている」と「名前を知っている程度」を合算した割合は、加茂が37.7%と最も高く、次いで、木津東が37.3%、木津西が34.1%、山城が33.5%となっており、全体の36.0%と比較して山城ではやや少なくなっています。



②成年後見制度の認知度

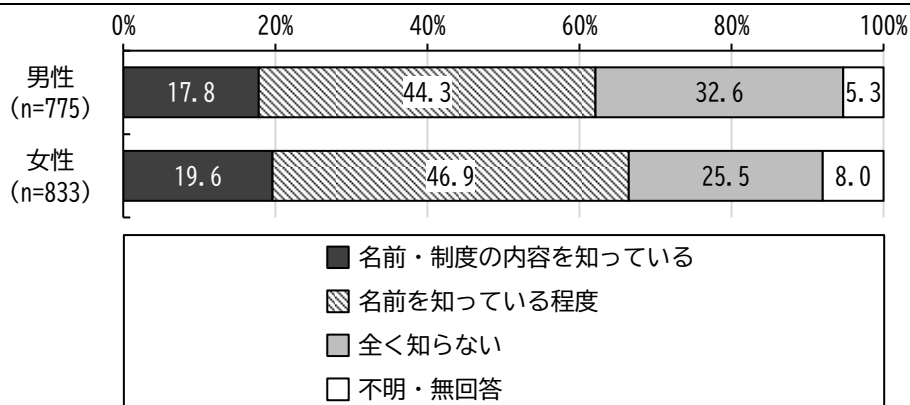
成年後見制度の認知度は、「名前・制度の内容を知っている」と「名前を知っている程度」を合わせた『知っている』が合計 64.3%、「全く知らない」が 28.9%となっています。

前回調査に比べて、大きな差はみられません。



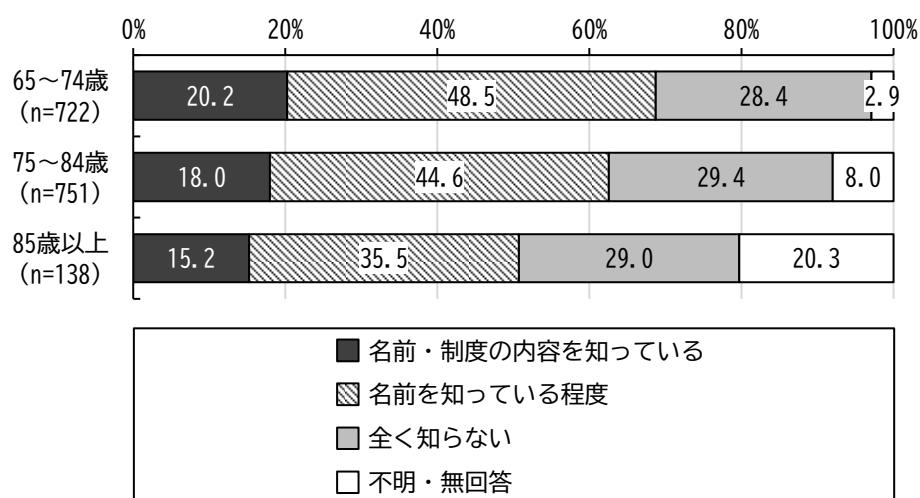
成年後見制度の認知度×性別

性別にみると、男女ともに「名前を知っている程度」が最も高くなっていますが、男性では「全く知らない」が 32.6%と、女性に比べて 7.1 ポイント多くなっています。



成年後見制度の認知度×年齢別

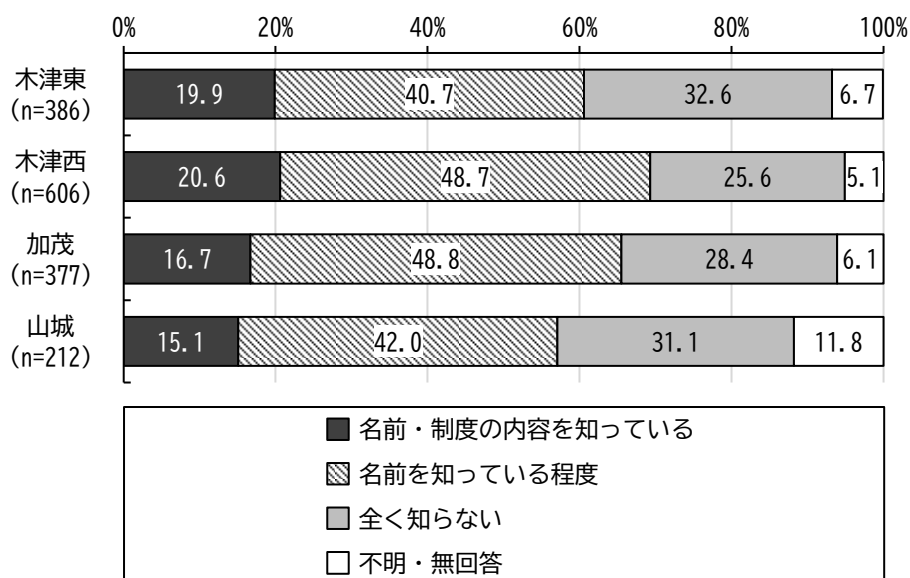
年齢別にみると、「名前・制度の内容を知っている」と「名前を知っている程度」を合わせた『知っている』は、65～74歳が68.7%、75～84歳が62.6%、85歳以上が50.7%と、年齢が上がるにつれて少なくなっています。



成年後見制度の認知度×居住地区別

居住地区別にみると、すべての地区で「名前を知っている程度」が最も高くなっています。

「名前・制度の内容を知っている」と「名前を知っている程度」を合算した割合は、木津西が69.3%と最も高く、次いで、加茂が65.5%、木津東が60.6%、山城が57.1%となっています。全体の64.3%と比較して、木津西ではやや高くなっている一方、山城では7.2ポイント低くなっており、地区間で差がみられます。

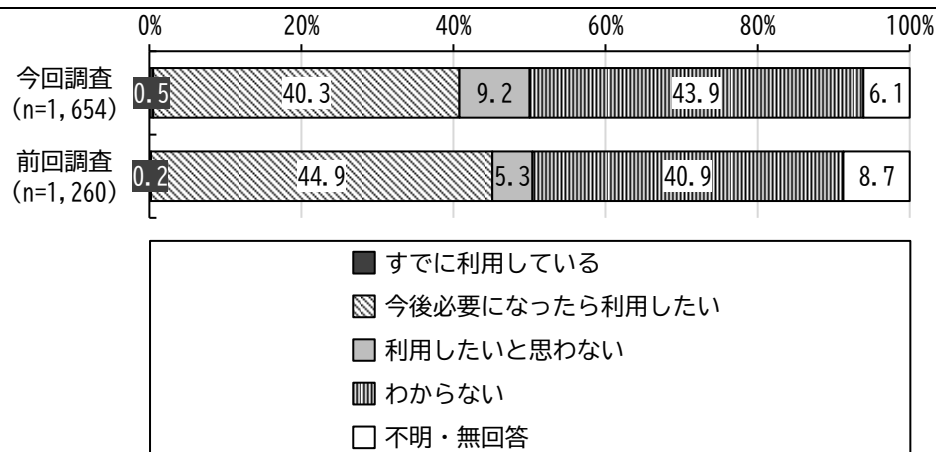


(6-2) 次の事業や制度を利用したいと思いますか（それぞれ○は1つ）

①日常生活自立支援事業の利用意向

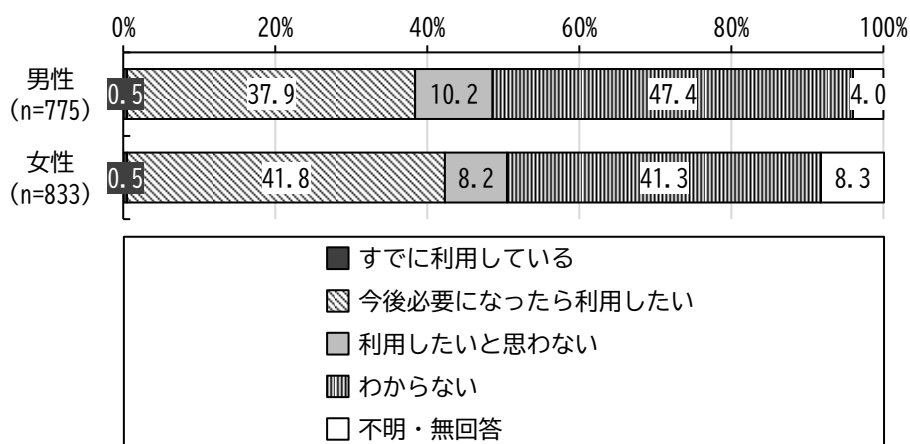
日常生活自立支援事業の利用意向は、「わからない」が43.9%と最も高く、次いで、「今後必要になったら利用したい」が40.3%、「利用したいと思わない」が9.2%となっています。

前回調査に比べて「利用したいと思わない」が3.9ポイント増加しており、有意な差がみられます。一方、「今後必要になったら利用したい」が4.6ポイント減少、「わからない」が3.0ポイント増加していますが、統計的には有意な差はみられません。



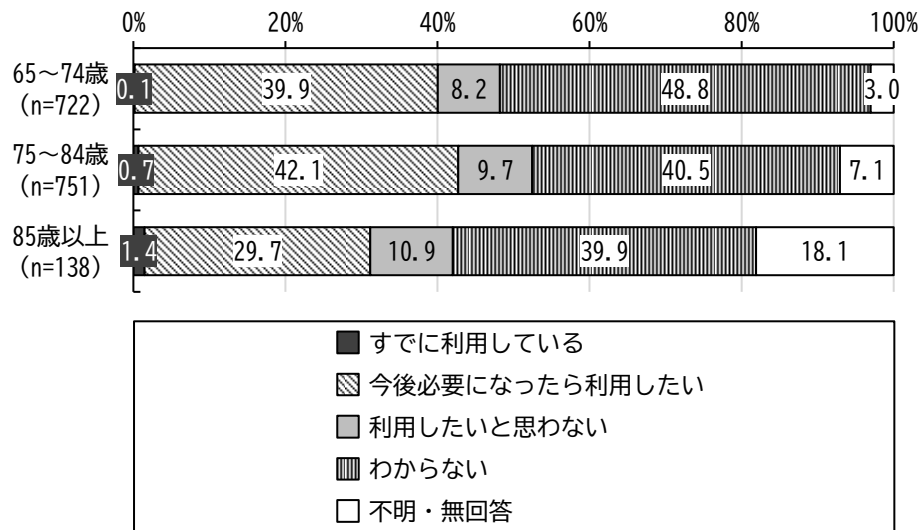
日常生活自立支援事業の利用意向×性別

性別にみると、男性では「わからない」が47.4%と最も高く、女性では「今後必要になったら利用したい」が41.8%と最も高くなっています。



日常生活自立支援事業の利用意向×年齢別

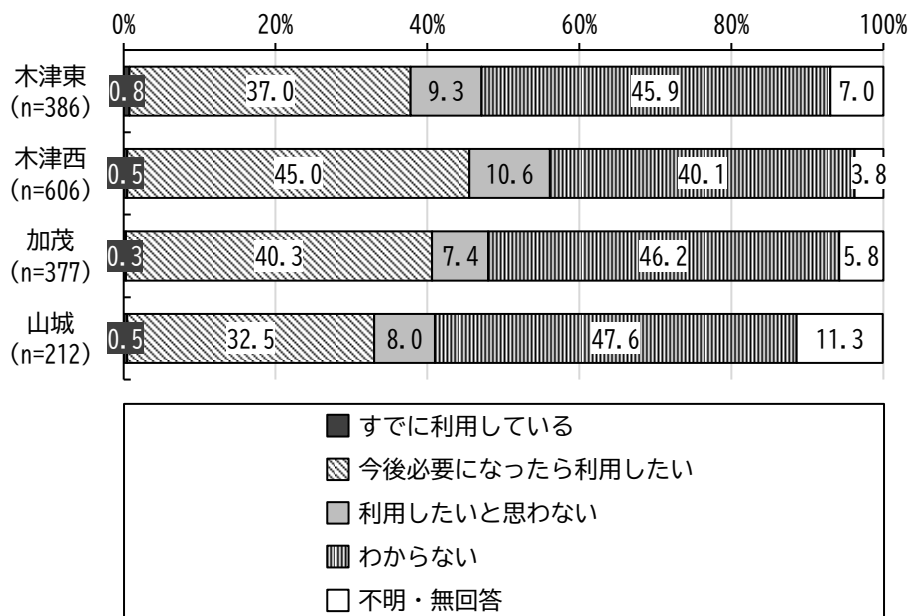
年齢別にみると、65～74歳、85歳以上では「わからない」が最も高くなっていますが、75～84歳では「今後必要になったら利用したい」が42.1%と最も高くなっています。



日常生活自立支援事業の利用意向×居住地区別

居住地区別にみると、山城、加茂、木津東では「わからない」が最も高くなっていますが、木津西では「今後必要になったら利用したい」が45.0%と最も高くなっています。

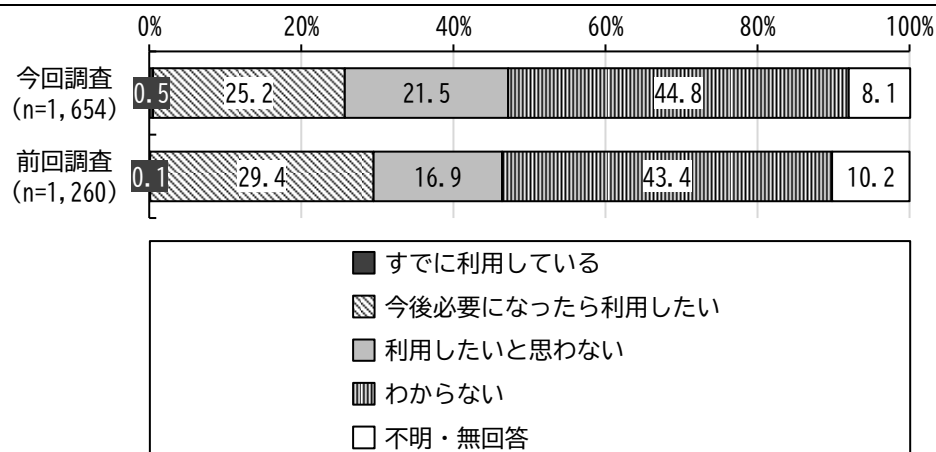
「すでに利用している」と「今後必要になったら利用したい」を合算した割合は、木津西が45.5%と最も高く、次いで、加茂が40.6%、木津東が37.8%、山城が33.0%となっています。全体の40.8%と比較して、木津西ではやや高くなっている一方、山城では7.8ポイント低くなっており、地区間で差がみられます。



②成年後見制度の利用意向

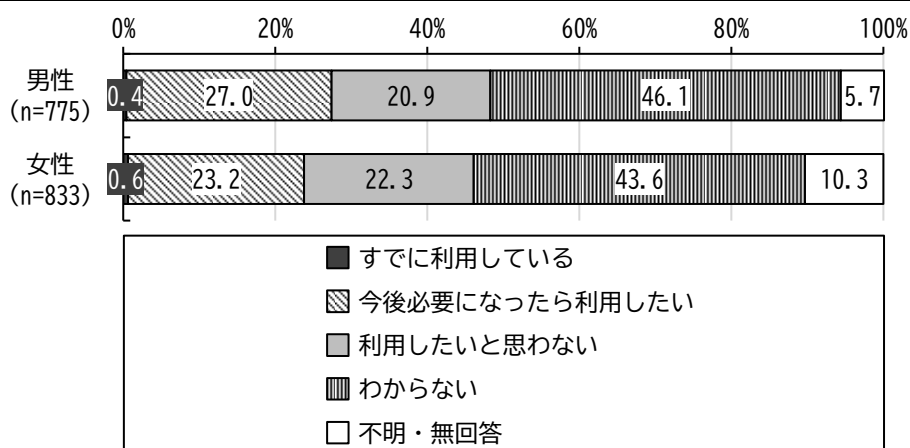
成年後見制度の利用意向は、「わからない」が44.8%と最も高く、次いで、「今後必要になったら利用したい」が25.2%、「利用したいと思わない」が21.5%となっています。

前回調査に比べて「利用したいと思わない」が4.6ポイント増加しており、有意な差がみられます。一方、「今後必要になったら利用したい」が4.2ポイント減少していますが、統計的には有意な差はみられません。



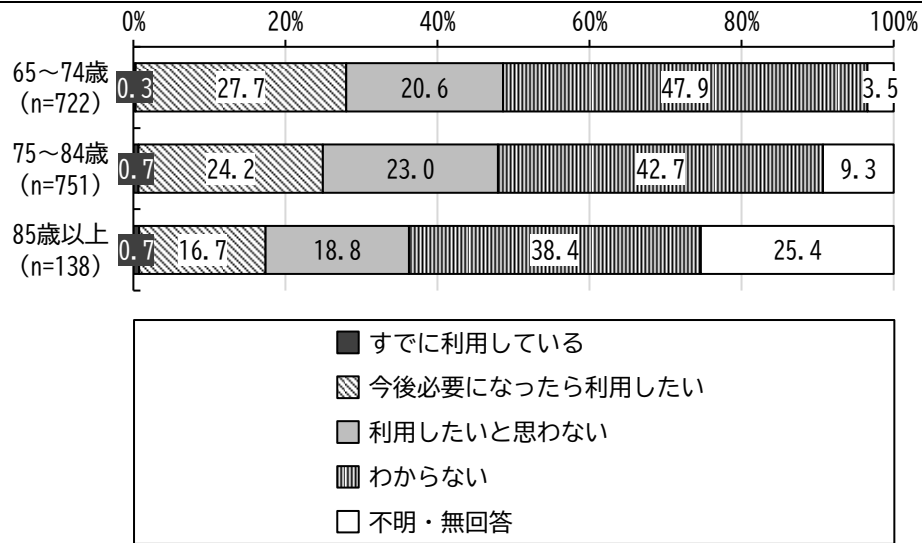
成年後見制度の利用意向×性別

性別にみると、「わからない」がそれぞれ最も高く、「すでに利用している」と「今後必要になったら利用したい」を合算した割合は、男性が3.6ポイント高くなっています。



成年後見制度の利用意向×年齢別

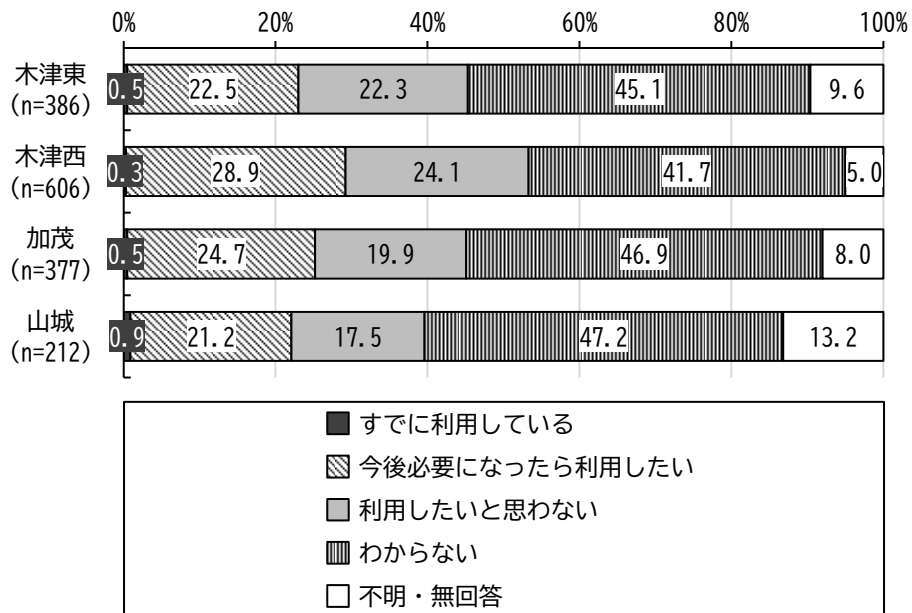
年齢別にみると、「わからない」がそれぞれ最も高くなっており、「すでに利用している」と「今後必要になったら利用したい」を合算した割合は年齢が上がるにつれて少なくなっています。



成年後見制度の利用意向×居住地区別

居住地区別にみると、「わからない」がそれぞれ最も高くなっています。

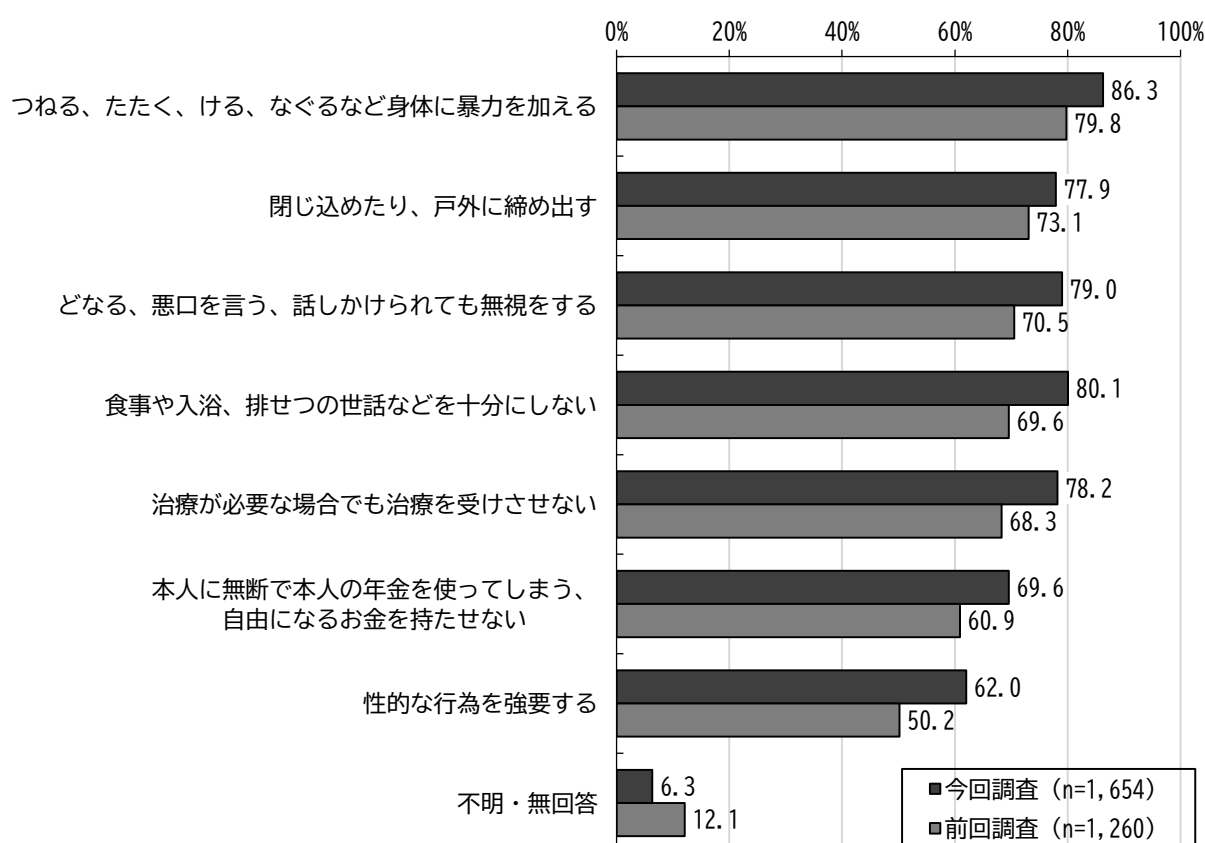
「すでに利用している」と「今後必要になったら利用したい」を合算した割合は、木津西が29.2%と最も高く、次いで、加茂が25.2%、木津東が23.0%、山城が22.1%となっています。全体の25.7%と比較して、木津西ではやや高くなっている一方、山城ではやや低くなっています。



(7) あなたが高齢者への虐待だと思う行為はどれですか（○はいくつでも）

高齢者への虐待だと思う行為は、「つねる、たたく、ける、なぐるなど身体に暴力を加える」が86.3%と最も高く、次いで、「食事や入浴、排せつの世話などを十分にしない」が80.1%、「どなる、悪口を言う、話しかけられても無視をする」が79.0%となっています。

前回調査に比べて、「性的な行為を強要する」が11.8ポイント、「食事や入浴、排せつの世話などを十分にしない」が10.5ポイント、「治療が必要な場合でも治療を受けさせない」が9.9ポイント、「本人に無断で本人の年金を使ってしまう、自由になるお金を持たせない」が8.7ポイント、「どなる、悪口を言う、話しかけられても無視をする」が8.5ポイント増加しており、それぞれ有意な差がみられます。また、「閉じ込めたり、戸外に締め出す」が4.8ポイント増加していますが、統計的には有意な差はみられません。



高齢者虐待と思う行為×性別・年齢別

性別にみると、「つねる、たたく、ける、なぐるなど身体に暴力を加える」がそれぞれ最も高く、女性では「性的な行為を強要する」「本人に無断で本人の年金を使ってしまう、自由になるお金を持たせない」「食事や入浴、排せつの世話などを十分にしない」が男性に比べてそれぞれ 11.6 ポイント、8.0 ポイント、7.4 ポイント多くなっています。

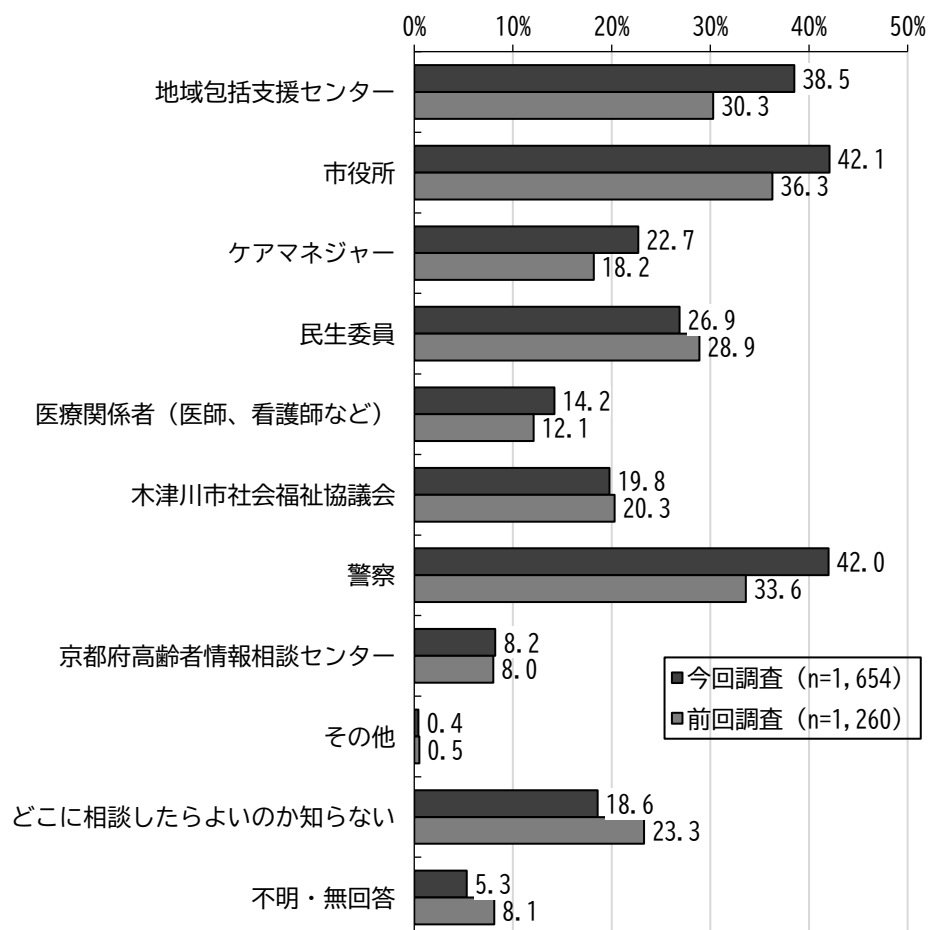
年齢別にみると、「つねる、たたく、ける、なぐるなど身体に暴力を加える」「性的な行為を強要する」「閉じ込めたり、戸外に締め出す」「治療が必要な場合でも治療を受けさせない」「本人に無断で本人の年金を使ってしまう、自由になるお金を持たせない」はいずれも年齢が上がるにつれて少なくなっています。

	単位：％	加な えぬ る、 た た く、 け る、 な ぐ る な ど 身 体 に 暴 力 を	め閉 出じ す込 め た り、 戸 外 に 締 め る	るし か け ら れ て も 悪 口 を 言 う、 話 す	話食 事 な ど を 入 浴、 排 せ つ の 世 話 を し な い	療治 療 が 必 要 な 場 合 で も 治 療 を 受 け さ せ な い	なを 使 つ て し ま う、 自 由 に な る お 金 を 持 た せ な い	性的 な 行 為 を 強 要 す る	不 明 ・ 無 回 答
	今回調査 (n=1,654)	86.3	77.9	79.0	80.1	78.2	69.6	62.0	6.3
性別	男性 (n=775)	84.0	75.2	78.7	76.5	75.7	65.5	56.3	5.9
	女性 (n=833)	88.7	81.0	80.0	83.9	80.8	73.5	67.9	6.5
年齢	65～74歳 (n=722)	92.0	85.5	85.2	86.8	84.9	76.6	72.7	2.6
	75～84歳 (n=751)	83.9	74.0	75.8	76.3	74.7	65.1	55.8	7.9
	85歳以上 (n=138)	71.0	62.3	67.4	68.1	63.8	57.2	42.8	16.7

(8) 高齢者の虐待に関する相談先として、どんなところを知っていますか (〇はいくつでも)

高齢者の虐待に関する相談先の認知度は、「市役所」が42.1%と最も高く、次いで、「警察」が42.0%、「地域包括支援センター」が38.5%となっています。

前回調査に比べて、「警察」が8.4ポイント、「地域包括支援センター」が8.2ポイント、「市役所」が5.8ポイント増加しており、それぞれ有意な差がみられます。また、「ケアマネジャー」が4.5ポイント増加し、「どこに相談したらよいのか知らない」が4.7ポイント減少していますが、いずれも統計的には有意な差はみられません。



高齢者虐待に関して知っている相談先×性別・年齢別・居住地区別

性別にみると、男性は「市役所」、女性は「地域包括支援センター」が最も高くなっており、男性では「市役所」「どこに相談したらよいのか知らない」が女性に比べてそれぞれ5.1ポイント、4.9ポイント多くなっています。一方、女性では「地域包括支援センター」「ケアマネジャー」が男性に比べてそれぞれ13.0ポイント、7.2ポイント多くなっています

年齢別にみると、65～74歳では「警察」が、75～84歳では「市役所」が、85歳以上では「地域包括支援センター」がそれぞれ最も高くなっています。また、「市役所」「警察」は年齢が上がるにつれて少なくなっています。

居住地区別にみると、木津東では「市役所」、木津西、山城では「警察」、加茂では「地域包括支援センター」がそれぞれ最も高くなっています。なかでも、木津東では「警察」が37.0%と全体に比べて5.0ポイント低くなっています。また、加茂では「地域包括支援センター」が43.8%と全体に比べて5.3ポイント高くなっています。

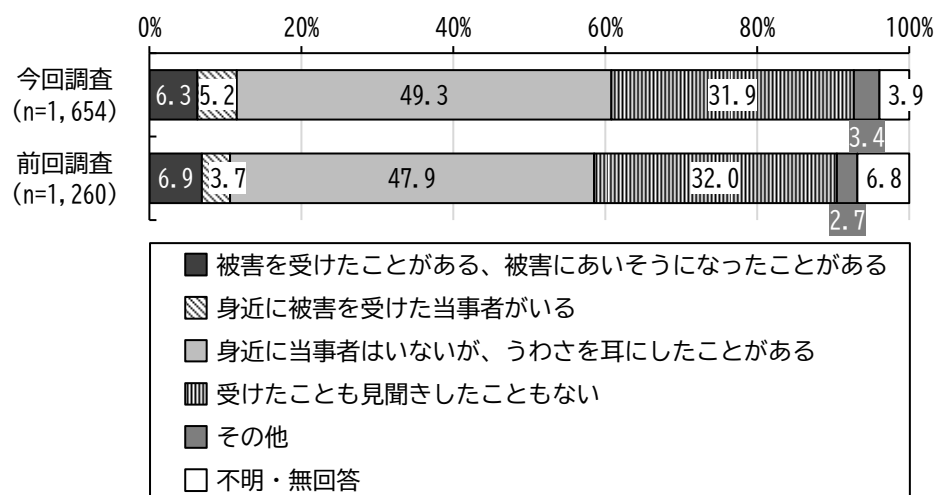
認定状況別にみると、介護認定を受けていない高齢者では「市役所」「警察」が要支援1・2と比べて、それぞれ18.3ポイント、11.0ポイント多くなっています。一方、要支援1・2では「ケアマネジャー」「地域包括支援センター」が介護認定を受けていない高齢者と比べて、それぞれ21.5ポイント、15.5ポイント多くなっています。

	単位：％	地域包括支援センター	市役所	ケアマネジャー	民生委員	医師・看護師関係者（医療関係者など）	協議会	木津川市社会福祉	警察	相談センター・高齢者情報	京都府高年齢者情報	その他	よいのか相談しないう	不明・無回答
	今回調査 (n=1,654)	38.5	42.1	22.7	26.9	14.2	19.8	42.0	8.2	0.4	18.6	5.3		
性別	男性 (n=775)	31.5	44.5	19.0	23.2	11.9	19.4	43.6	5.3	0.4	21.3	4.5		
	女性 (n=833)	44.5	39.4	26.2	30.0	16.4	20.0	40.9	10.8	0.4	16.4	5.9		
年齢	65～74歳 (n=722)	40.6	47.0	25.3	24.9	14.4	19.5	47.5	7.1	0.3	18.3	2.4		
	75～84歳 (n=751)	36.5	39.3	19.6	28.2	12.9	19.4	38.5	10.1	0.4	18.8	6.8		
	85歳以上 (n=138)	37.0	29.0	26.1	29.0	20.3	21.7	34.8	2.9	0.7	21.0	11.6		
居住地区	木津東 (n=386)	39.1	44.0	23.1	23.3	14.5	17.1	37.0	5.2	0.5	21.0	4.7		
	木津西 (n=606)	35.1	43.6	21.8	24.3	11.9	19.1	46.2	8.6	0.3	18.6	4.3		
	加茂 (n=377)	43.8	42.2	21.5	32.4	16.7	24.7	42.4	9.3	0.5	16.7	4.8		
	山城 (n=212)	36.8	33.5	25.9	29.2	17.0	18.4	40.1	10.4	0.0	18.4	9.4		
認定状況	要支援1・2 (n=100)	53.0	25.0	43.0	27.0	21.0	21.0	32.0	5.0	1.0	16.0	12.0		
	認定を受けていない (n=1,480)	37.5	43.3	21.5	26.9	13.7	19.9	43.0	8.4	0.3	19.1	4.5		

(9) あなたは、振り込め詐欺をはじめとする悪質商法の被害にあった経験や見聞きしたことがありますか (○は1つ)

特殊詐欺等の被害経験は、「身近に当事者はいないが、うわさを耳にしたことがある」が49.3%と最も高く、次いで、「受けたことも見聞きしたこともない」が31.9%、「被害を受けたことがある、被害にあいそうになったことがある」が6.3%となっています。

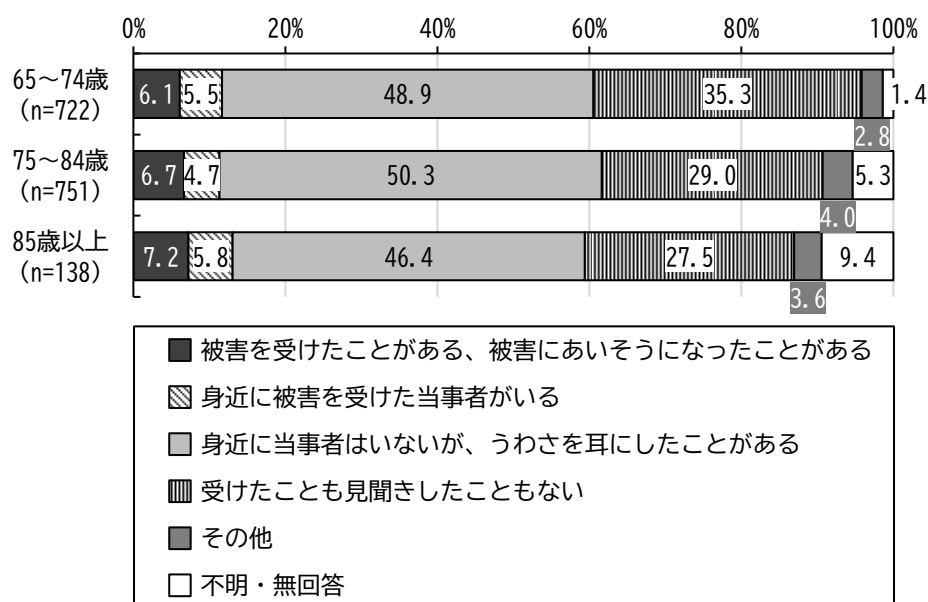
前回調査と同様の傾向となっています。



特殊詐欺等の被害経験×年齢別

年齢別にみると、いずれの年齢層でも「身近に当事者はいないが、うわさを耳にしたことがある」が最も高く、65～74歳が48.9%、75～84歳が50.3%、85歳以上が46.4%となっています。

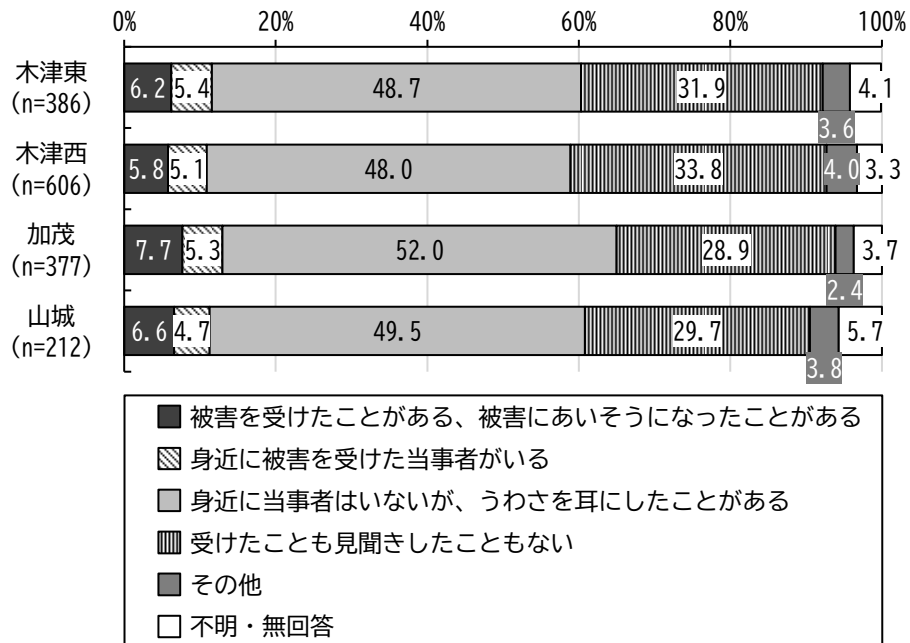
また、「受けたことも見聞きしたこともない」は年齢が上がるにつれて少なくなっています。



特殊詐欺等の被害経験×居住地区別

居住地区別にみると、いずれの地区でも「身近に当事者はいないが、うわさを耳にしたことがある」が高くなっています。

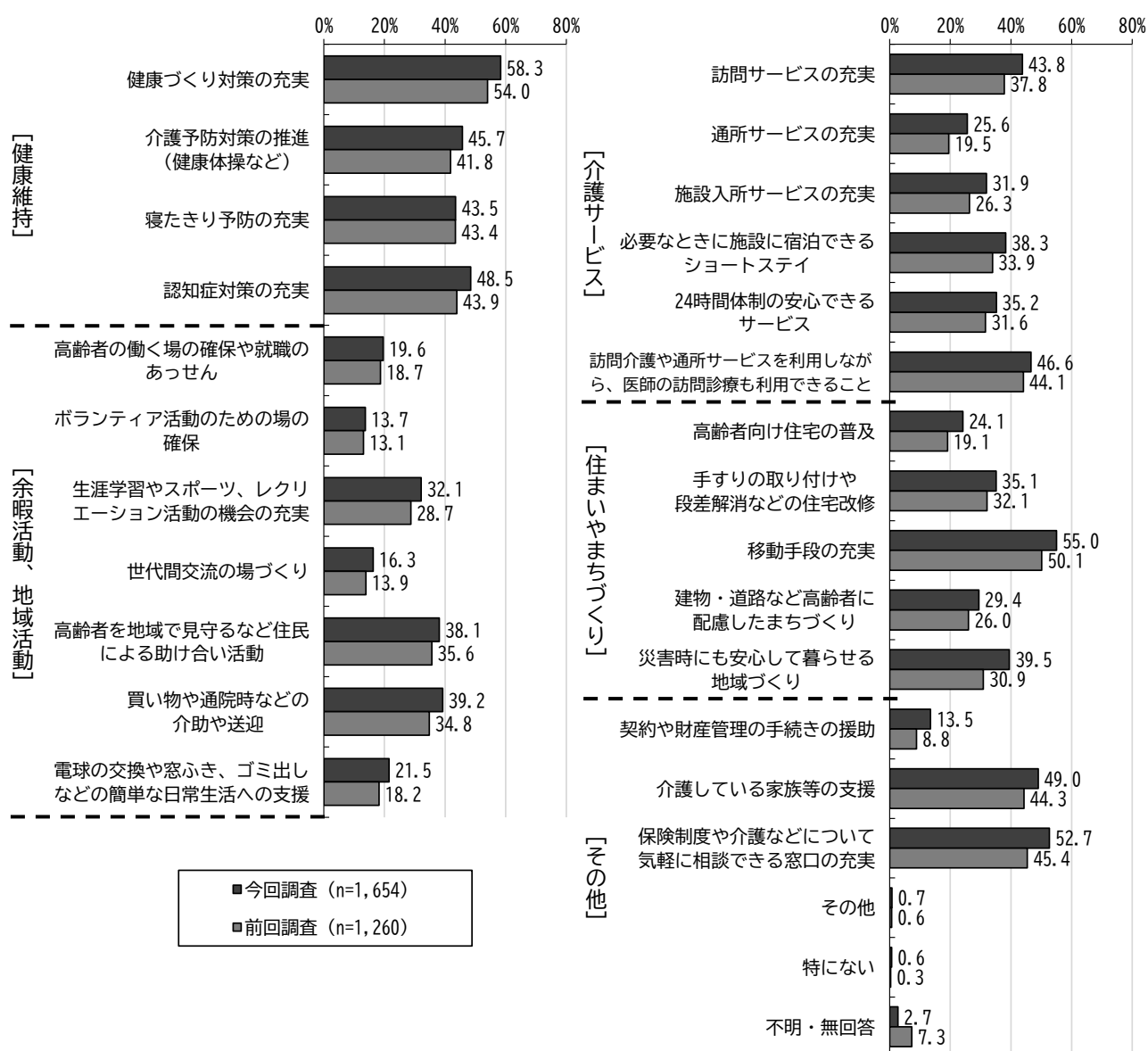
全体の「身近に当事者はいないが、うわさを耳にしたことがある」49.3%と比較して、加茂では 52.0%とやや高くなっています。



(10) 高齢者が身近な地域や自宅での生活を続けていくために、どのような支援や施策の拡充が重要とお考えですか（〇はいくつでも）

高齢者が住み慣れた地域で生活するために重要と考える支援や施策は、「健康づくり対策の充実」が58.3%と最も高く、次いで、「移動手段の充実」が55.0%、「保険制度や介護などについて気軽に相談できる窓口の充実」が52.7%となっています。

前回調査に比べて、「災害時にも安心して暮らせる地域づくり」が8.6ポイント、「保険制度や介護などについて気軽に相談できる窓口の充実」が7.3ポイント、「通所サービスの充実」が6.1ポイント、「訪問サービスの充実」が6.0ポイント、「施設入所サービスの充実」が5.6ポイント、「高齢者向け住宅の普及」が5.0ポイント増加しており、それぞれ有意な差がみられます。



高齢者が自宅での生活をつづけるために重要と考える支援や施策×性別・年齢別・認定状況別

性別にみると、男性は「健康づくり対策の充実」、女性は「移動手段の充実」が最も高くなっています。男性では「訪問サービスの充実」「高齢者の働く場の確保や就職のあっせん」が女性に比べてそれぞれ6.2ポイント、6.1ポイント多くなっています。一方、女性では「介護予防対策の推進（健康体操など）」「寝たきり予防の充実」が男性に比べてそれぞれ8.9ポイント、8.7ポイント多くなっています。

年齢別にみると、65～84歳では「健康づくり対策の充実」が最も高くなっていますが、85歳以上では「訪問介護や通所サービスを利用しながら、医師の訪問診療も利用できること」が最も高くなっています。また、「高齢者の働く場の確保や就職のあっせん」「介護している家族等の支援」「移動手段の充実」は、いずれも年齢が上がるにつれて少なくなっています。

認定状況別にみると、介護認定を受けていない高齢者では「生涯学習やスポーツ、レクリエーション活動の機会の充実」「健康づくり対策の充実」が要支援1・2と比べて、それぞれ12.1ポイント、12.0ポイント多くなっています。一方、要支援1・2では「買い物や通院時などの介助や送迎」「通所サービスの充実」が介護認定を受けていない高齢者と比べて、それぞれ5.6ポイント、4.5ポイント多くなっています。

	単位：％	健康づくり対策の充実	介護予防対策の推進（健康体操など）	寝たきり予防の充実	認知症対策の充実	高齢者の働く場の確保や就職のあっせん	ボランティア活動のための場の確保	生涯学習やスポーツ、レクリエーション活動の機会の充実	世代間交流の場づくり	高齢者を地域で見守るなど住民による助け合い活動	買い物や通院時などの介助や送迎	電球の交換や窓ふき、ゴミ出しなどの簡単な日常生活への支援	訪問サービスの充実	通所サービスの充実	施設入所サービスの充実
	今回調査 (n=1,654)	58.3	45.7	43.5	48.5	19.6	13.7	32.1	16.3	38.1	39.2	21.5	43.8	25.6	31.9
性別	男性 (n=775)	58.8	41.3	39.1	48.3	22.7	15.1	31.6	15.0	36.1	35.7	18.5	47.0	23.5	32.6
	女性 (n=833)	57.5	50.2	47.8	48.6	16.6	12.2	33.0	17.9	39.4	43.0	24.5	40.8	27.9	31.2
年齢	65～74歳 (n=722)	62.9	47.4	44.7	51.5	28.3	17.6	35.7	17.7	35.6	39.8	22.0	47.5	30.7	37.1
	75～84歳 (n=751)	56.6	46.5	42.6	46.3	13.2	11.5	31.2	15.3	39.5	38.3	21.3	42.1	21.8	28.4
	85歳以上 (n=138)	42.0	35.5	43.5	43.5	8.0	5.1	21.7	15.9	39.9	44.2	20.3	33.3	20.3	23.9
認定状況	要支援1・2 (n=100)	47.0	47.0	46.0	45.0	11.0	6.0	21.0	17.0	37.0	45.0	24.0	42.0	30.0	30.0
	認定を受けていない (n=1,480)	59.0	46.1	43.4	48.7	20.3	14.3	33.1	16.4	38.4	39.4	21.8	44.3	25.5	32.0

Ⅱ 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査結果

	単位：％	必要とときに施設に宿泊できる ショートステイ	24時間体制の安心できるサ ービス	訪問介護や通所サービスを利用 しながら、医師の訪問診療も利用 できること	高齢者向け住宅の普及	手すりの取り付けや段差解消な どの住宅改修	移動手段の充実	建物・道路など高齢者に配慮し たまちづくり	災害時にも安心して暮らせる地 域づくり	契約や財産管理の手続きの援助	介護している家族等の支援	保険制度や介護などについて気 軽に相談できる窓口の充実	その他	特にな い	不明・無回 答
	今回調査 (n=1,654)	38.3	35.2	46.6	24.1	35.1	55.0	29.4	39.5	13.5	49.0	52.7	0.7	0.6	2.7
性別	男性 (n=775)	34.2	36.1	42.3	23.4	33.8	52.1	30.6	35.5	16.5	49.0	49.7	0.9	0.9	3.0
	女性 (n=833)	42.0	35.1	50.9	24.7	36.3	57.9	28.5	43.6	10.7	48.9	56.5	0.6	0.4	2.4
年齢	65～74歳 (n=722)	42.1	41.8	45.4	29.8	37.5	56.8	32.7	38.0	17.7	55.7	54.0	0.7	0.8	1.0
	75～84歳 (n=751)	35.4	31.2	47.8	19.6	32.8	55.9	26.1	41.7	10.4	44.2	55.4	0.8	0.3	2.8
	85歳以上 (n=138)	34.8	26.8	47.1	18.1	35.5	41.3	31.2	38.4	8.0	39.9	37.0	0.7	1.4	10.9
認定 状況	要支援1・2 (n=100)	40.0	31.0	48.0	23.0	36.0	53.0	27.0	34.0	9.0	45.0	47.0	0.0	0.0	5.0
	認定を受けて いない (n=1,480)	38.6	35.8	46.8	24.4	35.1	55.5	29.8	39.9	13.9	49.6	54.0	0.8	0.7	2.4

最後に、介護保険や高齢者施策の推進、暮らしやすい地域づくりなどについて、ご意見やご要望などがございましたら、ご記入ください

◇計 195 件（のべ 243 件）のご意見をいただきました。主な内容は以下のとおりです。

自由回答（ご意見・ご要望）の主な内容	
■介護保険制度・介護サービスについて	72 件
・介護施設の増設・入所待ちの解消、希望すればすぐに入所できるようにしてほしい	(21 件)
・訪問介護や配食サービスの回数を増やしてほしい、家族が看られない時に短期間預けられる施設がほしい	(15 件)
・介護保険料が高い、引き下げてほしい	(13 件)
・介護保険制度について説明や情報提供がほしい、手続きの仕方がわからない	(10 件)
・年金の範囲で入所できる低料金の施設を増やしてほしい	(9 件)
・介護職員の人手不足への対応、スタッフの待遇改善や質の向上を図ってほしい	(4 件)
■行政へのご意見・ご要望	49 件
・子育て支援だけでなく高齢者にも目を向けてほしい、高齢者がもっと大切にされる施策を実施してほしい	(13 件)
・年金だけでは生活が苦しい、医療費の負担を軽くしてほしい	(10 件)
・介護に関する制度やサービスを知らないことが多い、わかりやすく広報してほしい	(7 件)
・地域の医療機関が閉院しており通院先に困っている、医療機関を紹介してほしい	(3 件)
・その他（空き家対策、防災無線が聞こえない、道路を歩きやすくしてほしい、敬老事業を復活してほしい など）	(16 件)
■バスやタクシーなど移動手段の充実、交通機関の無料化など	32 件
・バス路線の維持・本数の増加（日曜・祝日や特定時間帯の運行）や、高齢者向けの運賃割引・無償化（100 円バスの継続・拡充、75 歳以上の優遇など）をしてほしい	(15 件)
・運転免許返納後の移動手段の確保が不安、通院・外出のためのタクシー補助や移送サービスを充実してほしい	(9 件)
・その他（駅・道路のバリアフリー整備、交通不便な地域格差の解消 など）	(8 件)
■高齢者施策について	40 件
・体操教室やリハビリ教室の継続、近くに高齢者が気軽に集えるサロンを設けてほしい	(13 件)
・困った時にどこに連絡すればよいかわからない、相談窓口の一覧を配布してほしい	(12 件)
・その他（認知症の方が暴れた時の対応を教えてほしい、成年後見制度を市で紹介してほしい、介護予防への取組を推進してほしい など）	(10 件)
・一人暮らし高齢者の孤独死を防ぐため、安否確認の仕組みを作してほしい	(5 件)
■健康面の不安、または介護が必要にならないよう健康を維持したい	2 件
■地域活動、ご近所づきあいについて	15 件
・日頃の声かけ・あいさつ・安否確認の大切さを感じており、高齢者が気軽に助け合える仕組みや自治体からの働きかけを望む声が多い	(8 件)
・近所付き合いの希薄化・変化を懸念しており、自治会・地域コミュニティの活性化や集まれる場所づくりが必要	(4 件)
・その他（高齢者同士の助け合いへの限界感、交流の場を充実してほしい など）	(3 件)
■その他のご意見	33 件
・アンケートについて（項目が多すぎる、結果と対策を公表してほしい、介護について考える契機になった など）	(19 件)
・その他	(14 件)

生活機能評価項目別のリスク判定

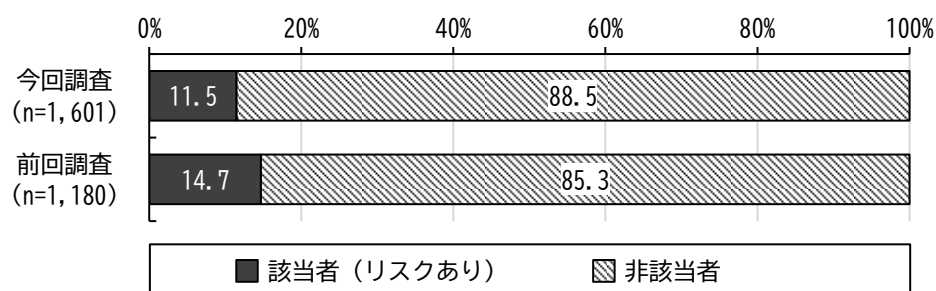
運動器機能の低下

高齢者の運動器機能に関するリスク判定は、以下の設問5問中3問以上に該当した場合に、運動器機能の低下と判定されます。

問番号	設問	リスク該当となる選択肢
問3（1）	階段を手すりや壁をつたわず昇れるか	「できない」
問3（2）	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がれるか	「できない」
問3（3）	15分位続けて歩けるか	「できない」
問3（4）	過去1年間に転んだ経験があるか	「何度もある」「1度ある」
問3（5）	転倒に対する不安は大きいのか	「とても不安である」「やや不安である」

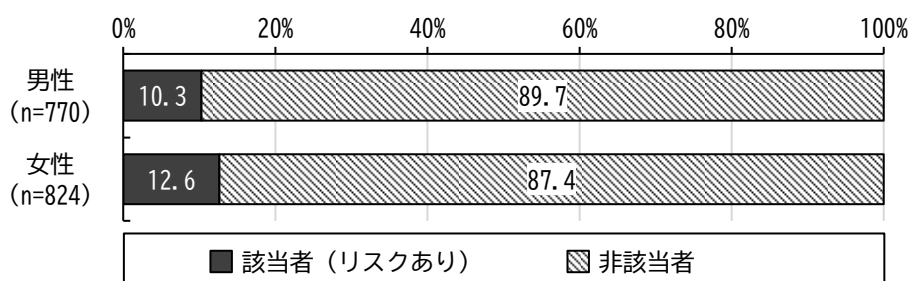
運動器機能の低下

運動器機能の低下は、「非該当者」が88.5%、「該当者（リスクあり）」が11.5%となっています。前回調査に比べて「非該当者」が3.2ポイント増加しており、有意な差がみられます。



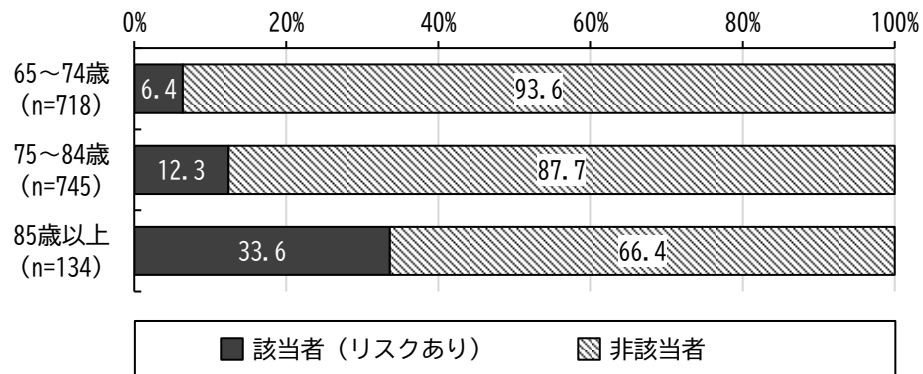
運動機能の低下×性別

性別にみると、男女ともに「非該当者」が高くなっており、男女での大きな差はみられません。



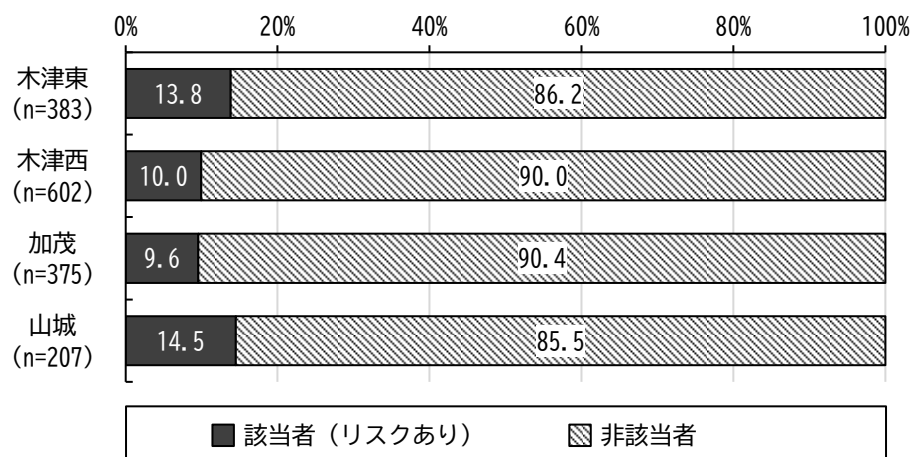
運動機能の低下×年齢別

年齢別にみると、年齢が上がるにつれて「非該当者」が低くなっています。



運動機能の低下×居住地区別

居住地区別にみると、いずれの地区でも「非該当者」が高くなっています。全体の「該当者 (リスクあり)」が 11.5% に対して、木津東、山城で全体に比べて高くなっており、一方木津西、加茂では全体に比べて低くなっています。



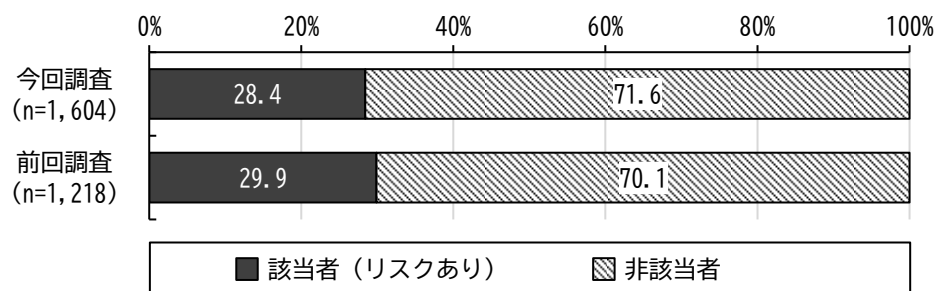
転倒リスク

高齢者の転倒に関するリスク判定は、以下の設問に該当した場合に、転倒のリスク該当者と判定されます。

問番号	設問	リスク該当となる選択肢
問3（4）	過去1年間に転んだ経験があるか	「何度もある」「1度ある」

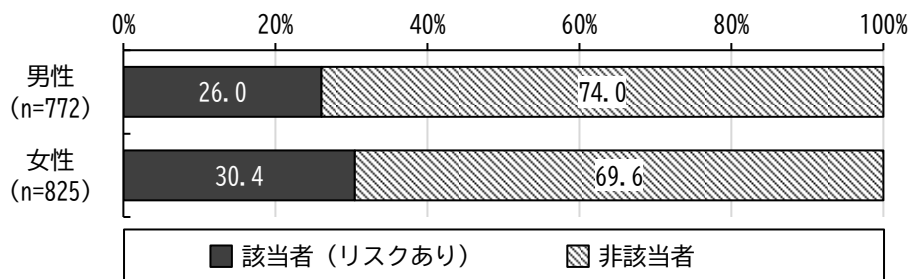
転倒リスク

転倒リスクは、「非該当者」が71.6%、「該当者（リスクあり）」が28.4%となっています。
前回調査と同様に「非該当者」の割合が高く、有意な差はみられません。



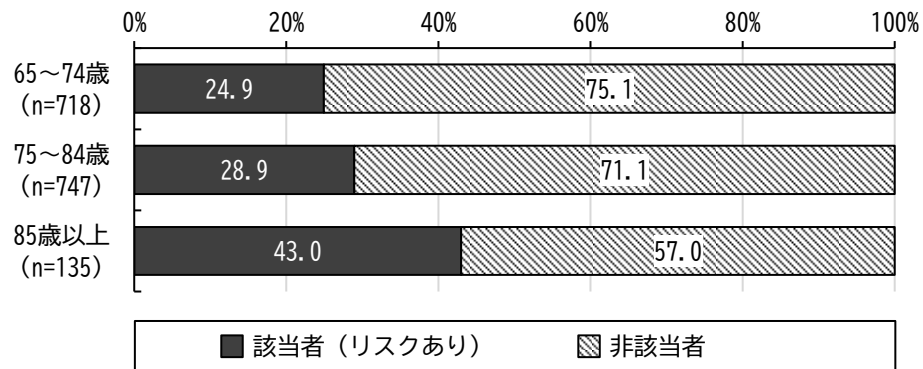
転倒リスク×性別

性別にみると、男女ともに「非該当者」が高くなっていますが、男性の方が女性に比べて「該当者（リスクあり）」が4.4ポイント少なくなっています。



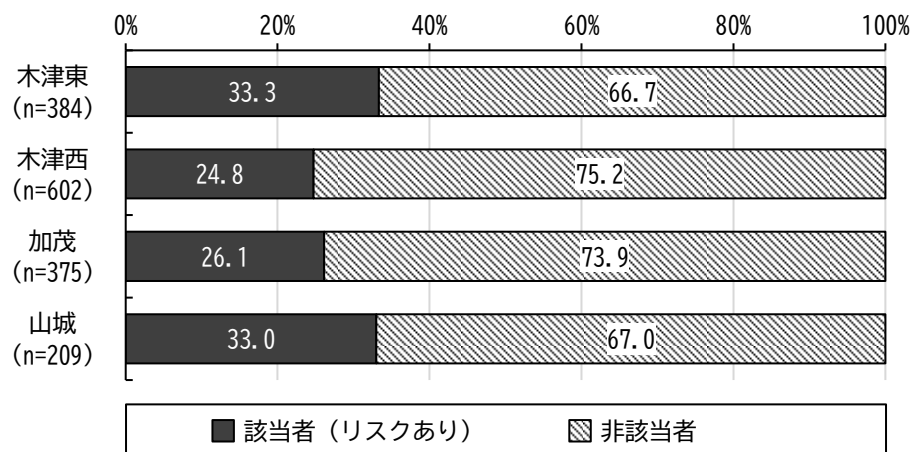
転倒リスク×年齢別

年齢別にみると、年齢が上がるにつれて「非該当者」が低くなっています。



転倒リスク×居住地区別

居住地区別にみると、いずれの地区でも「非該当者」が高くなっています。全体の「該当者（リスクあり）」が 28.4%に対して、木津東、山城で全体に比べて高くなっており、一方木津西、加茂では全体に比べて低くなっています。



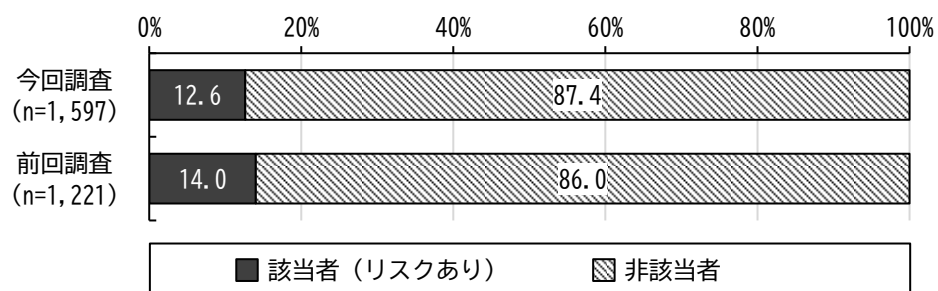
閉じこもり傾向

高齢者の閉じこもり傾向に関するリスク判定は、以下の設問に該当した場合に、閉じこもりのリスク該当者と判定されます。

問番号	設問	リスク該当となる選択肢
問2（7）	週に1回以上は外出しているか	「ほとんど外出しない」 「週1回」

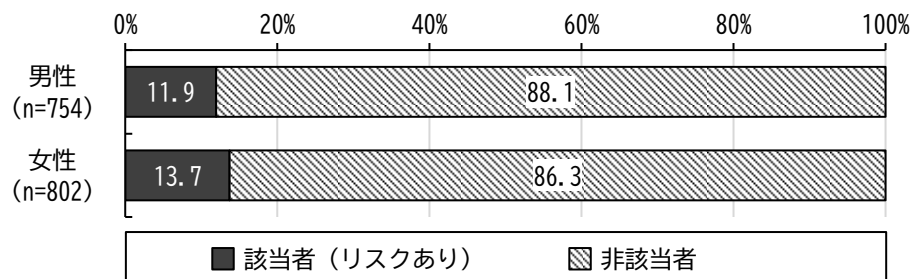
閉じこもり傾向

閉じこもり傾向は、「非該当者」が87.4%、「該当者（リスクあり）」が12.6%となっています。
前回調査に比べて有意な差はみられません。



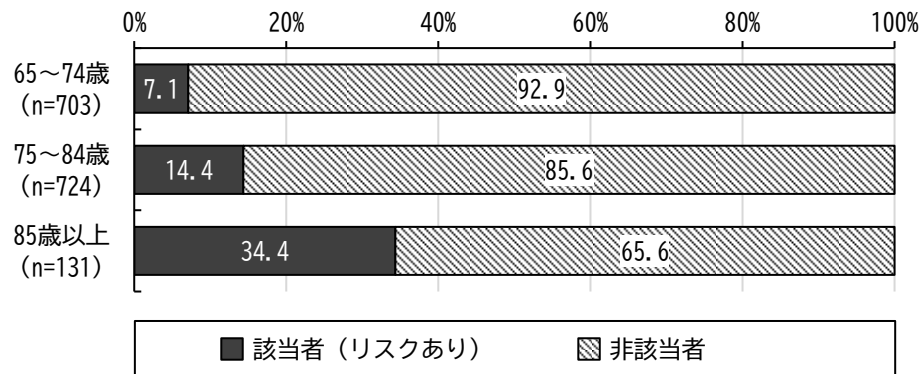
閉じこもり傾向×性別

性別にみると、男女ともに「非該当者」が高くなっており、男女での大きな差はみられません。



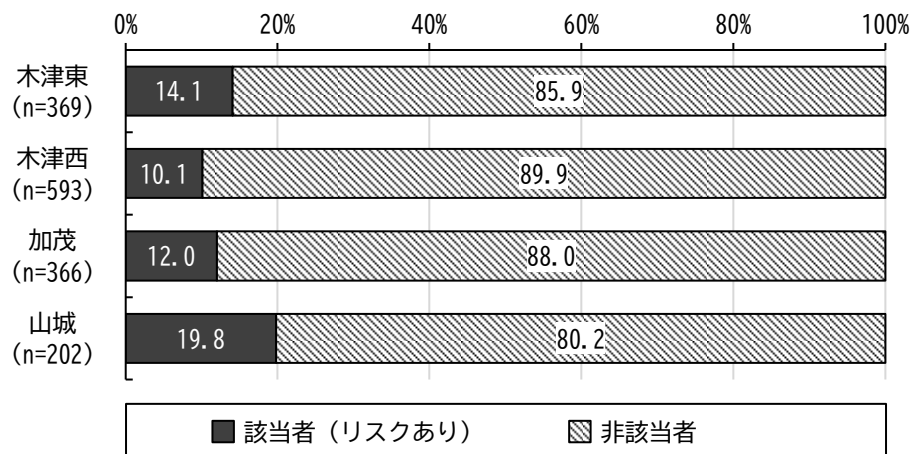
閉じこもり傾向×年齢別

年齢別にみると、年齢が上がるにつれて「非該当者」が低くなっています。



閉じこもり傾向×居住地区別

居住地区別にみると、いずれの地区でも「非該当者」が高くなっています。全体の「該当者 (リスクあり)」が 12.6% に対して、木津東、山城で全体に比べて高くなっており、一方木津西、加茂では全体に比べて低くなっています。



低栄養状態

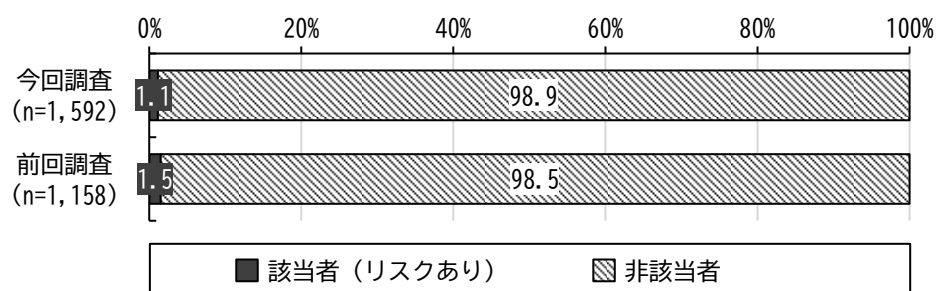
高齢者の栄養状態に関するリスク判定は、以下の設問2問中2問とも該当した場合に、栄養状態のリスク該当者と判定されます。

問番号	設問	リスク該当となる選択肢
問4（1）	身長(cm)、体重(kg)により算出 ※計算方法：BMI値＝体重(kg)÷（身長(m)） ²	BMI値<18.5 …「やせ」
問4（2）	6か月で2～3kg以上の体重減少があるか	「はい」

低栄養状態

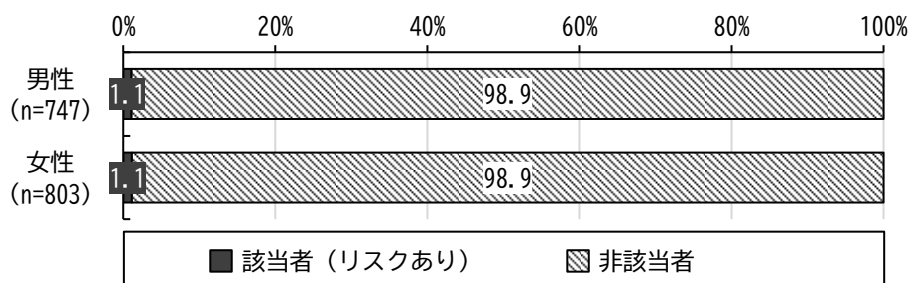
低栄養状態は、「非該当者」が98.9%、「該当者（リスクあり）」が1.1%となっています。

前回調査に比べて有意な差はみられません。



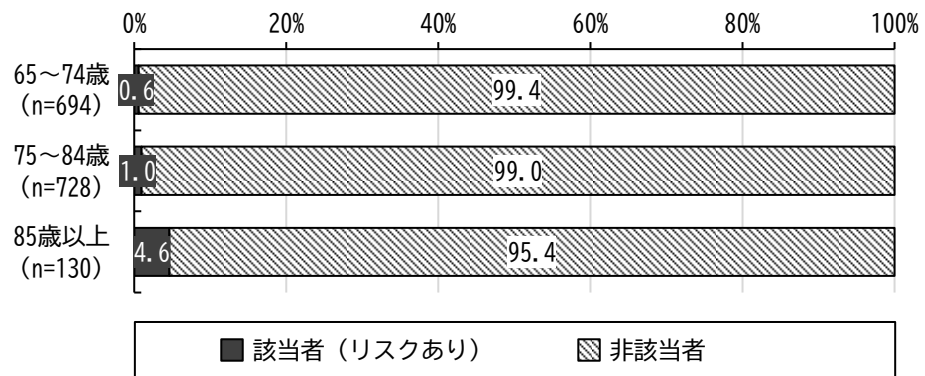
低栄養状態×性別

性別にみると、男女ともに「非該当者」が高くなっており、男女での大きな差はみられません。



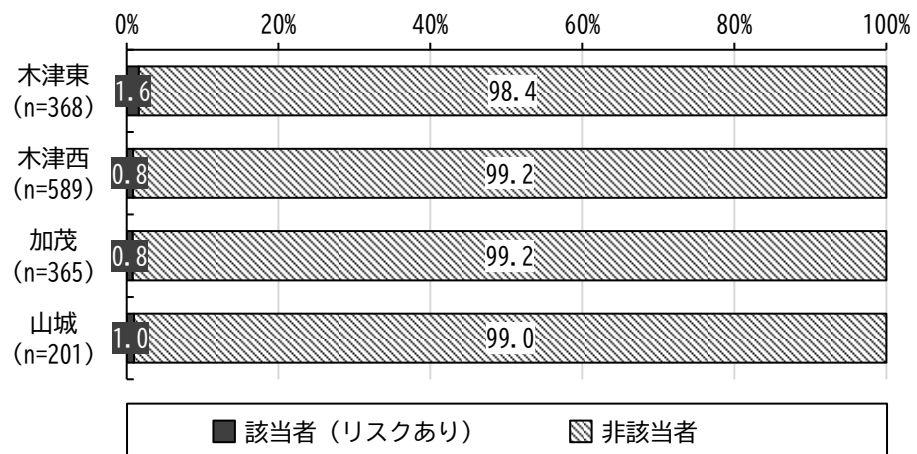
低栄養状態×年齢別

年齢別にみると、85歳以上では「該当者（リスクあり）」が4.6%と他の年齢層に比べて多くなっています。



低栄養状態×居住地区別

居住地区別にみると、いずれの地区でも「非該当者」が高くなっています。全体の「該当者（リスクあり）」が1.1%に対して、いずれの地区においても大きな差はみられません。



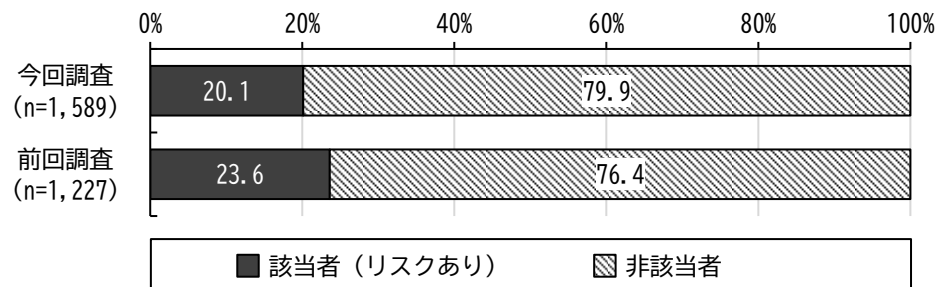
口腔機能に関するリスク

高齢者の口腔機能に関するリスク判定は、以下の設問3問中2問以上に該当した場合に、口腔機能の低下と判定されます。

問番号	設問	リスク該当となる選択肢
問4（3）	半年前に比べて固いものが食べにくくなったか	「はい」
問4（4）	お茶や汁物等でむせることがあるか	「はい」
問4（5）	口の渴きが気になるか	「はい」

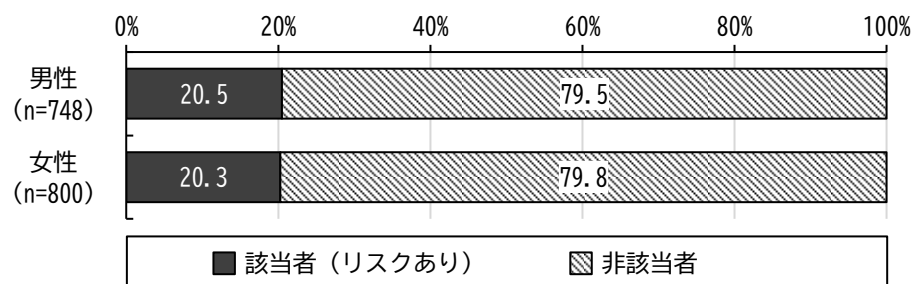
口腔機能の低下

口腔機能の低下は、「非該当者」が79.9%、「該当者（リスクあり）」が20.1%となっています。前回調査に比べて「非該当者」が3.5ポイント増加しており、有意な差がみられます。



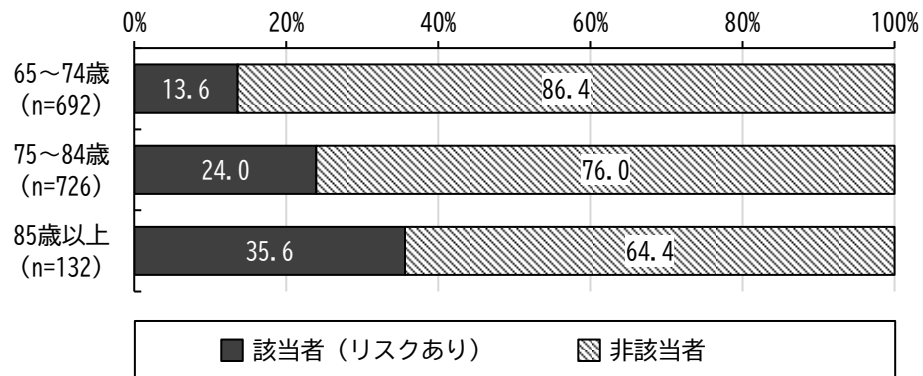
口腔機能の低下×性別

性別にみると、男女ともに「非該当者」が高くなっており、男女での大きな差はみられません。



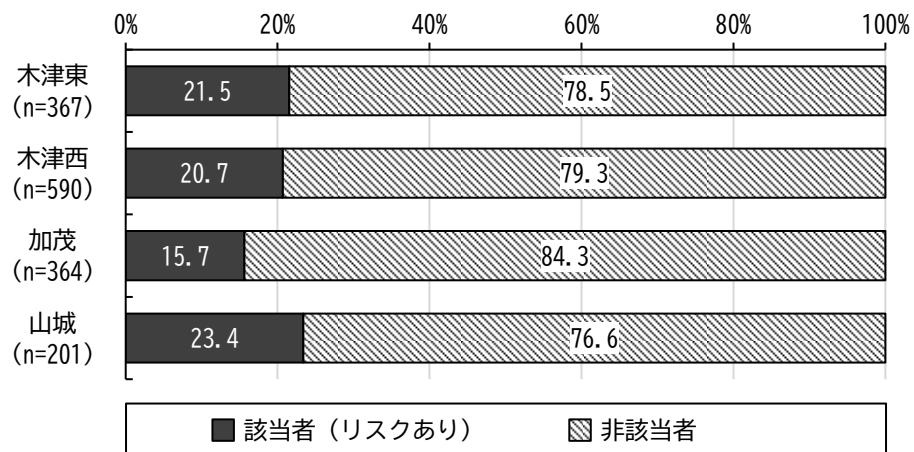
口腔機能の低下×年齢別

年齢別にみると、年齢が上がるにつれて「非該当者」が低くなっています。



口腔機能の低下×居住地区別

居住地区別にみると、いずれの地区でも「非該当者」が高くなっています。全体の「該当者 (リスクあり)」が 20.1%に対して、山城で全体に比べて高くなっており、一方加茂では全体に比べて低くなっています。



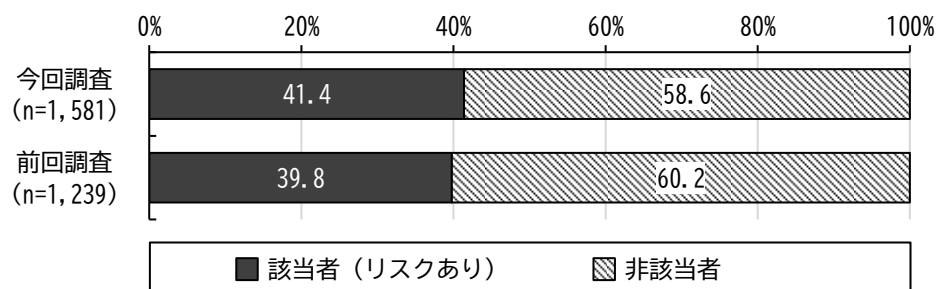
認知機能の低下

高齢者の認知機能に関するリスク判定は、以下の設問に該当した場合に、認知機能の低下と判定されます。

問番号	設問	リスク該当となる選択肢
問5（1）	物忘れが多いと感じるか	「はい」

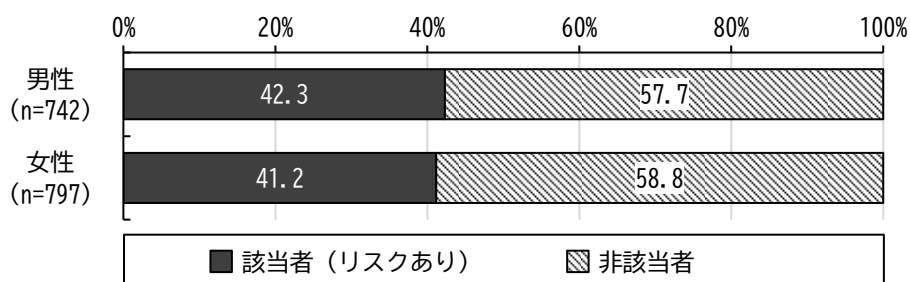
認知機能の低下

認知機能の低下は、「非該当者」が58.6%、「該当者（リスクあり）」が41.4%となっています。前回調査に比べて有意な差はみられません。



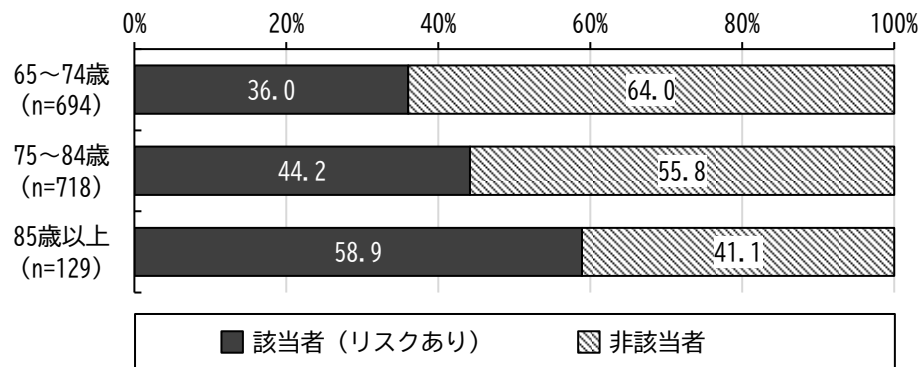
認知機能の低下×性別

性別にみると、男女ともに「非該当者」が高くなっており、男女での大きな差はみられません。



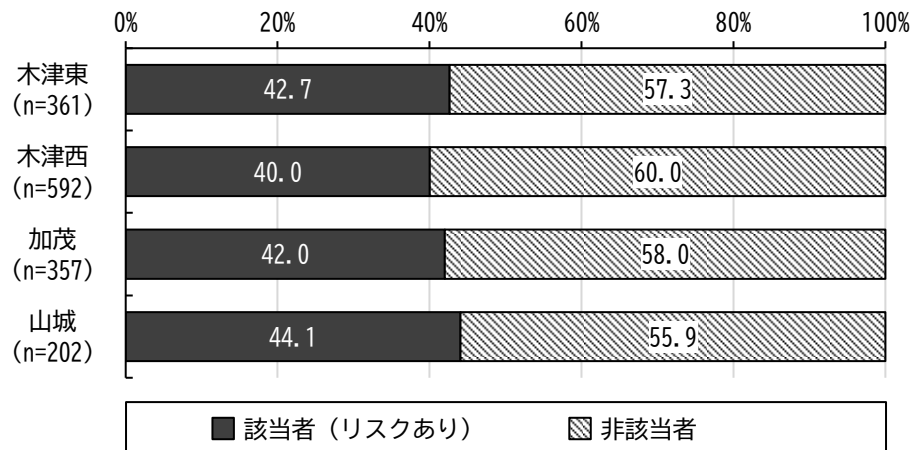
認知機能の低下×年齢別

年齢別にみると、65～74歳・75～84歳では「非該当者」が多くなっていますが、85歳以上では「該当者（リスクあり）」が58.9%と多くなっています。



認知機能の低下×居住地区別

居住地区別にみると、いずれの地区でも「非該当者」が高くなっています。全体の「該当者（リスクあり）」が41.4%に対して、いずれの地区においても大きな差はみられません。



うつ傾向

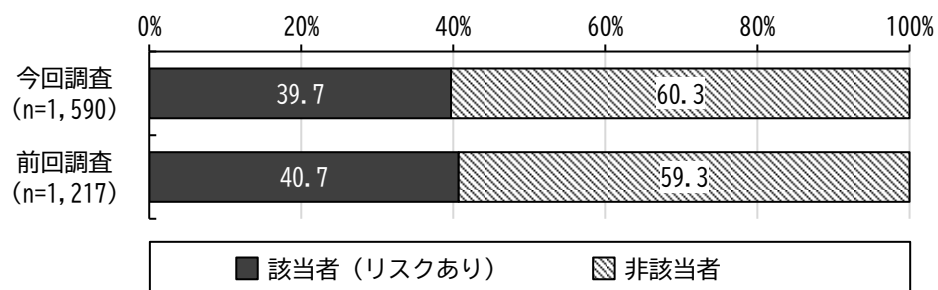
高齢者のうつ傾向に関するリスク判定は、以下の設問2問中1問以上に該当した場合に、うつ傾向のリスク判定者と判定されます。

問番号	設問	リスク該当となる選択肢
問9（3）	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりしたか	「はい」
問9（4）	この1か月間、物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくあったか	「はい」

うつ傾向

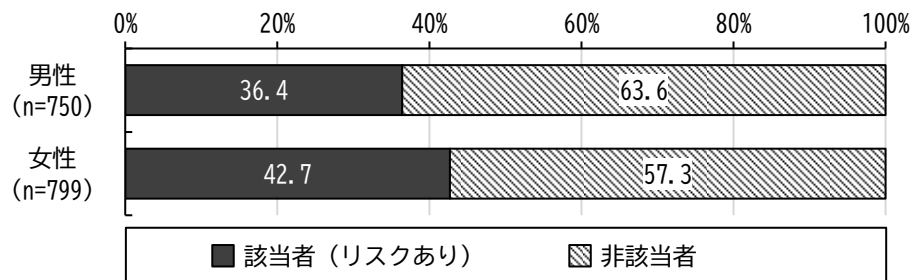
うつ傾向は、「非該当者」が60.3%、「該当者（リスクあり）」が39.7%となっています。

前回調査に比べて有意な差はみられません。



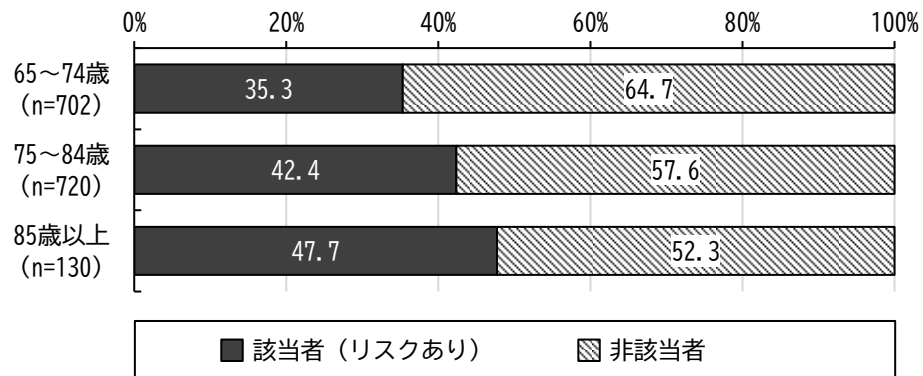
うつ傾向×性別

性別にみると、男女ともに「非該当者」が高くなっており、男女での大きな差はみられません。



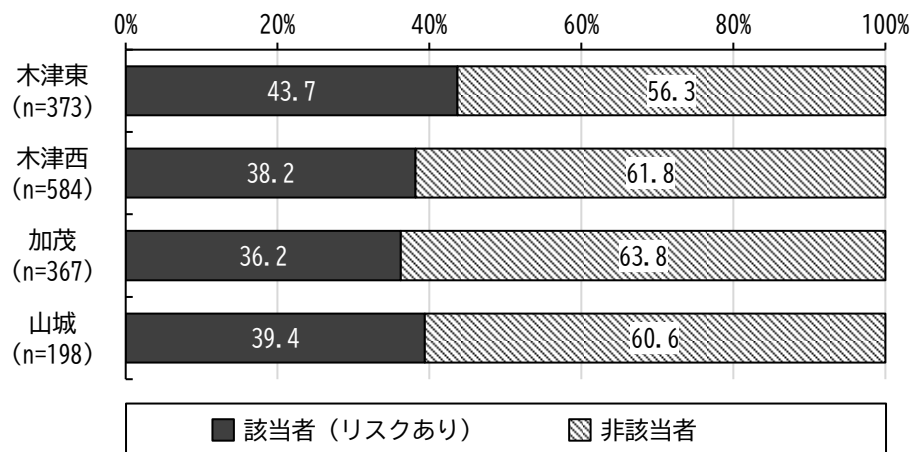
うつ傾向×年齢別

年齢別にみると、年齢が上がるにつれて「非該当者」が低くなっています。



うつ傾向×居住地区別

居住地区別にみると、いずれの地区でも「非該当者」が高くなっています。全体の「該当者 (リスクあり)」が 39.7% に対して、木津東で全体に比べて高くなっており、一方加茂では全体に比べて低くなっています。



手段的自立度（IADL）

高齢者の比較的高次の生活機能を評価することができる老研式活動能力指標から、手段的自立度（IADL）を判定するため、以下の設問5問を5満点とし、5点を「高い」、4点を「やや低い」、3点以下を「低い」と評価します。

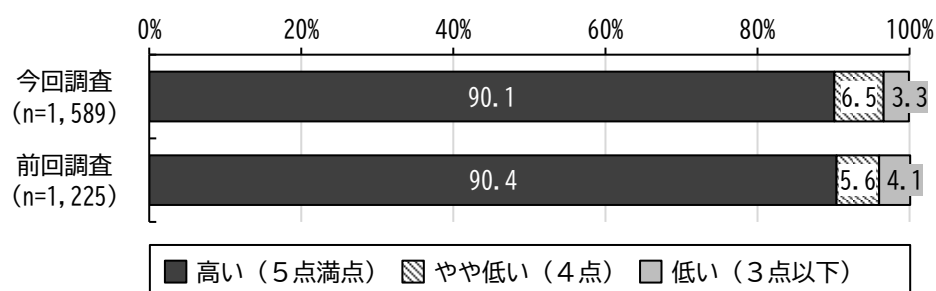
手段的自立度（IADL）のリスク判定は、4点以下の「やや低い」「低い」と該当した場合に、手段的自立度（IADL）の低下と判定されます。

問番号	設問	リスク該当となる選択肢
問5（3）	バスや電車を使って1人で外出しているか（自家用車でも可）	「できるし、している」 「できるけどしていない」
問5（4）	自分で食品・日用品の買物をしているか	「できるし、している」 「できるけどしていない」
問5（5）	自分で食事の用意をしているか	「できるし、している」 「できるけどしていない」
問5（6）	自分で請求書の支払いをしているか	「できるし、している」 「できるけどしていない」
問5（7）	自分で預貯金のおし入れをしているか	「できるし、している」 「できるけどしていない」

手段的自立度（IADL）

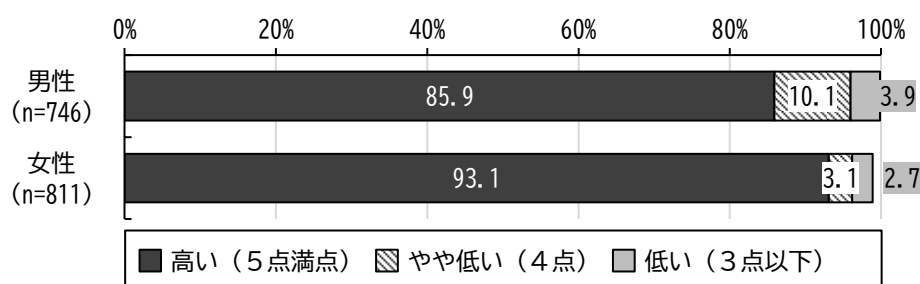
手段的自立度（IADL）は、「高い（5点満点）」が90.1%と最も高く、「やや低い（4点）」と「低い（3点以下）」を合わせた『能力の低下がみられる人』は9.8%となっています。

前回調査に比べて有意な差はみられません。



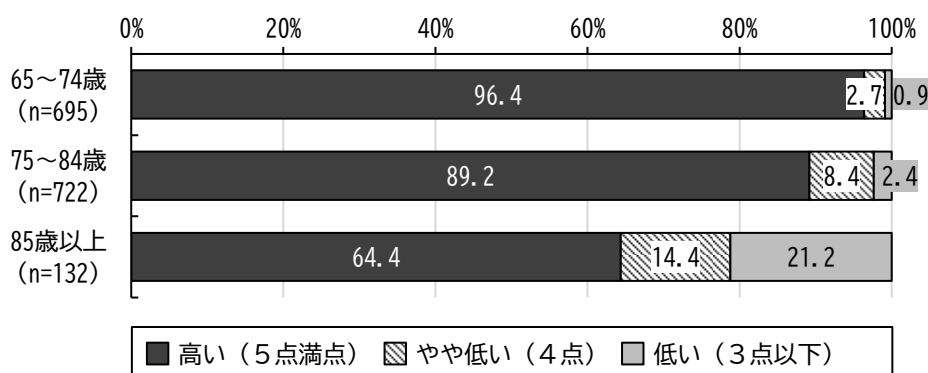
手段的自立度（IADL）×性別

性別にみると、女性では「高い（５点満点）」が 93.1%と男性の 85.9%に比べて多くなっています。



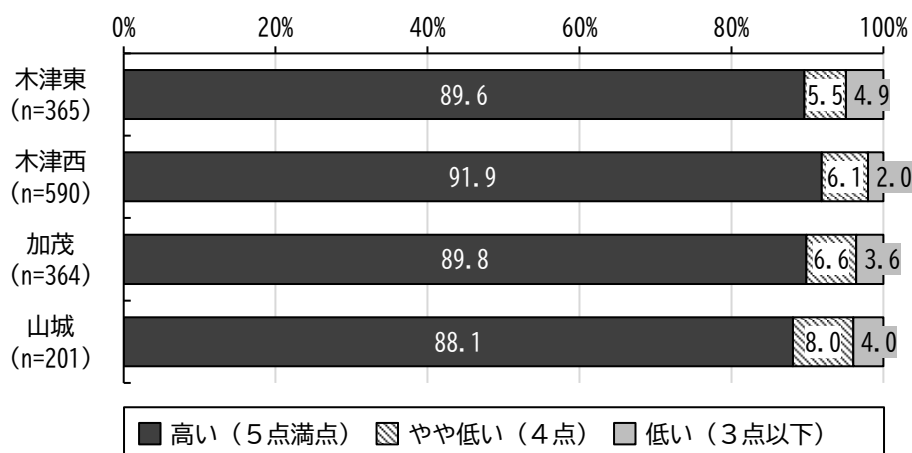
手段的自立度（IADL）×年齢別

年齢別にみると、年齢が上がるにつれて「やや低い（４点）」と「低い（３点以下）」を合わせた『能力の低下がみられる人』の割合が多くなっており、85歳以上では 35.6%となっています。



手段的自立度（IADL）×居住地区別

居住地区別にみると、いずれの地区でも「高い（５点満点）」が最も高くなっています。「やや低い（４点）」と「低い（３点以下）」を合わせた『能力の低下がみられる人』の割合は、山城が 12.0%と最も高く、次いで、木津東が 10.4%、加茂が 10.2%、木津西が 8.1%となっており、全体 9.8%と比較して山城がやや多くなっています。

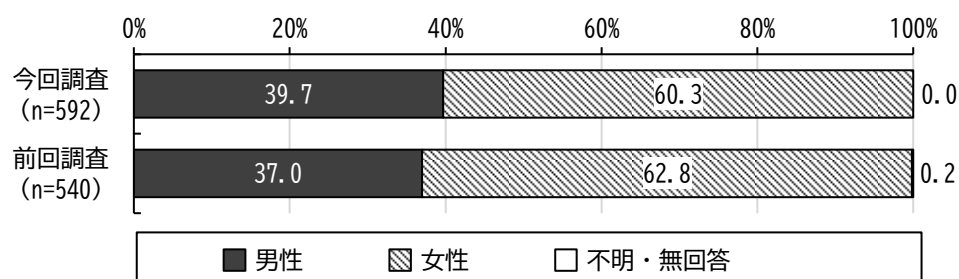


Ⅲ 在宅介護実態調査結果

調査対象属性

性別

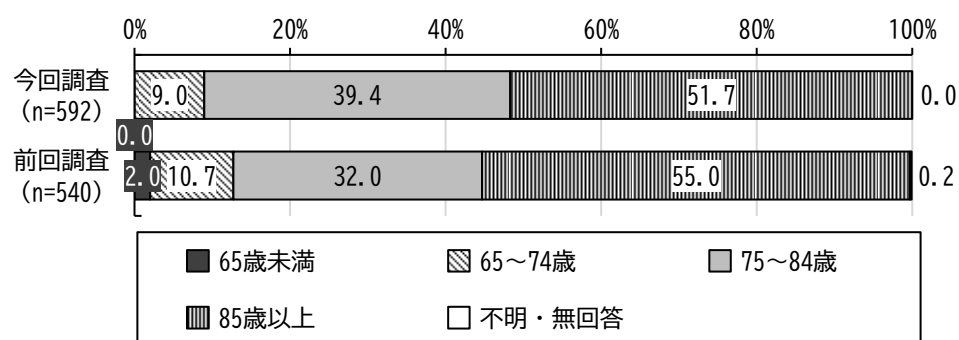
性別は、「男性」が39.7%、「女性」が60.3%となっています。



年齢

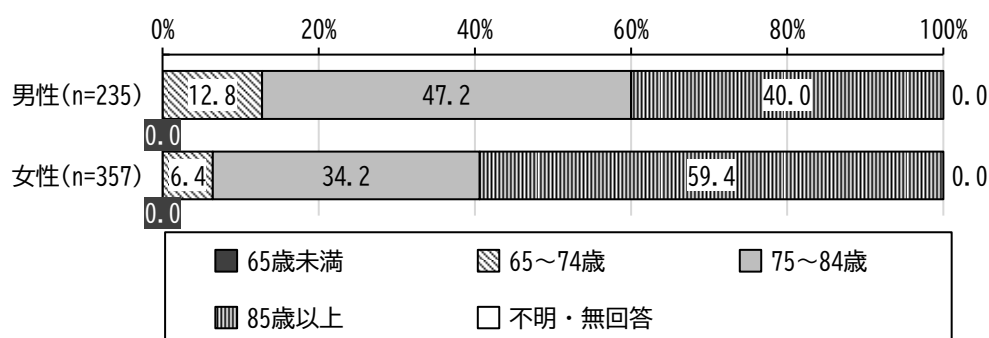
年齢は、後期高齢者の中でも、「85歳以上」が51.7%と最も高く、次いで、「75～84歳」が39.4%となっています。また、前期高齢者の「65～74歳」は9.0%となっています。

前回調査に比べて、「75～84歳」が7.4ポイント多くなっています。



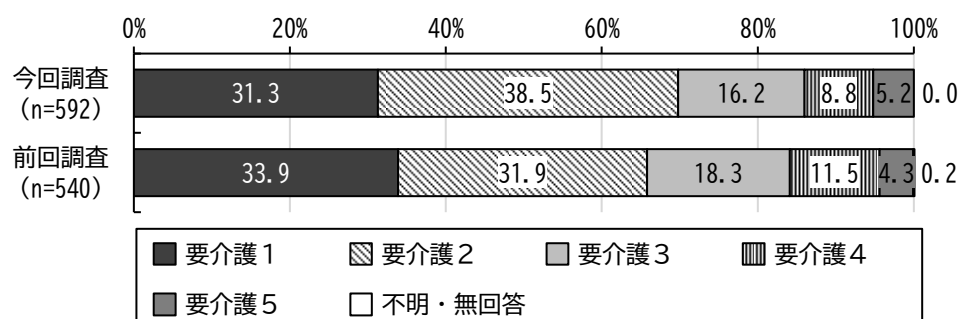
性別×年齢

年齢別にみると、男性は「75～84歳」が47.2%と最も高く、次いで、「85歳以上」が40.0%となっています。女性は「85歳以上」が59.4%と最も高く、次いで、「75～84歳」が34.2%となっています。「85歳以上」の割合では、女性が男性に比べて19.4ポイント多くなっています。



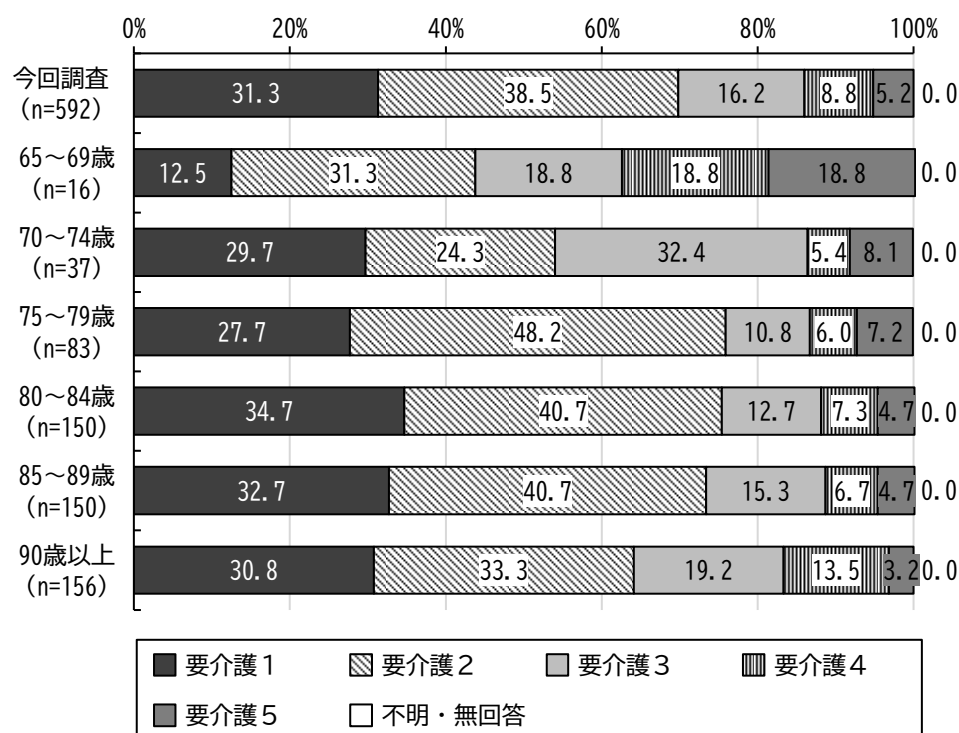
要介護度

要介護度は、要介護1・2では69.8%、要介護3以上では30.2%となっています。要介護度別の内訳は「要介護2」が38.5%と最も高く、次いで、「要介護1」が31.3%、「要介護3」が16.2%となっています。



要介護度×年齢

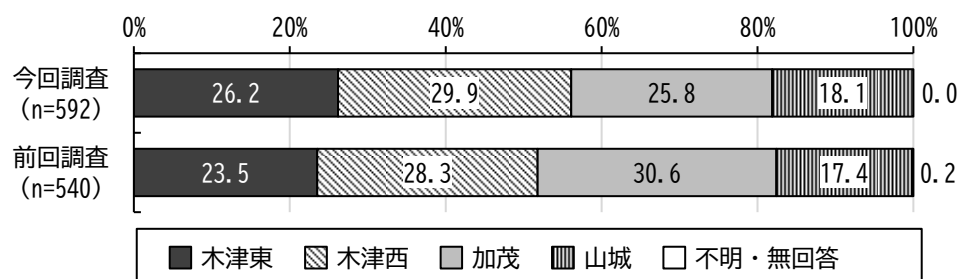
年齢別にみると、65～69歳、75歳以上では「要介護2」がそれぞれ最も高くなっており、70～74歳では「要介護3」が32.4%と最も高くなっています。90歳以上では、他の年齢層に比べて重度の要介護度である「要介護3」「要介護4」が高くなっています。



Ⅲ 在宅介護実態調査結果

居住地区

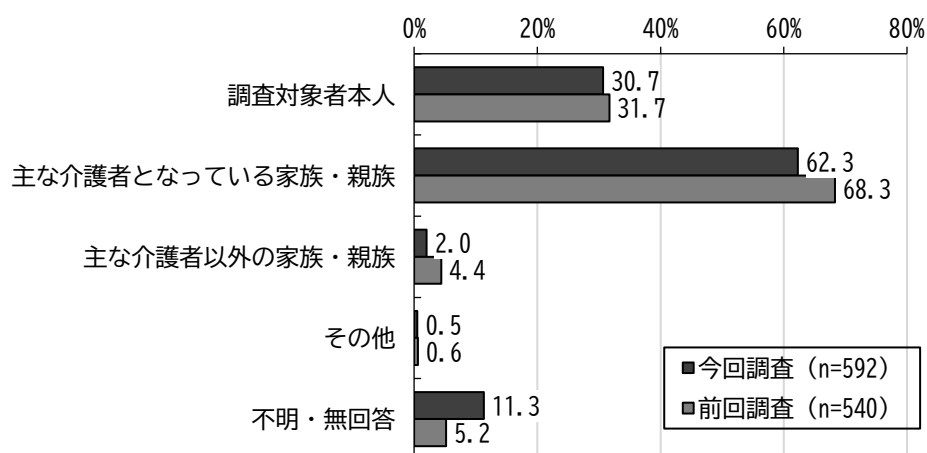
居住地区は、「木津西」が29.9%と最も高く、次いで、「木津東」が26.2%、「加茂」が25.8%、「山城」が18.1%となっています。



調査票の記入者

調査票の記入者は、「主な介護者となっている家族・親族」が62.3%と最も高く、次いで、「調査対象者本人」が30.7%、「主な介護者以外の家族・親族」が2.0%となっています。

前回調査に比べて、「主な介護者となっている家族・親族」が6.0ポイント減少していますが、統計的には有意な差はみられません。

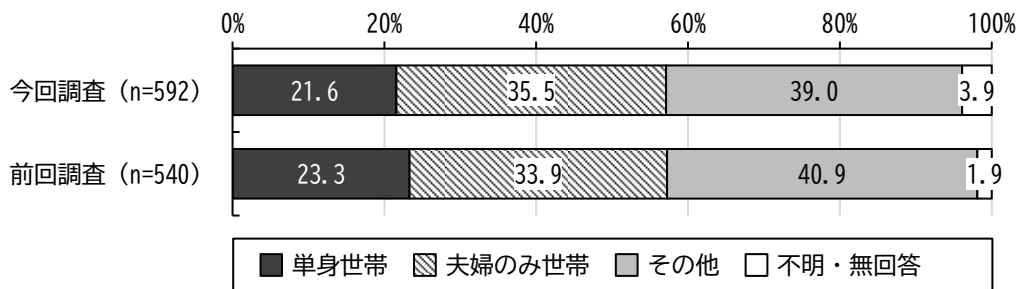


A 票 調査対象者様ご本人について、お伺いします

〔1〕世帯類型

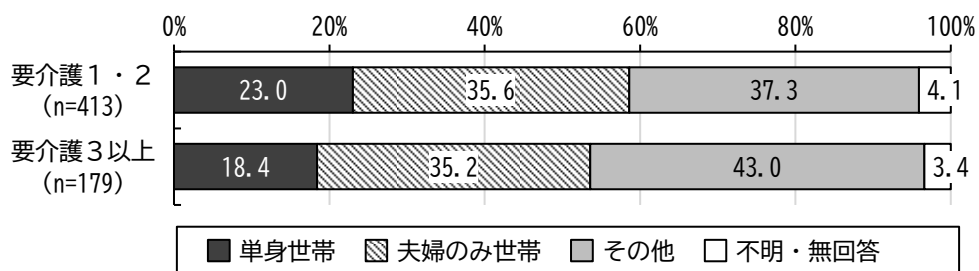
Q1. 世帯類型について、ご回答ください（○は1つ）

世帯類型は、「夫婦のみ世帯」が35.5%と最も高く、次いで、「単身世帯」が21.6%となっています。
前回調査と同様の傾向となっています。



世帯類型×要介護度

要介護度別にみると、要介護3以上では「単身世帯」が18.4%と全体の21.6%に比べて低くなっています。



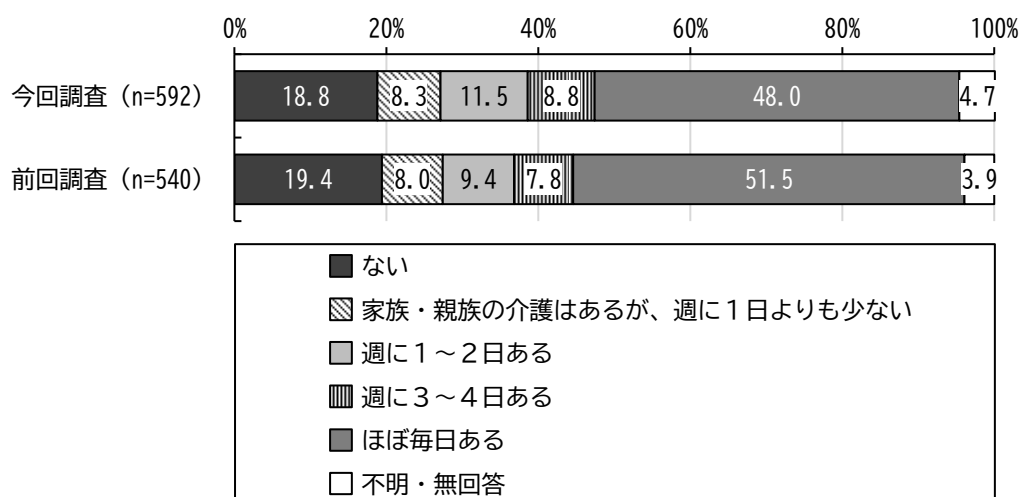
〔2〕 家族・親族による介護の頻度

Q2. ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）（○は1つ）

家族・親族による介護の頻度は、「ほぼ毎日ある」が48.0%と最も多く、週に1日以上介護を受けている人の割合（「ほぼ毎日ある」「週に3～4日ある」「週に1～2日ある」の合計）は68.3%となっています。

前回調査では、週に1日以上介護を受けている割合は68.7%と大きな差はみられません。

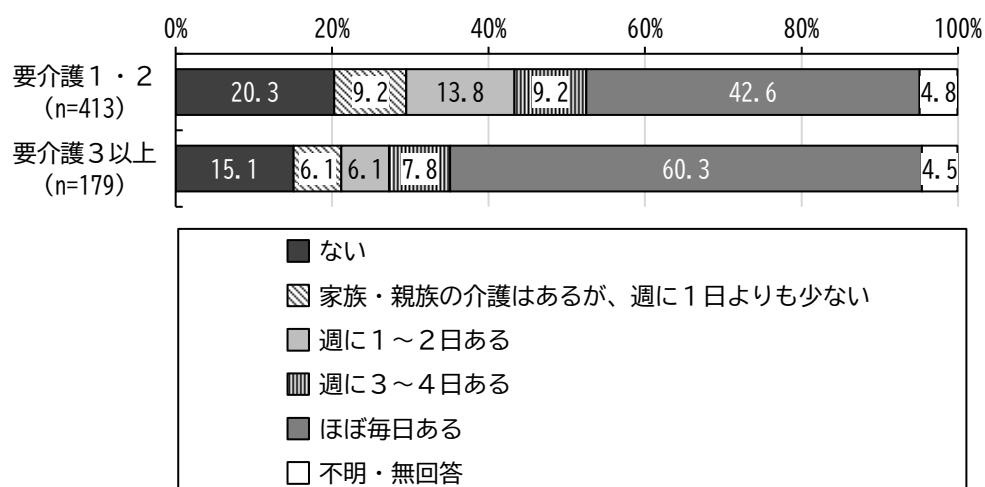
前回調査に比べて、「ほぼ毎日ある」は3.5ポイント減少している一方、「週に1～2日ある」「週に3～4日ある」がそれぞれ増加しています。



家族や親族からの介護の頻度×要介護度

認定状況別にみると、週に1日以上介護を受けている人の割合は要介護1・2で65.6%、要介護3以上で74.3%となっており、要介護3以上の方が高くなっています。

とくに「ほぼ毎日ある」は要介護3以上で60.3%と、要介護1・2の42.6%を17.7ポイント上回っており、要介護度が高いほど日常的な介護が必要となっている状況がうかがえます。

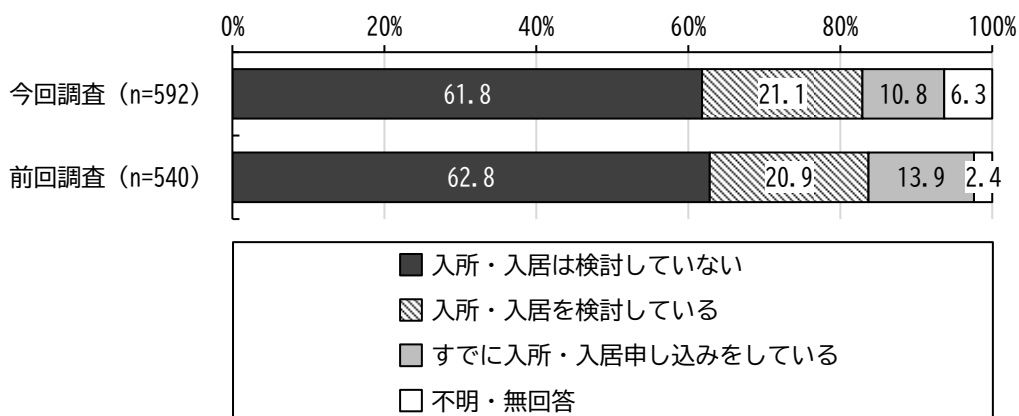


〔3〕施設等への入所意向

Q3. 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください（○は1つ）

施設等への入所・入居の検討状況は、「入所・入居は検討していない」が61.8%と最も高く、次いで、「入所・入居を検討している」が21.1%、「すでに入所・入居申し込みをしている」が10.8%となっています。

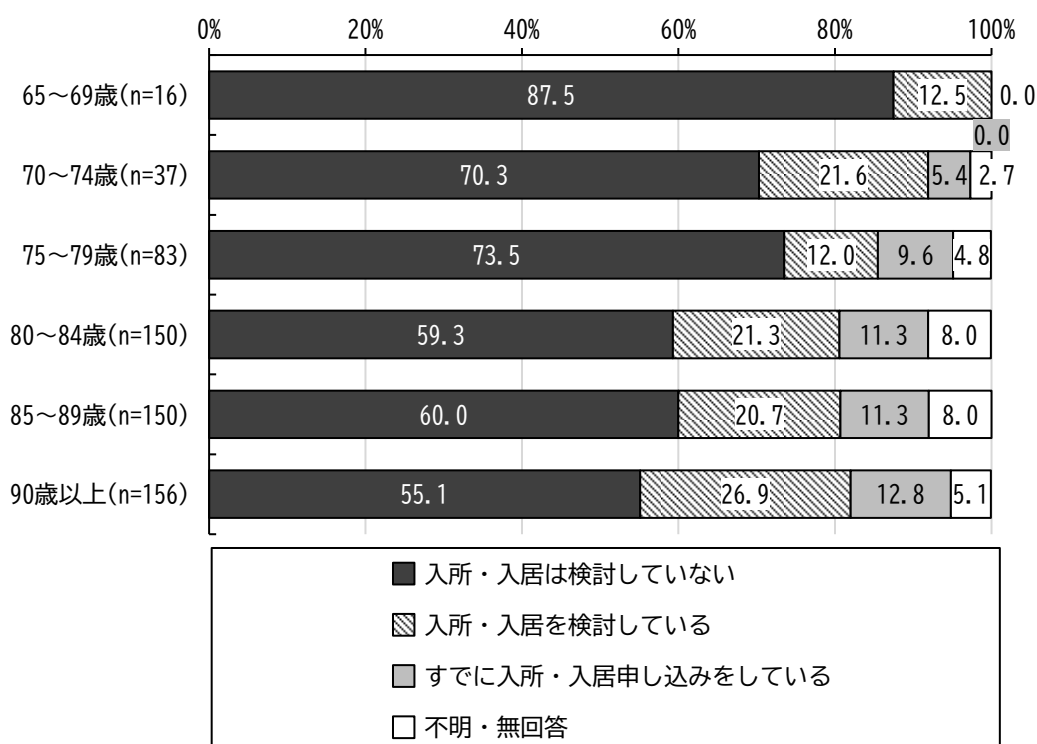
前回調査に比べて、「すでに入所・入居申し込みをしている」が3.1ポイント減少していますが、統計的には有意な差はみられません。



※「施設等」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護医療院、特定施設（有料老人ホーム等）、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指します。

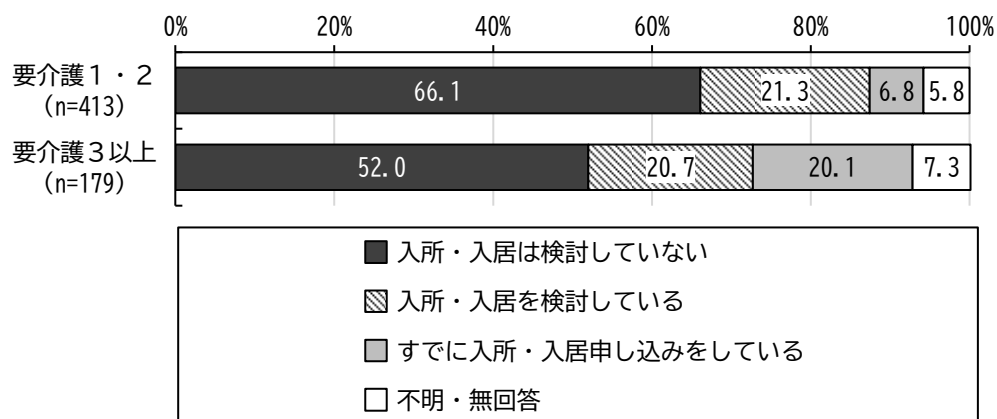
施設等への入所・入居の検討状況×年齢

年齢別にみると、「入所・入居を検討している」と「すでに入所・入居申し込みをしている」を合わせた割合は、90歳以上が39.7%と最も高く、次いで、80～84歳が32.6%、85～89歳が32.0%となっています。80歳以上ではいずれの年齢層でも合算が30%を超えており、年齢が上がるにつれて施設入所・入居に向けた動きが活発になっている傾向がうかがえます。



施設等への入所・入居の検討状況×要介護度

要介護度別にみると、「入所・入居を検討している」と「すでに入所・入居申し込みをしている」を合わせた割合は、要介護1・2が28.1%、要介護3以上が40.8%となっており、要介護3以上の方が12.7ポイント高くなっています。なかでも「すでに入所・入居申し込みをしている」は要介護3以上で20.1%と、要介護1・2の6.8%を13.3ポイント上回っており、要介護度が高いほど施設入所・入居に向けた具体的な行動に移っている状況がうかがえます。



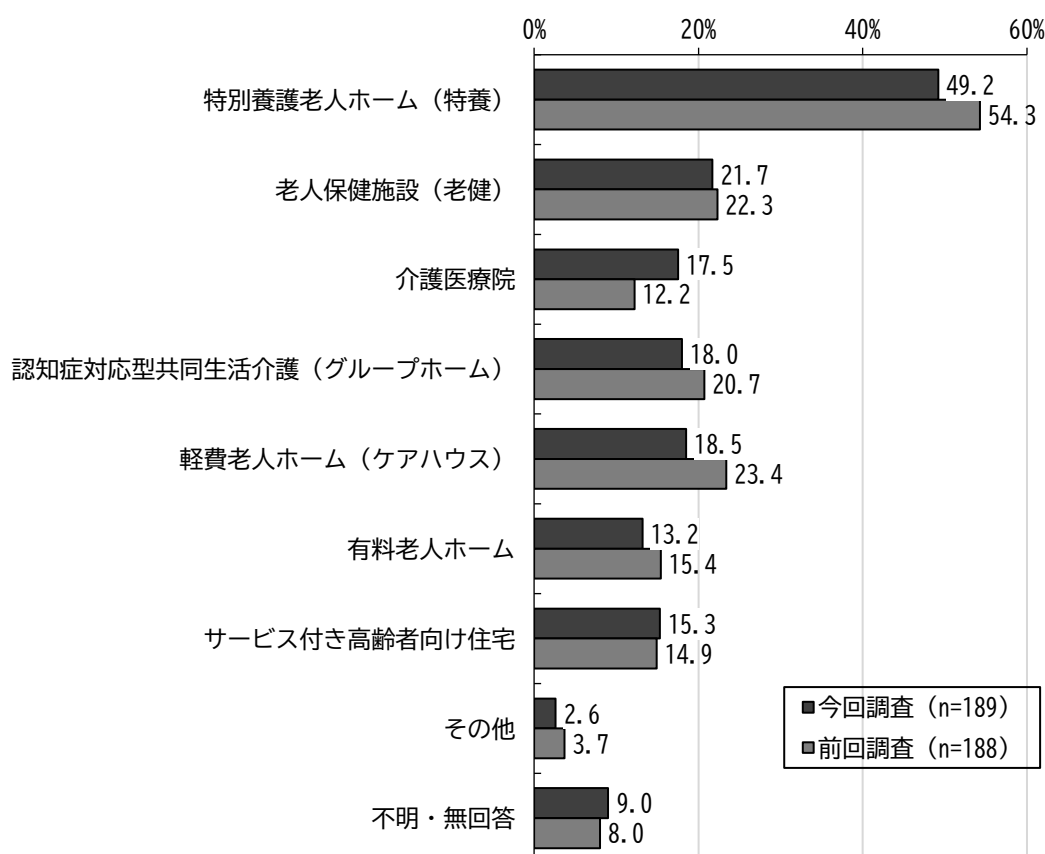
Q3で「2.」「3.」（施設入所を希望している）と回答した方にお伺いします。

〔3-1〕希望する施設の種類の種類

Q3-1. どのような施設を希望しますか（〇はいくつでも）

希望する施設の種類の種類は、「特別養護老人ホーム（特養）」が49.2%と最も高く、次いで、「老人保健施設（老健）」が21.7%、「軽費老人ホーム（ケアハウス）」が18.5%となっています。

前回調査に比べて、「介護医療院」が5.3ポイント増加しています。また、「特別養護老人ホーム（特養）」が5.1ポイント、「軽費老人ホーム（ケアハウス）」が4.9ポイント減少していますが、いずれも統計的には有意な差はみられません。



希望する施設×要介護度

要介護度別にみると、「特別養護老人ホーム（特養）」は要介護3以上で61.6%と、要介護1・2で41.4%に比べて20.2ポイント高くなっています。一方、要介護1・2では「サービス付き高齢者向け住宅」が20.7%、「軽費老人ホーム（ケアハウス）」が23.3%と要介護3以上に比べてそれぞれ13.9ポイント、12.3ポイント高くなっています。

単位：%		特別養護老人ホーム（特養）	老人保健施設（老健）	介護医療院	認知症対応型共同生活介護（グループホーム）	軽費老人ホーム（ケアハウス）	有料老人ホーム	サービス付き高齢者向け住宅	その他	不明・無回答
	今回調査 (n=189)	49.2	21.7	17.5	18.0	18.5	13.2	15.3	2.6	9.0
要介護度	要介護1・2 (n=116)	41.4	21.6	19.8	19.8	23.3	15.5	20.7	3.4	7.8
	要介護3以上 (n=73)	61.6	21.9	13.7	15.1	11.0	9.6	6.8	1.4	11.0

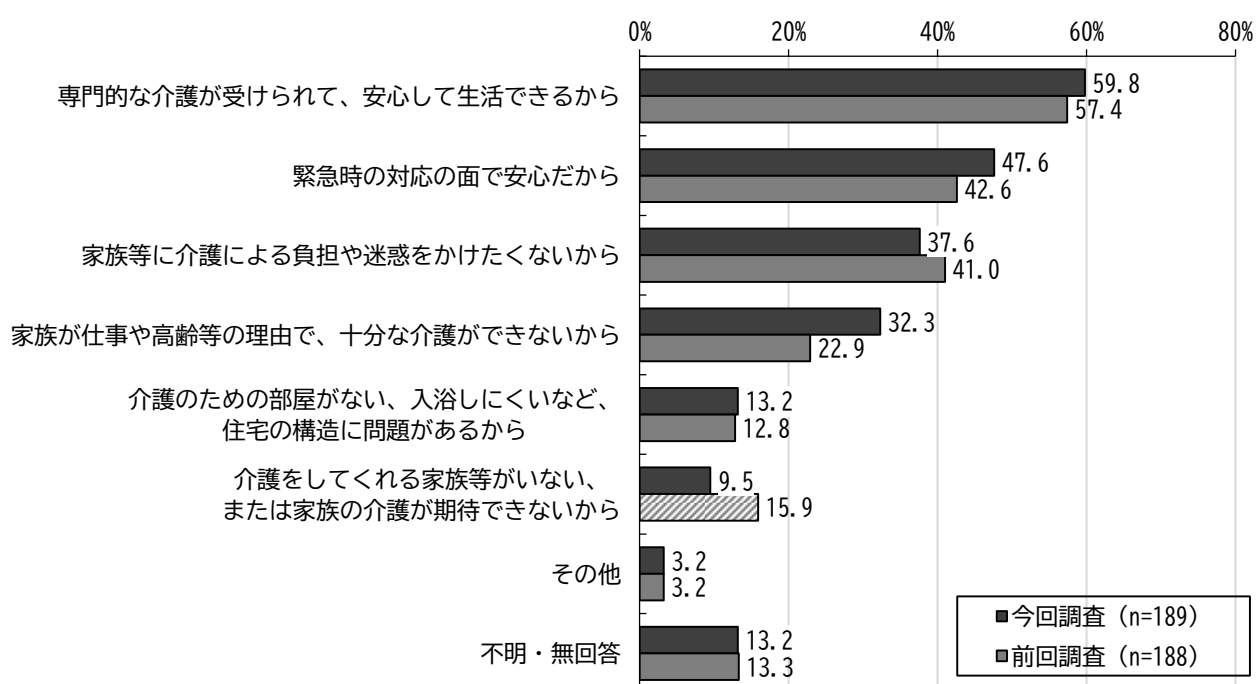
Q3で「2.」「3.」（施設入所を希望している）と回答した方にお伺いします。

〔3-2〕施設での介護を希望する主な理由

Q3-2. あなたが施設での介護を希望される主な理由は、次のうちどれですか（○は3つまで）

施設での介護を希望する主な理由は、「専門的な介護が受けられて、安心して生活できるから」が59.8%と最も高く、次いで、「緊急時の対応の面で安心だから」が47.6%、「家族等に介護による負担や迷惑をかけたくないから」が37.6%となっています。

前回調査に比べて、「家族が仕事や高齢等の理由で、十分な介護ができないから」が9.4ポイント増加しており、有意な差がみられます。また、「家族等に介護による負担や迷惑をかけたくないから」が3.4ポイント減少していますが、統計的には有意な差はみられません。



※「介護をしてくれる家族等がない、または家族の介護が期待できないから」は、前回調査では「介護をしてくれる家族等がないから」が7.4%、「家族の介護が期待できないから」が8.5%と分かれており、参考として合算した数値を掲載しています。参考値として記載し、分析には含めません。

施設での介護を希望する主な理由×要介護度

要介護度別にみると、「専門的な介護が受けられて、安心して生活できるから」は要介護3以上で65.8%と、要介護1・2で56.0%に比べて9.8ポイント高くなっています。また、「家族が仕事や高齢等の理由で、十分な介護ができないから」は要介護3以上で41.1%と、要介護1・2で26.7%に比べて14.4ポイント高くなっており、介護の担い手が確保しにくい状況がうかがえます。一方、要介護1・2では「家族等に介護による負担や迷惑をかけたくないから」が42.2%と要介護3以上で30.1%に比べて12.1ポイント高くなっています。

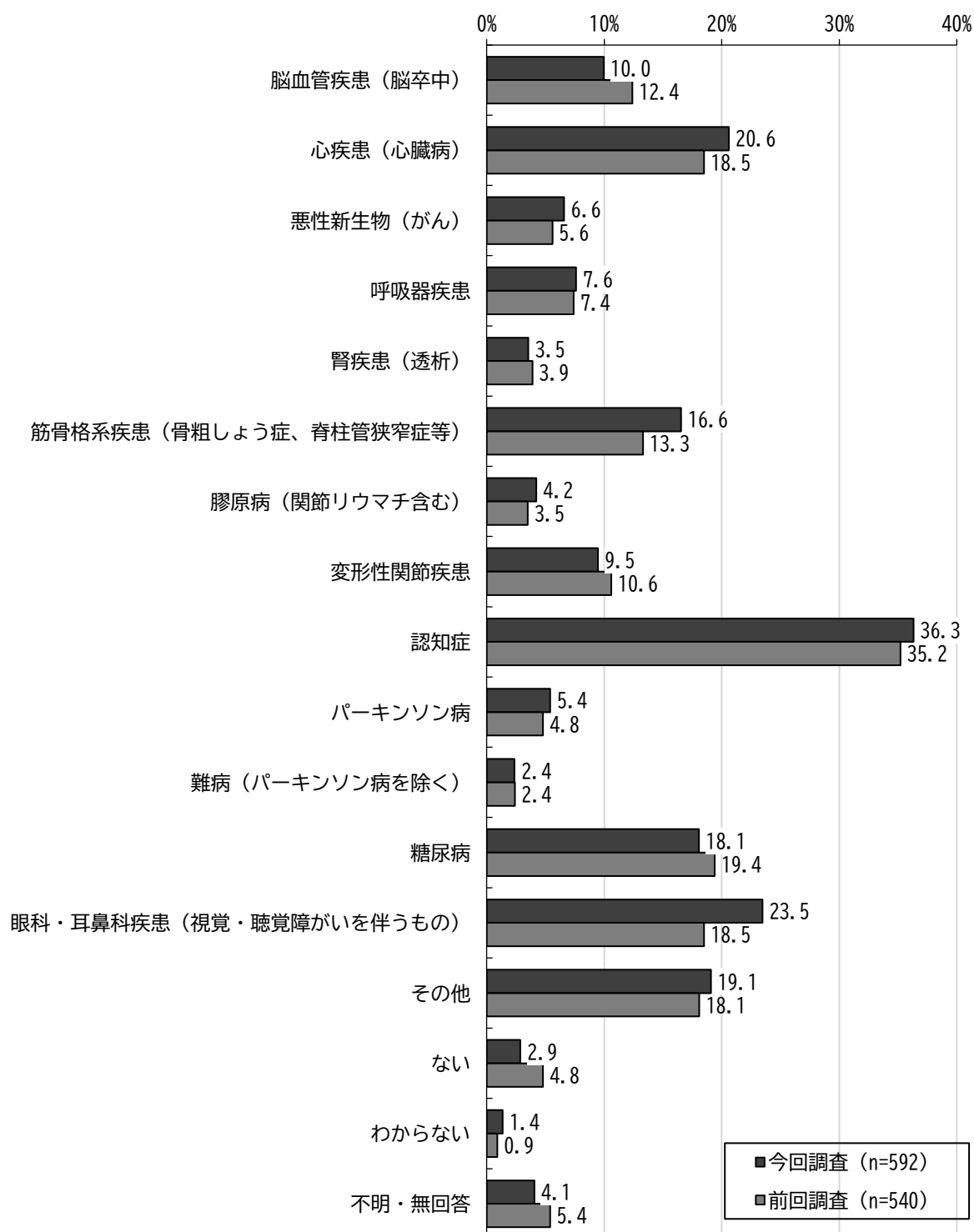
単位：%		活ら専 でれ門 きるて か安介 ら心護 しが て受 生け	安緊 心急 だ時 から 対 応 の 面 で	く負家 ない担 いや等 か迷に ら惑介 を護 かに けよ たる	護の家 が理族 で由が きで仕 ない事 か十分 かな高 から齢 介等	問なな 題い、 が、の あ住入 る宅浴 かのし ら構に 造く屋 にいが	では族 き家等 な族が いのい か介な ら護て がく 期れ 待まる た家	そ の 他	不 明 ・ 無 回 答
	今回調査 (n=189)	59.8	47.6	37.6	32.3	13.2	9.5	3.2	13.2
要 介 護 度	要介護1・2 (n=116)	56.0	50.9	42.2	26.7	12.1	10.3	1.7	12.9
	要介護3以上 (n=73)	65.8	42.5	30.1	41.1	15.1	8.2	5.5	13.7

〔４〕抱えている傷病

Ｑ４． ご本人（調査対象者）が現在抱えている傷病について、ご回答ください（○はいくつでも）

現在抱えている傷病は、「認知症」が36.3%と最も高く、次いで、「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障がいを伴うもの）」が23.5%、「心疾患（心臓病）」が20.6%となっています。

前回調査に比べて、「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障がいを伴うもの）」が5.0ポイント増加しており、有意な差がみられます。また、「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」が3.3ポイント増加していますが、統計的には有意な差はみられません。



◇その他回答：有効回答者数：113人（のべ134件）

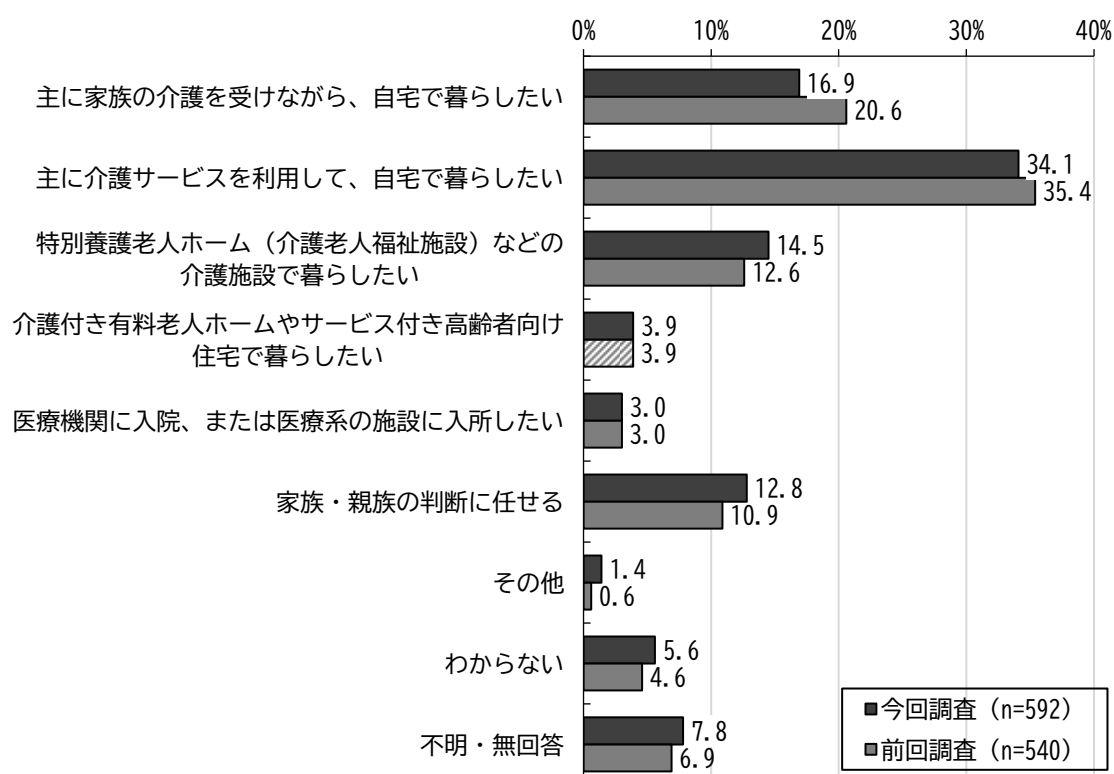
「その他」の主な回答内容（分類）			
分 類	件 数	分 類	件 数
高血圧	30	皮膚疾患	2
骨粗しょう症・骨折	7	腎疾患	6
腰痛・脊椎疾患	8	肝疾患	2
膝・関節疾患	6	前立腺疾患	2
消化器疾患	4	嚥下障害	1
精神疾患・不眠	13	歯科疾患	3
耳鼻科疾患	3	神経・麻痺	8
甲状腺疾患	2	その他	37

〔5〕どこで介護を受けたいか

Q5. 今後、日常生活に不安を感じたり、要介護状態が進んだ場合に、どこで介護を受けたいと思いますか。あなたの考えにもっとも近いものを選んでください（○は1つ）

今後の介護を受けたい場所は、「主に介護サービスを利用して、自宅で暮らしたい」が34.1%と最も高く、次いで、「主に家族の介護を受けながら、自宅で暮らしたい」が16.9%、「特別養護老人ホーム（介護老人福祉施設）などの介護施設で暮らしたい」が14.5%となっています。

前回調査と比べて、「主に家族の介護を受けながら、自宅で暮らしたい」が3.7ポイント減少していますが、統計的には有意な差はみられません。



※「介護付き有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅で暮らしたい」は、前回調査では「介護付き有料老人ホームで暮らしたい」が1.9%、「サービス付き高齢者向け住宅に住み替えて、介護サービスを利用しながら暮らしたい」が2.0%と分かれており、参考として合算した数値を掲載しています。参考値として記載し、分析には含めません。

要介護状態が進んだ場合に、どこで介護を受けたいと思うか×要介護度

要介護度別にみると、「主に家族の介護を受けながら、自宅で暮らしたい」と「主に介護サービスを利用して、自宅で暮らしたい」を合わせた在宅希望の割合は、要介護１・２で 51.6%、要介護３以上で 49.7%とほぼ同水準となっており、要介護度にかかわらず約半数が自宅での生活継続を希望しています。一方、「特別養護老人ホーム（介護老人福祉施設）などの介護施設で暮らしたい」は要介護３以上で 20.7%と、要介護１・２の 11.9%に比べて 8.8 ポイント高くなっており、要介護度が高いほど施設入所を希望する傾向がみられます。

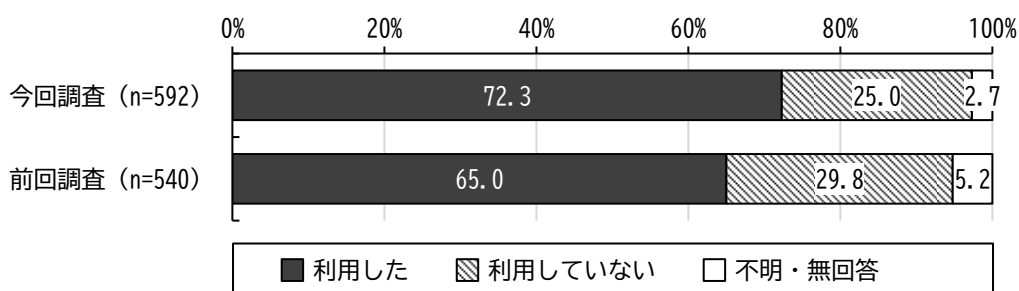
単位：%		自主に家族の介護を受けながら、自宅で暮らしたい	自主に介護サービスを利用して、自宅で暮らしたい	福祉施設（特別養護老人ホーム、介護老人福祉施設）などの介護施設で暮らしたい	介護付き有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅で暮らしたい	医療機関に入院、または医療系の施設に入所したい	家族・親族の判断に任せる	その他	わからない	不明・無回答
	今回調査（n=592）	16.9	34.1	14.5	3.9	3.0	12.8	1.4	5.6	7.8
要介護度	要介護１・２（n=413）	17.9	33.7	11.9	4.6	2.9	12.8	1.7	6.1	8.5
	要介護３以上（n=179）	14.5	35.2	20.7	2.2	3.4	12.8	0.6	4.5	6.1

〔６〕介護保険サービスの利用状況

Q6. 令和８年１月の１か月の間に、（住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の）介護保険サービスを利用しましたか（○は１つ）

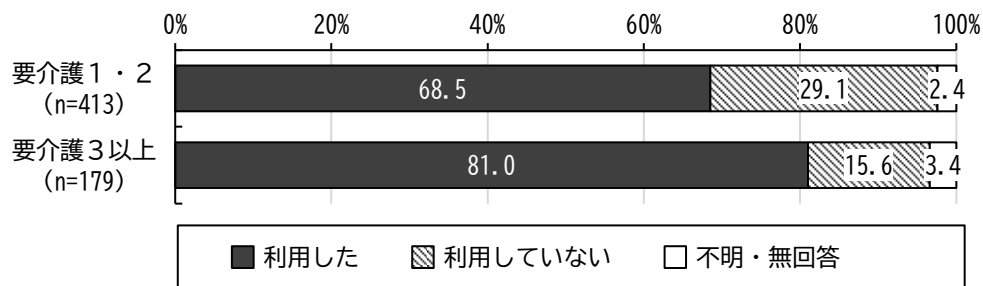
介護保険サービスの利用状況は、「利用した」が 72.3%、「利用していない」が 25.0%となっています。

前回調査に比べて、「利用した」が 7.3 ポイント増加しており、有意な差がみられます。また、「利用していない」が 4.8 ポイント減少していますが、統計的には有意な差はみられません。



介護保険サービスの利用状況×要介護度

要介護度別にみると、「利用した」が全体の72.3%に比べて、「要介護3以上」では81.0%とやや高くなっている一方、「要介護1・2」では68.5%と低くなっています。



Q6で「1. 利用している」と回答した方にお伺いします。

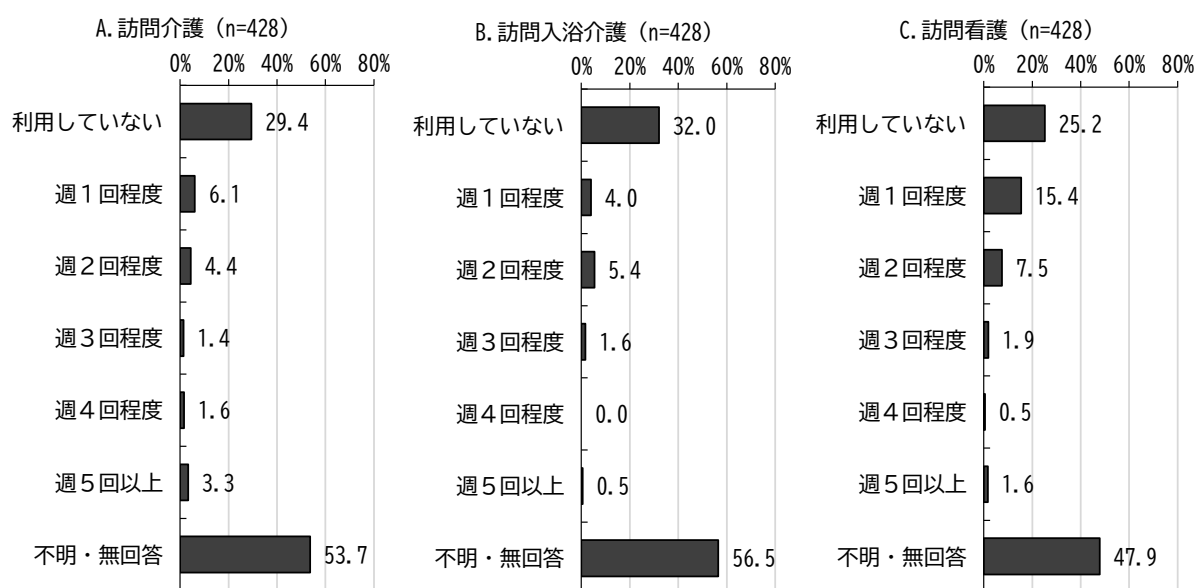
〔6-1〕各介護保険サービスの利用状況

Q6-1. 以下の介護保険サービスについて、令和8年1月の1か月間の利用状況をご回答ください。対象の介護保険サービスをご利用になっていない場合は、「1. 利用していない」を選択してください（それぞれ○は1つ）

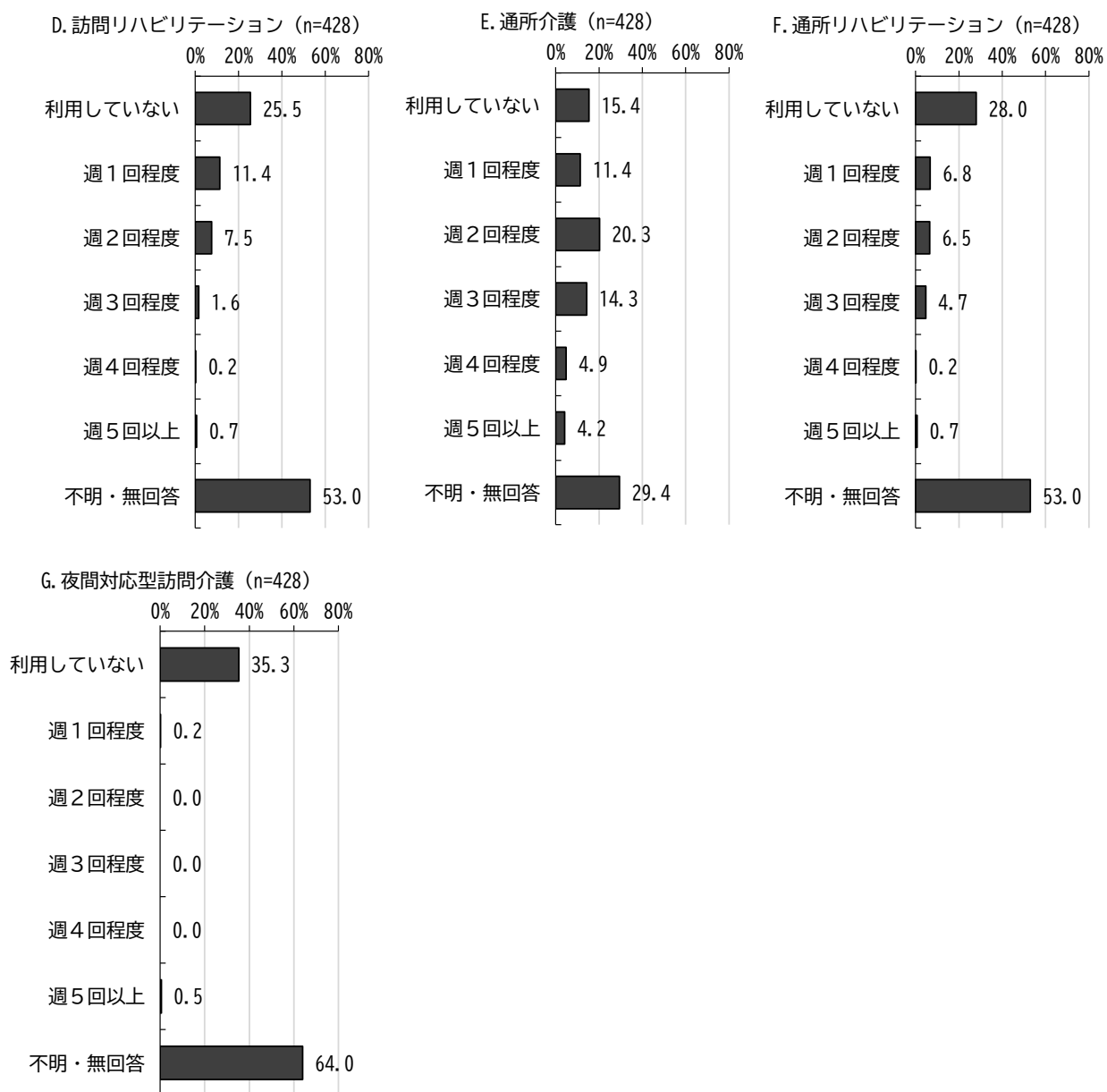
介護保険サービスの利用状況

「E. 通所介護（デイサービス）」は「週2回程度」が20.3%と最も高く、「利用していない」は15.4%と最も低くなっており、定期的な利用が多くみられます。

各介護保険サービスの利用状況は、「利用していない」の割合をみると、「G. 夜間対応型訪問介護」が35.3%と最も高く、次いで、「B. 訪問入浴介護」が32.0%、「A. 訪問介護（ホームヘルプサービス）」が29.4%となっています。A～Dの訪問系サービスの中では、「C. 訪問看護」が「週1回程度」15.4%、「D. 訪問リハビリテーション」が「週1回程度」11.4%と、他の訪問系サービスに比べて利用頻度が高くなっています。

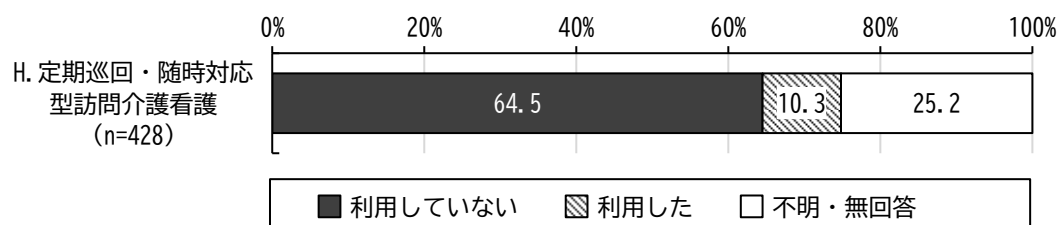


Ⅲ 在宅介護実態調査結果



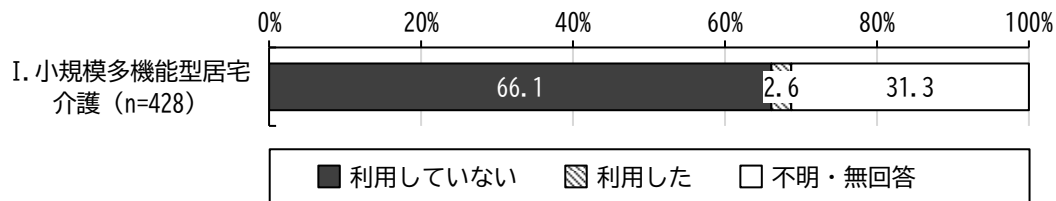
H. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護

定期巡回・随時対応型訪問介護看護の利用状況は、「利用していない」が64.5%、「利用した」が10.3%となっています。



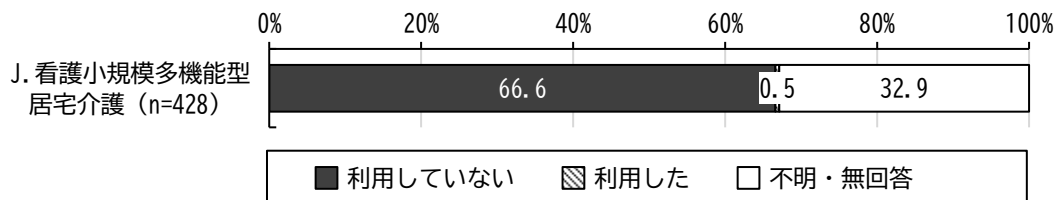
I. 小規模多機能型居宅介護

小規模多機能型居宅介護の利用状況は、「利用していない」が66.1%、「利用した」が2.6%となっています。



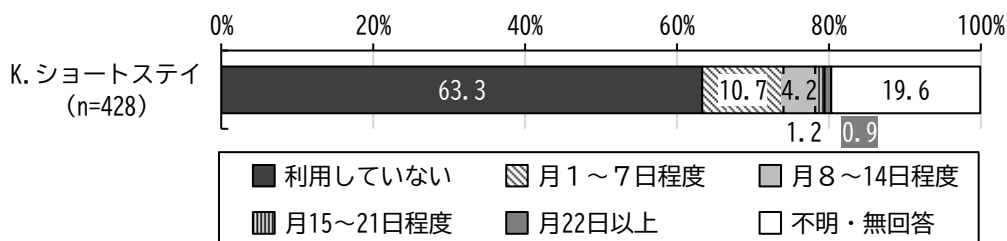
J. 看護小規模多機能型居宅介護

看護小規模多機能型居宅介護の利用状況は、「利用していない」が66.6%、「利用した」が0.5%となっています。



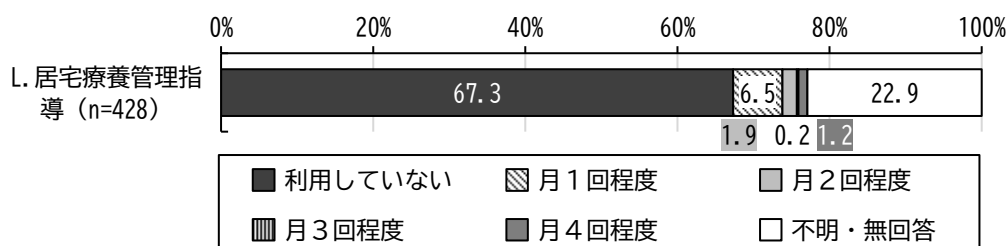
K. ショートステイ

ショートステイの利用状況は、「利用していない」が63.3%と最も高く、次いで、「月1～7日程度」が10.7%、「月8～14日程度」が4.2%となっています。



L. 居宅療養管理指導

居宅療養管理指導の利用状況は、「利用していない」が67.3%と最も高く、次いで、「月1回程度」が6.5%、「月2回程度」が1.9%となっています。



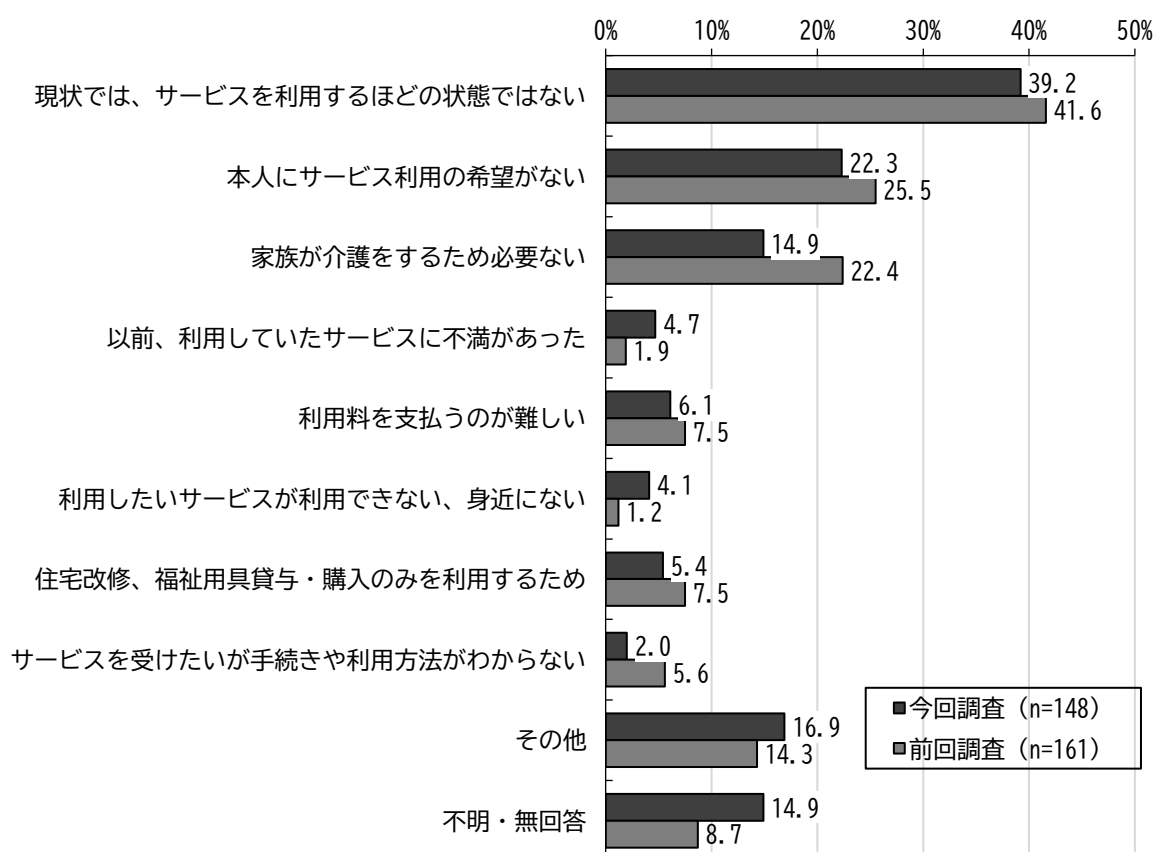
Q6で「2. 利用していない」と回答した方にお伺いします。

〔6-2〕介護保険サービスを利用していない理由

Q6-2. 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか（○はいくつでも）

介護保険サービスを利用していない理由は、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が39.2%と最も高く、次いで、「本人にサービス利用の希望がない」が22.3%、「家族が介護をするため必要ない」が14.9%となっています。

前回調査に比べて、「家族が介護をするため必要ない」が7.5ポイント減少しており、有意な差がみられます。また、「サービスを受けたいが手続きや利用方法がわからない」「本人にサービス利用の希望がない」がそれぞれ3.6ポイント、3.2ポイント減少していますが、いずれも統計的には有意な差はみられません。



◇その他回答：有効回答者数：25人（のべ28件）

「その他」の主な回答内容（分類）	
分 類	件 数
入所・入院中	16
手続き中・以前利用	6
必要なし	2
施設・サービスがない	2
その他	2

介護保険サービスを利用していない理由×要介護度

要介護度別にみると、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」は要介護１・２で 44.2%と、要介護３以上の 17.9%に比べて 26.3 ポイント少なくなっています。

また、「家族が介護をするため必要ない」は要介護３以上で 21.4%と、要介護１・２の 13.3%に比べて 8.1 ポイント高くなっており、要介護度が高いほど家族介護への依存がサービスを利用していない理由となっている傾向がみられます。

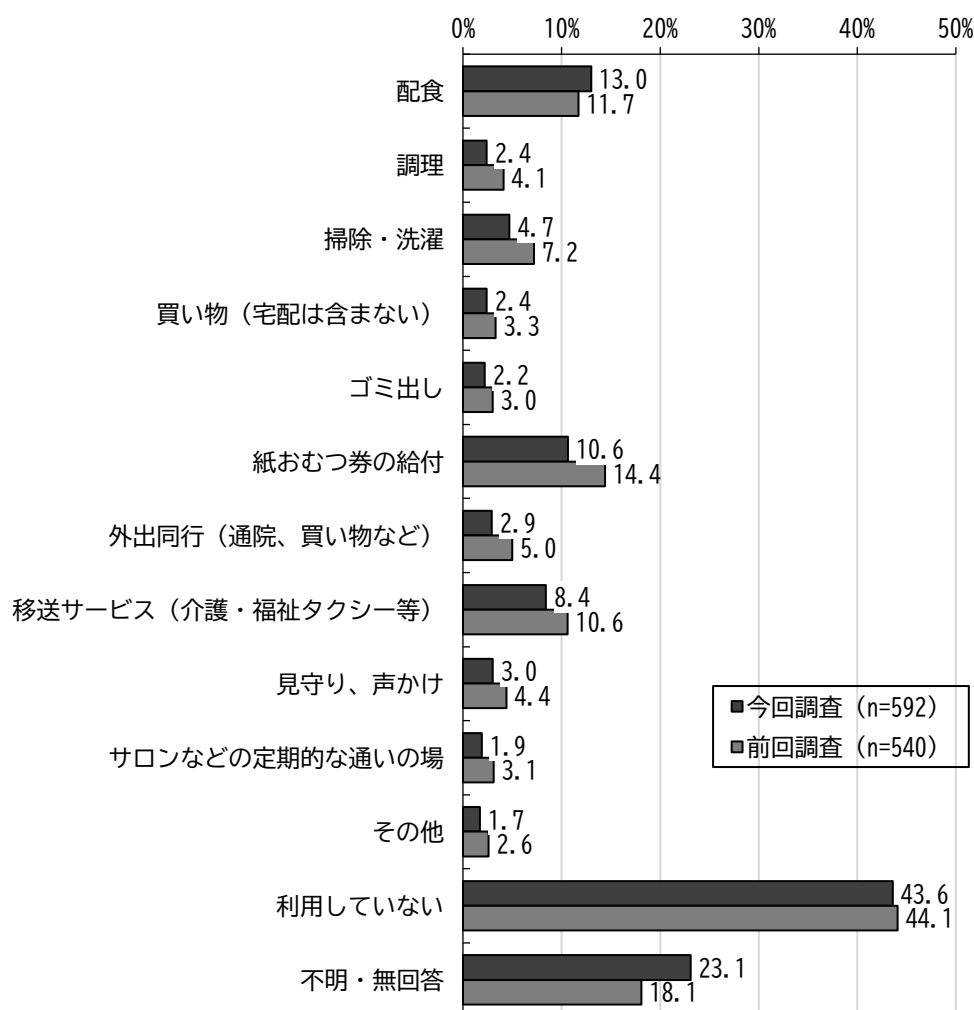
単位：％		利用するほどの状態ではない	現状では、サービスを利用の希望がない	本人にサービス利用の必要がない	家族が介護をするため	以前、利用していたサービスに不満があつた	利用料を支払うのが難しい	利用できないサービスがない	利用したいサービスがある	住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため	サービスを受けたいが手続きや利用方法がわからない	その他	不明・無回答
	今回調査（n=148）	39.2	22.3	14.9	4.7	6.1	4.1	5.4	2.0	16.9	14.9		
要介護度	要介護１・２（n=120）	44.2	25.0	13.3	5.0	6.7	4.2	6.7	2.5	12.5	13.3		
	要介護３以上（n=28）	17.9	10.7	21.4	3.6	3.6	3.6	0.0	0.0	35.7	21.4		

〔7〕介護保険以外の支援・サービスの利用状況

Q 7. 「介護保険サービス以外」で、現在利用している支援・サービスについて、ご回答ください
(〇はいくつでも)

介護保険サービス以外の支援・サービスの利用状況は、「利用していない」が 43.6%と最も高く、次いで、「配食」が 13.0%、「紙おむつ券の給付」が 10.6%となっています。

前回調査では「紙おむつ券の給付」、「配食」の順に高くなっていましたが、今回調査は「配食」、「紙おむつ券の給付」の順となっています。ただし、両項目の差は小さく、統計的誤差の範囲内であり、概ね同様の傾向となっています。



※総合事業に基づく支援・サービスは、「介護保険サービス」に含めます。

◇その他回答：有効回答者数：10人（のべ10件）

「その他」の主な回答内容（分類）	
分 類	件 数
医療系リハビリ	2
家族・知人の支援	2
施設入所中	3
福祉用具	2
その他	1

介護保険サービス以外で、現在利用している支援・サービス×要介護度

要介護度別にみると、「利用していない」は要介護１・２で 48.9%と全体の 43.6%を上回っている一方、要介護３以上では 31.3%と低くなっており、要介護度が高いほど何らかのサービスを利用している割合が高くなっています。

要介護３以上で利用されているサービスの内訳をみると、「紙おむつ券の給付」が 35.2%と最も高くなっています。「移送サービス」も 11.7%と要介護１・２の 7.0%を上回っており、重度になるほど身体的な負担に対応したサービスへのニーズが高まる傾向がみられます。

単位：％		配食	調理	掃除・洗濯	買い物 (宅配は含まない)	ゴミ出し	紙おむつ券の給付	外出同行 (通院、買い物など)	移送サービス (介護・福祉タクシー等)	見守り、声かけ	サロンの場 などの定期的な	その他	利用していない	不明・無回答
	今回調査 (n=592)	13.0	2.4	4.7	2.4	2.2	10.6	2.9	8.4	3.0	1.9	1.7	43.6	23.1
要介護度	要介護１・２ (n=413)	15.5	1.9	5.1	2.7	2.7	0.0	3.1	7.0	2.9	2.4	1.2	48.9	24.5
	要介護３以上 (n=179)	7.3	3.4	3.9	1.7	1.1	35.2	2.2	11.7	3.4	0.6	2.8	31.3	20.1

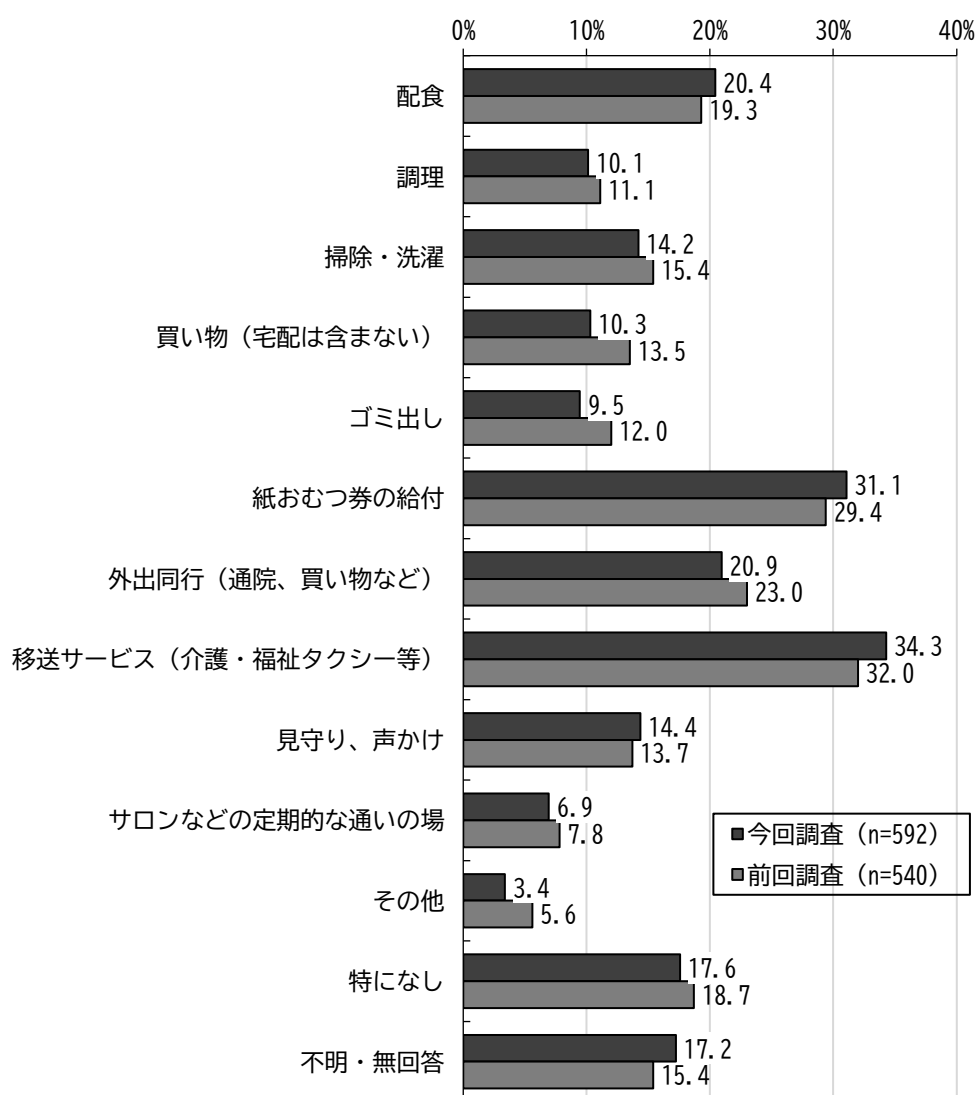
※紙おむつ券の給付は要介護３以上

〔8〕在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス

Q8. 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください（○はいくつでも）

今後の在宅生活の継続に必要な支援・サービスは、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が34.3%と最も高く、次いで、「紙おむつ券の給付」が31.1%、「外出同行（通院、買い物など）」が20.9%となっています。

前回調査に比べて、「買い物（宅配は含まない）」が3.2ポイント減少していますが、統計的には有意な差はみられません。



※介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスともに含みます。

◇その他回答：有効回答者数：20人（のべ22件）

「その他」の主な回答内容（分類）			
分 類	件 数	分 類	件 数
入浴・身体介助	4	リハビリ	1
訪問系サービス	4	わからない	2
費用負担の軽減	2	その他	9

在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス×要介護度

要介護度別にみると、要介護3以上では「移送サービス」が41.9%、「紙おむつ券の給付」が41.3%と、要介護1・2をそれぞれ10ポイント以上上回っており、身体的な負担に対応したサービスへのニーズが高くなっています。

一方、要介護1・2では「配食」が22.3%、「見守り、声かけ」が16.5%と、要介護3以上をそれぞれ上回っており、生活支援や見守りといったサービスへのニーズが相対的に高い傾向がみられます。

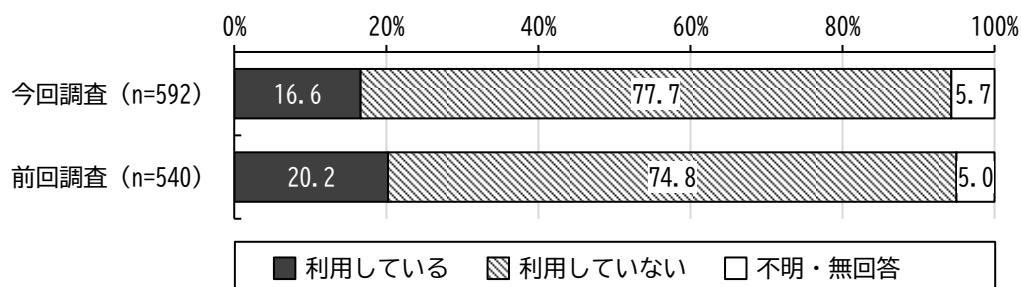
単位：％		配食	調理	掃除・洗濯	買い物 (宅配は含まない)	ゴミ出し	紙おむつ券の給付	外出同行 (通院、買い物など)	移送サービス (介護・福祉タクシー等)	見守り、声かけ	サロンなどの定期的な 通いの場	その他	利用していない	不明・無回答
	今回調査 (n=592)	20.4	10.1	14.2	10.3	9.5	31.1	20.4	34.3	14.4	6.9	4.1	17.6	17.2
要介護度	要介護1・2 (n=413)	22.3	11.4	15.5	11.6	10.2	26.6	21.5	31.0	16.5	8.0	3.1	18.4	17.4
	要介護3以上 (n=179)	16.2	7.3	11.2	7.3	7.8	41.3	17.9	41.9	9.5	4.5	6.1	15.6	16.8

〔９〕訪問診療の利用状況

Ｑ９． ご本人（調査対象者）は、現在、訪問診療を利用していますか（○は１つ）

訪問診療の利用状況は、「利用していない」が77.7%、「利用している」が16.6%となっています。

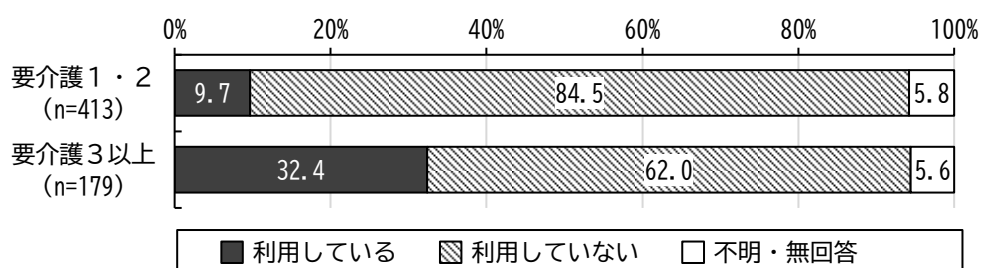
前回調査に比べて、「利用している」が3.6ポイント減少していますが、統計的には有意な差はみられません。



※訪問歯科診療や、医師・歯科医師・管理栄養士等による訪問指導などは含みません。

訪問診療の利用状況×要介護度

要介護度別にみると、訪問診療を「利用している」割合は要介護１・２で9.7%であるのに対し、要介護３以上では32.4%と22.7ポイント高くなっており、要介護度が高いほど訪問診療の利用率が高い傾向がみられます。

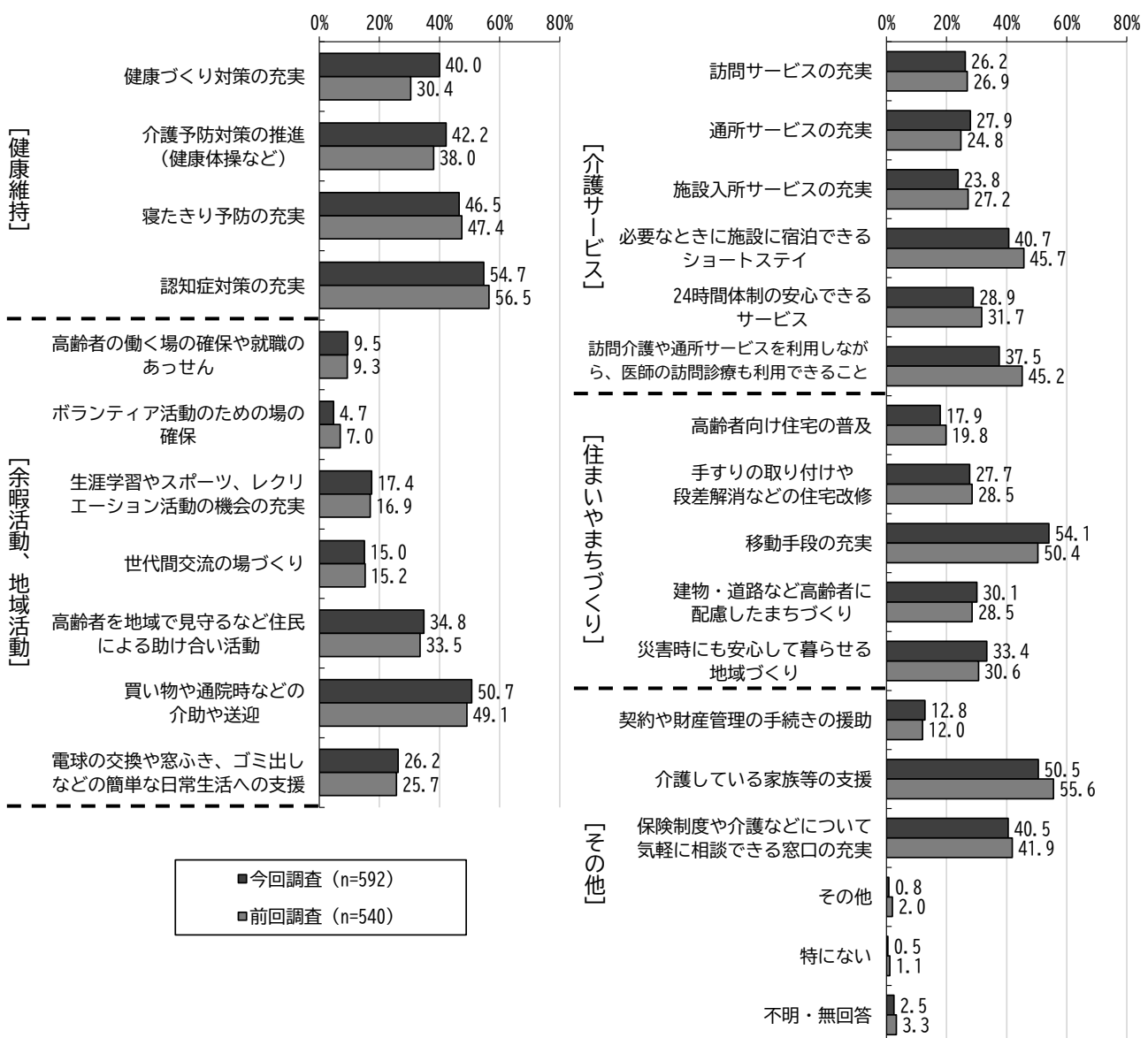


〔10〕地域や自宅での生活に必要な支援や施策

Q10. 高齢者が身近な地域や自宅での生活を続けていくために、どのような支援や施策の拡充が重要とお考えですか（〇はいくつでも）

高齢者が住み慣れた地域で生活をするために重要と考える支援や施策は、「認知症対策の充実」が54.7%と最も高く、次いで、「移動手段の充実」が54.1%、「買い物や通院時などの介助や送迎」が50.7%となっています。

前回調査に比べて、「健康づくり対策の充実」が9.6ポイント増加し、「訪問介護や通所サービスを利用しながら、医師の訪問診療も利用できること」が7.7ポイント減少しており、それぞれ有意な差がみられます。また、「介護予防対策の推進（健康体操など）」が4.2ポイント、「移動手段の充実」が3.7ポイント、「通所サービスの充実」が3.1ポイント増加しています。一方、「介護している家族等の支援」が5.1ポイント、「必要なときに施設に宿泊できるショートステイ」が5.0ポイント、「施設入所サービスの充実」が3.4ポイント減少していますが、いずれも統計的には有意な差はみられません。



Ⅲ 在宅介護実態調査結果

身近な地域や自宅での生活を続けていくために重要と思う支援×性別・年齢別・要介護度

性別にみると、女性は「通所サービスの充実」が32.5%と、男性に比べて11.6ポイント多くなっています。また、「介護している家族等の支援」が女性では54.1%と男性に比べて9.0ポイント多く、「認知症対策の充実」も女性では58.0%と男性に比べて8.2ポイント多くなっています。

年齢別にみると、65～74歳では【健康維持】に関する項目が高い傾向がみられ、「寝たきり予防の充実」は65～69歳で62.5%、70～74歳で51.4%と他の年齢層に比べて高くなっており、年齢が若いほど予防への意識が高い傾向がみられます。

要介護度別にみると、「介護している家族等の支援」は要介護3以上で59.2%と、要介護1・2の46.7%を12.5ポイント上回っており、重度になるほど家族への支援ニーズが高くなっています。

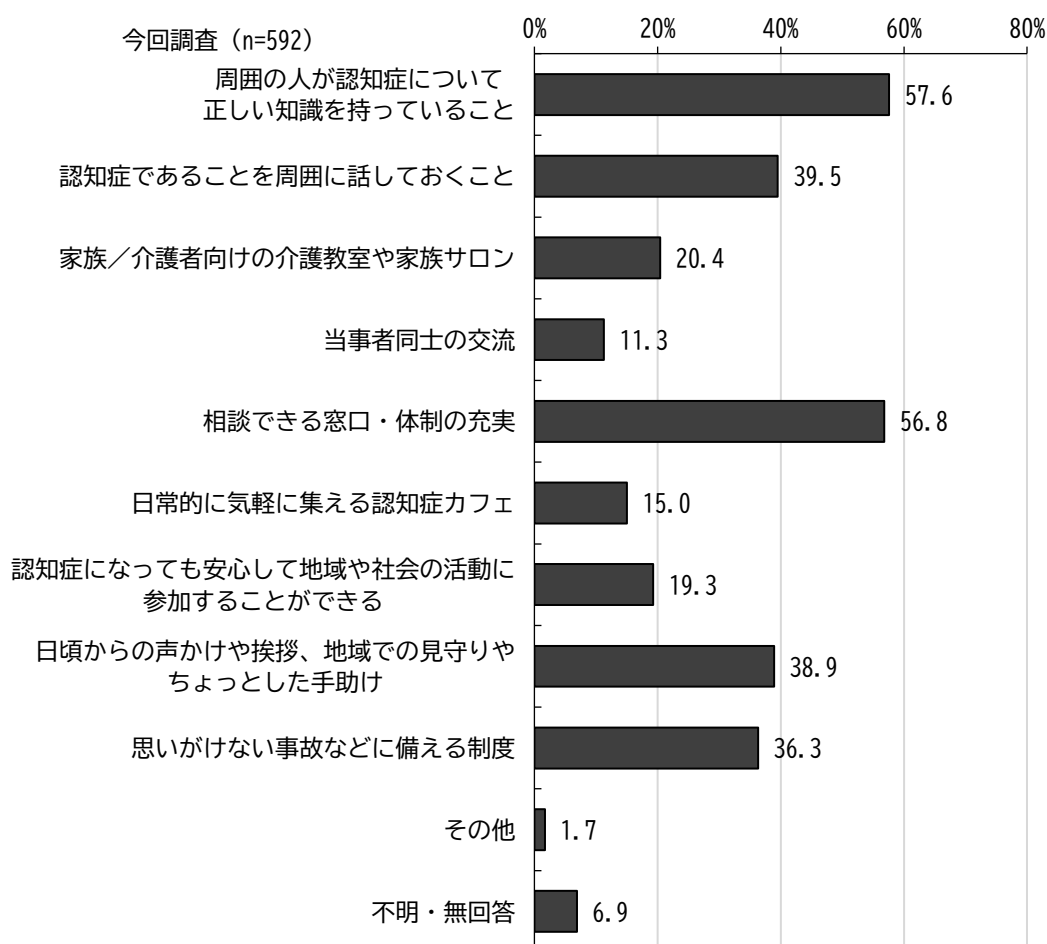
単位：％	健康づくり対策の充実	介護予防対策の推進（健康体操など）	寝たきり予防の充実	認知症対策の充実	高齢者の働く場の確保や就職のあっせん	ボランティア活動のための場の確保	充実にシヨコン活動の機会の充実	生涯学習やスポーツ、レクリエーション活動の機会の充実	世代間交流の場づくり	住民による助け合い活動	高齢者を地域で見守るなど	買い物や通院などの介助や送迎	電球の交換や窓ふき、ゴミ出しなどの簡単な日常生活への支援	訪問サービスの充実	通所サービスの充実	施設入所サービスの充実
今回調査（n=592）	40.0	42.2	46.5	54.7	9.5	4.7	17.4	15.0	34.8	50.7	26.2	26.2	27.9	23.8	20.9	20.4
性別																
男性（n=235）	40.9	40.9	42.6	49.8	9.4	3.4	17.0	12.8	30.2	48.1	23.8	23.4	20.9	20.4		
女性（n=357）	39.5	43.1	49.0	58.0	9.5	5.6	17.6	16.5	37.8	52.4	27.7	28.0	32.5	26.1		
年齢																
65～69歳（n=16）	50.0	25.0	62.5	50.0	12.5	6.3	18.8	12.5	18.8	56.3	31.3	43.8	31.3	37.5		
70～74歳（n=37）	43.2	48.6	51.4	54.1	10.8	5.4	18.9	8.1	32.4	43.2	16.2	37.8	24.3	16.2		
75～79歳（n=83）	45.8	42.2	47.0	44.6	9.6	1.2	14.5	10.8	28.9	44.6	27.7	27.7	16.9	16.9		
80～84歳（n=150）	31.3	37.3	44.7	53.3	9.3	4.0	13.3	12.0	36.0	50.0	23.3	21.3	29.3	23.3		
85～89歳（n=150）	50.7	49.3	44.7	54.7	10.0	6.7	22.0	21.3	42.7	53.3	30.0	28.7	32.0	20.7		
90歳以上（n=156）	33.3	40.4	46.8	62.2	8.3	5.1	17.9	16.0	31.4	53.2	26.3	23.1	28.8	31.4		
要介護度																
要介護1・2（n=413）	42.6	44.6	46.2	55.7	7.7	4.6	18.4	16.0	33.2	51.6	28.3	24.2	28.8	22.5		
要介護3以上（n=179）	34.1	36.9	46.9	52.5	13.4	5.0	15.1	12.8	38.5	48.6	21.2	30.7	25.7	26.8		

単位：％		必要ときに施設に宿泊できる ショートステイ	24時間体制の安心できる サービス	訪問介護や通所サービスを 利用しながら、医師の訪問 診療も利用できること	高齢者向け住宅の普及	手すりの取り付けや段差解 消などの住宅改修	移動手段の充実	建物・道路など高齢者に配 慮したまちづくり	災害時にも安心して暮らせ る地域づくり	契約や財産管理の手続きの 援助	介護している家族等の支援	保険制度や介護などについ て気軽に相談できる窓口の 充実	その他	特 に ない	不明・無回答
	今回調査（n=592）	40.7	28.9	37.5	17.9	27.7	54.1	30.1	33.4	12.8	50.5	40.5	0.8	0.5	2.5
性別	男性（n=235）	43.0	25.1	34.9	14.5	23.8	54.9	24.7	31.1	15.3	45.1	36.2	0.4	0.0	3.8
	女性（n=357）	39.2	31.4	39.2	20.2	30.3	53.5	33.6	35.0	11.2	54.1	43.4	1.1	0.8	1.7
年 齢	65～69歳(n=16)	43.8	50.0	25.0	18.8	18.8	37.5	43.8	50.0	18.8	43.8	50.0	0.0	0.0	0.0
	70～74歳(n=37)	43.2	24.3	21.6	21.6	24.3	51.4	29.7	35.1	16.2	56.8	32.4	0.0	0.0	8.1
	75～79歳(n=83)	28.9	21.7	37.3	12.0	21.7	53.0	33.7	32.5	7.2	36.1	36.1	2.4	0.0	2.4
	80～84歳(n=150)	40.7	20.7	32.7	12.7	28.0	55.3	22.0	32.0	14.7	45.3	38.7	0.7	2.0	2.7
	85～89歳(n=150)	36.7	34.7	44.0	23.3	35.3	57.3	37.3	36.7	14.0	50.7	47.3	1.3	0.0	2.7
	90歳以上(n=156)	50.0	34.0	41.0	19.9	25.0	52.6	27.6	30.1	11.5	62.2	39.1	0.0	0.0	1.3
要介護度	要介護1・2（n=413）	40.0	25.7	34.6	15.3	27.1	55.9	30.0	33.7	10.9	46.7	42.4	0.5	0.7	1.9
	要介護3以上(n=179)	42.5	36.3	44.1	24.0	29.1	49.7	30.2	33.0	17.3	59.2	36.3	1.7	0.0	3.9

〔11〕 認知症について

Q11. 認知症があっても住み慣れた地域で安心して生活をするために、どのようなことが大切だと思いますか（〇はいくつでも）

認知症があっても安心して生活をするために大切なことは、「周囲の人が認知症について正しい知識を持っていること」が57.6%と最も高く、次いで、「相談できる窓口・体制の充実」が56.8%、「認知症であることを周囲に話しておくこと」が39.5%となっています。



◇その他回答：有効回答者数：8人（のべ9件）

「その他」の主な回答内容（分類）	
分 類	件 数
相談窓口・包括支援	2
偏見の解消	1
安全対策	2
施設の充実	2
その他	2

認知症があっても住み慣れた地域で生活をするために大切だと思うこと×性別・要介護度

性別にみると、女性は「周囲の人が認知症について正しい知識を持っていること」が60.2%と、男性に比べて6.6ポイント多くなっています。また、「相談できる窓口・体制の充実」が女性では59.1%と男性に比べて5.9ポイント多くなっています。

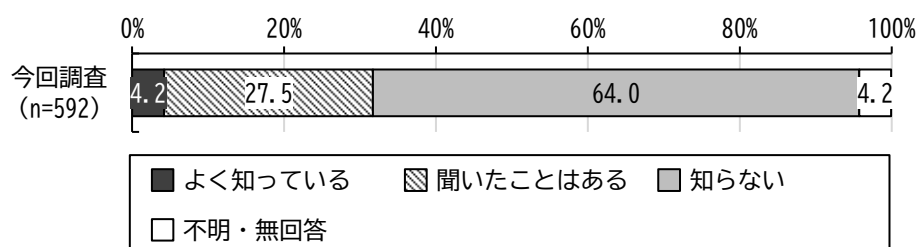
要介護度別にみると、「認知症であることを周囲に話しておくこと」は要介護3以上で48.6%と、要介護1・2の35.6%を13.0ポイント上回っており、要介護度が高いほど周囲への告知を重視する傾向がみられます。一方、「思いがけない事故などに備える制度」は要介護1・2で38.3%と、要介護3以上の31.8%を上回っています。

単位：％		周囲の人が認知症について正しい知識を持っていること	認知症であることを周囲に話しておくこと	家族／介護者向けの介護教室や家族サロン	当事者同士の交流	相談できる窓口・体制の充実	日常的に気軽に集える認知症カフェ	認知症になっても安心して地域や社会の活動に参加することができる	手助けの声かけや挨拶、地域での見守りやちよつとした	思いがけない事故などに備える制度	その他	不明・無回答
	今回調査（n=592）	57.6	39.5	20.4	11.3	56.8	15.0	19.3	38.9	36.3	1.7	6.9
性別	男性（n=235）	53.6	39.6	19.1	9.8	53.2	16.2	19.1	36.2	33.6	0.9	9.4
	女性（n=357）	60.2	39.5	21.3	12.3	59.1	14.3	19.3	40.6	38.1	2.2	5.3
要介護度	要介護１・２（n=413）	57.4	35.6	20.1	12.6	58.1	15.5	20.1	37.8	38.3	1.0	7.5
	要介護３以上（n=179）	58.1	48.6	21.2	8.4	53.6	14.0	17.3	41.3	31.8	3.4	5.6

〔12〕「新しい認知症観」について

Q12. 「新しい認知症観※」について知っていますか（○は1つ）

「新しい認知症観」の認知度は、「知らない」が64.0%と最も高く、次いで、「聞いたことはある」が27.5%、「よく知っている」が4.2%となっています。

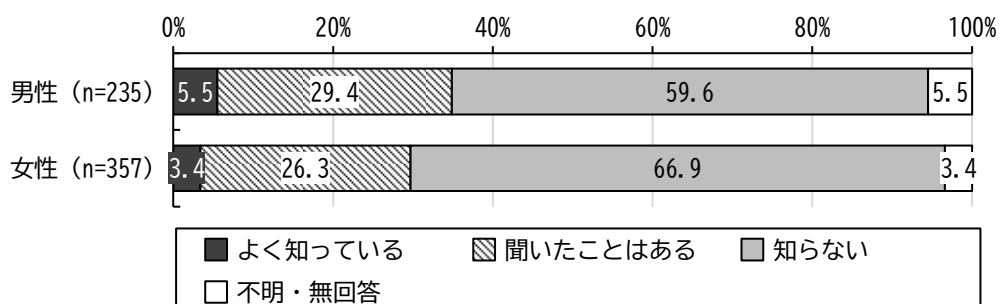


※「新しい認知症観」

令和6年に施行された認知症基本法の基本理念で、認知症になってからも、一人ひとりが個人としてできること・やりたいことがあり、住み慣れた地域で仲間等とつながりながら、希望を持って自分らしく暮らし続けることができるという考え方。

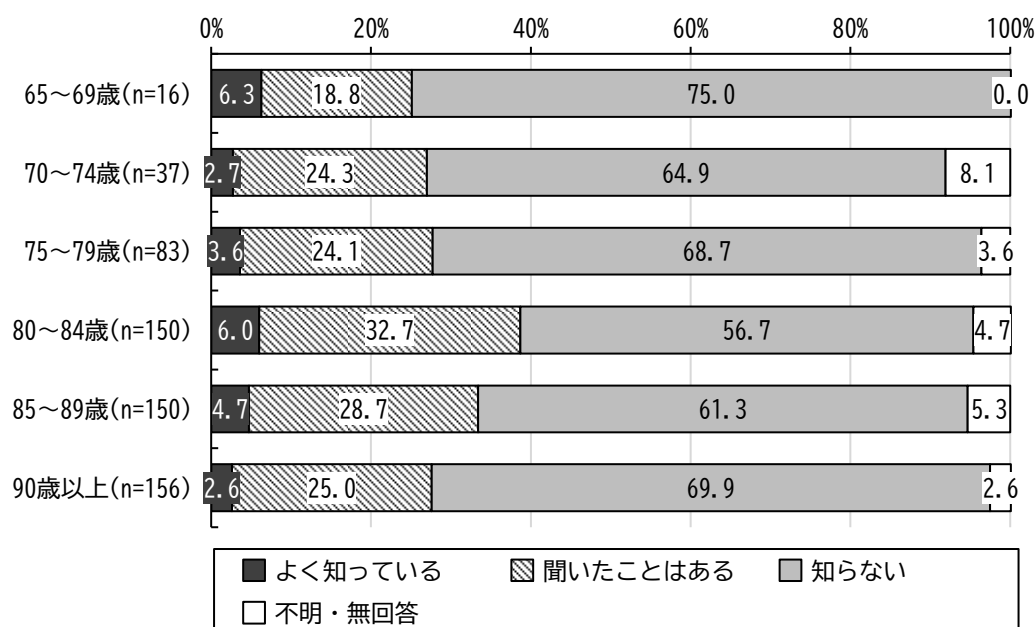
新しい認知症観の認知度×性別

性別にみると、「よく知っている」と「聞いたことはある」を合わせた『知っている』は男性が34.9%と女性に比べて5.2ポイント多くなっています。



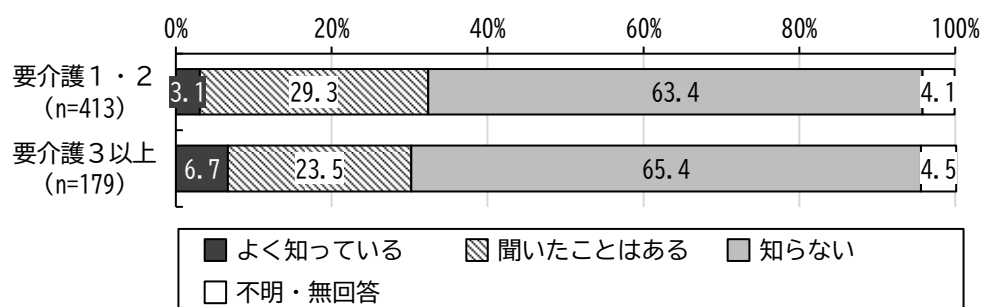
新しい認知症観の認知度×年齢別

年齢別にみると、「よく知っている」と「聞いたことはある」を合わせた認知割合は、80～84歳で38.7%と最も高く、次いで、85～89歳で33.4%となっています。一方、65～69歳では75.0%、90歳以上では69.9%が「知らない」と回答しており、いずれの年齢層においても「知らない」が過半数を占め、新しい認知症観の認知度は全体的に低い状況となっています。



新しい認知症観の認知度×要介護度

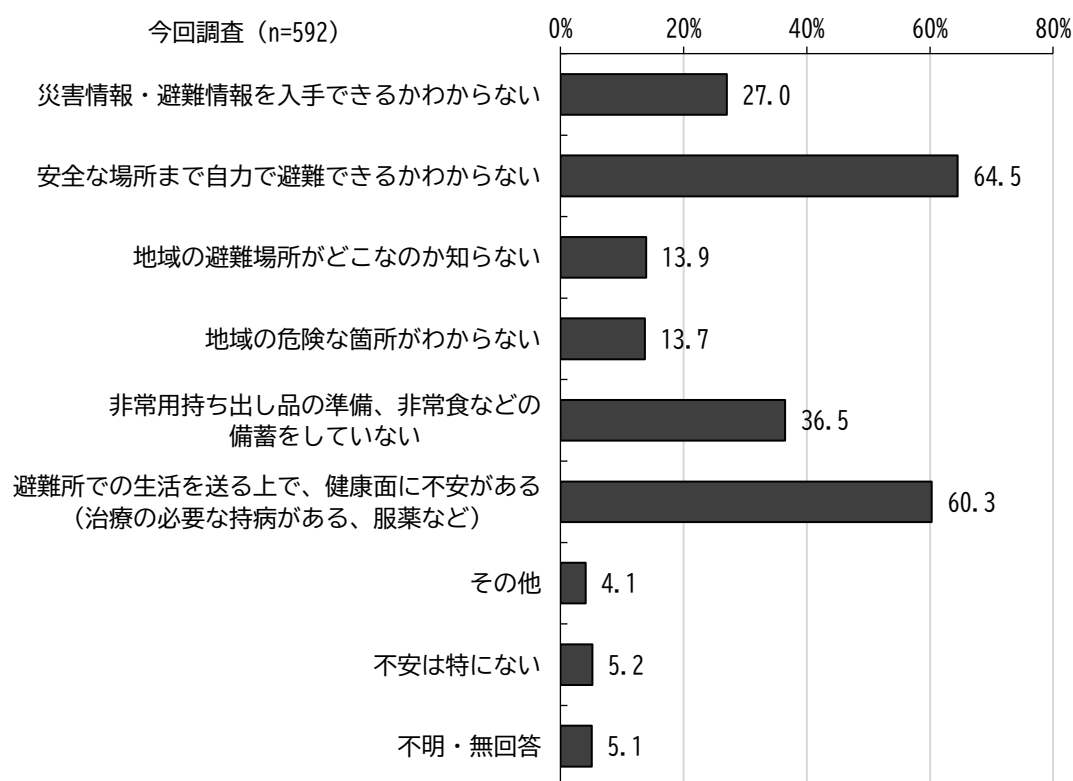
要介護度別にみると、「よく知っている」「聞いたことはある」を合わせた認知割合は要介護1・2で32.4%、要介護3以上で30.2%とほぼ同水準であり、いずれの要介護度でも「知らない」が約65%と大半を占めています。



〔13〕 災害時の対応について

Q13 災害時の対応についてお伺いします。地震や風水害などの災害時に対し、不安に思うことはありますか（〇はいくつでも）

災害時に不安に思うことは、「安全な場所まで自力で避難できるかわからない」が64.5%と最も高く、次いで、「避難所での生活を送る上で、健康面に不安がある（治療の必要な持病がある、服薬など）」が60.3%、「非常用持ち出し品の準備、非常食などの備蓄をしていない」が36.5%となっています。



◇その他回答：有効回答者数：22 人（のべ 25 件）

「その他」の主な回答内容（分類）	
分 類	件 数
避難困難・移動不可	7
避難所生活の不安	8
自宅待機	1
介護が必要	1
なるようになる	2
その他	6

災害時の対応×年齢別・居住地区別・要介護度

年齢別にみると、「安全な場所まで自力で避難できるかわからない」が全体の 64.5%に比べて、85～89 歳では 70.0%とやや高くなっている一方、70～74 歳では 45.9%、75～79 歳では 59.0%と低くなっています。

居住地区別にみると「非常用持ち出し品の準備、非常食などの備蓄をしていない」は木津東地区が 43.2%と、木津西地区に比べて 15.5 ポイント多くなっています。また、山城地区では「安全な場所まで自力で避難できるかわからない」が 72.0%と、他の地区に比べて多くなっています。

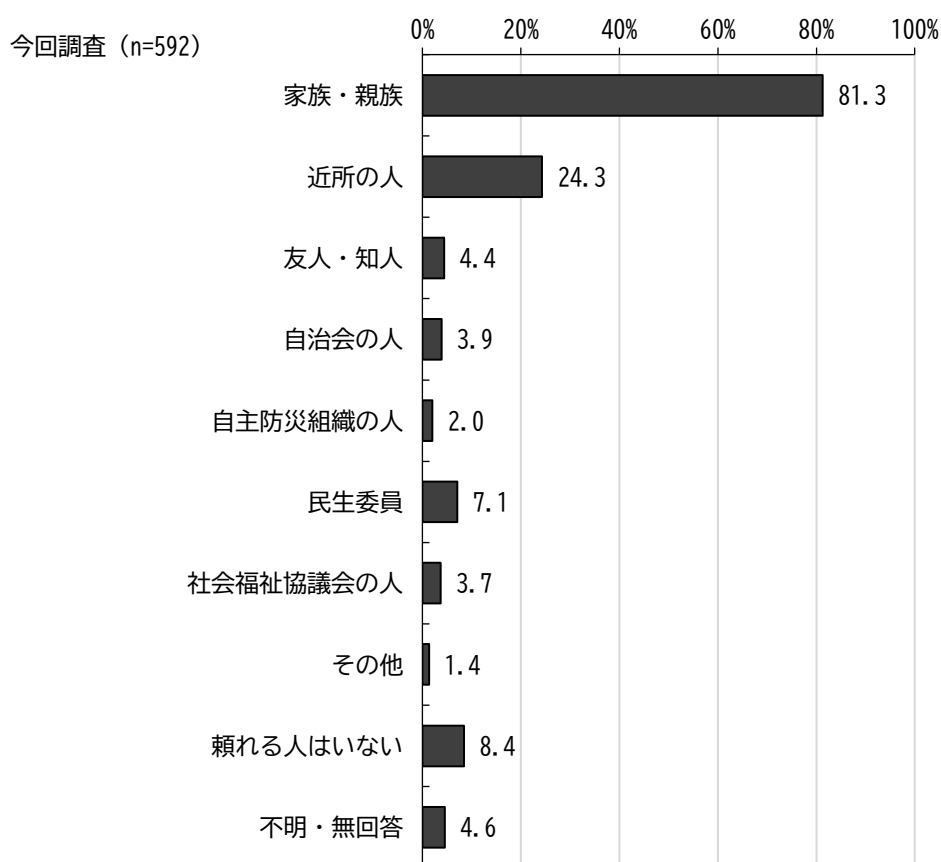
要介護度別にみると、「避難所での生活を送る上で、健康面に不安がある（治療の必要な持病がある、服薬など）」は要介護 3 以上で 65.4%と、要介護 1・2 の 58.1%を 7.3 ポイント上回っており、重度になるほど健康・服薬面での不安が高くなっています。一方、「安全な場所まで自力で避難できるかわからない」は要介護 1・2 で 67.3%と、要介護 3 以上の 58.1%を上回っており、軽度の方が自力避難への不確かさをより感じている傾向がみられます。

単位：％		災害情報・避難情報 を入手できるか	安全な場所まで自力で 避難できるか	地域の避難場所がどこ なのか知らない	地域の危険な箇所がわ からない	非常用持ち出し品の準 備、非常食など	避難所での生活を送る 上で、治療の必要な 持病がある、服薬など	その他	不安は特 にない	不明・無 回答
	今回調査 (n=592)	27.0	64.5	13.9	13.7	36.5	60.3	4.1	5.2	5.1
年 齢	65～69歳(n=16)	25.0	62.5	12.5	6.3	25.0	87.5	6.3	0.0	0.0
	70～74歳(n=37)	32.4	45.9	16.2	13.5	29.7	54.1	0.0	8.1	8.1
	75～79歳(n=83)	21.7	59.0	9.6	13.3	37.3	55.4	6.0	6.0	3.6
	80～84歳(n=150)	22.0	64.7	14.0	12.0	30.7	58.0	4.0	8.0	6.0
	85～89歳(n=150)	34.0	70.0	19.3	16.7	42.7	60.0	4.0	2.0	6.7
	90歳以上(n=156)	26.9	66.7	10.3	13.5	38.5	64.1	3.8	5.1	3.2
居 住 地 区	木津東 (n=155)	34.2	65.2	16.1	16.1	43.2	60.0	2.6	3.2	3.2
	木津西 (n=177)	19.8	61.6	12.4	10.2	27.7	59.3	4.5	6.2	6.2
	加茂 (n=153)	22.9	62.1	10.5	13.1	37.9	60.1	3.9	7.8	5.9
	山城 (n=107)	34.6	72.0	17.8	16.8	39.3	62.6	5.6	2.8	4.7
要 介 護 度	要介護 1・2 (n=413)	28.8	67.3	14.3	14.5	37.0	58.1	3.6	5.3	4.8
	要介護 3 以上(n=179)	22.9	58.1	12.8	11.7	35.2	65.4	5.0	5.0	5.6

〔14〕避難時に頼れる人

Q14. 災害等で避難が必要な際、頼れる人はいますか（〇はいくつでも）

災害等で避難が必要な際に頼れる人は、「家族・親族」が81.3%と最も高く、次いで、「近所の人」が24.3%、「頼れる人はいない」が8.4%となっています。



◇その他回答：有効回答者数：6人（のべ6件）

「その他」の主な回答内容（分類）	
分 類	件 数
施設・行政	3
いない	2
その他	1

災害等で避難が必要な際に、頼れる人の有無×要介護度

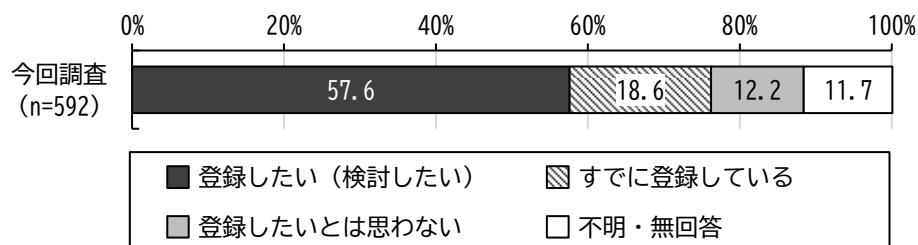
要介護度別にみると、どの要介護度でも同様の傾向となっています。

単位：%		家族・親族	近所の人	友人・知人	自治会の人	の自主防災組織	民生委員	社会福祉協議会	その他	頼れる人はいない	不明・無回答
	今回調査（n=592）	81.3	24.3	4.4	3.9	2.0	7.1	3.7	1.4	8.4	4.6
要介護度	要介護1・2（n=413）	81.6	24.2	5.1	4.4	2.2	6.1	3.9	2.7	8.7	4.1
	要介護3以上（n=179）	78.8	22.9	2.8	2.8	1.7	9.5	3.4	1.7	7.8	5.6

〔15〕避難行動要支援者名簿への登録意向

Q15. 災害時の避難に支援が必要な方を対象とした名簿※について、ご自身が避難時に支援を必要とする状態になったとき、名簿に登録したいですか（○は1つ）

避難行動要支援者名簿への登録意向は、「登録したい（検討したい）」が 57.6%と最も高く、次いで、「すでに登録している」が 18.6%、「登録したいとは思わない」が 12.2%となっています。

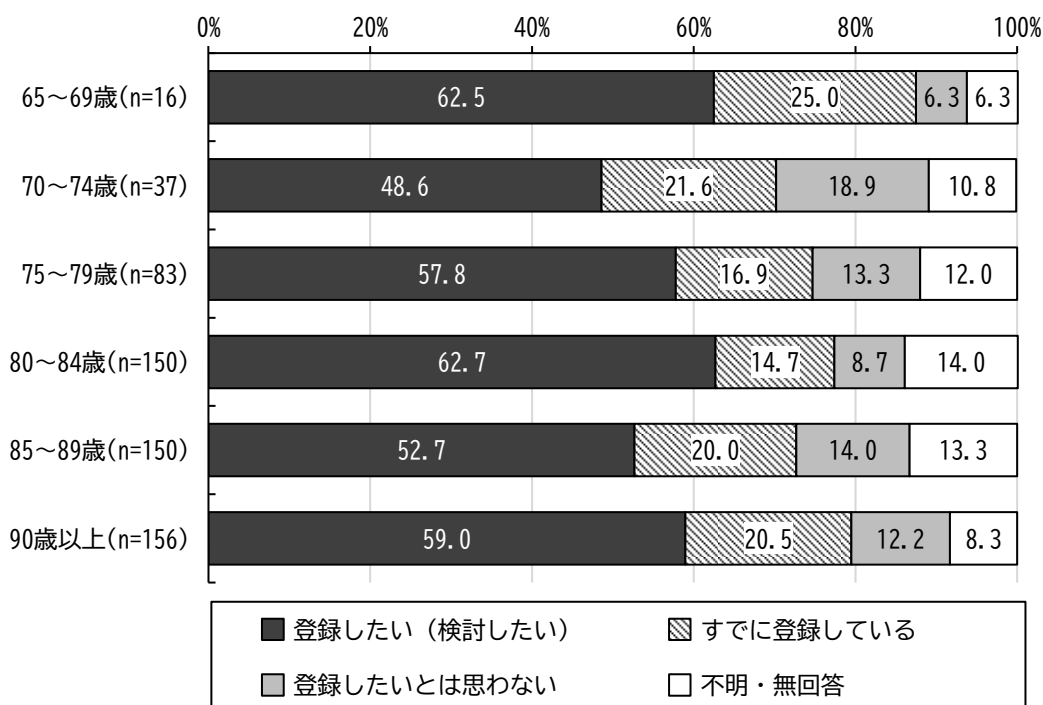


※「木津川市避難行動要支援者名簿登録制度」

避難行動要支援者名簿に登録され、名簿情報提供の同意が得られた場合、市から避難支援等関係者（民生委員、行政地域、自主防災組織、社会福祉協議会など）へ名簿情報を提供し、平時からの声かけや避難訓練への参加の呼びかけに活用されます。災害時は、名簿情報提供の同意にかかわらず名簿情報を避難支援等関係者に提供します。

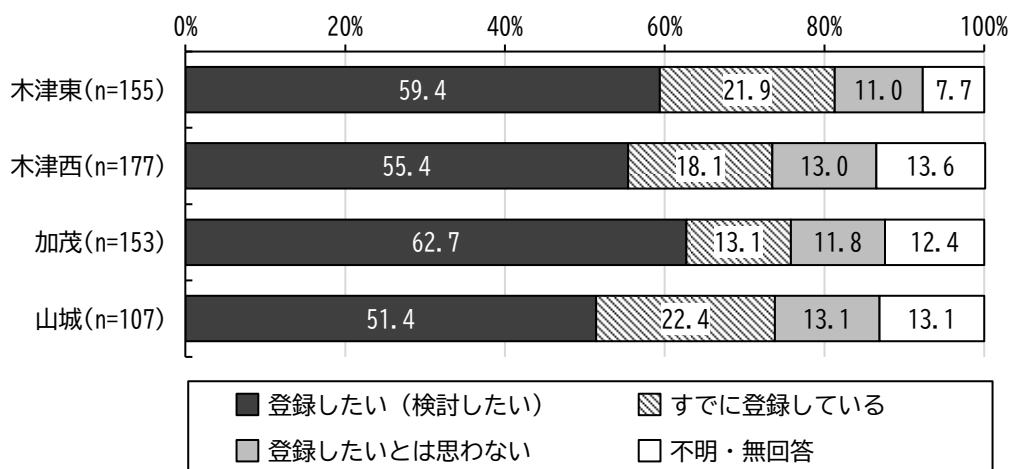
木津川市避難行動要支援者名簿登録制度への登録意向×年齢別

年齢別にみると、「登録したい（検討したい）」が全体の 57.6%に比べて、65～69 歳では 62.5%、80～84 歳では 62.7%とやや高くなっている一方、70～74 歳では 48.6%、85～89 歳では 52.7%とやや低くなっています。



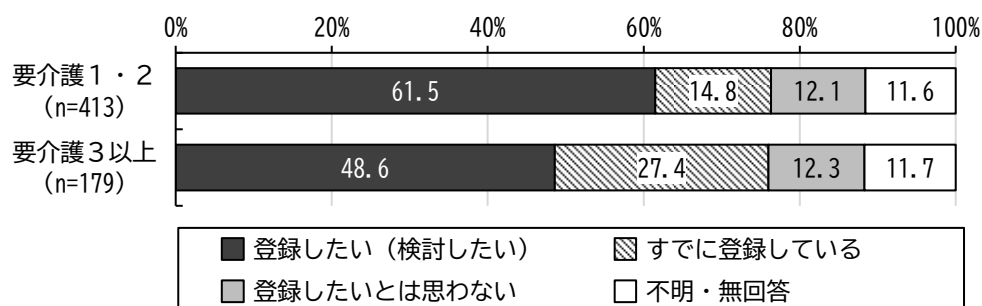
木津川市避難行動要支援者名簿登録制度への登録意向×居住地区別

居住地区別にみると、「登録したい（検討したい）」と「すでに登録している」を合わせた登録意向は、木津東が81.3%と最も高く、次いで、加茂75.8%、山城73.8%、木津西73.5%となっています。



木津川市避難行動要支援者名簿登録制度への登録意向×要介護度

要介護度別にみると、「登録したい（検討したい）」と「すでに登録している」を合わせた登録意向は、全体の76.2%に比べて、要介護1・2では76.3%、要介護3以上では76.0%と大きな差はみられません。内訳をみると、要介護1・2では「すでに登録している」が14.8%であるのに対し、要介護3以上では27.4%と12.6ポイント高くなっています。



Ⅲ 在宅介護実態調査結果

- 最後に、介護保険や高齢者施策の推進、暮らしやすい地域づくりなどについて、ご意見やご要望などがございましたら、ご記入ください

◇計 63 件（のべ 90 件）のご意見をいただきました。主な内容は以下のとおりです。

自由回答（ご意見・ご要望）の主な内容	
■介護保険制度や介護サービスについて	28 件
・自宅でリハビリや看護を受けられる選択肢を増やしてほしい、介護予防の通いの場を増やしてほしい	(5 件)
・月 15 万円程度で暮らせる低料金の施設の整備、入所待ちを解消してほしい	(7 件)
・年金だけでは施設に入れない不安がある、今後も 1 割負担で利用できるようにしてほしい	(5 件)
・その他（認定前でも器具購入の補助を受けられるようにしてほしい、負担限度額の対象をグループホームにも広げてほしい、制度をわかりやすく説明してほしい など）	(11 件)
■高齢者施策について	29 件
・買い物支援や紙おむつ助成の拡充、民生委員や傾聴ボランティアにもっと来てほしい	(12 件)
・老人から子どもまで集まれるカフェがほしい、通いの場を増やしてほしい	(4 件)
・老々介護で今後が不安、サロン等への送迎を家族がしなくてよい仕組みがほしい	(8 件)
・その他（手押し車で歩ける道に整備してほしい、高齢者でも借りられるバリアフリー賃貸を増やしてほしい など）	(5 件)
■移動や外出について	13 件
・車の運転免許返納後の移動手段が不安、バス・電車の本数が少なく通院や外出が困難、コミュニティバスや乗り合い型の交通手段を充実してほしい	(5 件)
・手押し車で歩ける道路の整備、外出しやすい歩行環境をつくってほしい	(3 件)
・ストレッチャー対応など介護タクシーや移送サービスの料金が高い、通院時の補助制度を設けてほしい	(2 件)
・その他（視力・足腰の障害で夜間の外出が困難、移動が不便 など）	(3 件)
■行政へのご意見・ご要望	12 件
・市の介護保険制度や高齢者施策について説明してほしい、わかりやすい情報提供やケアマネジャー等との直接対話の機会を増やしてほしい	(4 件)
・高齢者への緊急時対応・情報伝達手段の改善をしてほしい	(3 件)
・物価上昇や年金だけでは生活が苦しく経済的支援を拡充してほしい、介護サービス利用者間の負担の公平性を高めてほしい	(2 件)
・その他（高齢者が安心して暮らせる地域づくり、地域格差の解消・インフラ整備、介護関連予算の拡充 など）	(3 件)
■地域活動、ご近所づきあいについて	4 件
・日頃からのご近所づきあいを大切にしたい、いざというときに連絡・相談できる関係づくりをしてほしい	(2 件)
・新たな住民の増加等により近所付き合いが希薄化しており、地域コミュニティの維持・活性化が必要と感じている	(2 件)
■その他のご意見	4 件
・アンケートについて	(2 件)
・その他	(2 件)

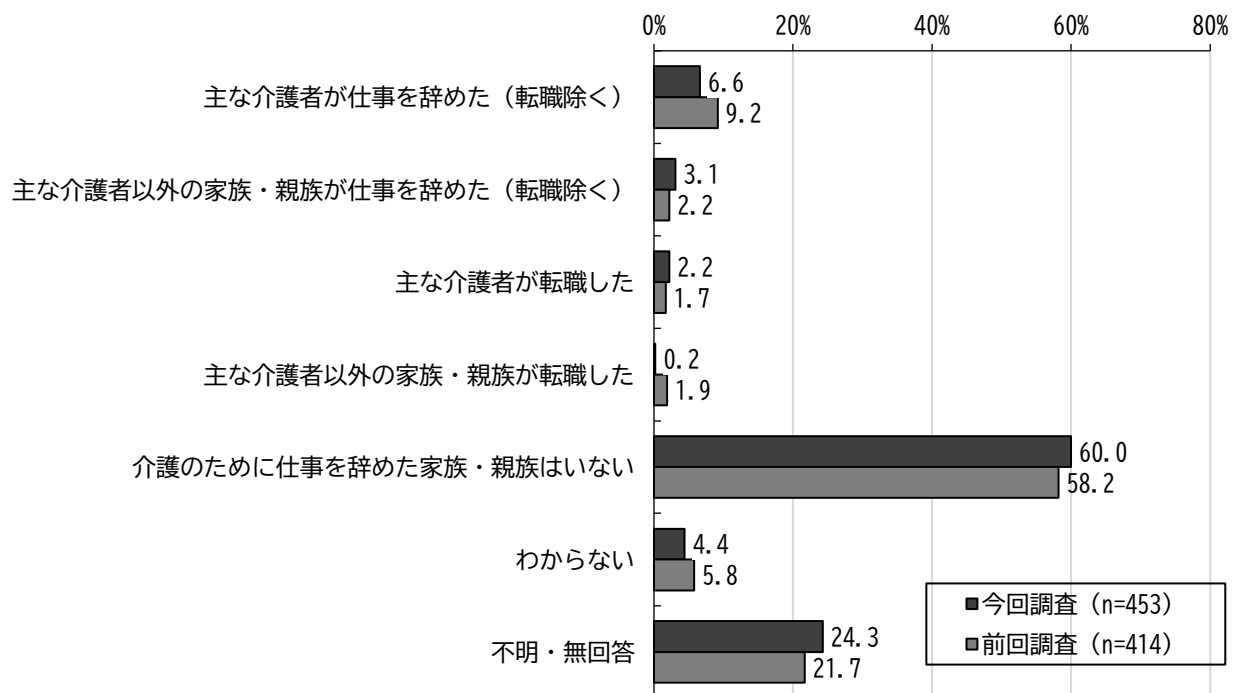
B票 主な介護者の方について、お伺いします

〔1〕介護のための離職の有無

Q1. ご家族やご親族の中で、ご本人（調査対象者）の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）（○はいいくつでも）

介護を理由とした離職の状況は、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が60.0%と最も高く、次いで、「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」が6.6%、「わからない」が4.4%となっています。

前回調査と同様の傾向となっています。



※自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます。

介護のための離職の有無×要介護度

要介護度別にみると、「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」「主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた（転職除く）」「主な介護者が転職した」「主な介護者以外の家族・親族が転職した」を合算した離職・転職した家族・親族がいる割合は要介護３以上で18.8%と、要介護１・２の9.1%を9.7ポイント上回っており、要介護度が高いほど家族が仕事を辞めたり転職したりする傾向がみられます。

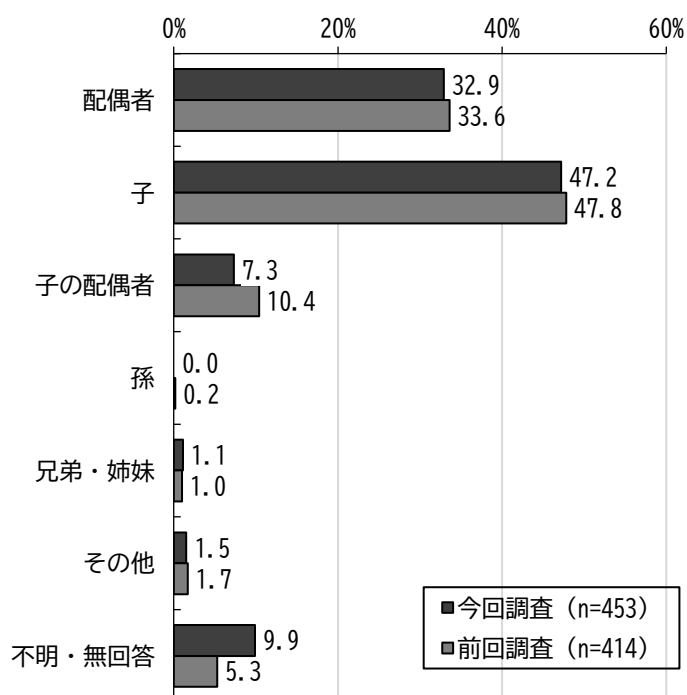
単位：％		主な介護者が仕事を辞めた (転職除く)	主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた (転職除く)	主な介護者が転職した	主な介護者以外の家族・親族が転職した	介護家族・親族に仕事をしない辞めた	わからない	不明・無回答
	今回調査 (n=453)	6.6	3.1	2.2	0.2	60.0	4.4	24.3
要介護度	要介護１・２ (n=309)	5.5	2.3	1.3	0.0	62.8	4.2	24.6
	要介護３以上 (n=144)	9.0	4.9	4.2	0.7	54.2	4.9	23.6

〔2〕主な介護者と本人の関係

Q2. 主な介護者の方は、どなたですか（○は1つ）

主な介護者と本人との関係は、「子」が47.2%と最も高く、次いで、「配偶者」が32.9%、「子の配偶者」が7.3%となっています。

前回調査に比べて、「子の配偶者」が3.1ポイント減少していますが、統計的には有意な差はみられません。



主な介護者×要介護度

要介護度別にみると、どの要介護度でも同様の傾向となっています。

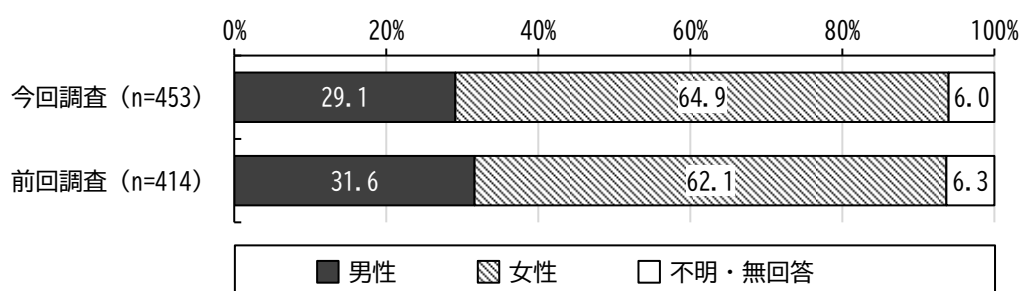
単位：％		配偶者	子	子の配偶者	孫	兄弟・姉妹	その他	不明・無回答
	今回調査 (n=453)	32.9	47.2	7.3	0.0	1.1	1.5	9.9
要介護度	要介護1・2 (n=309)	32.4	46.9	7.1	0.0	0.6	1.9	11.0
	要介護3以上 (n=144)	34.0	47.9	7.6	0.0	2.1	0.7	7.6

〔3〕主な介護者の性別

Q3. 主な介護者の方の性別について、ご回答ください（○は1つ）

主な介護者の性別は、「男性」が29.1%、「女性」が64.9%となっています。

前回調査と同様の傾向となっています。

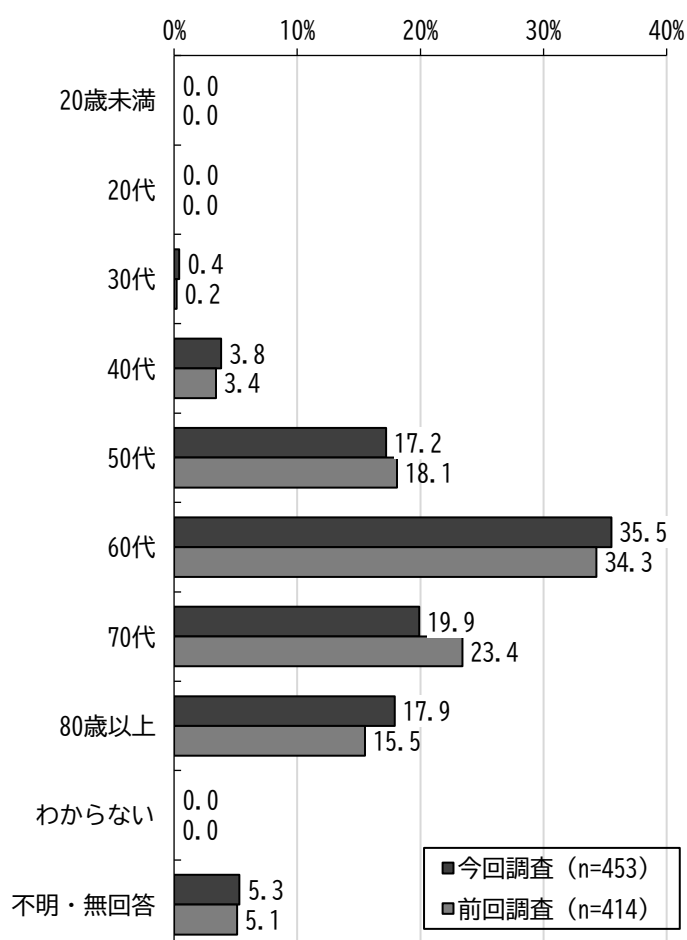


〔4〕主な介護者の年齢

Q4. 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください（○は1つ）

主な介護者の年齢は、「60代」が35.5%と最も高く、次いで、「70代」が19.9%、「80歳以上」が17.9%となっています。

前回調査では「50代」が18.1%と「80歳以上」の15.5%を上回っていましたが、今回は「80歳以上」が「50代」を上回っており、順位が入れ替わっています。ただし、両項目の差は小さく、統計的誤差の範囲内であり、概ね同様の傾向となっています。



主な介護者の年齢×年齢

調査対象者の年齢別にみると、70～79歳では「70代」の介護者が多く、70～74歳で61.5%、75～79歳で50.0%となっており、70歳以上の介護者が占める割合はそれぞれ61.5%、68.3%と高くなっています。80～84歳でも「70代」「80歳以上」の介護者が48.6%と約半数を占めており、老老介護の状況がみられます。一方、85歳以上では「60代」の介護者が中心となり、85～89歳で44.4%、90歳以上で64.1%と全体の35.5%を大幅に上回っており、子世代による介護が主となっています。

単位：％		20歳未満	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上	わからない	不明・無回答
	今回調査 (n=453)	0.0	0.0	0.4	3.8	17.2	35.5	19.9	17.9	0.0	5.3
年齢	65～69歳(n=14)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	71.4	21.4	0.0	0.0	7.1
	70～74歳(n=26)	0.0	0.0	3.8	3.8	11.5	19.2	61.5	0.0	0.0	0.0
	75～79歳(n=60)	0.0	0.0	0.0	5.0	11.7	3.3	50.0	18.3	0.0	11.7
	80～84歳(n=105)	0.0	0.0	1.0	5.7	29.5	7.6	18.1	30.5	0.0	7.6
	85～89歳(n=117)	0.0	0.0	0.0	5.1	20.5	44.4	4.3	22.2	0.0	3.4
	90歳以上(n=131)	0.0	0.0	0.0	0.8	9.9	64.1	13.0	9.2	0.0	3.1

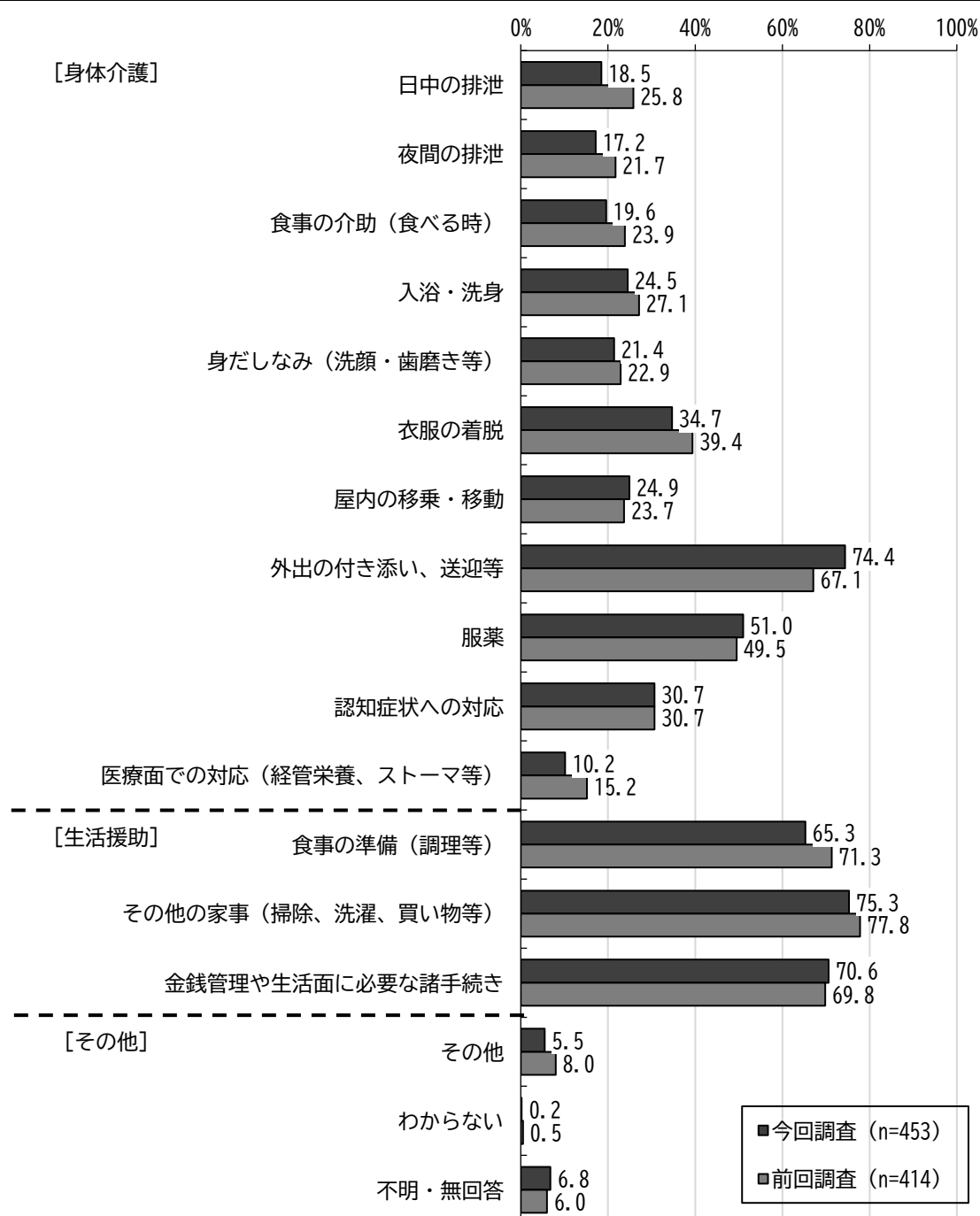
※表頭が主な介護者の年齢。表側が介護を受けている回答者の年齢。

〔5〕主な介護者が行っている介護

Q5. 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください（○はいくつでも）

主な介護者が行っている介護は、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が75.3%と最も高く、次いで、「外出の付き添い、送迎等」が74.4%、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が70.6%となっています。

前回調査に比べて、「外出の付き添い、送迎等」が7.3ポイント増加、一方で「日中の排泄」が7.3ポイント、「食事の準備（調理等）」が6.0ポイント、「医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）」が5.0ポイント減少しており、それぞれ有意な差がみられます。また、「衣服の着脱」が4.7ポイント、「夜間の排泄」が4.5ポイント、「食事の介助（食べる時）」が4.3ポイント減少していますが、いずれも統計的には有意な差はみられません。



◇その他回答：有効回答者数：19人（のべ19件）

「その他」の主な回答内容（分類）	
分 類	件 数
送迎	2
生活管理・事務	5
身体介護	5
見守り・観察	3
その他	4

主な介護者の方が行っている介護等×要介護度

要介護度別にみると、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」は要介護3以上で81.9%と、全体の75.3%に比べてやや高くなっています。

認定状況別にみると、「身体介護」に分類される項目では要介護3以上が要介護1・2を大幅に上回っており、なかでも「日中の排泄」が45.1ポイント、「衣服の着脱」が39.8ポイント、「夜間の排泄」が35.9ポイントの差がみられます。一方、「外出の付き添い、送迎等」は要介護1・2が78.3%と要介護3以上の66.0%を12.3ポイント上回っています。

〔生活援助〕については、「食事の準備（調理等）」が21.3ポイント、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が10.5ポイント要介護3以上の方が高くなっており、要介護度が高いほど身体介護・生活援助の両面で幅広い介護が必要となっている状況がうかがえます。

単位：％		日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助（食べる時）	入浴・洗身	身だしなみ（洗顔・歯磨き等）	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	迎外出の付き添い、送	服薬	認知症状への対応
	今回調査（n=453）	18.5	17.2	19.6	24.5	21.4	34.7	24.9	74.4	51.0	30.7
要介護度	要介護1・2（n=309）	4.2	5.8	10.4	23.0	12.0	22.0	15.9	78.3	44.0	26.9
	要介護3以上（n=144）	49.3	41.7	39.6	27.8	41.7	61.8	44.4	66.0	66.0	38.9

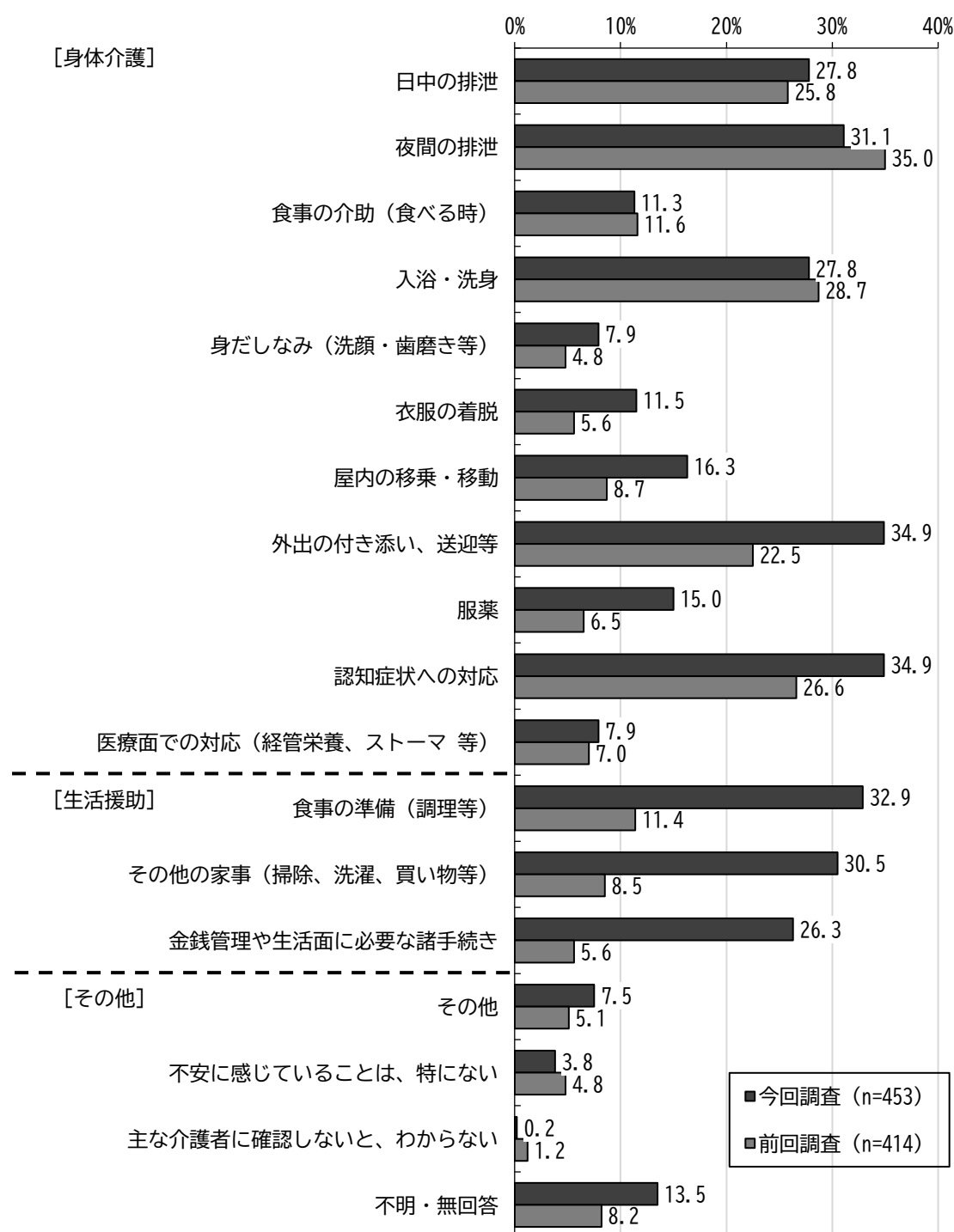
単位：％		医療面での対応（経管栄養等）	食事の準備（調理等）	その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）	金銭管理や生活面に必要な諸手続き	その他	わからない	不明・無回答
	今回調査（n=453）	10.2	65.3	75.3	70.6	5.5	0.2	6.8
要介護度	要介護1・2（n=309）	9.1	58.6	72.2	67.3	4.9	0.3	7.8
	要介護3以上（n=144）	12.5	79.9	81.9	77.8	6.9	0.0	4.9

〔6〕主な介護者が不安に感じる介護

Q 6. 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください（現状で行っているか否かは問いません）（○は3つまで）

主な介護者が不安に感じる介護は、「外出の付き添い、送迎等」「認知症状への対応」がそれぞれ 34.9%と最も高くなっています。

前回調査に比べて、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が 22.0 ポイント、「食事の準備（調理等）」が 21.5 ポイント、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が 20.7 ポイント、「外出の付き添い、送迎等」が 12.4 ポイント増加しており、それぞれ有意な差がみられます。



◇その他回答：有効回答者数：34人（のべ37件）

「その他」の主な回答内容（分類）	
分 類	件 数
介護者自身の体調・高齢	12
認知症の進行	2
転倒・ケガ	4
要介護度の進行	3
外出・移動	3
精神的負担	4
施設入所の不安	1
本人の拒否	1
その他	7

主な介護者が不安に感じる介護×要介護度

要介護度別にみると、要介護1・2で「外出の付き添い、送迎等」「認知症状への対応」がそれぞれ35.9%、要介護3以上で「夜間の排泄」が36.8%とそれぞれ最も高くなっています。

要介護3以上では〔身体介護〕に分類される「屋内の移乗・移動」「日中の排泄」「食事の介助（食べる時）」「夜間の排泄」「衣服の着脱」が要介護1・2と比べて、それぞれ12.7ポイント、11.1ポイント、11.0ポイント、8.3ポイント、7.6ポイント多くなっており、身体介護に関するニーズが高い傾向がみられます。

単位：%		日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助（食べる時）	入浴・洗身	身だしなみ（洗顔・歯磨き等）	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	外出の付き添い、送迎等	服薬	認知症状への対応	医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）	食事の準備（調理等）
	今回調査（n=453）	27.8	31.1	11.3	27.8	7.9	11.5	16.3	34.9	15.0	34.9	7.9	32.9
要介護度	要介護1・2（n=309）	24.3	28.5	7.8	26.9	9.1	9.1	12.3	35.9	15.5	35.9	7.1	33.0
	要介護3以上（n=144）	35.4	36.8	18.8	29.9	5.6	16.7	25.0	32.6	13.9	32.6	9.7	32.6

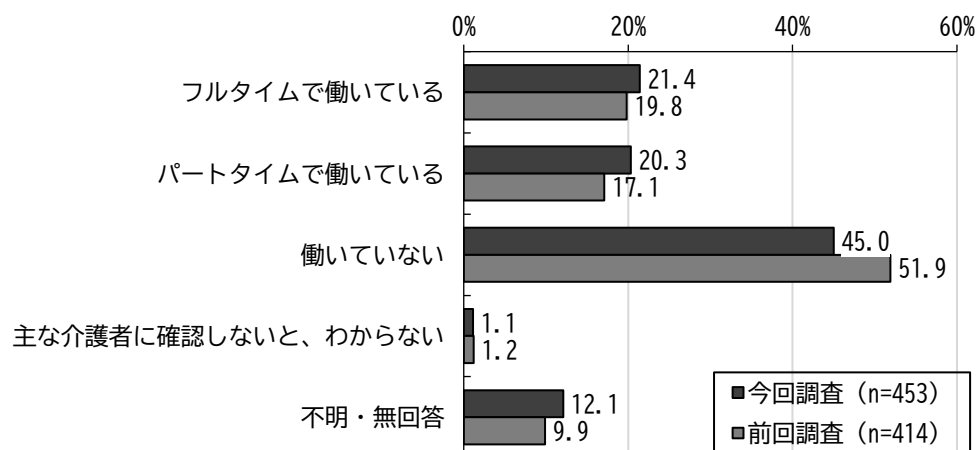
単位：%		濯、その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）	金銭管理や生活面に必要な手続き	その他	不安に感じていること、特に	主な介護者に確認しない	不明・無回答
	今回調査（n=453）	30.5	26.3	7.5	3.8	0.2	13.5
要介護度	要介護1・2（n=309）	31.4	26.2	7.4	3.2	0.0	16.5
	要介護3以上（n=144）	28.5	26.4	7.6	4.9	0.7	6.9

〔7〕主な介護者の勤務形態

Q7. 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください（○は1つ）

主な介護者の勤務形態は、「働いていない」が45.0%と最も高く、次いで、「フルタイムで働いている」が21.4%、「パートタイムで働いている」が20.3%となっています。

前回調査に比べて、「働いていない」が6.9ポイント減少していますが、統計的には有意な差はみられません。また、「パートタイムで働いている」が3.2ポイント増加していますが、統計的には有意な差はみられません。



主な介護者の勤務形態×要介護度

要介護度別にみると、「働いていない」は要介護3以上で52.8%と、要介護1・2の41.4%を11.4ポイント上回っており、要介護度が高いほど介護者が就労していない割合が高くなっています。

単位：%		フルタイムで働いている	パートタイムで働いている	働いていない	主な介護者に確認しないと、わからない	不明・無回答
	今回調査 (n=453)	21.4	20.3	45.0	1.1	12.1
要介護度	要介護1・2 (n=309)	23.6	21.4	41.4	1.0	12.6
	要介護3以上 (n=144)	16.7	18.1	52.8	1.4	11.1

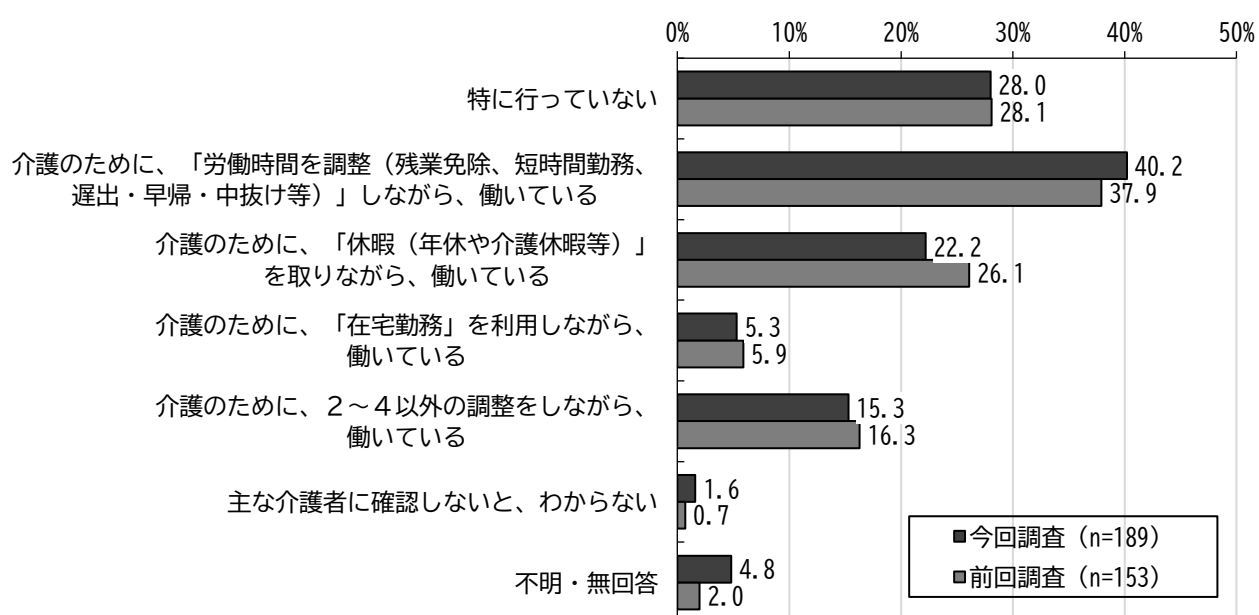
Q7で「1.」「2.」（働いている）と回答した方にお伺いします。

〔8〕主な介護者の働き方の調整

Q8. 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか（〇はいくつでも）

介護をするにあたっての働き方の調整は、「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が40.2%と最も高く、次いで、「特に行っていない」が28.0%、「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」が22.2%となっています。

前回調査に比べて、「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」が3.9ポイント減少していますが、統計的には有意な差はみられません。



介護をするにあたっての働き方の調整×要介護度

要介護度別にみると、「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」は要介護3以上で50.0%と、要介護1・2の36.7%を13.3ポイント上回っています。

単位：%		特に行っていない	介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている	介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている	介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている	介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている	主な介護者に確認しないと、わからない	不明・無回答
	今回調査 (n=189)	28.0	40.2	22.2	5.3	15.3	1.6	4.8
要介護度	要介護1・2 (n=139)	29.5	36.7	22.3	6.5	14.4	2.2	5.8
	要介護3以上 (n=50)	24.0	50.0	22.0	2.0	18.0	0.0	2.0

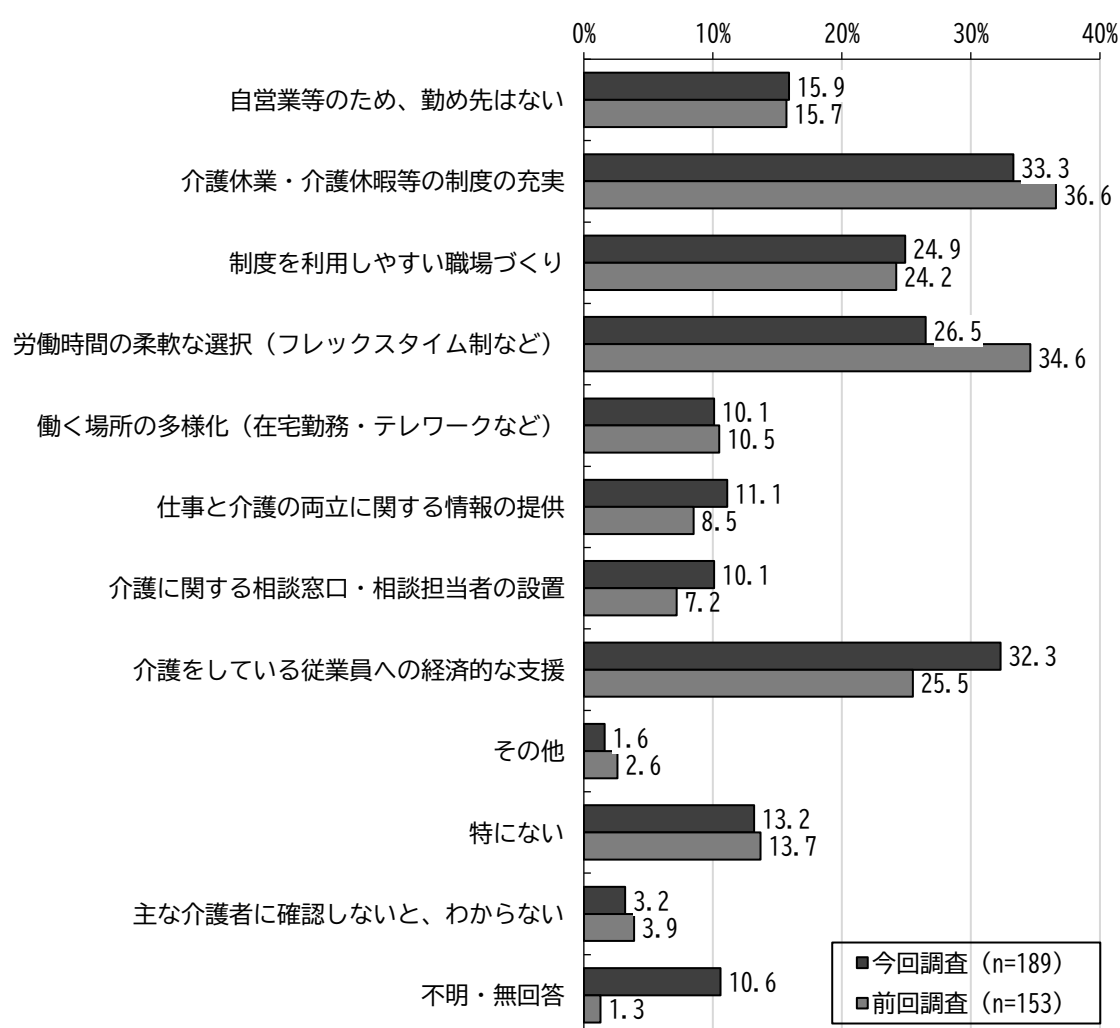
Q7で「1.」「2.」（働いている）と回答した方にお伺いします。

〔9〕仕事と介護の両立に効果的な勤め先からの支援

Q9. 主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか（○は3つまで）

仕事と介護の両立に効果的な支援は、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が33.3%と最も高く、次いで、「介護をしている従業員への経済的な支援」が32.3%、「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」が26.5%となっています。

前回調査に比べて、「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」が8.1ポイント減少し、「介護をしている従業員への経済的な支援」が6.8ポイント増加しており、有意な差がみられます。また、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が3.3ポイント減少していますが、統計的には有意な差はみられません。



仕事と介護の両立に効果的な支援×要介護度

要介護度別にみると、要介護3以上では「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が42.0%、「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」が36.0%、「制度を利用しやすい職場づくり」が34.0%と、いずれも要介護1・2を10ポイント以上上回っており、要介護度が高いほど制度面・職場環境面での支援ニーズが高くなっています。

単位：%		先自 業営 業業 等 の た め 、 勤 め	介 護 休 業 ・ 介 護 休 暇 等 の 制 度 の 充 実	場 制 度 を 利 用 し や す い 職 場 づ く り	な ど （ フ レ ッ ク ス タ イ ム 制 度 な ど ）	ど 宅 勤 務 ・ 所 の 多 様 化 （ 在 宅 勤 務 ）	す 事 と 介 護 の 両 立 に 関 する 情 報 の 提 供	口 介 護 に 関 する 相 談 窓 口 の 設 置	へ 介 護 を し て い る 従 業 員 の 支 援	そ の 他	特 に な い	主 な 介 護 者 に 確 認 し な い	不 明 ・ 無 回 答
	今回調査（n=189）	15.9	33.3	24.9	26.5	10.1	11.1	10.1	32.3	1.6	13.2	3.2	10.6
要 介 護 度	要介護1・2（n=139）	15.1	30.2	21.6	23.0	8.6	10.8	10.1	31.7	1.4	12.9	3.6	12.9
	要介護3以上（n=50）	18.0	42.0	34.0	36.0	14.0	12.0	10.0	34.0	2.0	14.0	2.0	4.0

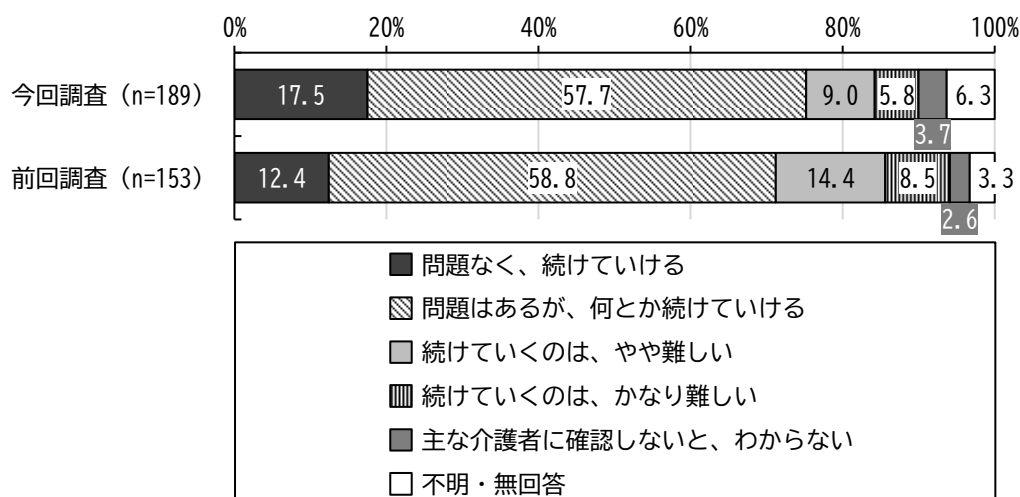
Q7で「1.」「2.」（働いている）と回答した方にお伺いします。

〔10〕主な介護者の就労継続の可否

Q10. 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか（○は1つ）

就労継続の見通しは、「問題はあるが、何とか続けていける」が57.7%と最も高く、次いで、「問題なく、続けていける」が17.5%、「続けていくのは、やや難しい」が9.0%となっています。

前回調査に比べて、「問題なく、続けていける」が5.1ポイント増加し、「続けていくのは、やや難しい」が5.4ポイント減少していますが、統計的には有意な差はみられません。



就労継続の見通し×要介護度

要介護度別にみると、「続けていくのは、やや難しい」と「続けていくのは、かなり難しい」を合わせた就労継続困難の割合は要介護3以上で24.0%と、要介護1・2の11.5%を12.5ポイント上回っており、要介護度が高いほど就労継続が困難となっています。

一方、いずれの要介護度でも「問題はあるが、何とか続けていける」が最も高く、困難を抱えながらも就労継続を目指している介護者が多い状況がうかがえます。

単位：%		問題なく、続けていける	問題はあるが、何とか続けていける	やや難しい、続けていくのは、やや	かなり難しい、続けていくのは、かなり	主な介護者と、介護者から確認しない	不明・無回答
	今回調査 (n=189)	17.5	57.7	9.0	5.8	3.7	6.3
要介護度	要介護1・2 (n=139)	18.7	56.8	6.5	5.0	4.3	8.6
	要介護3以上 (n=50)	14.0	60.0	16.0	8.0	2.0	0.0

■主な介護者以外で介護している方についてお伺いします。

〔11〕 18歳未満の介護者について

Q11. ご家族やご親族の方（同居していない場合を含む）で、「主な介護者」以外で、あて名の方の介護をされている方に「18歳未満」の方がいらっしゃいますか。いらっしゃる場合は、あて名の方との続柄にあてはまる令和8年1月1日現在の年齢をご回答ください（○はいくつでも）

主な介護者以外で、「18歳未満」の介護者が「いる」と回答した人は2人で、全体の0.4%となっています。またその内訳は、「子」「孫」がそれぞれ1件となっています。

件数	12歳未満	12～15歳	16～18歳未満	不明・無回答
今回調査(n=453)	0	1	1	451

[内訳]

件数		12歳未満	12～15歳	16～18歳未満	不明・無回答
① 子	今回調査(n=453)	0	0	1	452
	前回調査(n=414)	2	1	0	411
② 偶子の配	今回調査(n=453)	0	0	0	453
	前回調査(n=414)	0	0	0	414
③ 孫	今回調査(n=453)	0	1	0	452
	前回調査(n=414)	1	2	4	407
④ 偶孫の配	今回調査(n=453)	0	0	0	453
	前回調査(n=414)	0	0	0	414
⑤ その他	今回調査(n=453)	0	0	0	453
	前回調査(n=414)	0	0	0	414

Q11で「18歳未満」の方がいると回答された方にお伺いします。

〔11-1〕介護による影響の有無

Q11-1. 介護のために以下のような経験をしたことはありますか（〇はいくつでも）

「18歳未満」の介護者が介護のために経験したことについては、「特にない」との回答が2件みられました。

なお、回答者数が2名と少数であるため、前回調査との比較は参考程度となります。

件数	で学校や職場を休んでしまう	遅刻や早退をしてしまう	宿題など勉強する時間がない	眠る時間が足りない	友達と遊ぶことができない	習い事ができない	自分の時間がとれない	その他	特にない	不明・無回答
今回調査（n=2）	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0
前回調査（n=7）	0	0	0	0	0	0	2	1	1	3

Q11で「18歳未満」の方がいると回答された方にお伺いします。

〔11-2〕悩みの相談先

Q11-2. 介護をされている18歳未満の方は介護の悩みについて相談できる人はいますか（〇はいくつでも）

「18歳未満」の介護者が介護の悩みについて相談できる人は、「家族（父母、祖父母、兄弟・姉妹）」「特にいない」がそれぞれ1件となっています。

件数	母、家族（父母、兄弟・姉妹、祖父）	親戚	友人	学校の先生、職場の上司	医師や看護師、その他病院の人	ヘルパーやケアマネ、福祉サービスのスタッフ	役所の人	近所の人	SNSでの知り合い	その他	特にいない	不明・無回答
今回調査（n=2）	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
前回調査（n=7）	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2

IV 介護サービス事業所調査（訪問系＋施設・通所系）

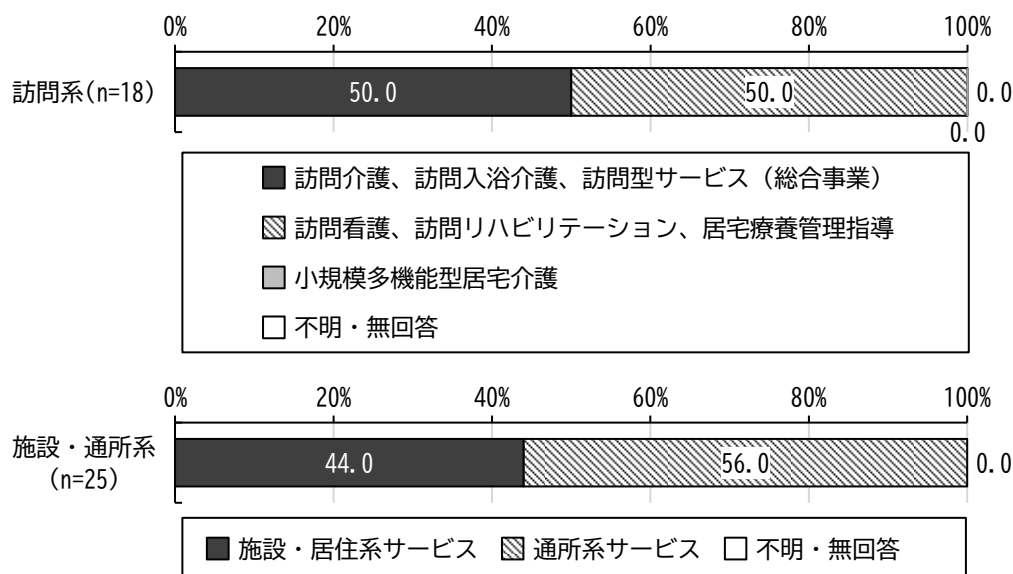
I 職員の状況

サービス種別（訪問系問1、施設・通所系問1）

該当するサービス種別（介護予防を含む）を、ご回答ください。（1つに○）

訪問系では、「訪問介護、訪問入浴介護、訪問型サービス（総合事業）」「訪問看護、訪問リハビリテーション、居宅療養管理指導」がともに 50.0%となっています。

施設・通所系では、「施設・居住系サービス」が 44.0%、「通所系サービス」が 56.0%となっています。

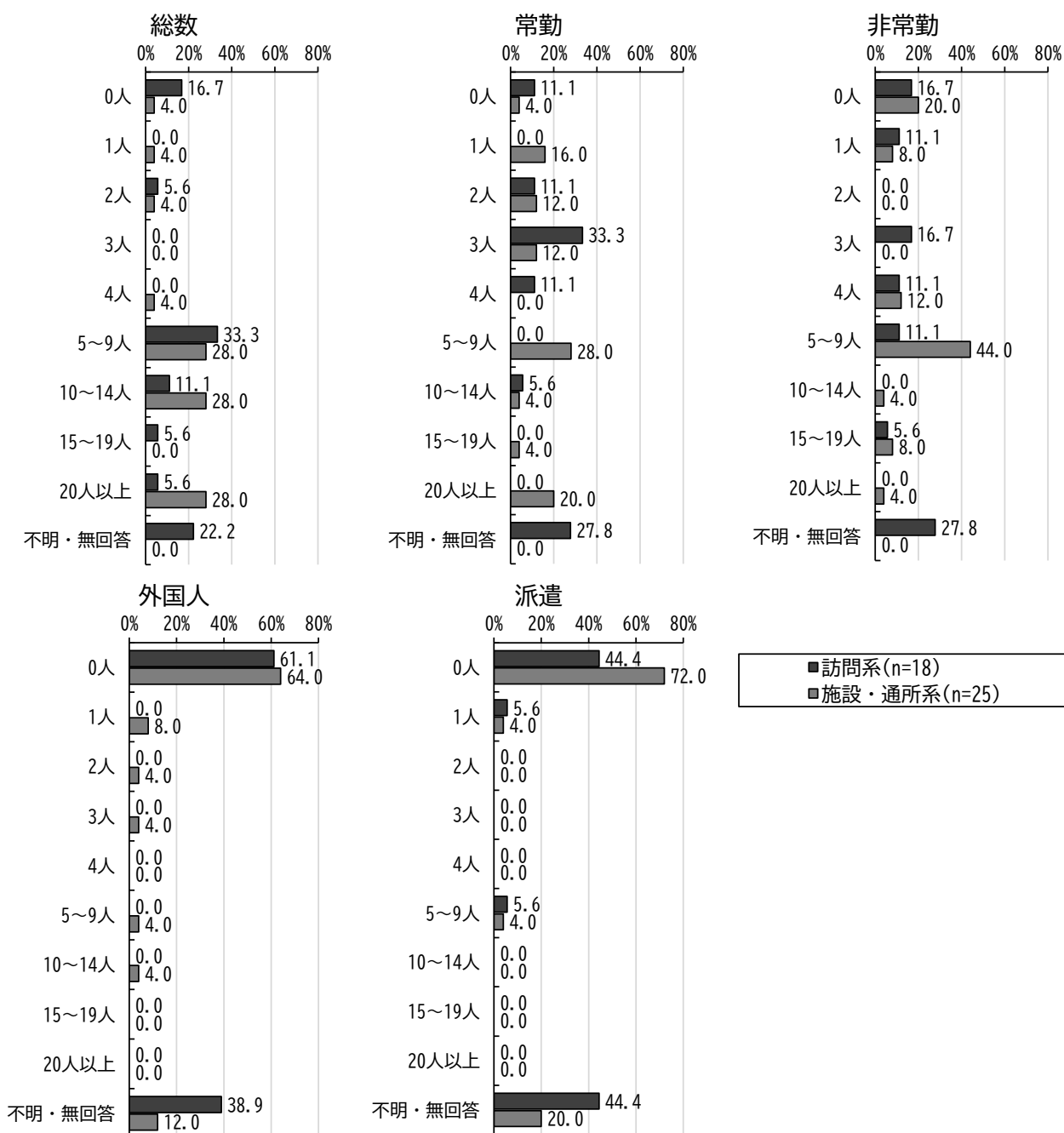


介護職員の総数（常勤／非常勤／外国人／派遣）（訪問系問2-1、施設・通所系問2-1）

介護職員の総数を、ご記入ください。（数値を記入）

訪問系では、介護職員の総数は「5～9人」が33.3%と最も高く、比較的小規模な事業所が中心となっています。常勤職員は「3人」が33.3%と最も高く、非常勤については配置なしと少数活用の事業所が混在しています。外国人職員の雇用状況は、有効回答の全事業所で雇用をしておらず、派遣職員の雇用状況は11.2%となっています。

施設・通所系では、介護職員の総数は「5～9人」「10～14人」「20人以上」がともに28.0%と規模の分布が多様です。常勤職員は「5～9人」が28.0%と最も高く、訪問系に比べて常勤体制が充実しています。非常勤職員は「5～9人」が44.0%と最も高くなっています。外国人職員を雇用している事業所は24.0%、派遣職員については活用していない事業所が72.0%と大半を占めています。

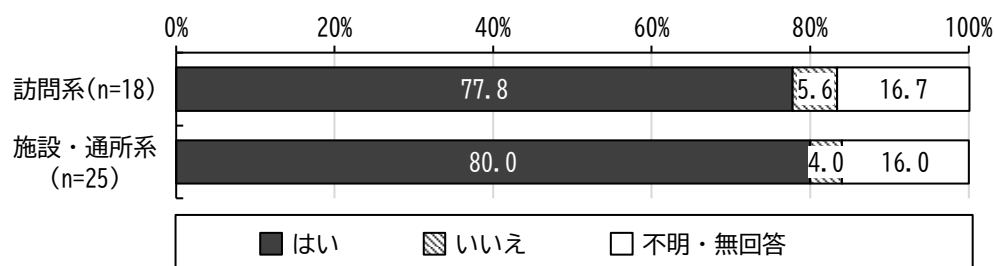


開設経過年数（１年以上経過の有無）（訪問系問２-２、施設・通所系問２-２）

貴事業所は開設から１年以上経過していますか。（１つに○）

訪問系では、「はい」が77.8%、「いいえ」が5.6%となっています。

施設・通所系では、「はい」が80.0%、「いいえ」が4.0%となっています。



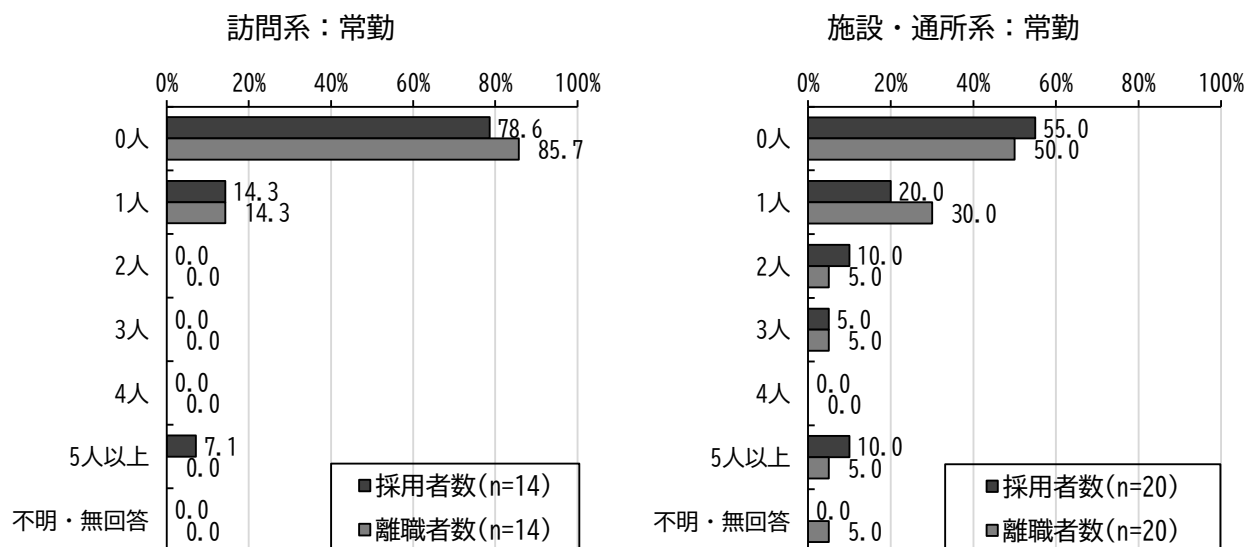
令和８年１月１日時点で、開設から１年以上を経過している事業所にお伺いします。

採用者数・離職者数（常勤）（訪問系問２-３、施設・通所系問２-３）

問２-３でお答えいただいた常勤の採用者数・離職者数についてご記入ください。（数値を記入）

訪問系では職員の採用があった事業所が21.4%、離職のあった事業所は14.3%となっています。

施設・通所系では職員の採用のあった事業所が45.0%、離職のあった事業所は45.0%と、訪問系に比べて採用や離職による人員の動きがあった事業所の割合が高くなっています。なかでも採用では２人以上が25.0%と、複数人を採用した事業所も一定数みられます。

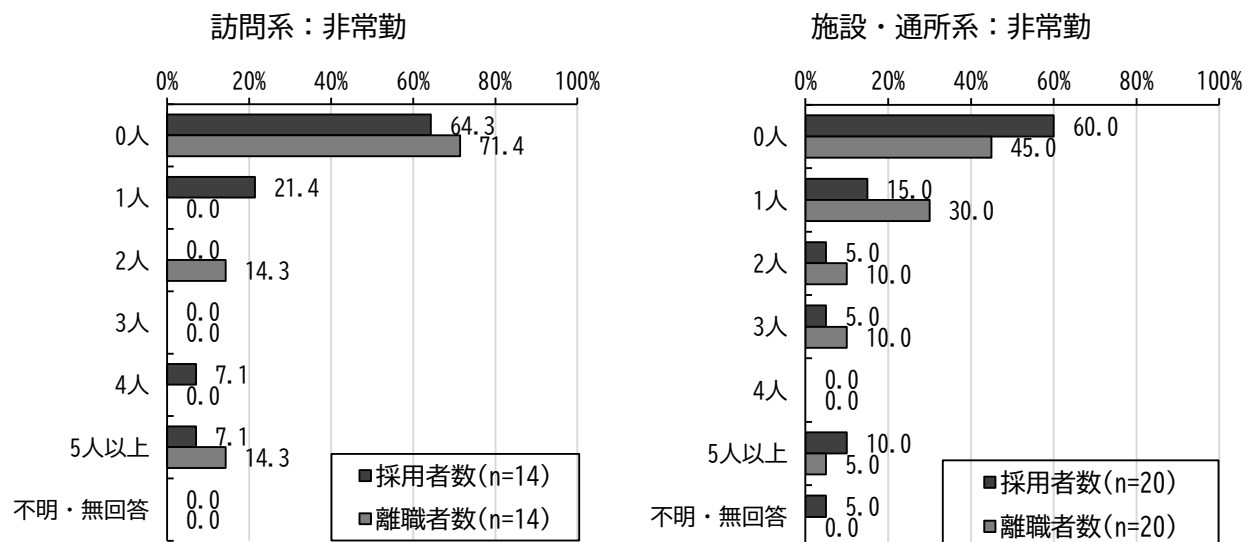


採用者数・離職者数（非常勤）（訪問系問2-3、施設・通所系問2-3）

問2-3でお答えいただいた非常勤の採用者数・離職者数についてご記入ください。（数値を記入）

訪問系では職員の採用があった事業所が35.6%、離職のあった事業所は28.6%となっています。

施設・通所系では職員の採用があった事業所が35.0%、離職のあった事業所は55.0%と、採用よりも離職のあった事業所の割合が高くなっています。

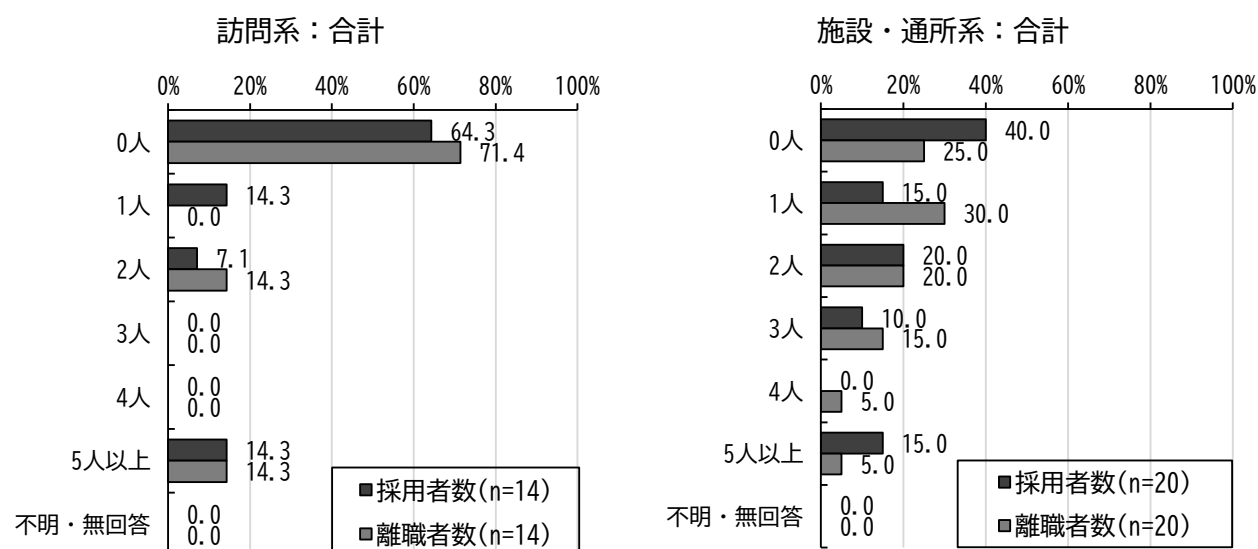


採用者数・離職者数（合計）（訪問系問2-3、施設・通所系問2-3）

過去1年間の介護職員の採用者数と離職者数常勤・非常勤別にご記入ください。（数値を記入）

訪問系では職員の採用があった事業所が35.7%、離職のあった事業所は28.6%となっています。

施設・通所系では職員の採用があった事業所が60.0%、離職のあった事業所は75.0%と、訪問系に比べて採用や離職による人員の動きがあった事業所の割合が高くなっています。なかでも離職では5人以上が5.0%と、まとまった人員流出が生じた事業所も一定数みられます。



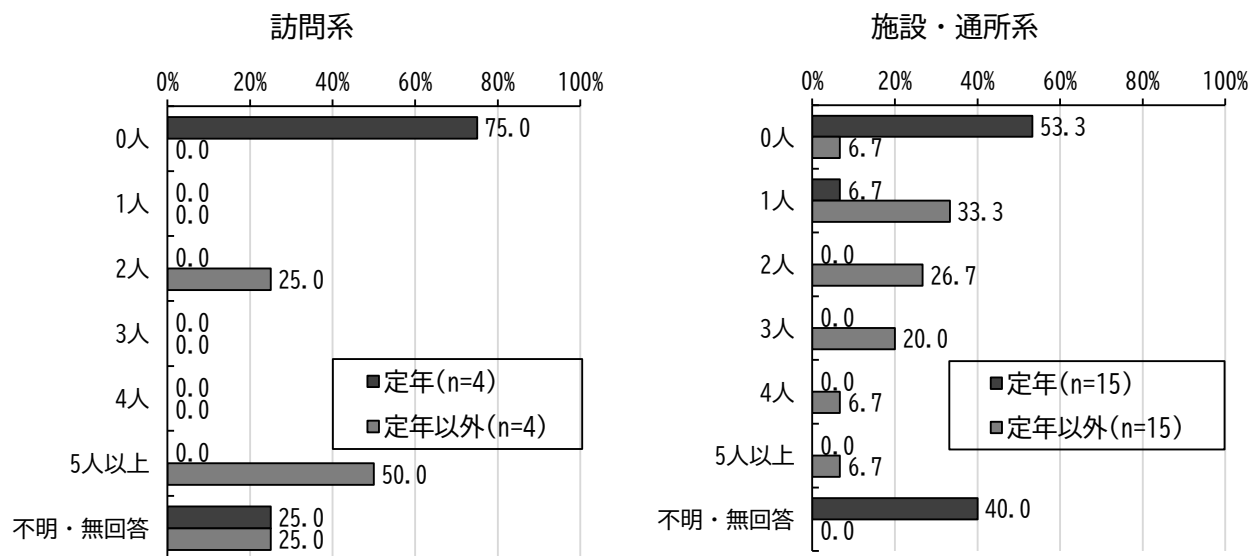
※外国人人材も含む

定年／定年以外の離職人数（訪問系問2-4、施設・通所系問2-4）

定年または定年以外での離職者数についてご記入ください。（数値を記入）

訪問系では、定年による離職は、「0人」が75.0%となっています。定年以外の理由による離職は、「5人以上」が50.0%、「2人」が25.0%となっています。

施設・通所系では、定年による離職は、「0人」が53.3%、「1人」が6.7%となっています。定年以外の理由による離職は、「1人」が33.3%と最も高く、次いで、「2人」が26.7%、「3人」が20.0%となっています。



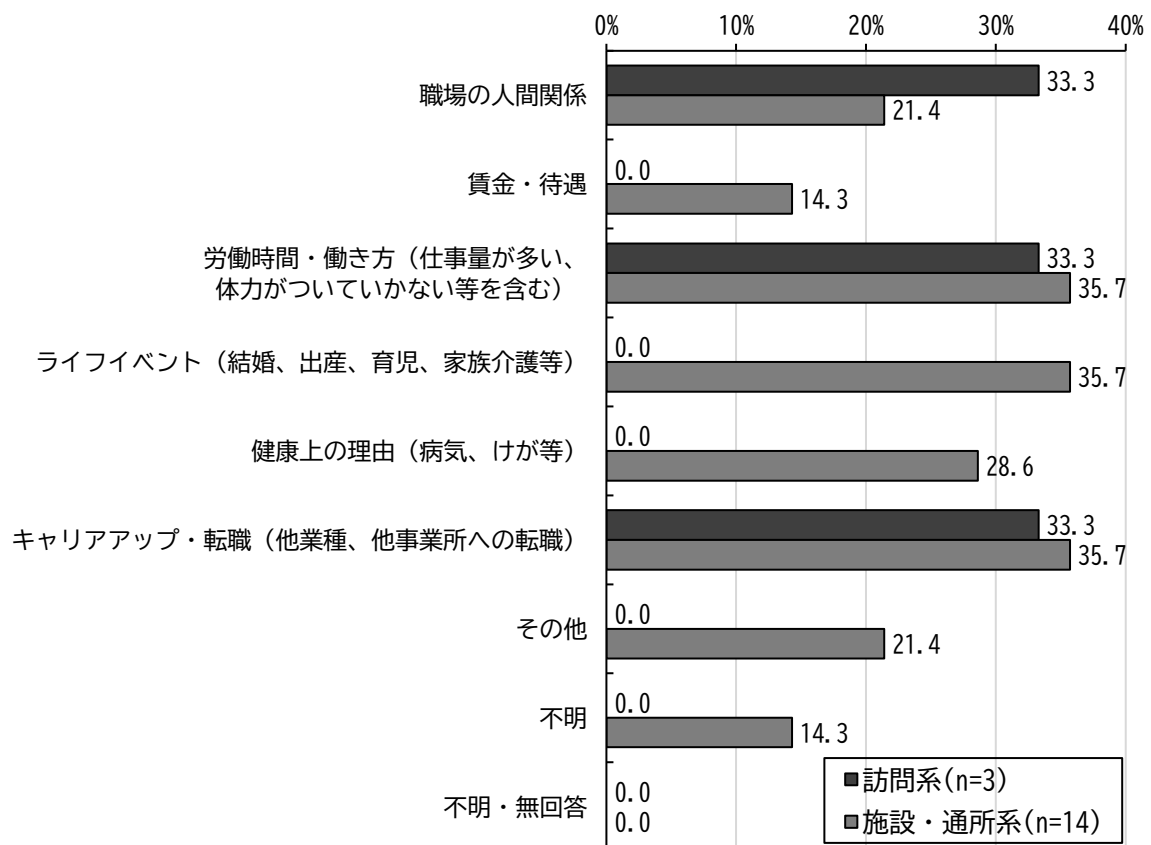
問2-4で選択肢「2 定年以外の理由による離職」とお答えの事業所にお聞きします。

定年以外の離職理由（訪問系問2-5、施設・通所系問2-5）

定年以外で離職された方の主な理由について（3つまでに○）

訪問系では、「職場の人間関係」「労働時間・働き方（仕事量が多い、体力がついていかない等を含む）」「キャリアアップ・転職（他業種、他事業所への転職）」がともに33.3%となっています。

施設・通所系では、「労働時間・働き方（仕事量が多い、体力がついていかない等を含む）」「ライフイベント（結婚、出産、育児、家族介護等）」「キャリアアップ・転職（他業種、他事業所への転職）」がともに35.7%となっています。



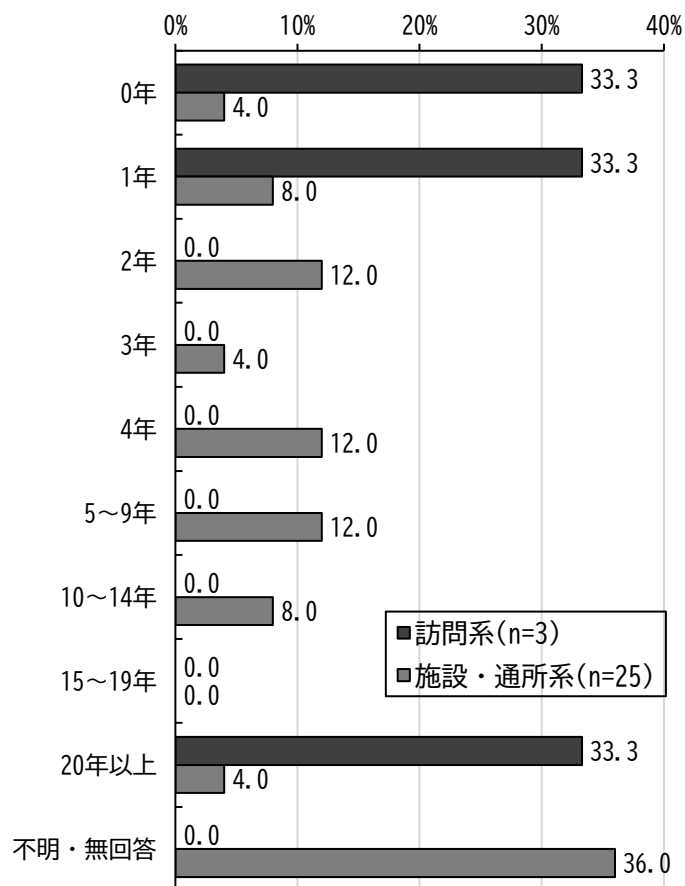
問2-4で選択肢「2 定年以外の理由による離職」とお答えの事業所にお聞きします。

離職者の平均経験年数（訪問系問2-6、施設・通所系問2-6）

定年以外で離職された方の貴事業所での入職後の平均経験年数をご記入ください。（数字を記入）

訪問系では、「0年」「1年」「20年以上」がともに33.3%となっています。

施設・通所系では、「2年」「4年」「5～9年」がともに12.0%となっています。



採用や人材定着に関する課題〔自由記述〕（訪問系問3、施設・通所系問3）

採用や人材定着に関する課題をご回答ください。（自由記述）

訪問系		施設・通所系	
ご意見内容	件数	ご意見内容	件数
■応募者不足・採用難	7 件	■応募者不足・採用難	11 件
・募集しても応募がない、応募者不足	(4 件)	・募集しても応募がない	(5 件)
・有資格者の採用が困難	(2 件)	・常勤（夜勤可能）希望者がいない	(2 件)
・ミスマッチの発生	(1 件)	・新卒採用が厳しい、会計年度任用職員では若手が集まらない	(2 件)
■賃金・処遇面の課題	4 件	・希望条件の制約で断られる	(1 件)
・賃金が低い、診療報酬が上がらず給与を上げられない	(3 件)	・日本人常勤の採用が困難、外国人人材への移行	(1 件)
・募集広告・紹介に関する経費の捻出が困難	(1 件)	■賃金・処遇面の課題	6 件
■定着・働き方の課題	3 件	・他業種との賃金格差、報酬が追いつかない	(3 件)
・採用後すぐに辞めてしまう、休みがちになる	(1 件)	・人材紹介会社の紹介料が高額（年収の 20～30%）	(2 件)
・オンコール対応できる看護師の不足・負担	(1 件)	・広告掲載料のコストが高い	(1 件)
・記録や書類の効率化、教育体制	(1 件)	■育成・定着の課題	2 件
		・パート職員の育成プログラム・評価制度の整備	(1 件)
		・介護の魅力を伝えきれていない	(1 件)

人材確保に関して市に期待するサポート〔自由記述〕（訪問系問4、施設・通所系問4）

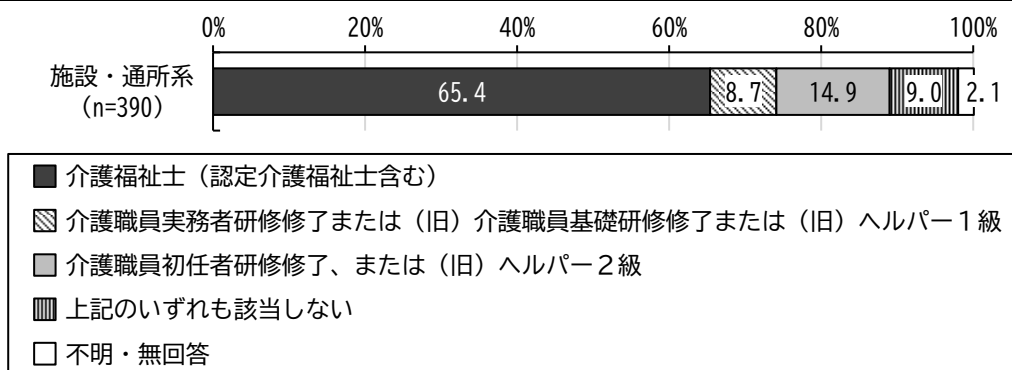
人材確保に関して木津川市に期待するサポートがあれば、ご回答ください。（自由記述）

訪問系		施設・通所系	
ご意見内容	件数	ご意見内容	件数
■就職フェア・マッチング機会の充実	5 件	■就職フェア・マッチング機会の充実	8 件
・就職フェアの開催頻度増、訪問特化型フェア	(3 件)	・就職フェアの継続・回数増	(5 件)
・市がヘルパー登録・派遣のような役割を担ってほしい	(1 件)	・職場体験・見学会の企画運営	(1 件)
・採用支援、定着や育成支援サポート	(1 件)	・市による介護職専門のマッチング・仲介	(1 件)
■賃金・経費の補助	3 件	・SNS 等による求人情報の拡散	(1 件)
・賃金のサポート、補助金・助成金	(2 件)	■資金面の支援	4 件
・人材確保のための経費助成	(1 件)	・人材確保に関する助成金	(1 件)
■その他	1 件	・資格取得のための補助金制度	(1 件)
・訪問看護の開業場所の調整、新規参入支援	(1 件)	・消耗品や備品の購入サポート	(1 件)
		・外国人人材への生活費支援等の制度	(1 件)
		■介護職の魅力発信	3 件
		・ハローワークと協力した周知、イメージ払拭・向上	(1 件)
		・介護業務の知識に触れる機会提供	(1 件)
		・公報による求人紹介	(1 件)
		■その他	2 件
		・I ターンU ターン就労の報奨金制度	(1 件)
		・どのようなサポートがあるか知らない	(1 件)

介護職員について（施設・通所系問5）

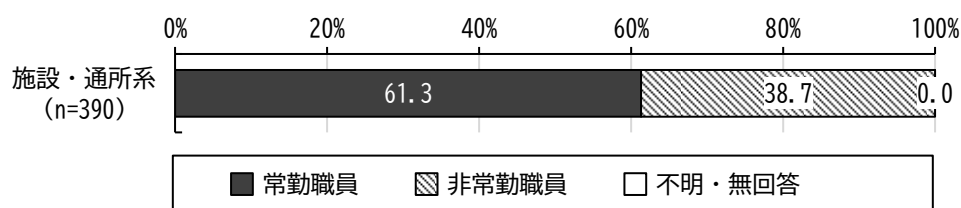
資格の取得、研修の修了の状況（1つに○）

資格の取得、研修の修了は、「介護福祉士（認定介護福祉士含む）」が65.4%と最も高く、次いで、「介護職員初任者研修修了、または（旧）ヘルパー2級」が14.9%、「上記のいずれも該当しない」が9.0%となっています。



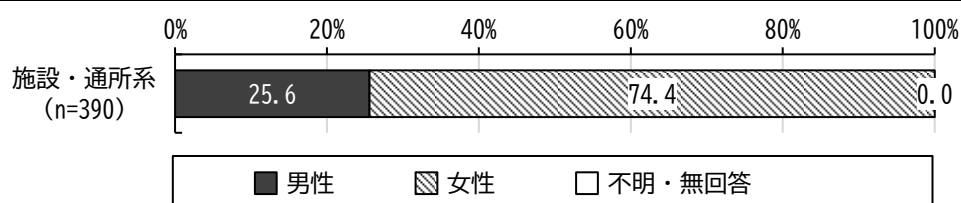
雇用形態（1つに○）

雇用形態は、「常勤職員」が61.3%、「非常勤職員」が38.7%となっています。



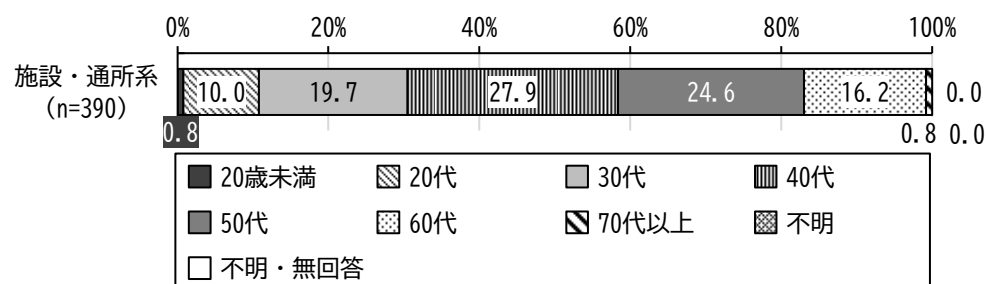
性別（1つに○）

性別は、「男性」が25.6%、「女性」が74.4%となっています。



年齢（1つに○）

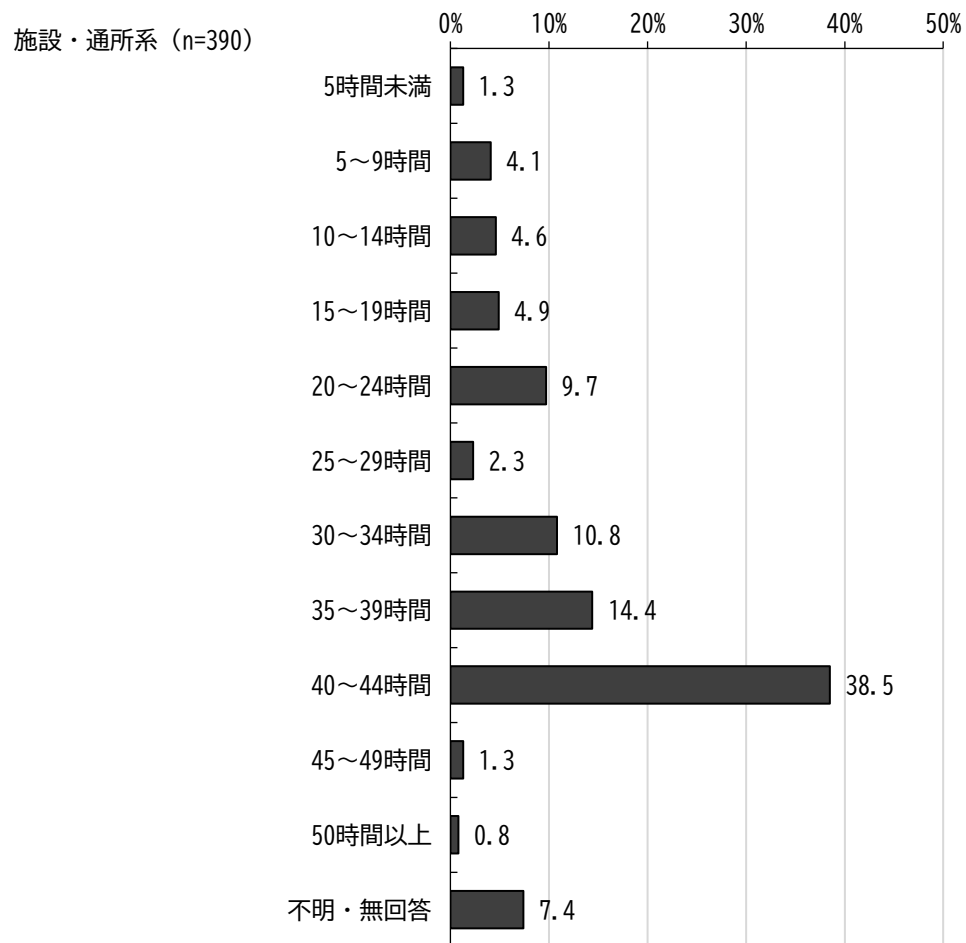
年齢は、「40代」が27.9%と最も高く、次いで「50代」が24.6%、「30代」が19.7%となっています。



IV 介護サービス事業所調査（訪問系＋施設・通所系）

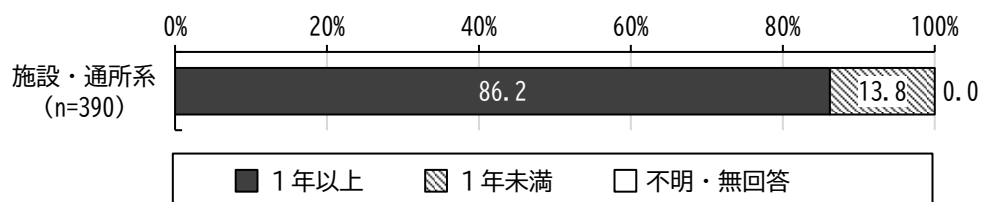
過去1週間の勤務時間 ※ 残業時間を含む。休憩時間は除く。（数値を記入）

過去1年間の勤務時間は、「40～44時間」が38.5%と最も高く、次いで「35～39時間」が14.4%、「30～34時間」が10.8%となっています。



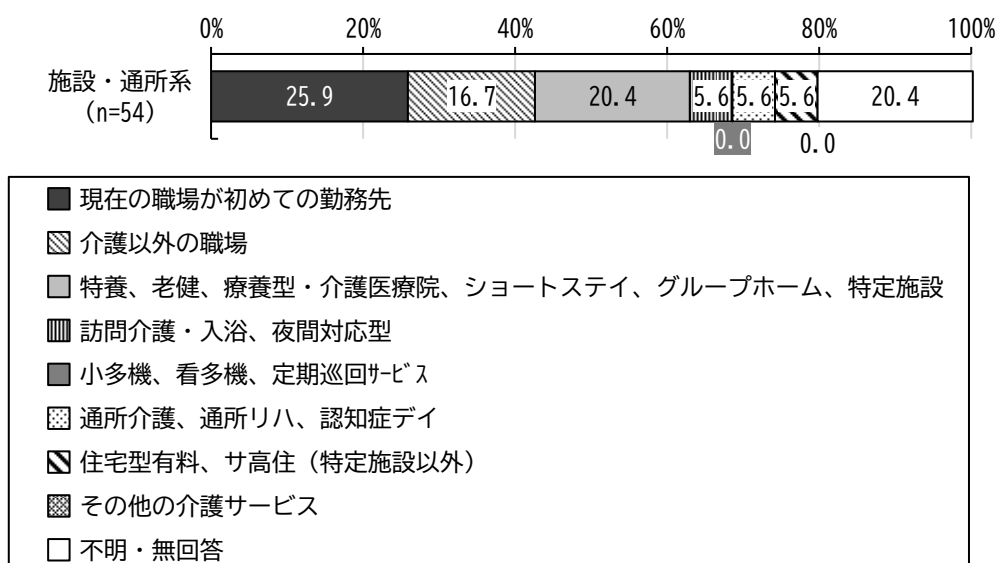
現在の事業所等での勤務年数（1つに○）

勤務年数は、「1年以上」が86.2%、「1年未満」が13.8%となっています。



現在の事業所等に勤務する直前の職場 ※地域密着型を含む（1つに○）

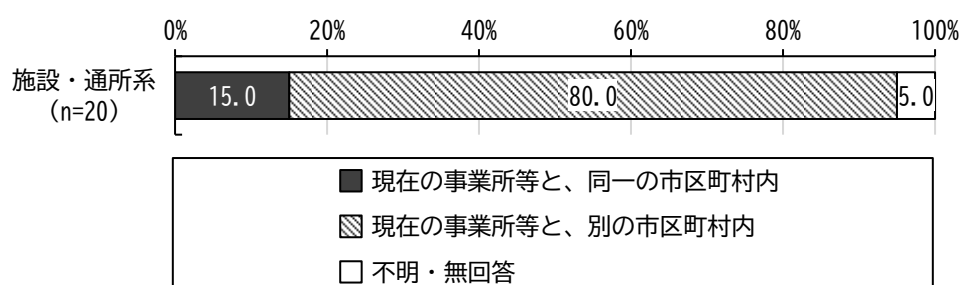
現在の職場の前の職場は、「現在の職場が初めての勤務先」が 25.9%と最も高く、次いで「特養、老健、療養型・介護医療院、ショートステイ、グループホーム、特定施設」が 20.4%、「介護以外の職場」が 16.7%となっています。



直前の職場について（1つに○）

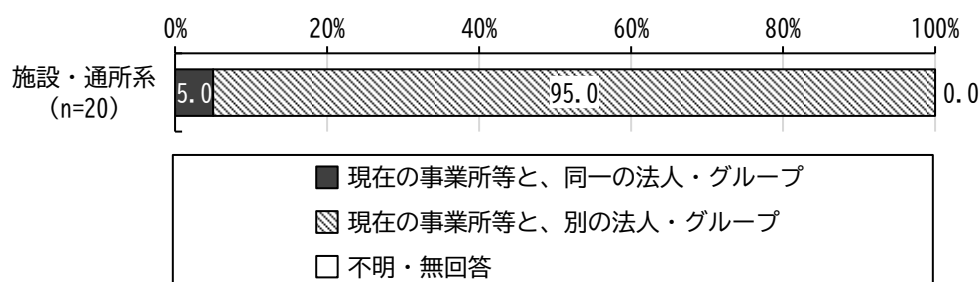
①市町村

直前の職場の所在地は、「現在の事業所等と、同一の市区町村内」が 15.0%、「現在の事業所等と、別の市区町村内」が 80.0%となっています。



②法人・グループ

直前の職場の法人・グループは、「現在の事業所等と、同一の法人・グループ」が 5.0%、「現在の事業所等と、別の法人・グループ」が 95.0%となっています。



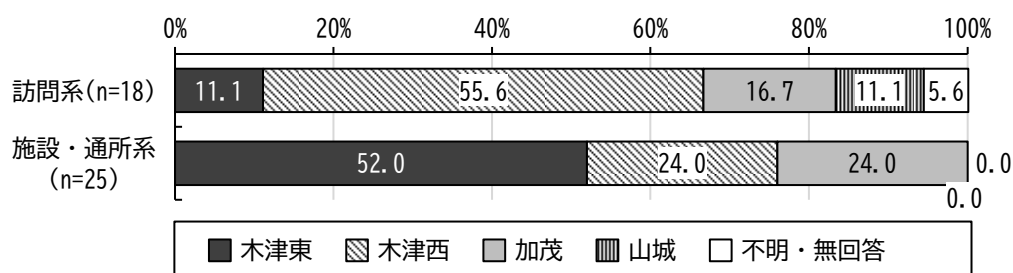
2 貴事業所（等）について

所在地（訪問系問5、施設・通所系問6）

貴事業所の所在地はどこですか。（1つに○）

訪問系では、「木津西」が55.6%と最も高く、次いで、「加茂」が16.7%、「木津東」「山城」がともに11.1%となっています。

施設・通所系では、「木津東」が52.0%と最も高く、次いで、「木津西」「加茂」がともに24.0%となっています。



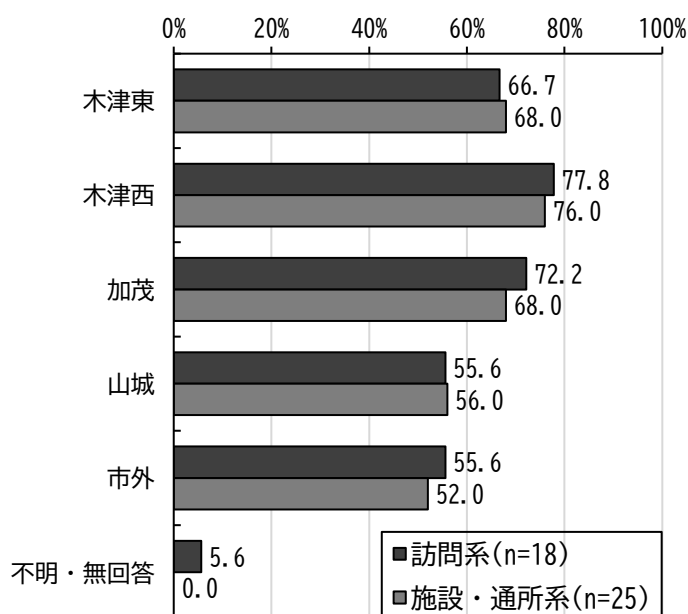
主な提供地域（訪問系問6、施設・通所系問7）

貴事業所が主にサービスを提供している地域についてお答えください。

（あてはまるものすべてに○）

訪問系では、「木津西」が77.8%と最も高く、次いで、「加茂」が72.2%、「木津東」が66.7%となっています。

施設・通所系では、「木津西」が76.0%と最も高く、次いで、「加茂」「木津東」がともに68.0%となっています。



提供困難地域（訪問系問6-1、施設・通所系問7-1）

サービス提供が特に困難と感じる地域がありましたら、具体的にお書きください。

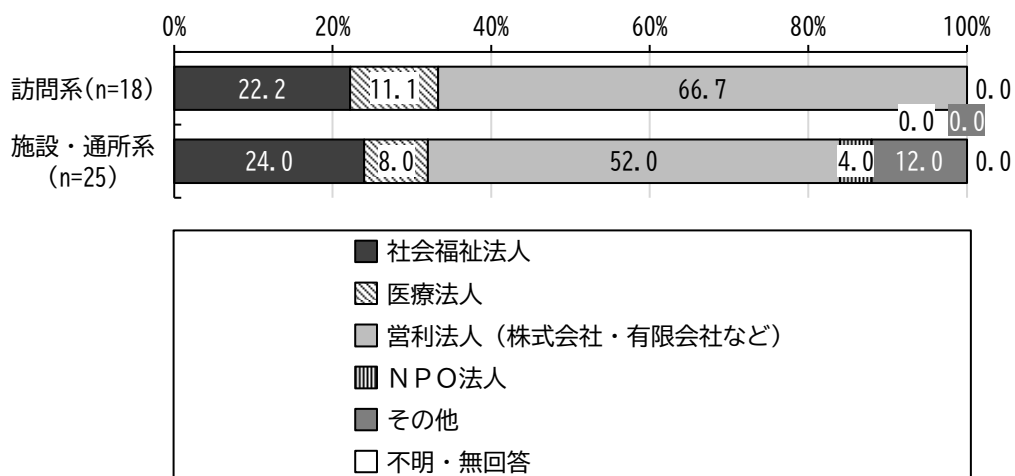
訪問系		施設・通所系	
ご意見内容	件数	ご意見内容	件数
■山間・農村部・過疎地域	3件	■加茂地域・周辺山間部（道路・アクセスの困難）	4件
・加茂町（当尾・瓶原）	(1件)	・加茂地域全般（送迎が大変）	(1件)
・南山城村	(1件)	・加茂町（小谷・山田）	(1件)
・過疎地域への訪問継続は診療報酬・加算の低さで困難。本格的な見直しを求める	(1件)	・当尾地域（山岳部の細い道）	(1件)
■市街地における道路・アクセスの問題	1件	・鹿背山、加茂全体、山城町（坂道が多く道幅が狭い）	(1件)
・家が密集し道が細い地域（木津殿城など）	(1件)	■市外・遠距離地域	1件
■新規事業所の参入・採算上の困難	1件	・相楽郡東部3町村（距離が遠く道も狭い。送迎に時間がかかり業務効率が悪くなる）	(1件)
・新規事業者には医療機関からの利用者依頼が少なく、遠方での訪問を余儀なくされ採算が得られにくい	(1件)	■送迎時間・距離の制約	2件
		・送迎時間が30分以上かかる地域	(1件)
		・送迎時間が片道20分を超える地域は提供困難	(1件)

運営主体（訪問系問7、施設・通所系問8）

貴事業所の運営主体について。（1つに○）

訪問系では、「営利法人（株式会社・有限会社など）」が66.7%と最も高く、次いで、「社会福祉法人」が22.2%、「医療法人」が11.1%となっています。

施設・通所系では、「営利法人（株式会社・有限会社など）」が52.0%と最も高く、次いで、「社会福祉法人」が24.0%、「医療法人」が8.0%となっています。

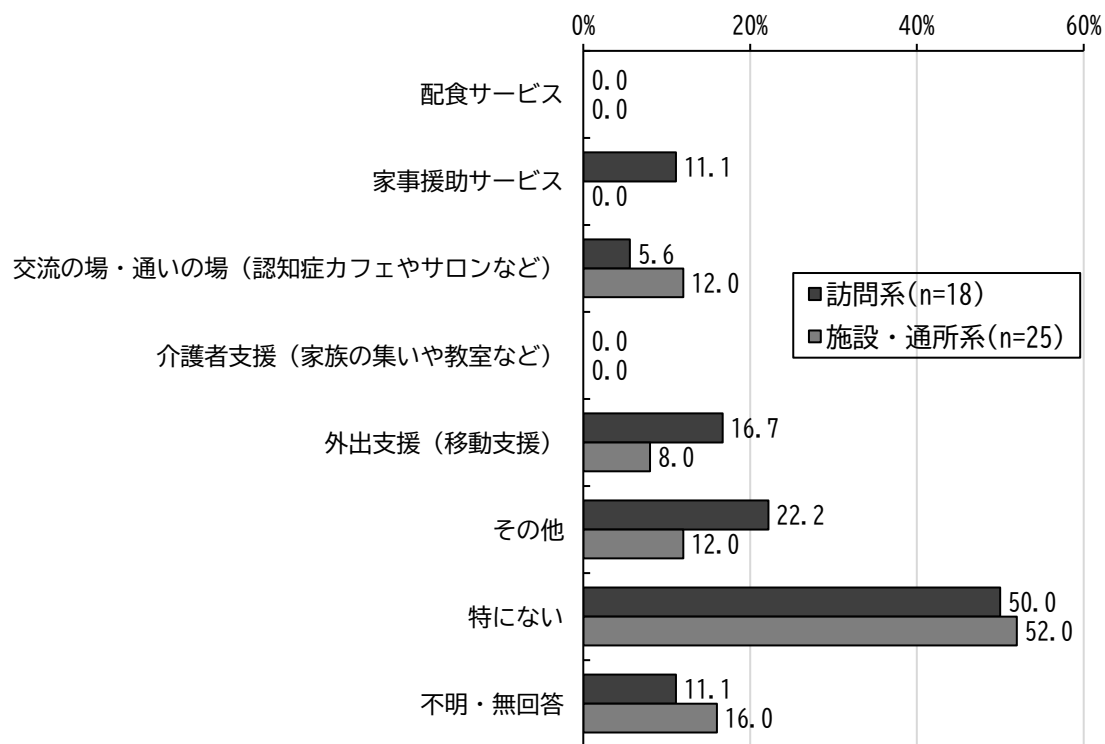


介護保険以外で提供しているサービス（訪問系問8、施設・通所系問9）

貴事業所では、介護保険以外で提供しているサービスはありますか。（あてはまるものすべてに○）

訪問系では、「特にない」が50.0%と最も高く、次いで、「外出支援（移動支援）」が16.7%、「家事援助サービス」が11.1%となっています。

施設・通所系では、「特にない」が52.0%と最も高く、次いで、「交流の場・通いの場（認知症カフェやサロンなど）」が12.0%、「外出支援（移動支援）」が8.0%となっています。



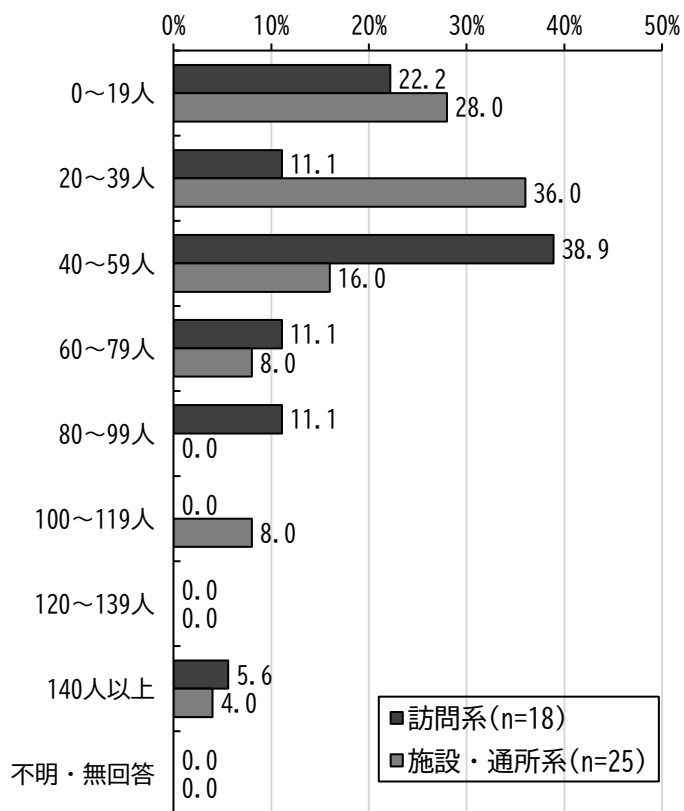
訪問系		施設・通所系	
その他の主な内容	件数	その他の主な内容	件数
■自費・生活支援サービス	2件	■健康増進・介護予防活動	2件
・自費介護サービス、留守宅の掃除等	(1件)	・運動メニュー、セミナー、イベント	(1件)
・介護保険対象外サービス	(1件)	・介護予防事業、一般向けスタジオレッスンなど	(1件)
■障害福祉サービス	1件	■食事提供サービス	1件
・障害福祉サービス居宅介護	(1件)	・昼食提供	(1件)
■移送・輸送サービス	1件		
・福祉輸送	(1件)		
■医療保険サービス	1件		
・医療保険	(1件)		

利用登録数／利用定員数（訪問系問9、施設・通所系問10）

貴事業所の利用登録数をご記入ください。（数値を記入）

訪問系では、「40～59人」が38.9%と最も高く、次いで、「0～19人」が22.2%、「20～39人」「60～79人」「80～99人」がともに11.1%となっています。

施設・通所系では、「20～39人」が36.0%と最も高く、次いで、「0～19人」が28.0%、「40～59人」が16.0%となっています。



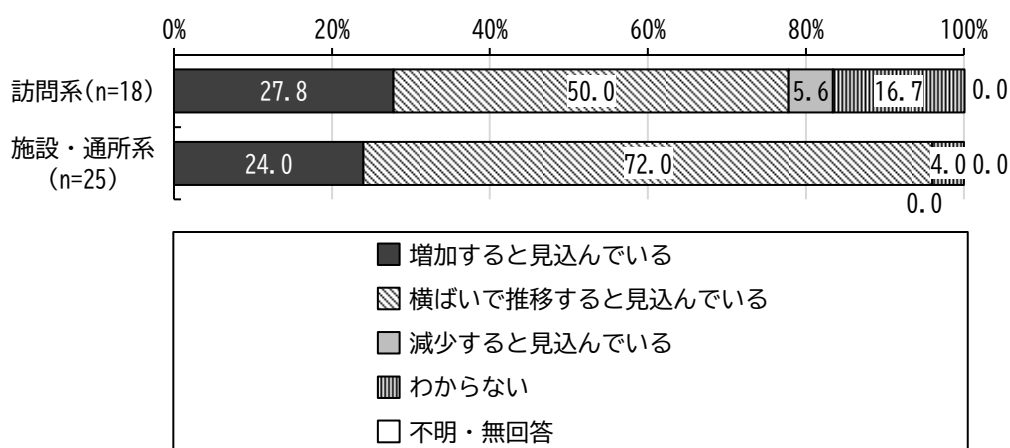
3 サービスの提供について

今後3年間の利用者数見込み（訪問系問 10、施設・通所系問 11）

貴事業所の今後3年間（令和8～10年度）の利用者数について、どのように見込んでいますか。
（1つに○）

訪問系では、「横ばいで推移すると見込んでいる」が50.0%と最も高く、次いで、「増加すると見込んでいる」が27.8%、「わからない」が16.7%となっています。

施設・通所系では、「横ばいで推移すると見込んでいる」が72.0%と最も高く、次いで、「増加すると見込んでいる」が24.0%、「わからない」が4.0%となっています。

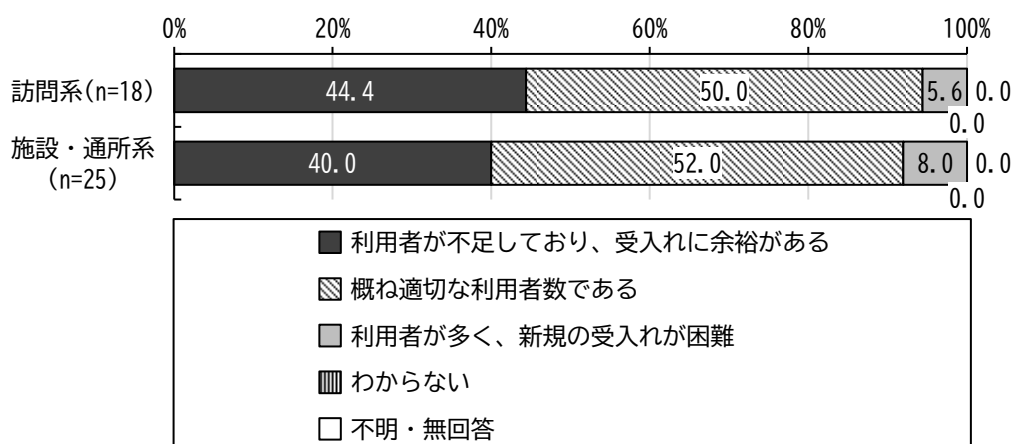


現在の利用者確保の状況（訪問系問 11、施設・通所系問 12）

貴事業所の現在の利用者確保の状況について、どのように感じていますか。（1つに○）

訪問系では、「概ね適切な利用者数である」が50.0%と最も高く、次いで、「利用者が不足しており、受入に余裕がある」が44.4%、「利用者が多く、新規の受入れが困難」が5.6%となっています。

施設・通所系では、「概ね適切な利用者数である」が52.0%と最も高く、次いで、「利用者が不足しており、受入に余裕がある」が40.0%、「利用者が多く、新規の受入れが困難」が8.0%となっています。

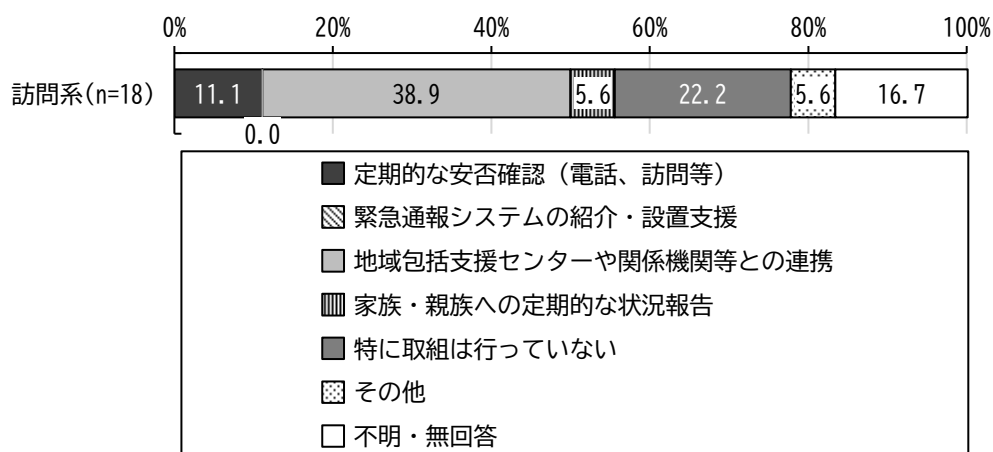


【①訪問系のみ】

独居世帯等への緊急時の見守りや対応（訪問系問 12）

貴事業所では、独居世帯等への緊急時の見守りや対応について、どのような取組を行っていますか。（1つに○）

独居世帯等への緊急時の見守りや対応は、「地域包括支援センターや関係機関等との連携」が 38.9%と最も高く、次いで、「特に取組は行っていない」が 22.2%、「定期的な安否確認（電話、訪問等）」が 11.1%となっています。

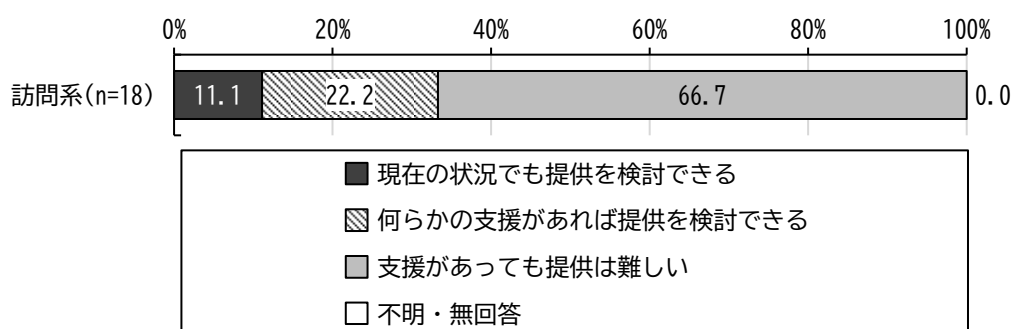


【①訪問系のみ】

夜間対応型・定期巡回の提供意向（訪問系問 13）

貴事業所として、夜間対応型訪問介護や定期巡回・随時対応型訪問介護看護のサービスの提供についてどのようにお考えですか（○は1つ）

夜間対応型・定期巡回の提供意向は、「支援があっても提供は難しい」が 66.7%と最も高く、次いで、「何らかの支援があれば提供を検討できる」が 22.2%、「現在の状況でも提供を検討できる」が 11.1%となっています。



【①訪問系のみ】

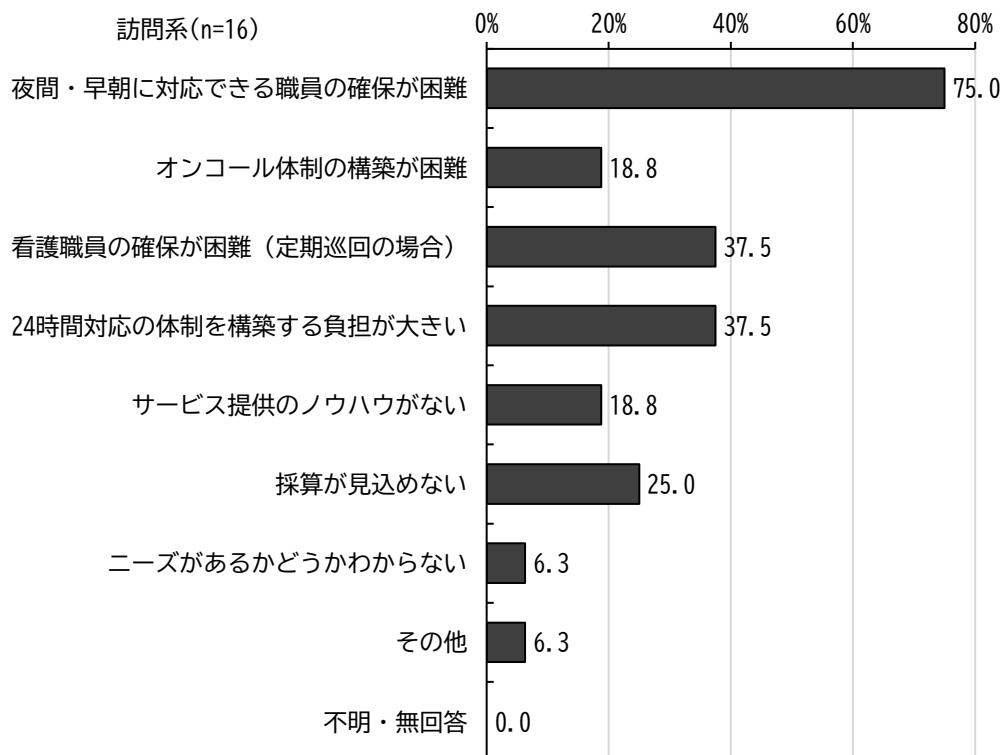
問 13 で選択肢「2」または「3」とお答えの事業所にお聞きします。

提供できない理由（訪問系問 13-1）

貴事業所で、これらのサービスを提供できない理由を教えてください。

（あてはまるものすべてに○）

夜間対応型・定期巡回を提供できない理由は、「夜間・早朝に対応できる職員の確保が困難」が 75.0%と最も高く、次いで、「看護職員の確保が困難（定期巡回の場合）」「24 時間対応の体制を構築する負担が大きい」がともに 37.5%となっています。



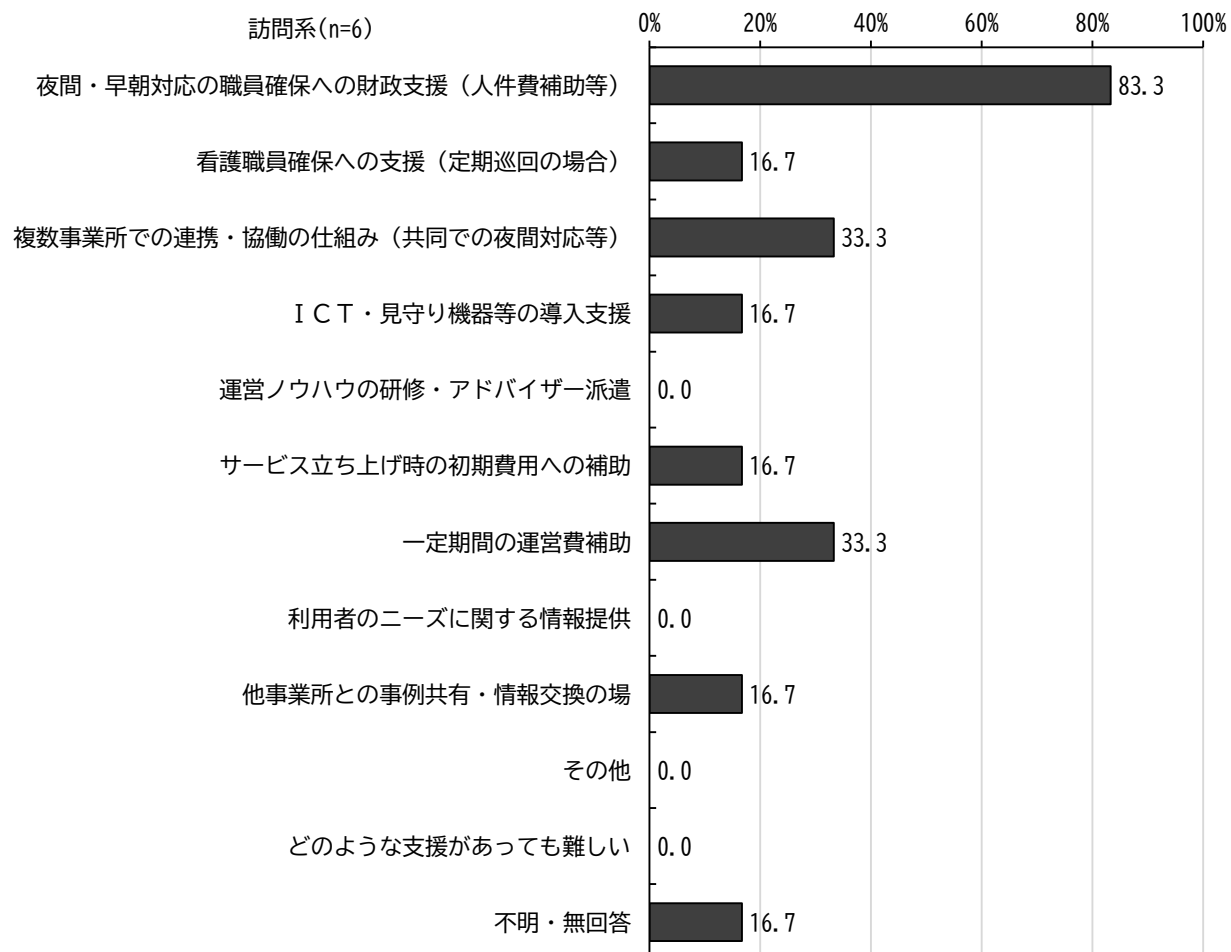
【①訪問系のみ】

問 13 で選択肢「1」または「2」とお答えの事業所にお聞きします。

必要な支援・環境（訪問系問 13-2）

どのような支援・環境があれば、サービス提供を検討できますか。（あてはまるものすべてに○）

提供のために必要な支援・環境は、「夜間・早朝対応の職員確保への財政支援（人件費補助等）」が 83.3%と最も高く、次いで、「複数事業所での連携・協働の仕組み（共同での夜間対応等）」「一定期間の運営費補助」がともに 33.3%となっています。



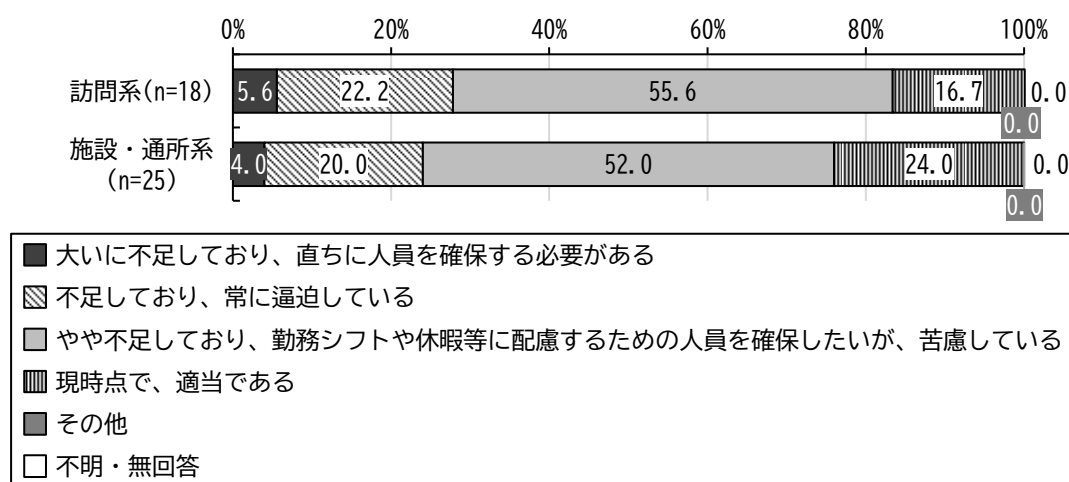
4 職員の確保について

職員の配置状況（訪問系問 14、施設・通所系問 13）

貴事業所の職員の配置状況について、現在どのような状況ですか。（1つに○）

訪問系では、「やや不足しており、勤務シフトや休暇等に配慮するための人員を確保したいが、苦慮している」が55.6%と最も高く、次いで、「不足しており、常に逼迫している」が22.2%、「現時点で、適当である」が16.7%となっています。

施設・通所系では、「やや不足しており、勤務シフトや休暇等に配慮するための人員を確保したいが、苦慮している」が52.0%と最も高く、次いで、「現時点で、適当である」が24.0%、「不足しており、常に逼迫している」が20.0%となっています。

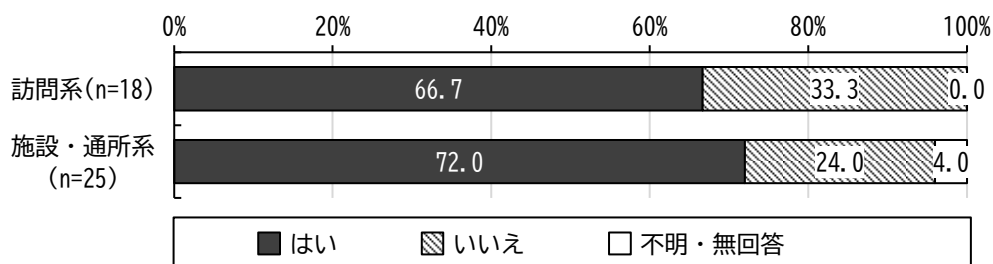


職員確保の苦慮有無（訪問系問 15、施設・通所系問 14）

貴事業所で職員を確保するにあたって、苦慮していることはありますか。（1つに○）

訪問系では、「はい」が66.7%、「いいえ」が33.3%となっています。

施設・通所系では、「はい」が72.0%、「いいえ」が24.0%となっています。



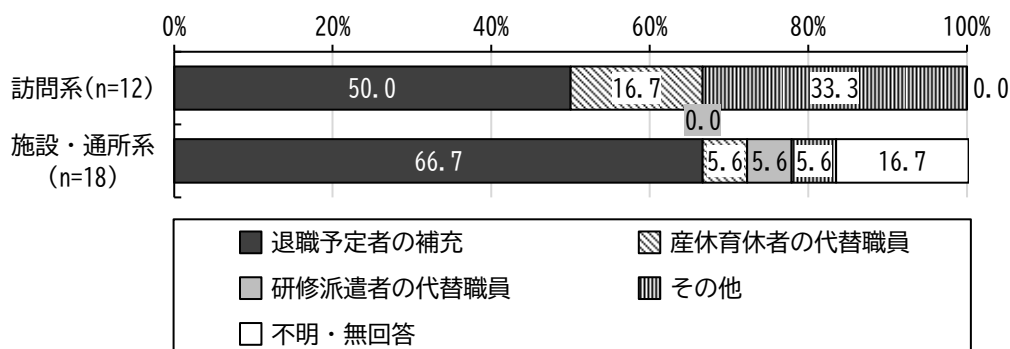
問 15 で選択肢「1 はい」とお答えの事業所にお聞きします。

苦慮の内容（訪問系問 15-1、施設・通所系問 14-1）

どのようなことに苦慮されていますか。（1つに○）

訪問系では、「退職予定者の補充」が 50.0%、「産休育休者の代替職員」が 16.7%となっています。

施設・通所系では、「退職予定者の補充」が 66.7%と最も高く、次いで、「産休育休者の代替職員」「研修派遣者の代替職員」がともに 5.6%となっています。

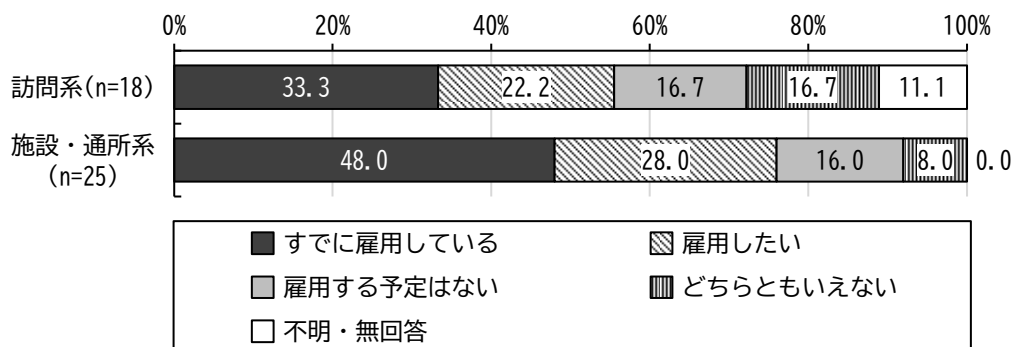


中高年齢者等の雇用意向（訪問系問 16、施設・通所系問 15）

貴事業所では、介護の入門研修等を受講して、介護に係る基礎知識を有している中高年齢者等（子育てを終えた主婦やシニア層）を雇用したいと思いますか。（1つに○）

訪問系では、「すでに雇用している」が 33.3%と最も高く、次いで、「雇用したい」が 22.2%、「雇用する予定はない」「どちらともいえない」がともに 16.7%となっています。

施設・通所系では、「すでに雇用している」が 48.0%と最も高く、次いで、「雇用したい」が 28.0%、「雇用する予定はない」が 16.0%となっています。



5 研修や資格に関することについて

職員定着のための取組（行っていること／必要なこと）（訪問系問 17、施設・通所系問 16）

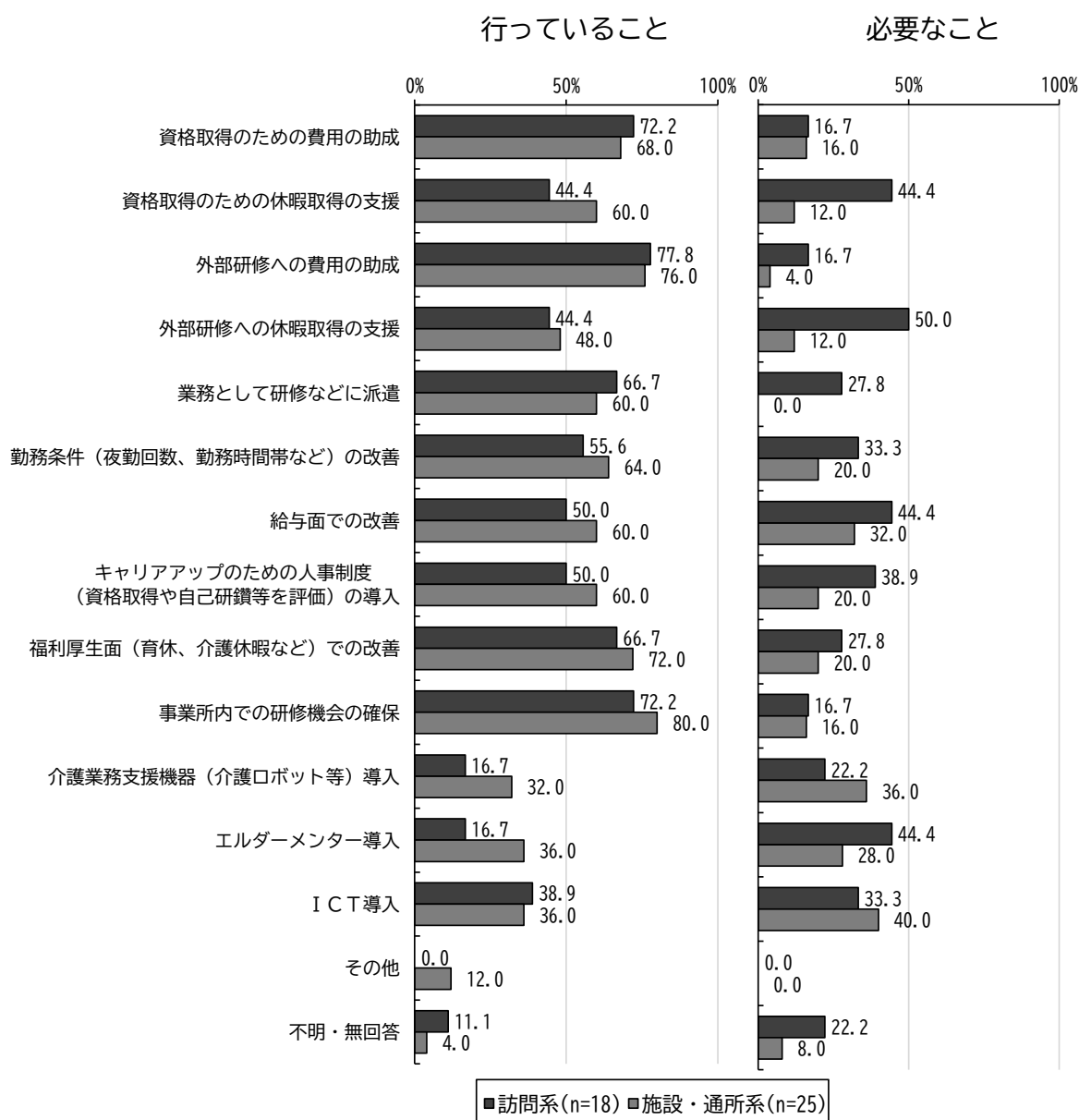
貴事業所で、職員定着のために行っている取組み、また、現在行ってはいないが、職員定着のために必要と思われる取組みにはどのようなことがありますか。（あてはまるものすべてに○）

訪問系では、行っていることとして「外部研修への費用の助成」が 77.8%と最も高く、次いで、「資格取得のための費用の助成」「事業所内での研修機会の確保」がともに 72.2%となっています。

必要なこととして、「外部研修への休暇取得の支援」が 50.0%と最も高く、次いで、「資格取得のための休暇取得の支援」「給与面での改善」「エルダーメンター導入」がともに 44.4%となっています。

施設・通所系では、行っていることとして「事業所等内での研修機会の確保」が 80.0%と最も高く、次いで、「外部研修への費用の助成」が 76.0%、「福利厚生面（育休、介護休暇など）での改善」が 72.0%となっています。

必要なこととして、「ICT導入」が 40.0%と最も高く、次いで、「介護業務支援機器（介護ロボット等）導入」が 36.0%、「給与面での改善」が 32.0%となっています。



6 事業所（等）の運営に関するについて

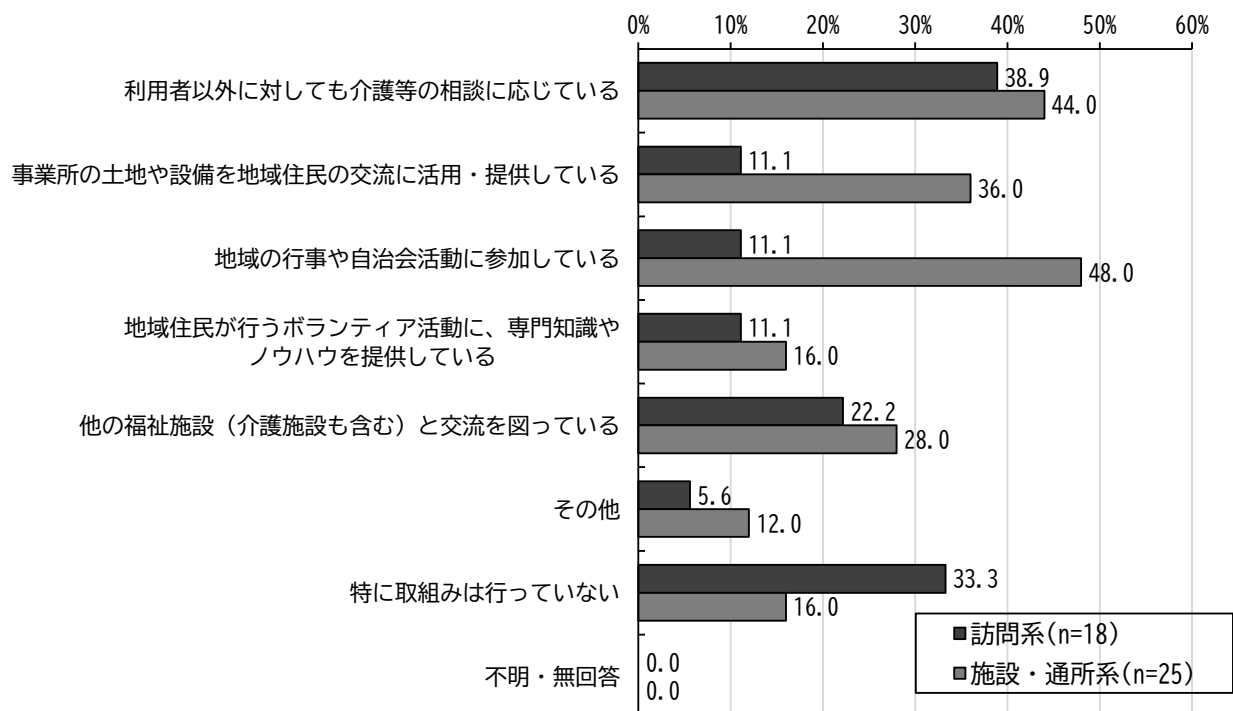
地域との交流・連携（訪問系問 18、施設・通所系問 17）

貴事業所では、地域との交流・連携のために行っている取組みはありますか。

（あてはまるものすべてに○）

訪問系では、「利用者以外に対しても介護等の相談に応じている」が38.9%と最も高く、次いで、「特に取組みは行っていない」が33.3%、「他の福祉施設（介護施設も含む）と交流を図っている」が22.2%となっています。

施設・通所系では、「地域の行事や自治会活動に参加している」が48.0%と最も高く、次いで、「利用者以外に対しても介護等の相談に応じている」が44.0%、「事業所等の土地や設備を地域住民の交流に活用・提供している」が36.0%となっています。

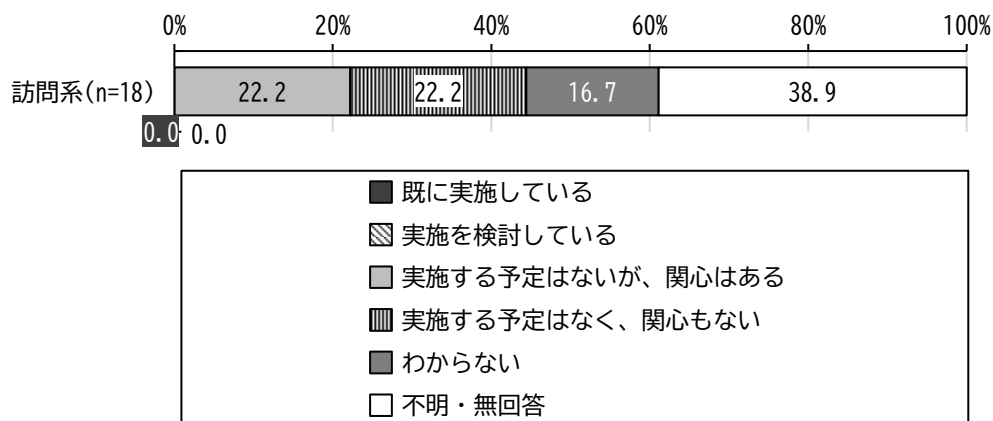


【①訪問系のみ】

訪問介護の機能分け提供（訪問系問 19）

今後、訪問介護のサービス内容を機能ごとに分けて提供することについて、どのようにお考えですか。（1つに○）

訪問介護の機能分け提供の実施状況は、「実施する予定はないが、関心はある」「実施する予定はなく、関心もない」がともに 22.2%となっています。一方、「既に実施している」「実施を検討している」はともに 0.0%となっており、現時点で実施・検討している事業所はみられません。



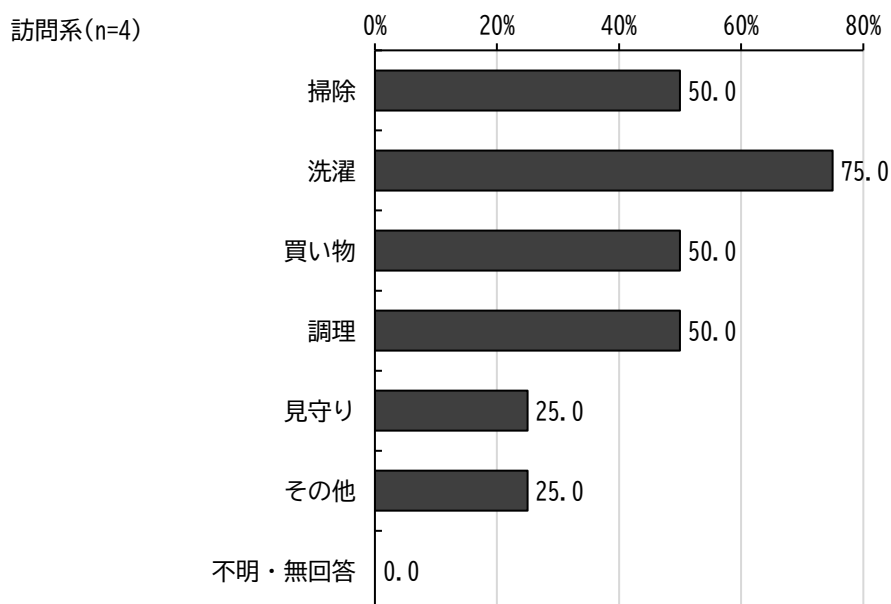
【①訪問系のみ】

問 19 で選択肢「2 実施を検討している」「3 実施する予定はないが、関心はある」とお答えの事業所にお聞きします。

訪問介護の機能分け提供（訪問系問 19-1）

どのような機能であれば単独提供が可能ですか。（あてはまるものすべてに○）

機能分け提供の対象となる家事の種類は、「洗濯」が 75.0%と最も高く、次いで、「掃除」「買い物」「調理」がともに 50.0%となっています。



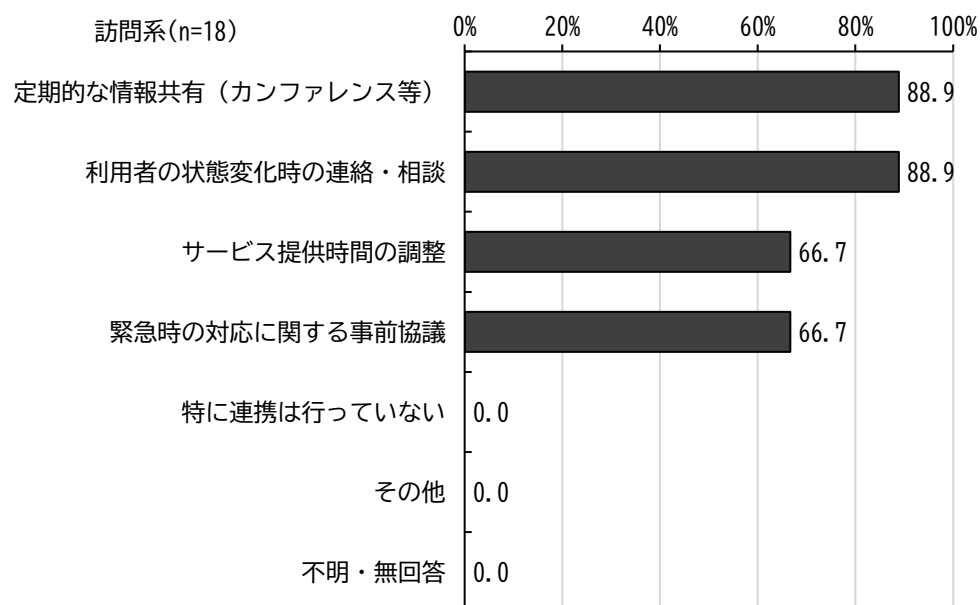
【①訪問系のみ】

他サービス事業所との連携（訪問系問 20）

貴事業所では、他のサービス事業所とどのような連携を行っていますか。

（あてはまるものすべてに○）

他サービス事業所との連携の状況は、「定期的な情報共有（カンファレンス等）」「利用者の状態変化時の連絡・相談」がともに 88.9%となっています。

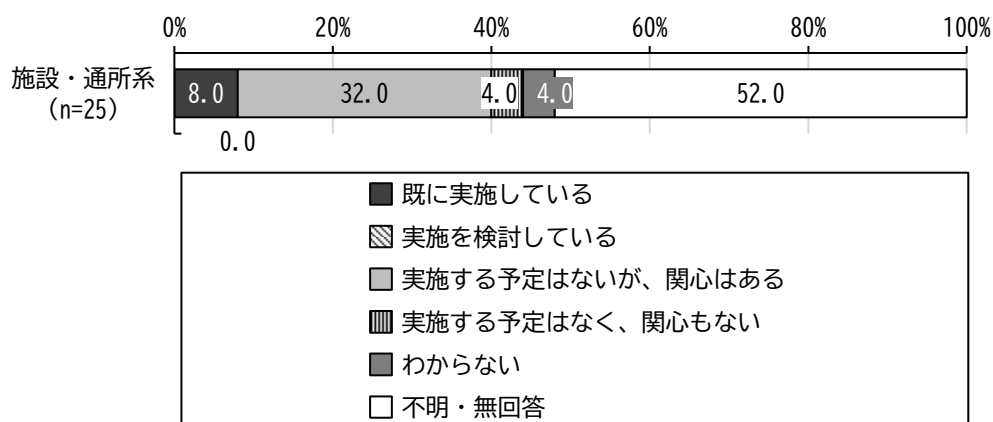


【③施設・通所系のみ】

通所介護の機能特化（施設・通所系問 18）

今後、利用者の多様なニーズや人材不足に対応するため、通所介護の機能を分解し、特定の機能に特化したサービス提供を行うことについて、どのようにお考えですか。（1つに○）

通所介護の機能特化の実施状況は、「実施する予定はないが、関心はある」が 32.0%と最も高く、次いで、「既に実施している」が 8.0%、「実施する予定はなく、関心もない」「わからない」がともに 4.0%となっています。



IV 介護サービス事業所調査（訪問系＋施設・通所系）

【③施設・通所系のみ】

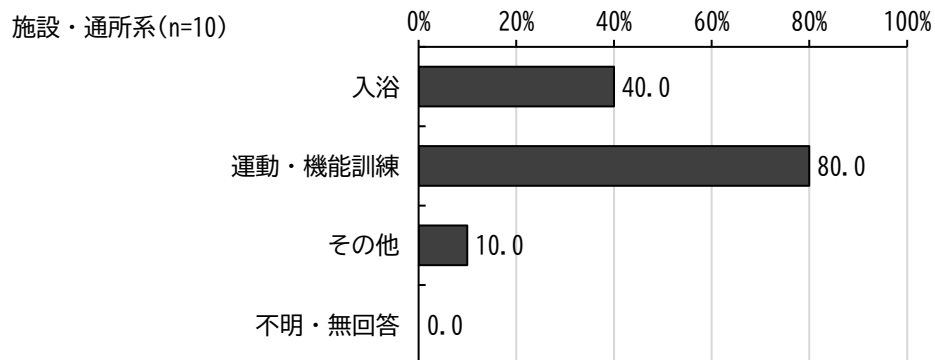
問 18 で選択肢「1」「2」または「3」を選択した事業所にお聞きします。

通所介護の機能特化（施設・通所系問 18-1）

どのような機能への特化であれば実施可能（または関心がある）ですか。

（あてはまるものすべてに○）

機能特化の対象サービスは、「運動・機能訓練」が 80.0%、「入浴」が 40.0%となっています。

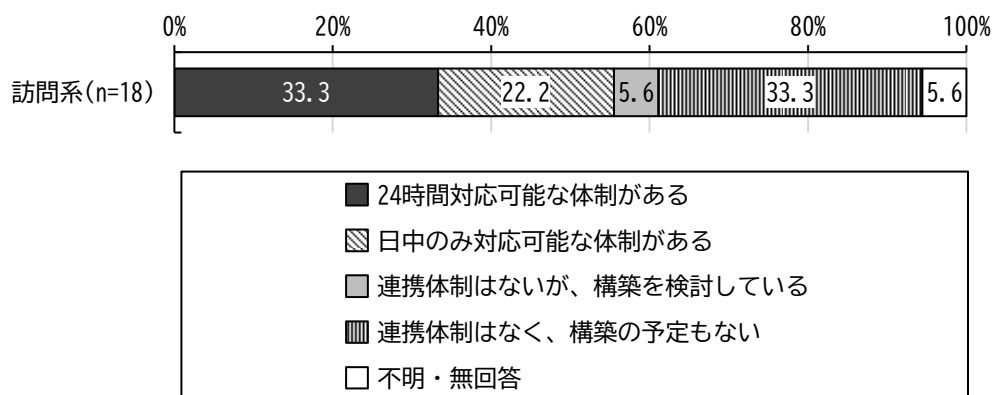


【①訪問系のみ】

緊急時の医療機関連携体制（訪問系問 21）

利用者の緊急時に対応できる医療機関との連携体制はありますか。（1つに○）

緊急時の医療機関連携体制は、「24 時間対応可能な体制がある」「連携体制はなく、構築の予定もない」がともに 33.3%となっています。



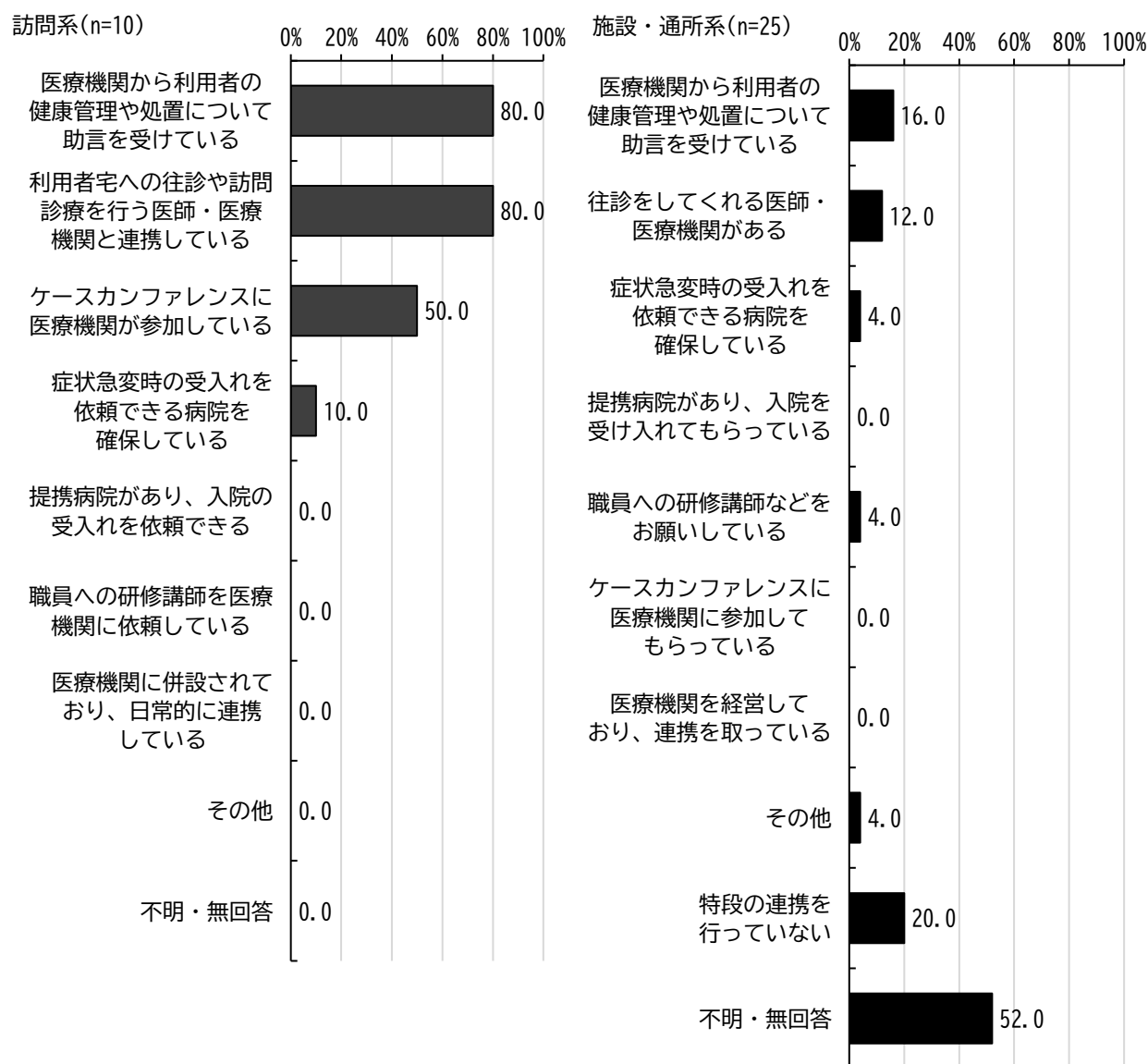
問 21 で選択肢「1」または「2」とお答えの事業所にお聞きします。

医療機関との連携（訪問系問 21-1、施設・通所系問 19）

貴事業所では、医療機関とはどのような連携をとっていますか。（あてはまるものすべてに○）

訪問系では、「医療機関から利用者の健康管理や処置について助言を受けている」「利用者宅への往診や訪問診療を行う医師・医療機関と連携している」がともに 80.0%となっています。

施設・通所系では、「特段の連携を行っていない」が 20.0%と最も高く、次いで、「医療機関から利用者の健康管理や処置について助言を受けている」が 16.0%、「往診をしてくれる医師・医療機関がある」が 12.0%となっています。

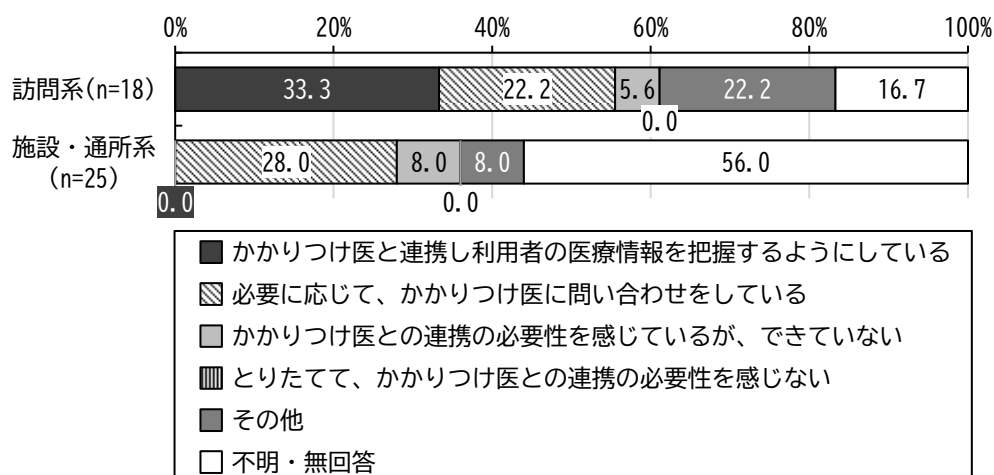


かかりつけ医との連携（訪問系問 22、施設・通所系問 20）

貴事業所では、利用者のかかりつけ医との連携や情報交換を行っていますか。（1つに○）

訪問系では、「かかりつけ医と連携し利用者の医療情報を把握するようにしている」が 33.3%と最も高く、次いで、「必要に応じて、かかりつけ医に問い合わせをしている」が 22.2%、「かかりつけ医との連携の必要性を感じているが、できていない」が 5.6%となっています。

施設・通所系では、「必要に応じて、かかりつけ医に問い合わせをしている」が 28.0%、「かかりつけ医との連携の必要性を感じているが、できていない」が 8.0%となっています。



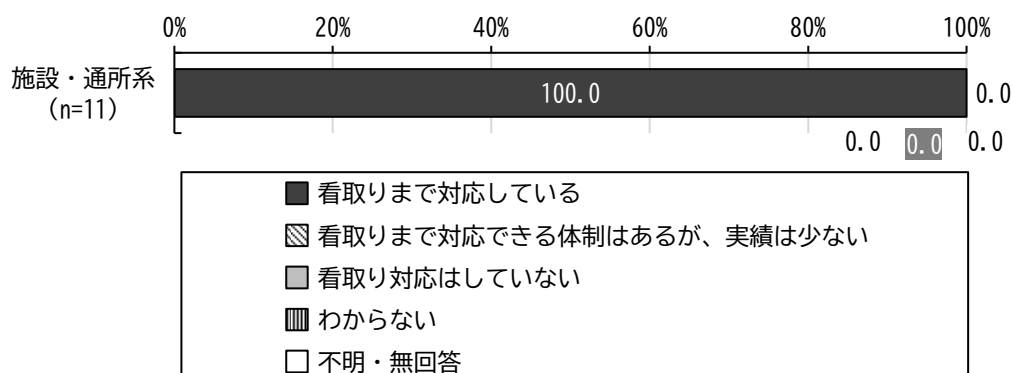
訪問系		施設・通所系	
その他の主な内容	件数	その他の主な内容	件数
■ ケアマネジャーを介した間接的な連携	4 件	■ 第三者を介した間接的な連携	2 件
・ ケアマネジャーを通じて情報交換・対応の取り決めを行っている	(2 件)	・ 担当ケアマネジャーおよび家族から情報提供を受けている	(1 件)
・ ケアマネジャーが必要なことを伝えてくれる	(1 件)	・ 施設を通じて情報共有を行っている	(1 件)
・ ケアマネジャーや訪問看護との連携により情報共有を行っている	(1 件)		

【③施設・通所系のみ】

看取りへの対応（施設・通所系問 21）

貴事業所等では、看取りへの対応について、どのような体制ですか。（1つに○）

看取りへの対応は、「看取りまで対応している」が 100.0%となっています。

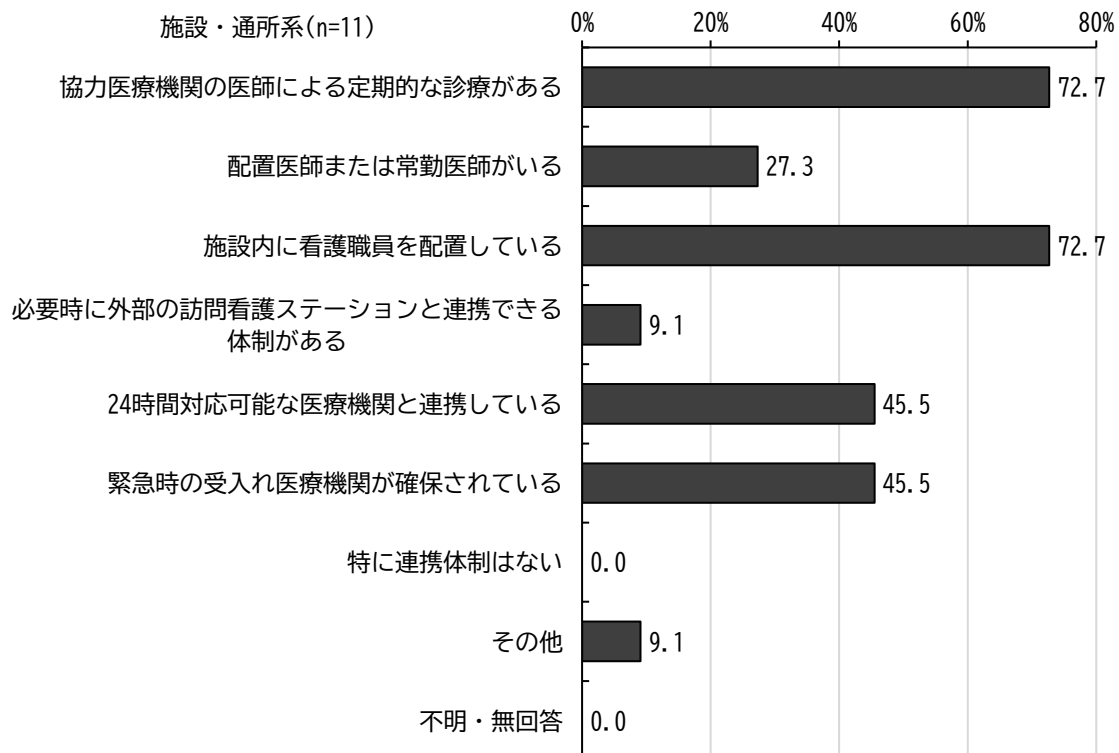


【③施設・通所系のみ】

医療機関・医療職との連携体制（施設・通所系問 22）

貴事業所における医療機関や医療職との連携体制について。（あてはまるものすべてに○）

医療機関・医療職との連携体制は、「協力医療機関の医師による定期的な診療がある」「施設内に看護職員を配置している」がともに 72.7%となっています。

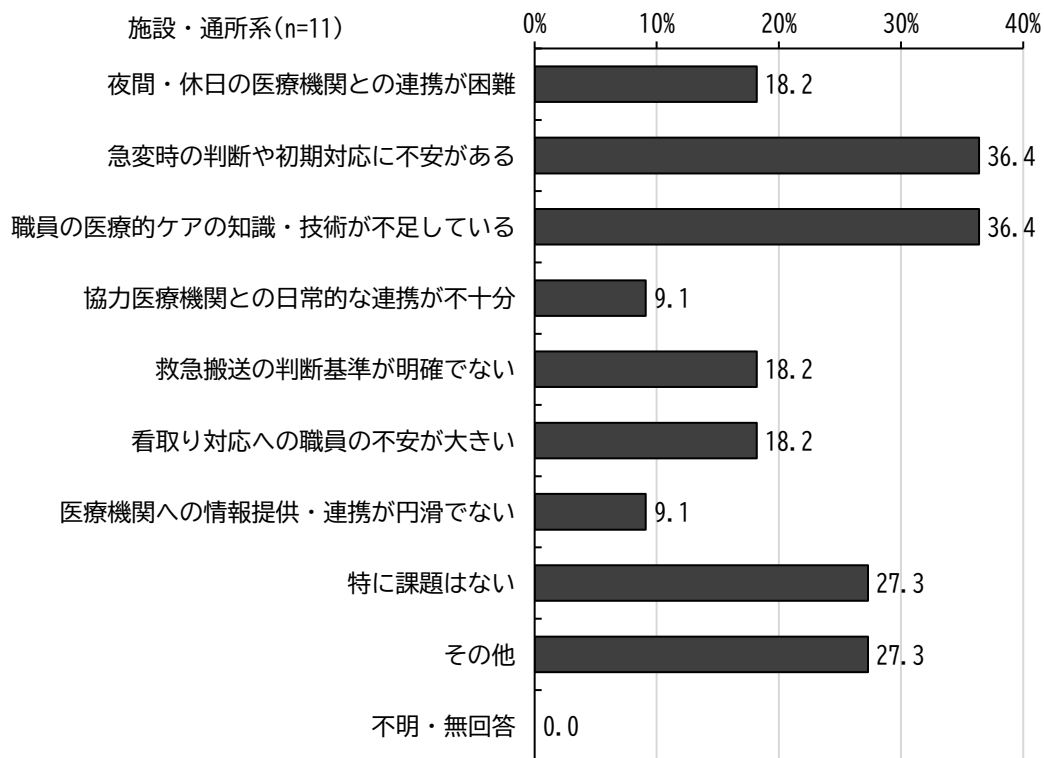


【③施設・通所系のみ】

緊急時・医療的ケアの課題（施設・通所系問 23）

利用者の緊急時や医療的ケアが必要な場合の対応について、課題と感じていることはありますか。
（あてはまるものすべてに○）

緊急時・医療的ケアに関する課題は、「急変時の判断や初期対応に不安がある」「職員の医療的ケアの知識・技術が不足している」がともに 36.4%となっています。

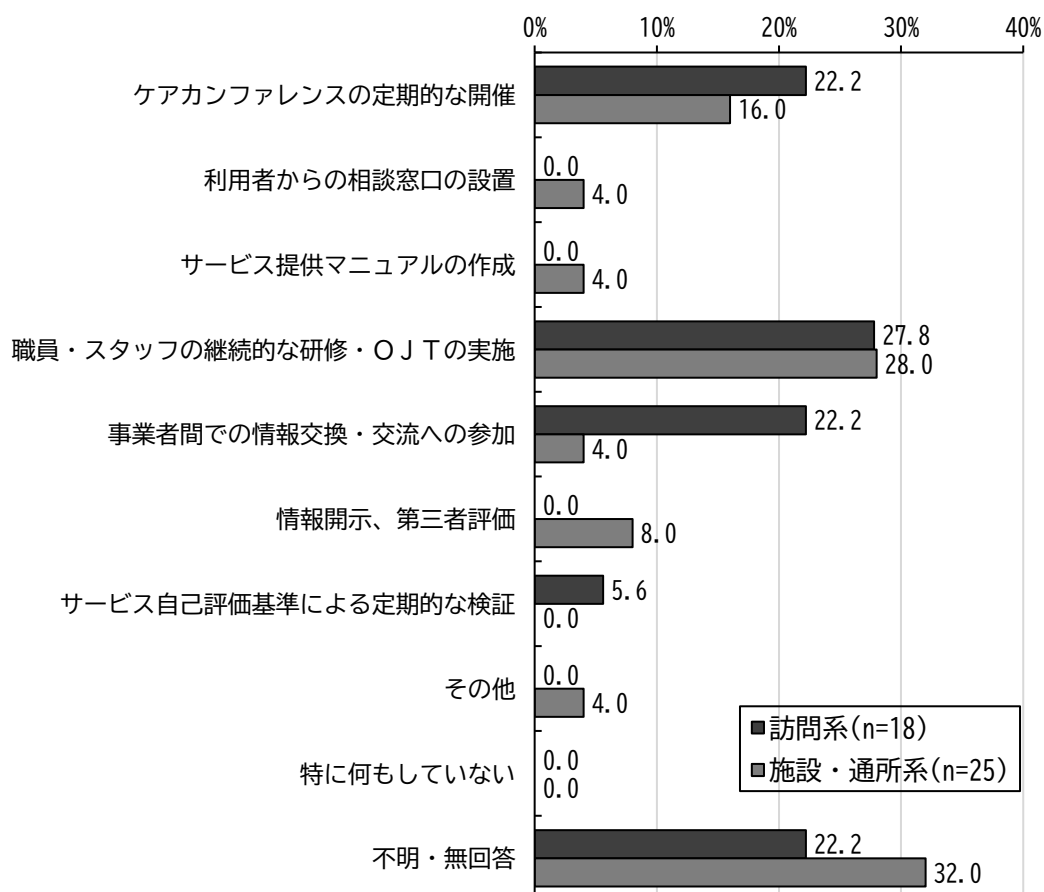


サービスの質向上の取組み（訪問系問 23、施設・通所系問 24）

貴事業所等では、サービスの質の向上のために、どのような取組みに最も力を入れていますか。
（1つに○）

訪問系では、「職員・スタッフの継続的な研修・OJTの実施」が27.8%と最も高く、次いで、「ケアカンファレンスの定期的な開催」「事業者間での情報交換・交流への参加」がともに22.2%となっています。

施設・通所系では、「職員・スタッフの継続的な研修・OJTの実施」が28.0%と最も高く、次いで、「ケアカンファレンスの定期的な開催」が16.0%、「情報開示、第三者評価」が8.0%となっています。

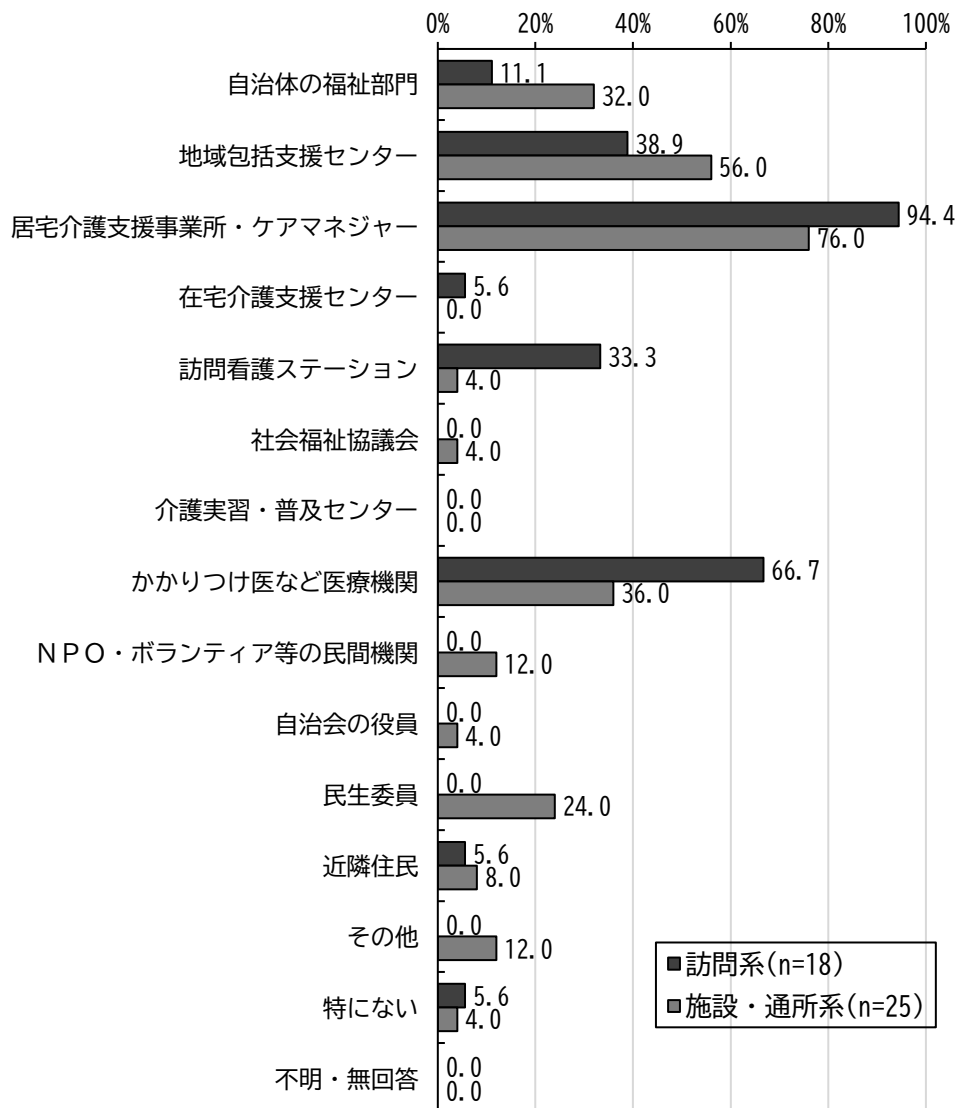


連携を強めたい機関・窓口（訪問系問 24、施設・通所系問 25）

貴事業所の運営をする上で、最も連携を強めたい機関・窓口はどこですか。（3つまでに○）

訪問系では、「居宅介護支援事業所・ケアマネジャー」が94.4%と最も高く、次いで、「かかりつけ医など医療機関」が66.7%、「地域包括支援センター」が38.9%となっています。

施設・通所系では、「居宅介護支援事業所・ケアマネジャー」が76.0%と最も高く、次いで、「地域包括支援センター」が56.0%、「かかりつけ医など医療機関」が36.0%となっています。

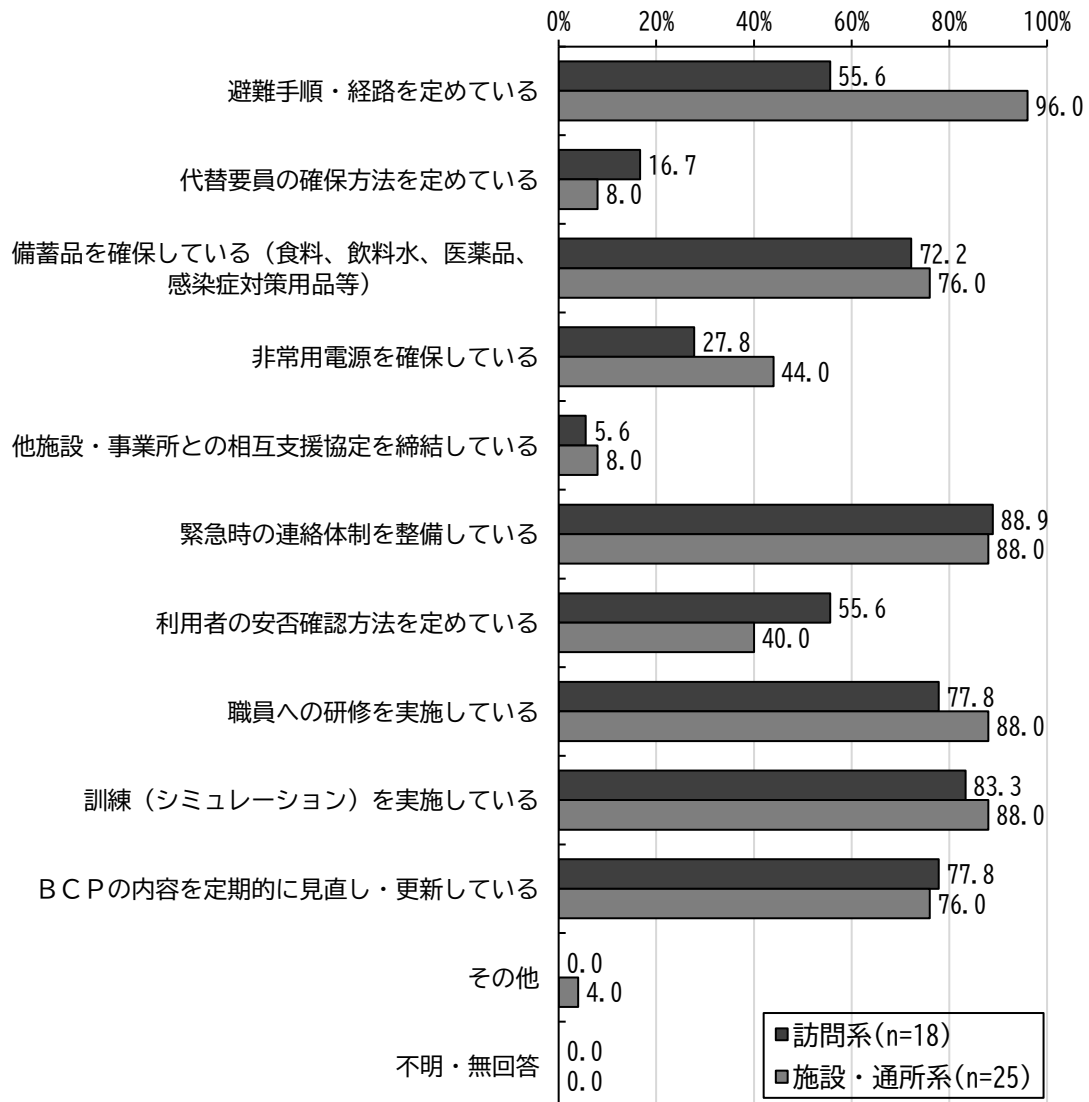


BCPの策定・運用状況（訪問系問 25、施設・通所系問 26）

BCPの内容や運用状況について（あてはまるものすべてに○）

訪問系では、「緊急時の連絡体制を整備している」が88.9%と最も高く、次いで、「訓練（シミュレーション）を実施している」が83.3%、「職員への研修を実施している」「BCPの内容を定期的に見直し・更新している」がともに77.8%となっています。

施設・通所系では、「避難手順・経路を定めている」が96.0%と最も高く、次いで、「緊急時の連絡体制を整備している」「職員への研修を実施している」「訓練（シミュレーション）を実施している」がともに88.0%となっています。

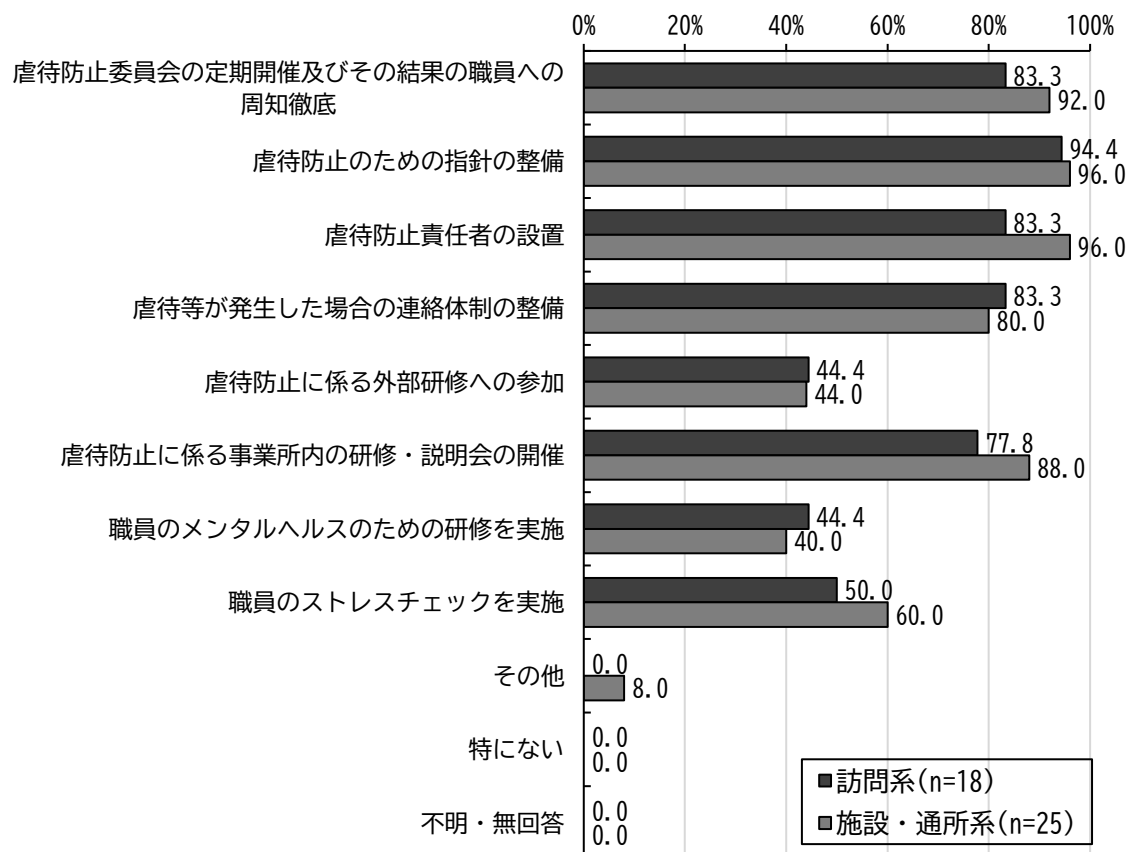


虐待防止対策（訪問系問 26、施設・通所系問 27）

虐待防止対策の実施状況について（あてはまるものすべてに○）

訪問系では、「虐待防止のための指針の整備」が 94.4%と最も高く、次いで、「虐待防止委員会の定期開催及びその結果の職員への周知徹底」「虐待防止責任者の設置」「虐待等が発生した場合の連絡体制の整備」がともに 83.3%となっています。

施設・通所系では、「虐待防止のための指針の整備」「虐待防止責任者の設置」がともに 96.0%となっています。

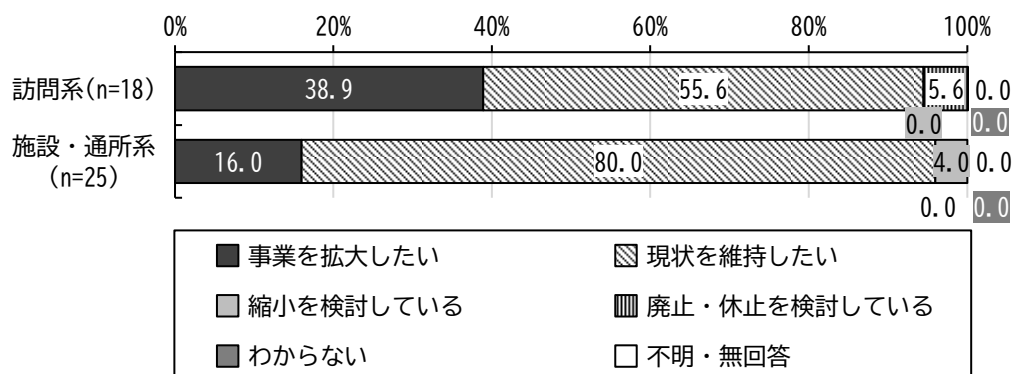


今後3年間の事業継続（訪問系問 27、施設・通所系問 28）

貴事業所の今後3年間の事業継続について、どのようにお考えですか。（1つに○）

訪問系では、「現状を維持したい」が 55.6%と最も高く、次いで、「事業を拡大したい」が 38.9%、「廃止・休止を検討している」が 5.6%となっています。

施設・通所系では、「現状を維持したい」が 80.0%と最も高く、次いで、「事業を拡大したい」が 16.0%、「事業規模を縮小する可能性がある」が 4.0%となっています。

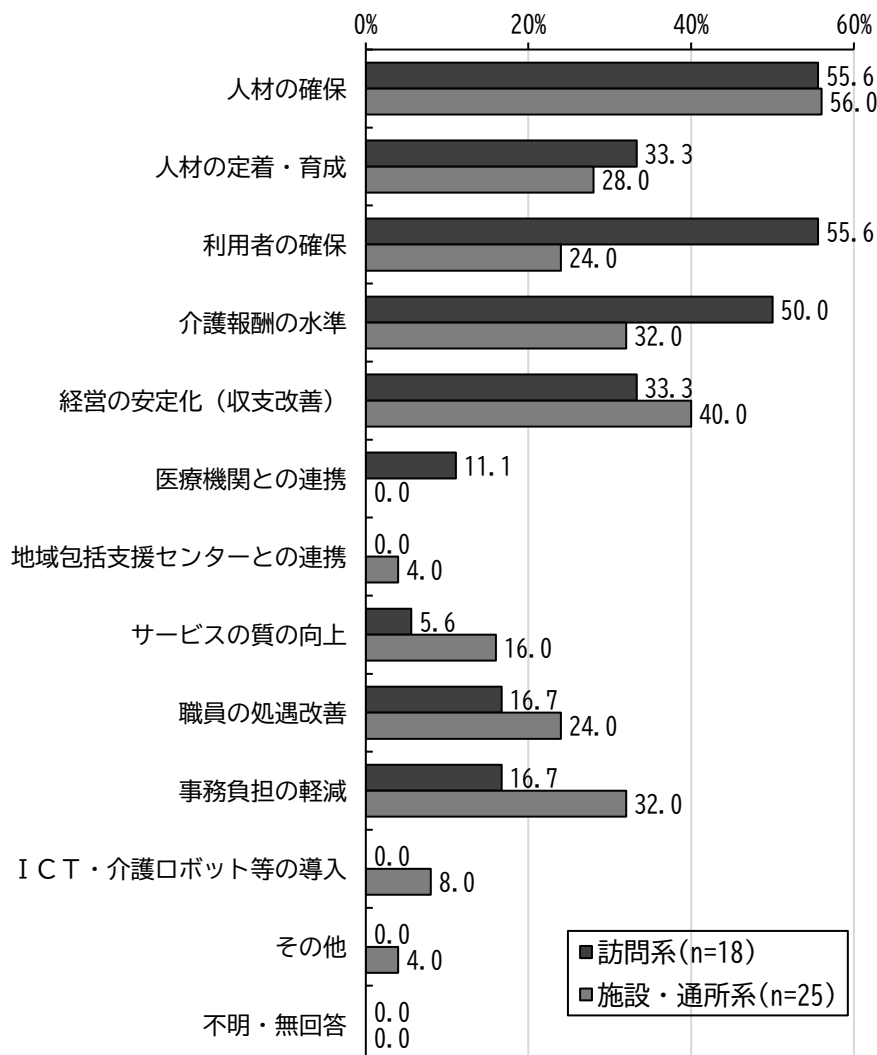


運営上の課題（訪問系問 28、施設・通所系問 29）

貴事業所の運営において、現在最も課題と感じていることは何ですか。（3つまでに○）

訪問系では、「人材の確保」「利用者の確保」がともに 55.6%となっています。

施設・通所系では、「人材の確保」が 56.0%と最も高く、次いで、「経営の安定化（収支改善）」が 40.0%、「介護報酬の水準」「事務負担の軽減」がともに 32.0%となっています。



市への期待・要望〔自由記述〕（訪問系問 29、施設・通所系問 30）

木津川市の介護サービス提供体制の充実に向けて、市に期待することや要望があれば、ご自由にお書きください。

訪問系		施設・通所系	
ご意見内容	件数	ご意見内容	件数
■人材確保・訪問系サービスの充実	4 件	■人材確保支援	3 件
・人材確保における情報提供	(1 件)	・集団就職説明会の開催	(1 件)
・訪問系サービスの人材確保・魅力発信への協力	(2 件)	・就職フェアの定期開催継続、フェア以外の人材確保対策	(1 件)
・就職フェアの頻度増、介護の魅力を伝えるイベント	(1 件)	・事業者との意見交換の場	(1 件)
■報酬・補助金の充実	1 件	■日常的な連携・情報交換	2 件
・過疎地域向けの診療報酬見直し、補助金・助成金	(1 件)	・アンケートだけでなく日頃からの情報交換・相談の場	(2 件)
■専門性の活用	1 件	■施設整備・費用支援	2 件
・専門性に合わせた訪問看護依頼の充実	(1 件)	・ICT 機器・介護ロボット導入促進、施設整備費の支援	(1 件)
		・消耗品等の購入サポート	(1 件)
		■ハラスメント対策	1 件
		・カスタマーハラスメントに対する相談窓口の設置	(1 件)
		■災害時・緊急時の連携	1 件
		・災害時の後方支援、虐待に関わる緊急入所時の連携	(1 件)

V 居宅介護支援事業所調査

I 事業所・人材の状況

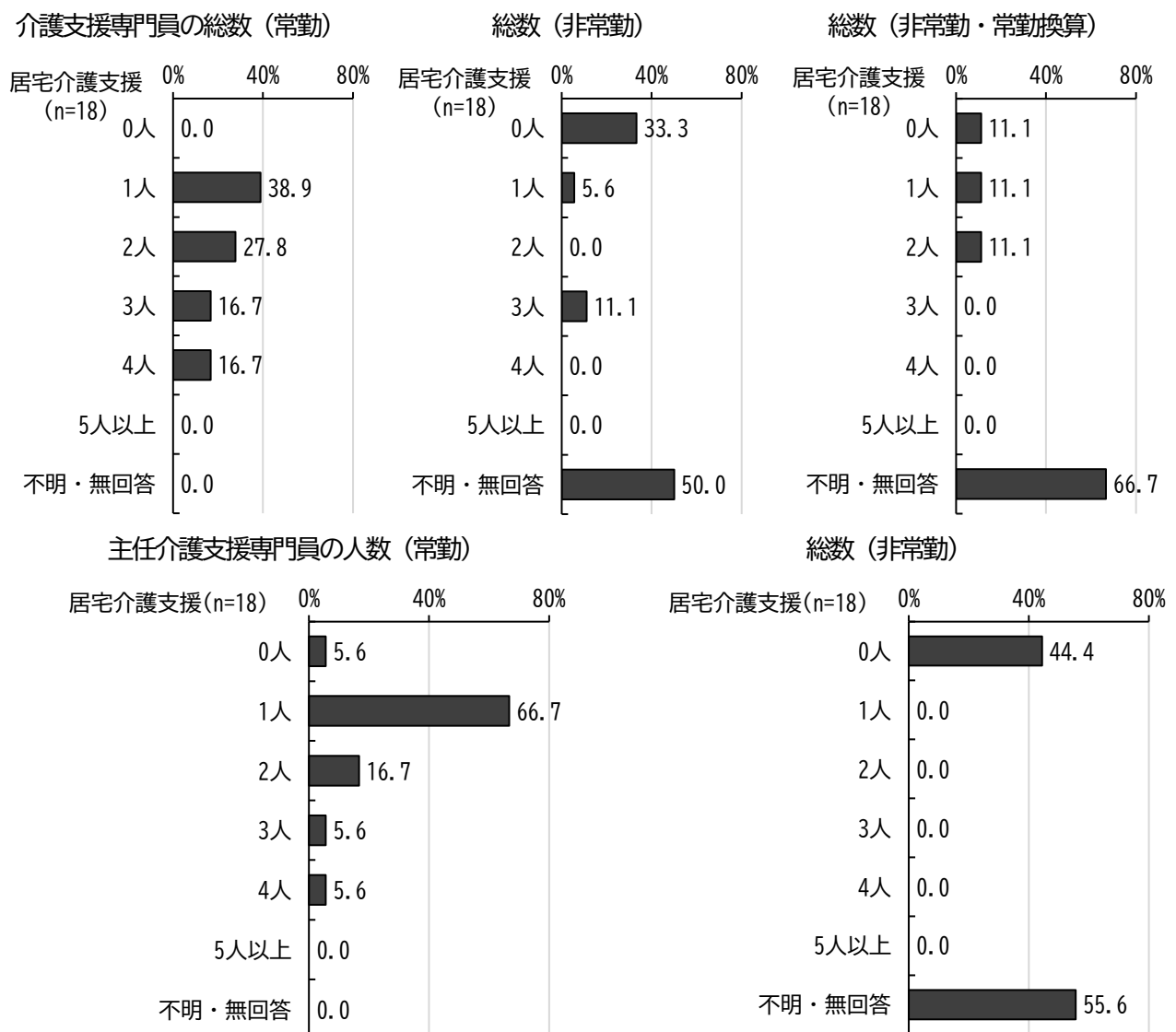
介護支援専門員の資格状況（問1）

貴事業所に所属する介護支援専門員の資格状況についてお答えください。（令和8年1月1日現在）

①介護支援専門員の総数、②上記のうち、主任介護支援専門員の人数

介護支援専門員の総数（常勤）は、「1人」が38.9%と最も高く、次いで、「2人」が27.8%、「3人」「4人」がともに16.7%となっています。総数（非常勤）は、「0人」が33.3%と最も高く、次いで、「3人」が11.1%、「1人」が5.6%となっています。介護支援専門員の総数（非常勤・常勤換算）は、「0人」「1人」「2人」がそれぞれ11.1%となっています。

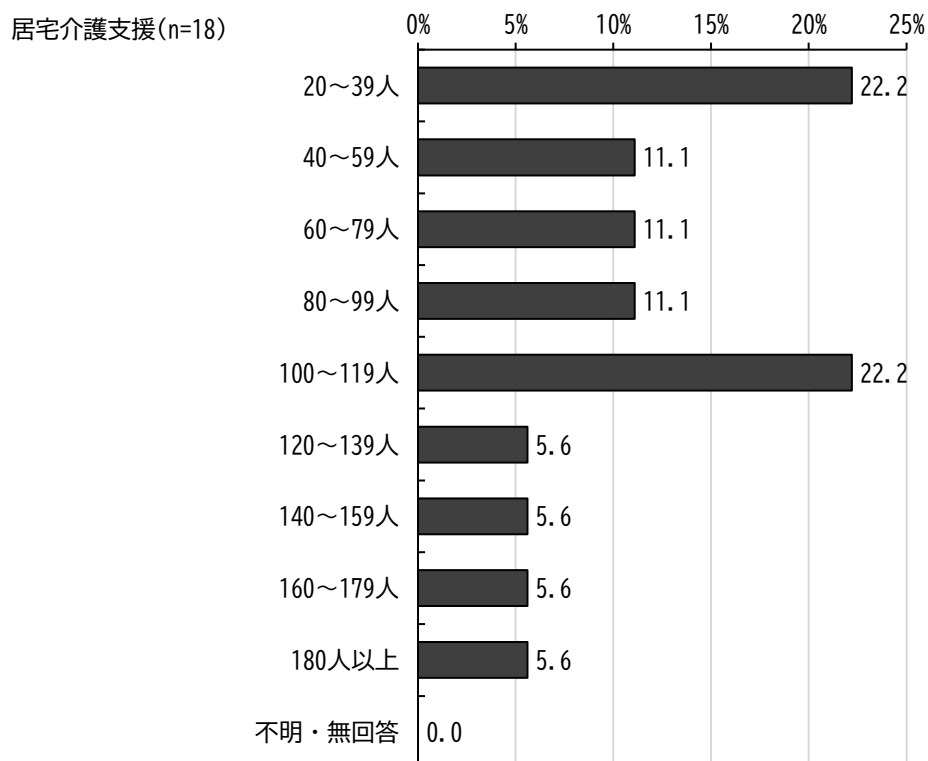
主任介護支援専門員の人数（常勤）は、「1人」が66.7%と最も高く、次いで、「2人」が16.7%、「0人」「3人」「4人」がそれぞれ5.6%となっています。総数（非常勤）は、「0人」が44.4%となっています。



事業所全体の担当利用者数（問2）

事業所全体の担当利用者数についてお答えください。（令和8年1月1日現在）（数値を記入）

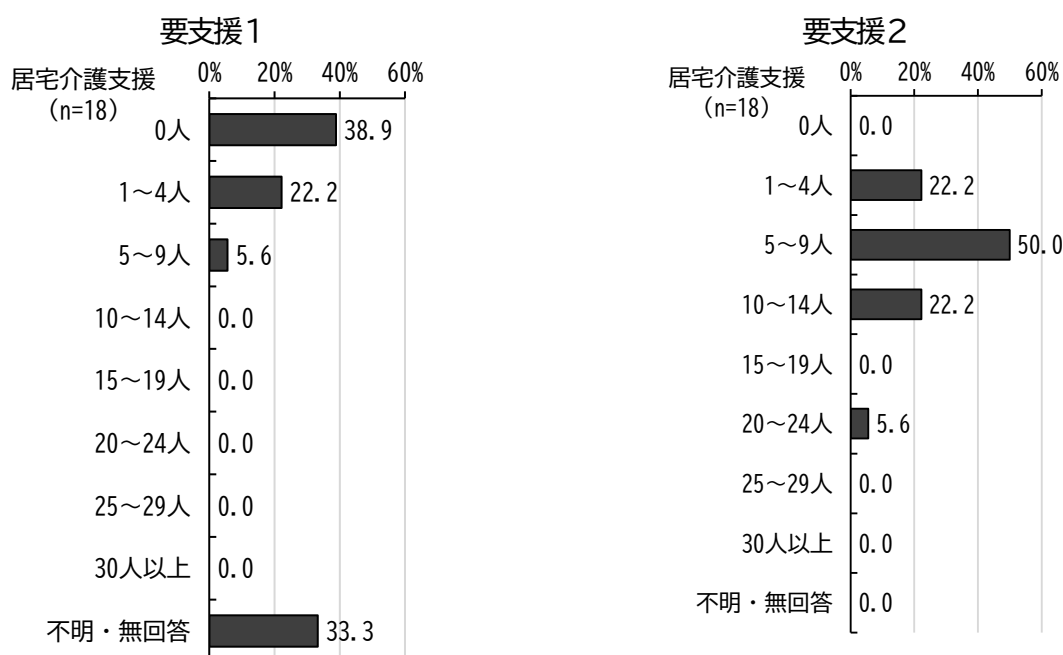
担当利用者数は、「20～39人」「100～119人」がともに22.2%となっています。



事業所全体の要介護度別内訳（問2）

【要介護度別】事業所全体の要介護度別内訳（要支援1・要支援2）（数値を記入）

要支援1は「1～4人」が50.0%と最も高く、次いで、「5～9人」が33.3%、「0人」が11.1%となっています。要支援2は、「5～9人」が50.0%と最も高く、次いで、「1～4人」「10～14人」がともに22.2%となっています。



【要介護度別】事業所全体の要介護度別内訳（要介護1～5）（数値を記入）

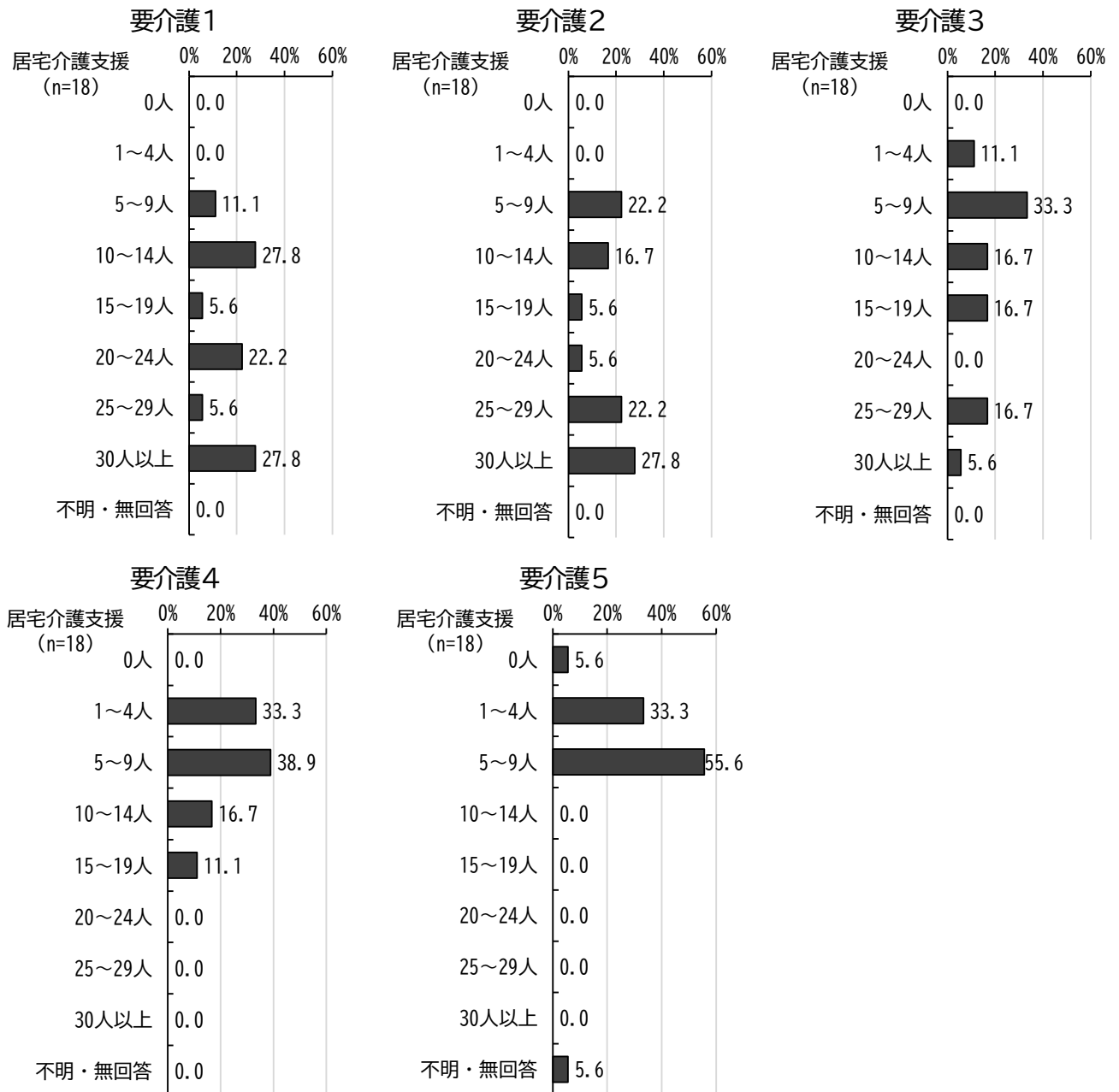
要介護1は、「10～14人」「30人以上」がともに27.8%となっています。

要介護2は、「30人以上」が27.8%と最も高く、次いで、「5～9人」「25～29人」がともに22.2%となっています。

要介護3は、「5～9人」が33.3%と最も高く、次いで、「10～14人」「15～19人」「25～29人」がそれぞれ16.7%となっています。

要介護4は、「5～9人」が38.9%と最も高く、次いで、「1～4人」が33.3%、「10～14人」が16.7%となっています。

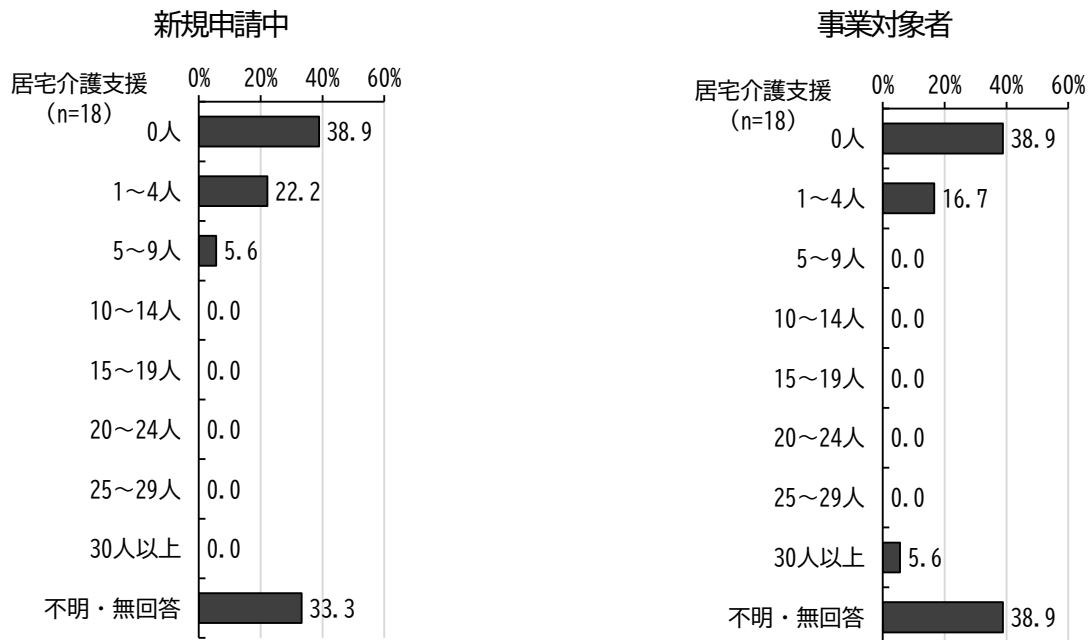
要介護5は、「5～9人」が55.6%と最も高く、次いで、「1～4人」が33.3%、「0人」が5.6%となっています。



【要介護度別】事業所全体の要介護度別内訳（新規申請中・事業対象者）（数値を記入）

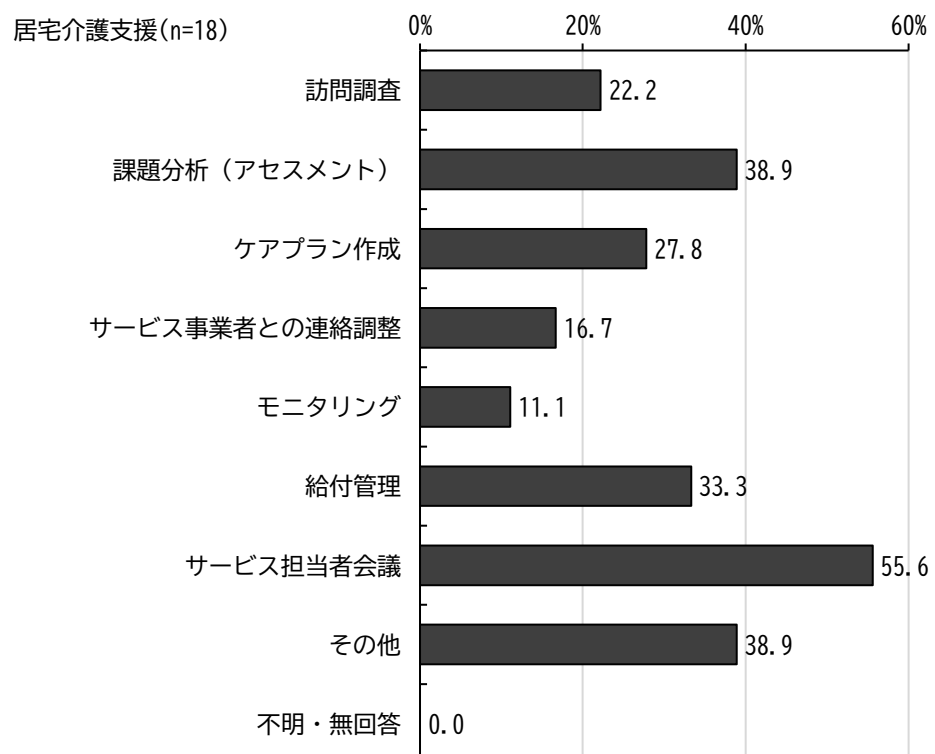
新規申請中は、「0人」が38.9%と最も高く、次いで、「1～4人」が22.2%、「5～9人」が5.6%となっています。

事業対象者は、「0人」が38.9%と最も高く、次いで、「1～4人」が16.7%、「30人以上」が5.6%となっています。


負担が大きいと感じている業務（問3）

貴事業所の介護支援専門員が業務を行う上で、特に負担が大きいと感じている業務はどれですか。（3つまでに○）

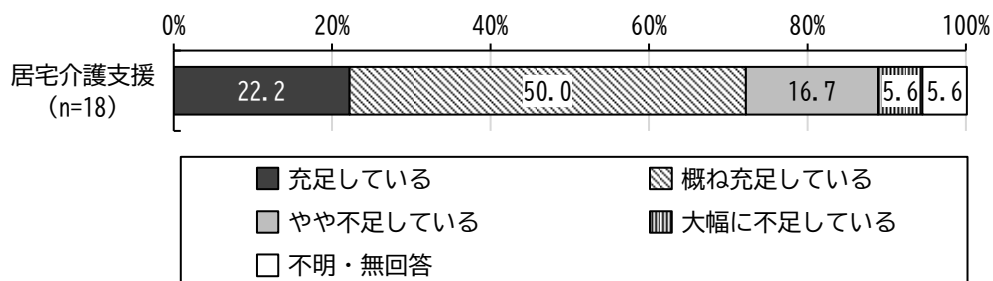
とくに負担が大きい業務は、「サービス担当者会議」が55.6%と最も高く、次いで、「課題分析（アセスメント）」が38.9%、「給付管理」が33.3%となっています。



人材確保の状況（問4）

介護支援専門員の人材確保の状況についてお答えください。（1つに○）

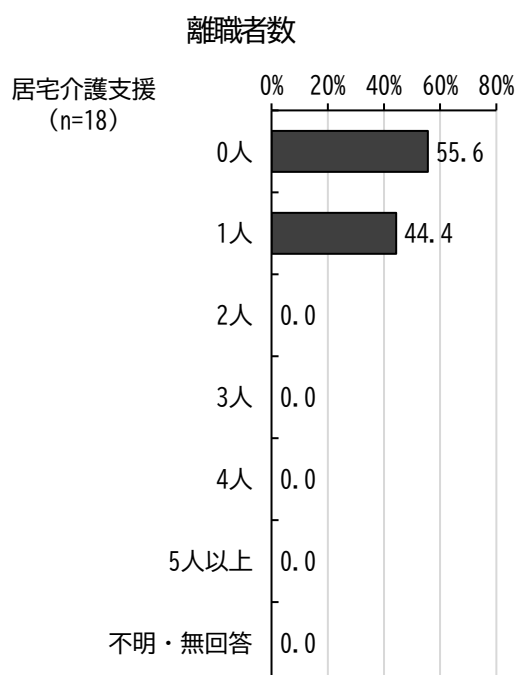
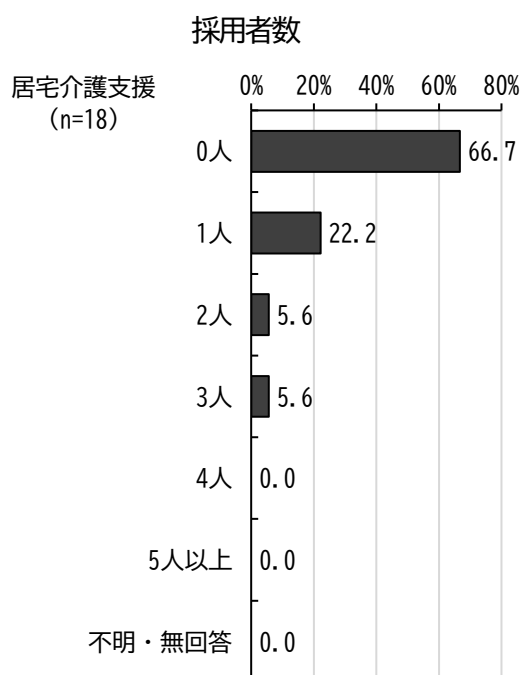
人材確保の状況は、「充足している」「概ね充足している」を合わせた割合は 72.2%となっており、約7割の事業所で充足している状況がうかがえます。一方、「やや不足している」が16.7%、「大幅に不足している」が5.6%と、不足を感じている事業所も約2割みられます。



採用者数・離職者数（問5）

直近1年間の採用・離職状況についてお答えください。（数値を記入）

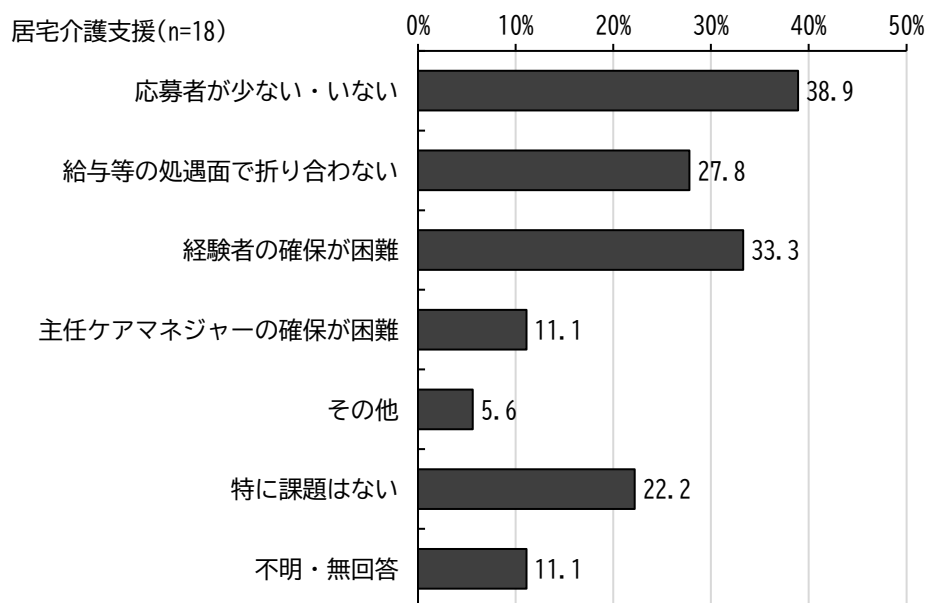
採用者数は、「0人」が66.7%と最も高く、次いで、「1人」が22.2%、「2人」「3人」がともに5.6%となっています。離職者数は、「0人」が55.6%、「1人」が44.4%となっています。



人材確保における課題（問6）

人材確保における課題についてお答えください。（あてはまるものすべてに○）

人材確保における課題は、「応募者が少ない・いない」が38.9%と最も高く、次いで、「経験者の確保が困難」が33.3%、「給与等の処遇面で折り合わない」が27.8%となっています。

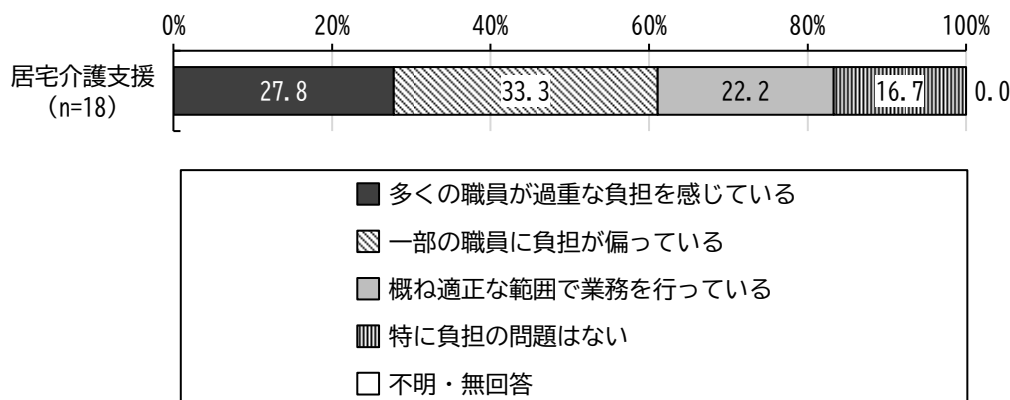


2 介護支援専門員としての業務

介護支援専門員の業務負担の状況（問7）

貴事業所の介護支援専門員の業務負担の状況についてお答えください。（1つに○）

業務負担の状況は、「一部の職員に負担が偏っている」が33.3%と最も高く、次いで、「多くの職員が過重な負担を感じている」が27.8%、「概ね適正な範囲で業務を行っている」が22.2%となっています。

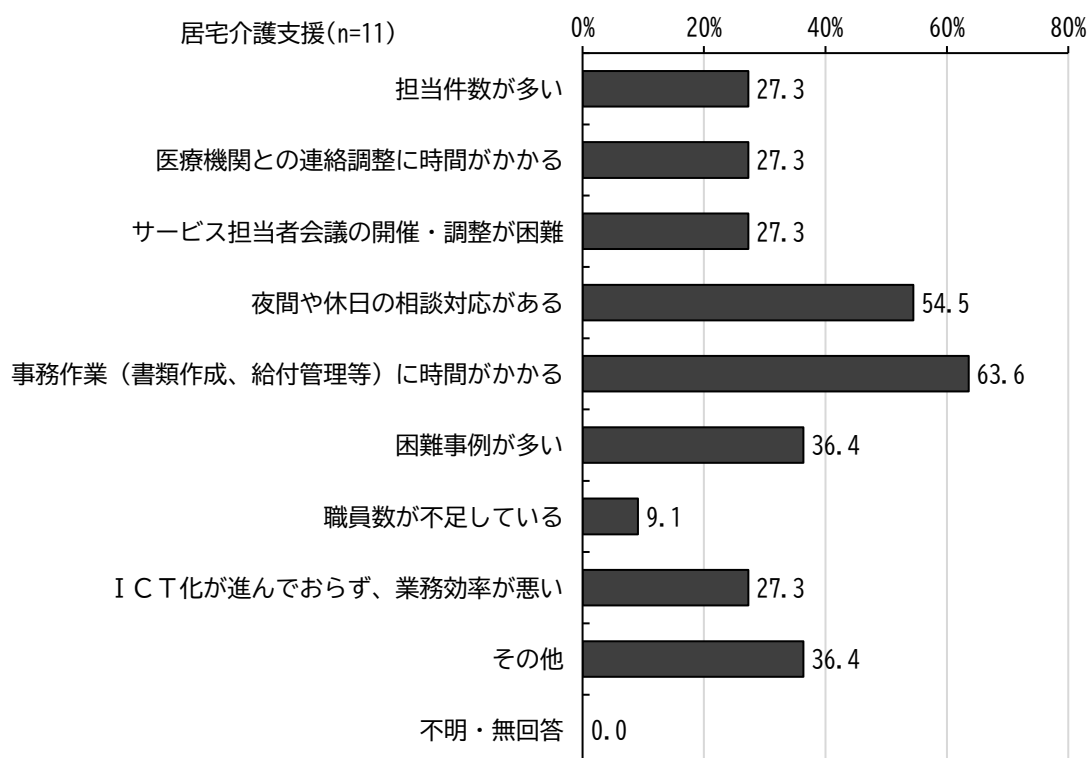


問7で「1」または「2」と答えられた事業所におたずねします。

業務負担が大きい要因（問7-1）

業務負担が大きい要因は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

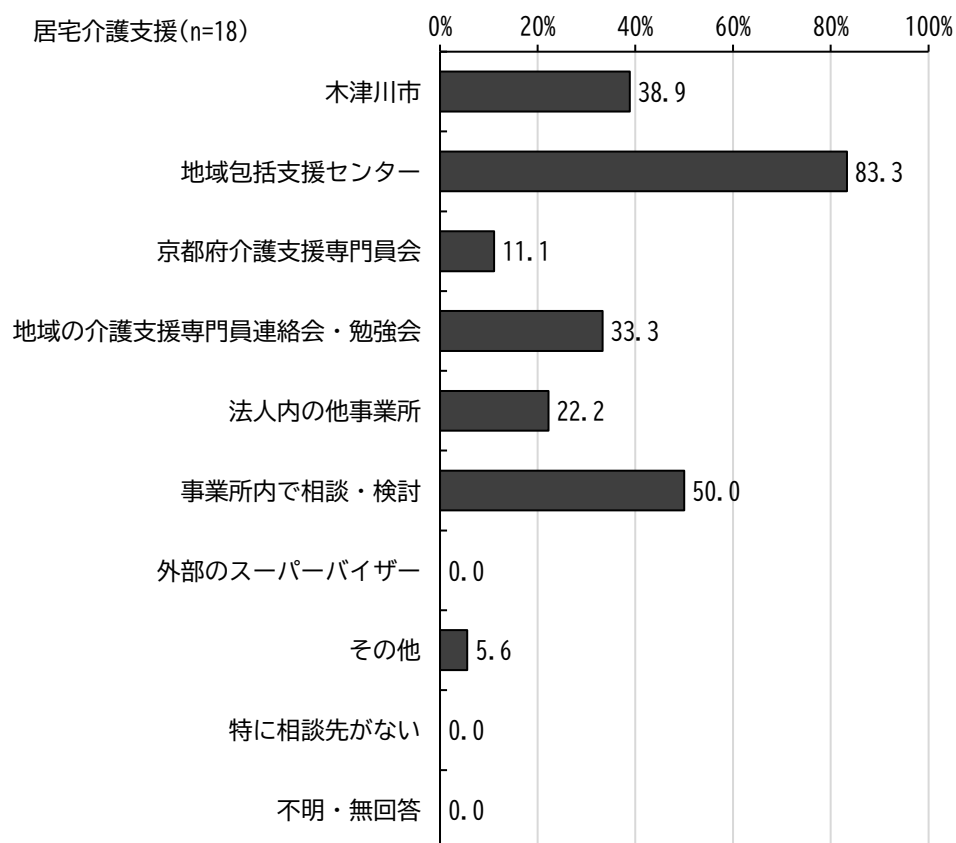
業務負担の主な要因は、「事務作業（書類作成、給付管理等）に時間がかかる」が63.6%と最も高く、次いで、「夜間や休日の相談対応がある」が54.5%、「困難事例が多い」が36.4%となっています。



業務上の課題や困難事例に対する相談・支援体制（問8）

貴事業所では、業務上の課題や困難事例について、どのような相談・支援体制を活用していますか。（3つまでに○）

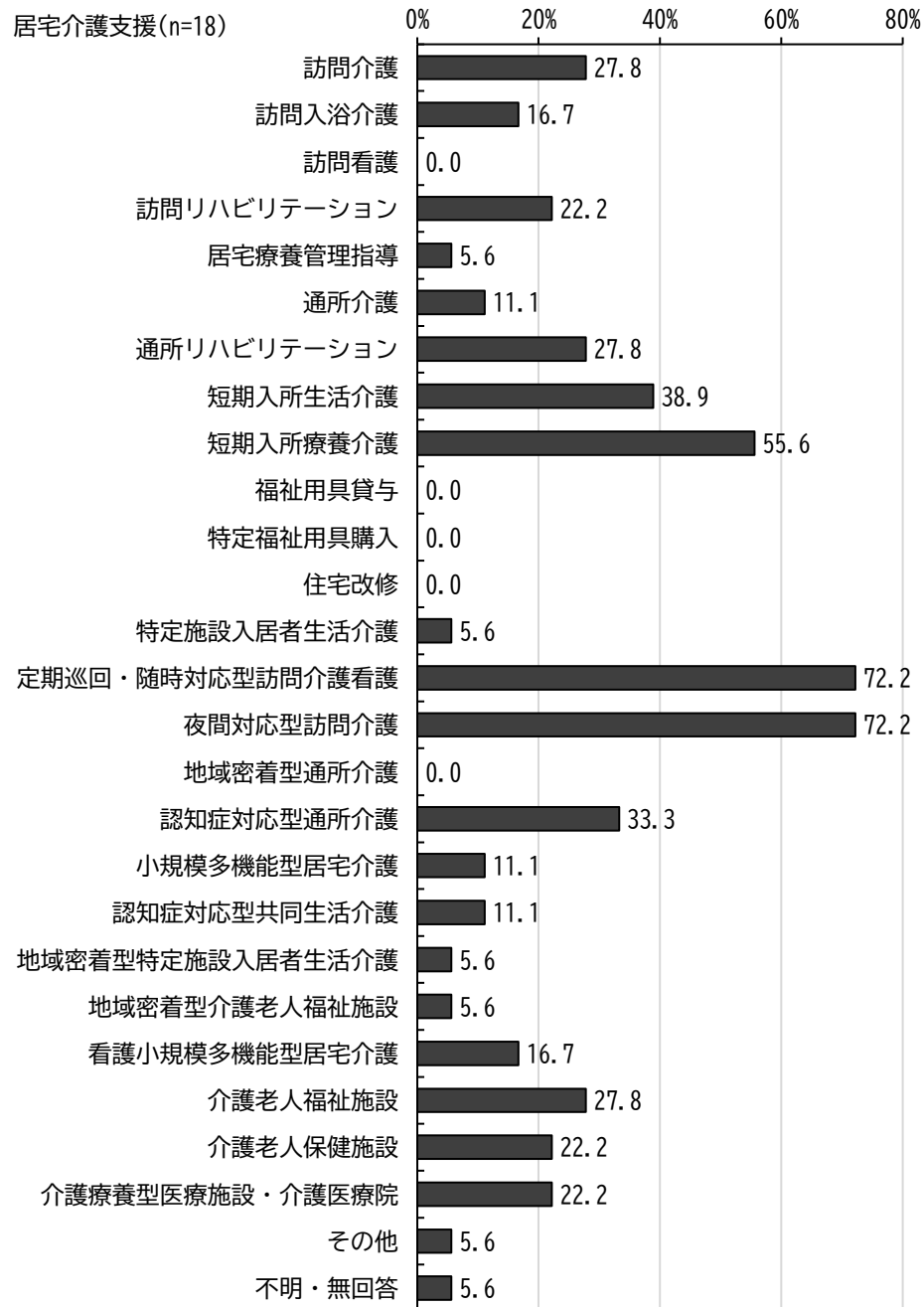
業務上の相談・支援体制は、「地域包括支援センター」が83.3%と最も高く、次いで、「事業所内で相談・検討」が50.0%、「木津川市」が38.9%となっています。



市内で不足しているサービス（問9）

介護サービス計画（ケアプラン）を作成するに当たり、市内で量的に不足していると思われるサービスはありますか。（あてはまるものすべてに○）

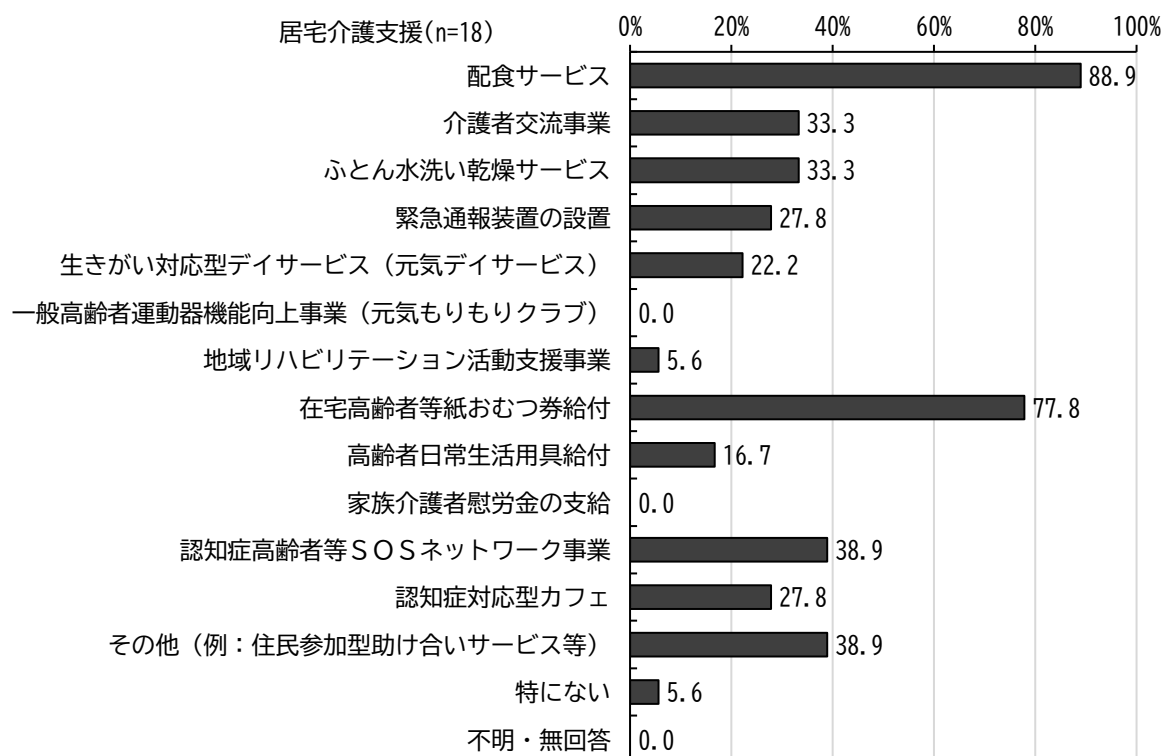
市内で量的に不足しているサービスは、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」「夜間対応型訪問介護」がともに72.2%となっています。



介護保険以外の高齢者福祉サービス（問10）

貴事業所では、介護保険以外の高齢者福祉サービスでよく活用したり、利用者に紹介したりしているサービスは何かありますか。（あてはまるものすべてに○）

活用している介護保険外サービスは、「配食サービス」が88.9%と最も高く、次いで、「在宅高齢者等紙おむつ券給付」が77.8%、「認知症高齢者等SOSネットワーク事業」が38.9%となっています。



◇その他回答：有効回答者数：6件（のべ10件）

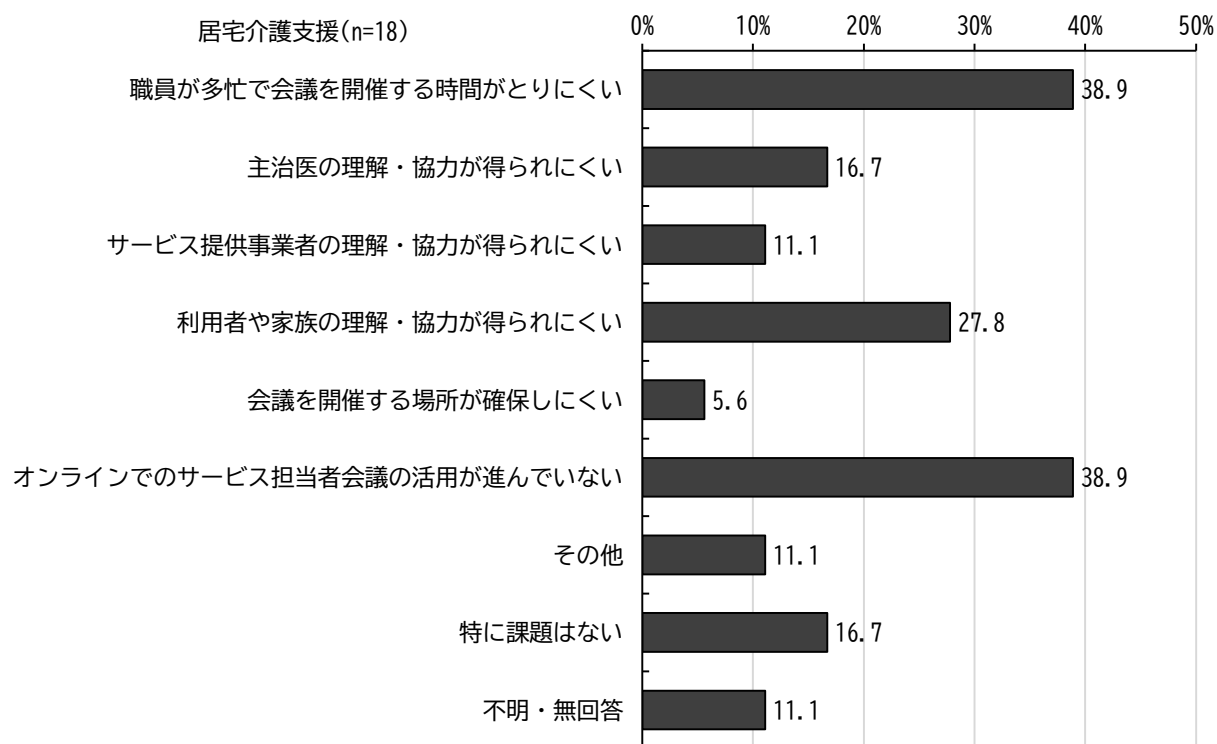
その他の主な内容	件数
・介護タクシー	3件
・住民参加型助け合いサービス	2件
・訪問マッサージ	1件
・送迎サービス	1件
・民間の配食サービス	1件
・地域のサロン	1件
・どなたでも参加できるチケット制の運動教室（ころばん塾plus）	1件

サービス担当者会議開催にあたっての課題（問11）

貴事業所では、サービス担当者会議を開催するにあたってどのような課題がありますか。

（3つまでに○）

サービス担当者会議における課題は、「職員が多忙で会議を開催する時間がとりにくい」「オンラインでのサービス担当者会議の活用が進んでいない」がともに38.9%となっています。

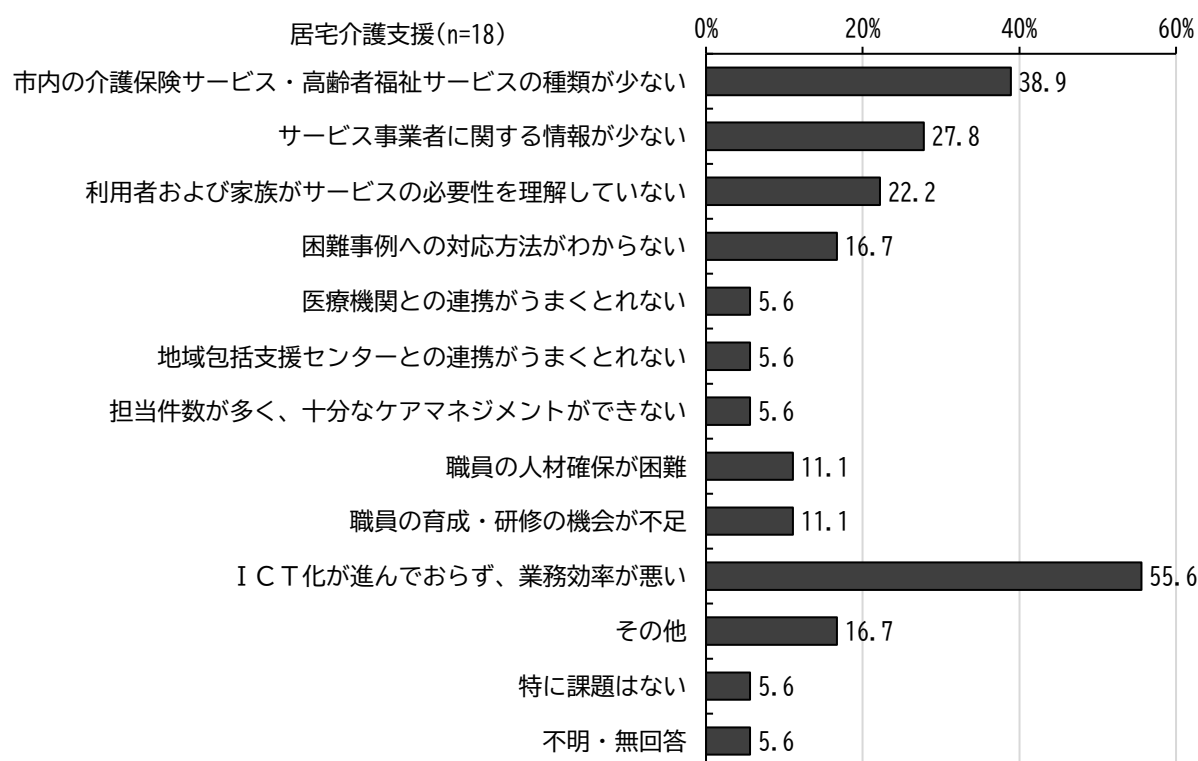


業務を行う上での課題（問 12）

貴事業所が業務を行う上で課題として考えているのはどのようなことですか。

（あてはまるものすべてに○）

業務上の主な課題は、「ＩＣＴ化が進んでおらず、業務効率が悪い」が 55.6%と最も高く、次いで、「市内の介護保険サービス・高齢者福祉サービスの種類が少ない」が 38.9%、「サービス事業者に関する情報が少ない」が 27.8%となっています。

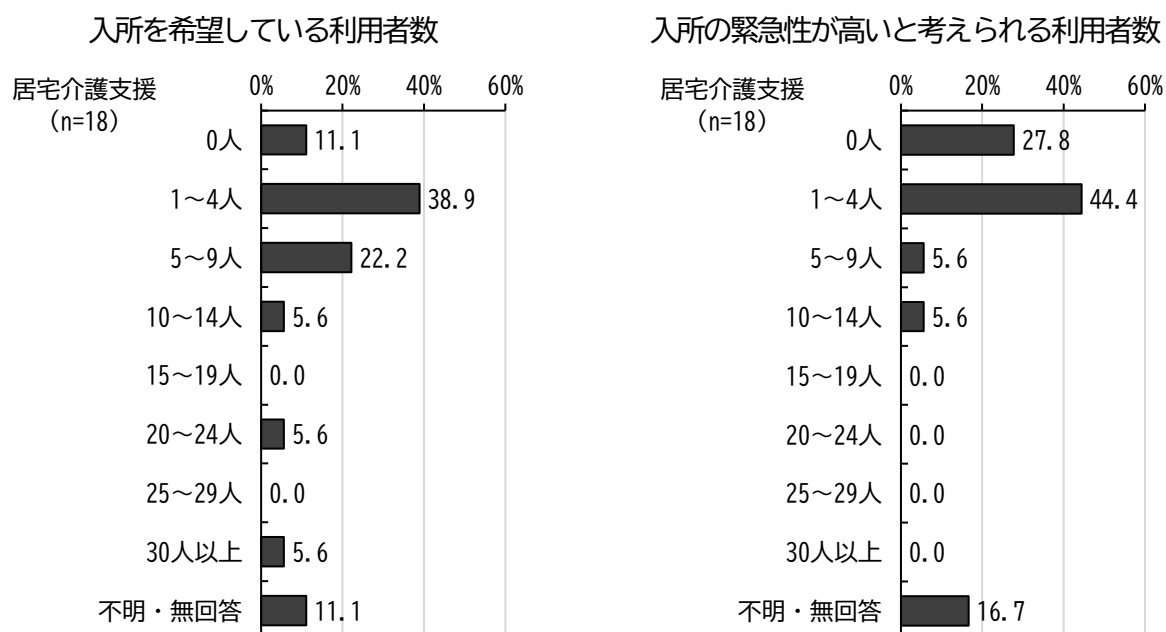


特別養護老人ホームへの入所希望者の状況（問13）

現在担当している市内の利用者のうち、特別養護老人ホームへの入所を希望している方についてお答えください。（数値で記入）

特別養護老人ホームへの入所を希望している利用者数は、「1～4人」が38.9%と最も高く、次いで、「5～9人」が22.2%、「0人」が11.1%となっています。

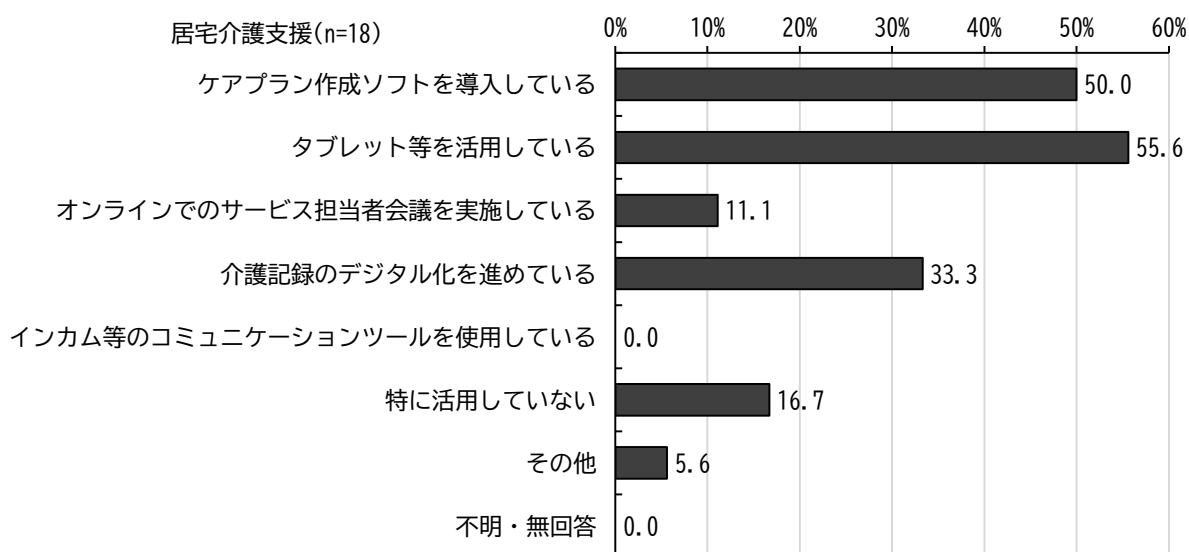
上記のうち、在宅で生活しており入所の緊急性が高いと考えられる利用者数は、「1～4人」が44.4%と最も高く、次いで、「0人」が27.8%、「5～9人」「10～14人」がともに5.6%となっています。



ICTの活用状況（問14）

貴事業所におけるICTの活用状況についてお答えください。（あてはまるものすべてに○）

ICTの活用状況は、「タブレット等を活用している」が55.6%と最も高く、次いで、「ケアプラン作成ソフトを導入している」が50.0%、「介護記録のデジタル化を進めている」が33.3%となっています。

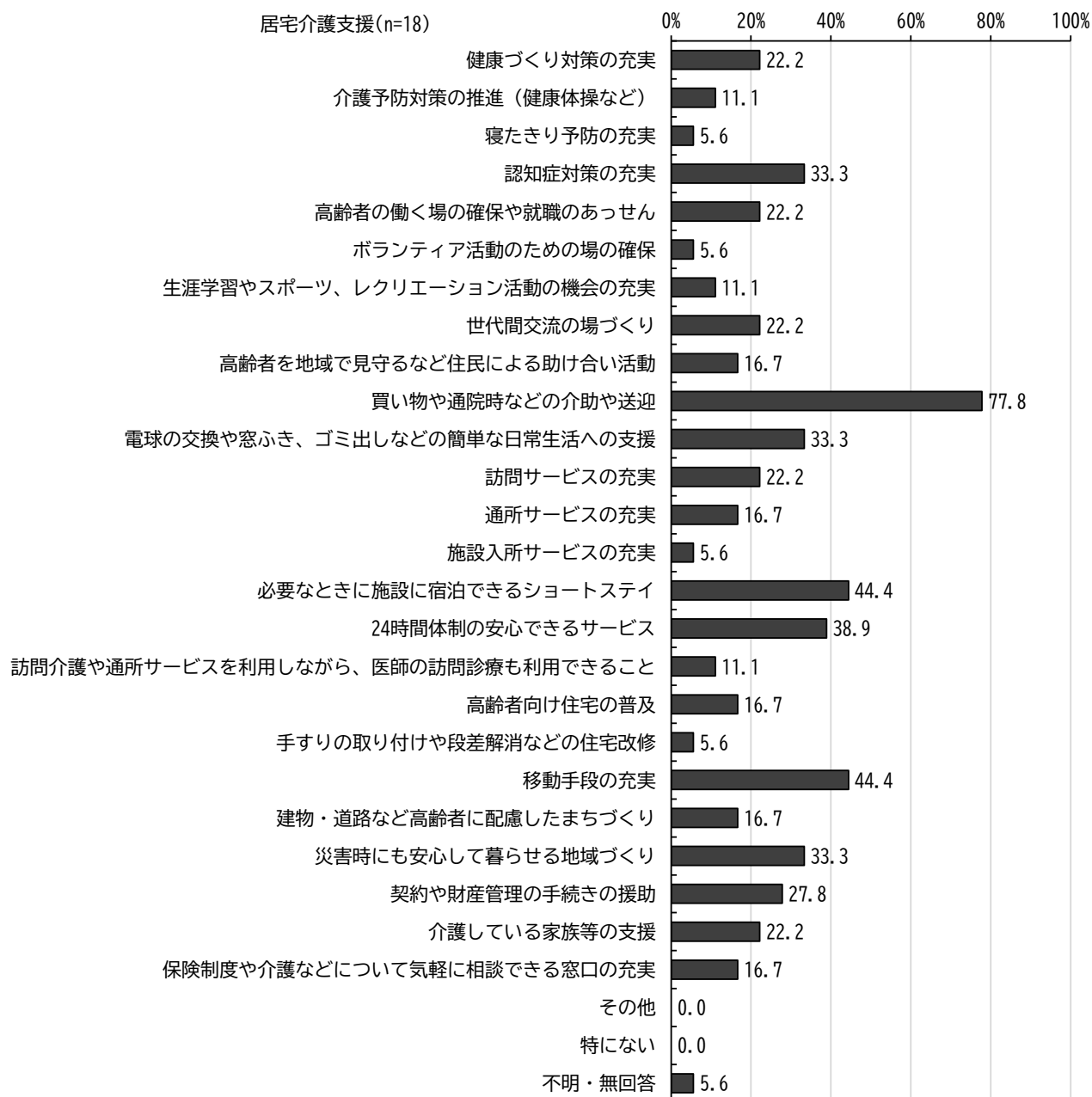


高齢者福祉において重要な支援や施策（問 15）

高齢者福祉について、貴事業所として今後どのような施策の拡充が重要とお考えですか。

（3つまでに○）

今後拡充が重要と考える施策は、「買い物や通院時などの介助や送迎」が 77.8%と最も高く、次いで、「必要なときに施設に宿泊できるショートステイ」「移動手段の充実」がともに 44.4%となっています。



3 意見・要望

市への意見・要望〔自由記述〕（問16）

介護保険制度について、ご意見・ご要望がありましたらご自由にご記入ください。

ご意見内容	件数
■ケアマネジャーの業務負担・制度上の課題	4 件
・業務範囲外の行為を依頼されることがある、家族ありきの制度の限界	(1 件)
・書類作成の負担（暫定プラン、軽度者の意見書等）の簡素化を求める	(1 件)
・ケアマネの高齢化、制度や ICT 化への対応負担	(1 件)
・休日も含めたサービス調整・連絡の負担が大きい	(1 件)
■介護保険料・制度の公平性	1 件
・所得による保険料の負担率格差の是正	(1 件)
■障害福祉サービスとの連携	1 件
・65 歳到達時の障害福祉から介護保険への移行に不安がある、担当者からの引継ぎ体制の整備	(1 件)
■ICT・データ連携の推進	1 件
・データ連携システムの導入促進、研修会の開催、ライセンス料の支援	(1 件)
■市との関係性	1 件
・過度なローカルルールではなく、顔が見えて一緒に考えていける関係づくり	(1 件)
■住宅改修	1 件
・住宅改修の作成料の補助を設けてほしい	(1 件)

資料編

木津川市 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査（令和7年度）

日頃は、本市の高齢者福祉及び介護保険事業にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

本市では、高齢者福祉施策や介護保険事業の推進に取り組んでおり、3年に一度、現在の心身の状況や、介護保険制度・高齢者福祉サービスに対するお考えをお聞かせいただくため、健康や日常生活に関する調査を実施しています。

本調査は、令和8年1月9日時点で、本市にお住まいの65歳以上の方（住民登録されている方）から無作為に選んだ皆様を対象にしています。調査結果は、効果的な介護予防施策や取組の基礎資料として活用させていただきます。

お忙しい折とは存じますが、調査にご協力くださいますようお願い申し上げます。

木津川市 健康福祉部 高齢介護課

お問い合わせ
(平日8:30~17:15)

TEL 0774-75-1213
FAX 0774-72-0553

記入に際してのお願い

- ご回答にあたっては、封筒のあて名ご本人について お答えいただきますが、
ご家族等がご本人の立場にたって回答されてもかまいません。
- この調査は無記名回答方式ですので、名前をご記入いただく必要はありません。また、ご記入いただいた内容は、すべて統計的に処理し、本調査以外の目的に使用いたしません。
- 記入後は調査票を3つ折りにし同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、

2月13日（金）までに投函してください。

■この調査は、スマートフォン等からも回答できます。

右の二次元コードからアクセスしてください。

途中保存はできませんので、お時間の余裕があるときにご回答ください。

<URL <https://questant.jp/q/kizugawa-kaigo>>



○以下、記入をお願いします。

記 入 日	令和 年 月 日
調査票を記入されたのはどなたですか。○をつけてください。	
1. あて名のご本人が記入	
2. ご家族が記入（あて名のご本人からみた続柄_____）	
3. その他の人（_____）	

問 1

あて名のご本人様について

(1) 性別をお教えてください (○は1つ)

1. 男

2. 女

(2) 年齢をお教えてください (○は1つ)

1. 65～69 歳

2. 70～74 歳

3. 75～79 歳

4. 80～84 歳

5. 85～89 歳

6. 90 歳以上

(3) 要介護認定の有無についてお教えてください (○は1つ)

1. 要支援 1

2. 要支援 2

3. 認定を受けていない

(4) お住まいの地域についてお教えてください (○は1つ)

1. 山城地域

2. 加茂地域

3. 木津地域 (木津地域の方は、下記のどちらかに○をつけてください)

鹿川 (中央体育館) より { 1. 東側 (木津東地域)
 2. 西側 (木津西地域)

※地域等がわからない場合は、下記に町名を記入してください。

() 例) 木津南垣外、木津駅前1丁目



問 2

あなたのご家族や生活状況について

(1) 家族構成をお教えてください (○は1つ)

1. 1人暮らし

2. 夫婦2人暮らし (配偶者 65 歳以上)

3. 夫婦2人暮らし (配偶者 64 歳以下)

4. 息子・娘との2世帯

5. その他 (具体的に:)

(2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要です (○は1つ)

1. 介護・介助は必要ない ⇒ (3)へ

2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない

3. 現在、何らかの介護を受けている (介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)

(2) で「2.」「3.」(介護・介助が必要)と回答した方にお伺いします。**(2-1) 介護・介助が必要になった主な原因は何ですか (〇はいくつでも)**

- | | |
|-------------------|-----------------------|
| 1. 脳卒中 (脳出血・脳梗塞等) | 2. 心臓病 |
| 3. がん (悪性新生物) | 4. 呼吸器の病気 (肺気腫・肺炎等) |
| 5. 関節の病気 (リウマチ等) | 6. 認知症 (アルツハイマー病等) |
| 7. パーキンソン病 | 8. 糖尿病 |
| 9. 腎疾患 (透析) | 10. 視覚・聴覚障がい |
| 11. 骨折・転倒 | 12. 脊椎損傷 |
| 13. 高齢による衰弱 | 14. その他 (具体的に: _____) |
| 15. 不明 | |

(2) で「3.」(介護・介助を受けている)と回答した方にお伺いします。**(2-2) 主にどなたの介護・介助を受けていますか (〇はいくつでも)**

- | | |
|----------------|----------------------|
| 1. 配偶者 (夫・妻) | 2. 息子 |
| 3. 娘 | 4. 子の配偶者 |
| 5. 孫 | 6. 兄弟・姉妹 |
| 7. 介護サービスのヘルパー | 8. その他 (具体的に: _____) |

(3) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか (〇は1つ)

- | | | |
|-------------|-------------|--------|
| 1. 大変苦しい | 2. やや苦しい | 3. ふつう |
| 4. ややゆとりがある | 5. 大変ゆとりがある | |

問3**からだを動かすことについて****(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか (〇は1つ)**

- | | | |
|--------------|---------------|---------|
| 1. できるし、している | 2. できるけどしていない | 3. できない |
|--------------|---------------|---------|

(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか (〇は1つ)

- | | | |
|--------------|---------------|---------|
| 1. できるし、している | 2. できるけどしていない | 3. できない |
|--------------|---------------|---------|

(3) 15分位続けて歩いていますか (〇は1つ)

- | | | |
|--------------|---------------|---------|
| 1. できるし、している | 2. できるけどしていない | 3. できない |
|--------------|---------------|---------|

(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか (〇は1つ)

- | | | |
|----------|---------|-------|
| 1. 何度もある | 2. 1度ある | 3. ない |
|----------|---------|-------|

(5) 転倒に対する不安は大きいですか (〇は1つ)

- | | | | |
|-------------|------------|-------------|----------|
| 1. とても不安である | 2. やや不安である | 3. あまり不安でない | 4. 不安でない |
|-------------|------------|-------------|----------|

(6) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか (〇は1つ)

- | | | | |
|-------------|----------|--------------|-----------|
| 1. とても減っている | 2. 減っている | 3. あまり減っていない | 4. 減っていない |
|-------------|----------|--------------|-----------|

(7) 週に1回以上は外出※していますか (○は1つ)

- | | |
|------------------------|------------------|
| 1. ほとんど外出しない ⇒ (7-1) へ | 2. 週1回 ⇒ (8) へ |
| 3. 週2～4回 ⇒ (8) へ | 4. 週5回以上 ⇒ (8) へ |

※買い物、通院、趣味の活動、運動、散歩、農作業などを含みます。

(7) で「1. ほとんど外出しない」と回答した方にお伺いします。

(7-1) 外出していない理由は、次のどれですか (いくつでも)

- | | |
|---------------------|-----------------------|
| 1. 病気 | 2. 障がい (脳卒中の後遺症など) |
| 3. 足腰などの痛み | 4. トイレの心配 (失禁など) |
| 5. 耳の障がい (聞こえの問題など) | 6. 目の障がい |
| 7. 外での楽しみがない | 8. 経済的に出られない |
| 9. 交通手段がない | 10. その他 (具体的に: _____) |

すべての方にお伺いします。

(8) 外出する際の移動手段は何ですか (○はいくつでも)

- | | |
|-----------------------|-----------------|
| 1. 徒歩 | 2. 自転車 |
| 3. バイク | 4. 自動車 (自分で運転) |
| 5. 自動車 (人に乗せてもらう) | 6. 電車 |
| 7. 路線バス | 8. 病院や施設のバス |
| 9. 車いす | 10. 電動車いす (カート) |
| 11. 歩行器・シルバーカー | 12. タクシー |
| 13. その他 (具体的に: _____) | |

問4 食べることについて



(1) 身長・体重 (数値を記入)

身長 cm 体重 kg

(2) 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか (○は1つ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(3) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか (○は1つ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(4) お茶や汁物等でむせることがありますか (○は1つ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(5) 口の渴きが気になりますか (○は1つ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(6) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて 32 本です)
(○は1つ)

- | | |
|--------------------------|--------------------------|
| 1. 自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用 | 2. 自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし |
| 3. 自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用 | 4. 自分の歯は 19 本以下、入れ歯の利用なし |

(7) 歯磨き(人にやってもらう場合も含む)または入れ歯の手入れを毎日していますか(○は1つ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(8) どなたかと食事をとにもする機会がありますか(○は1つ)

- | | | |
|------------|------------|------------|
| 1. 毎日ある | 2. 週に何度かある | 3. 月に何度かある |
| 4. 年に何度かある | 5. ほとんどない | |

問5

毎日の生活について



(1) 物忘れが多いと感じますか(○は1つ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(2) 今日が何月何日かわからない時がありますか(○は1つ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(3) バスや電車を使って1人で外出していますか(自家用車でも可)(○は1つ)

- | | | |
|--------------|---------------|---------|
| 1. できるし、している | 2. できるけどしていない | 3. できない |
|--------------|---------------|---------|

(4) 自分で食品・日用品の買い物をしていますか(○は1つ)

- | | | |
|--------------|---------------|---------|
| 1. できるし、している | 2. できるけどしていない | 3. できない |
|--------------|---------------|---------|

(5) 自分で食事の用意をしていますか(○は1つ)

- | | | |
|--------------|---------------|---------|
| 1. できるし、している | 2. できるけどしていない | 3. できない |
|--------------|---------------|---------|

(6) 自分で請求書の支払いをしていますか(○は1つ)

- | | | |
|--------------|---------------|---------|
| 1. できるし、している | 2. できるけどしていない | 3. できない |
|--------------|---------------|---------|

(7) 自分で預貯金の出し入れをしていますか(○は1つ)

- | | | |
|--------------|---------------|---------|
| 1. できるし、している | 2. できるけどしていない | 3. できない |
|--------------|---------------|---------|

(8) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか(○は1つ)

- | | | |
|------------|------------|------------|
| 1. 毎日ある | 2. 週に何度かある | 3. 月に何度かある |
| 4. 年に何度かある | 5. ほとんどない | |

(9) この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか

(※同じ人には何度会っても1人と数えることとします)(○は1つ)

- | | | |
|------------|----------|---------|
| 1. 0人(いない) | 2. 1～2人 | 3. 3～5人 |
| 4. 6～9人 | 5. 10人以上 | |

(10) よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか(○はいくつでも)

- | | |
|----------------|-------------------|
| 1. 近所・同じ地域の人 | 2. 幼なじみ |
| 3. 学生時代の友人 | 4. 仕事での同僚・元同僚 |
| 5. 趣味や関心が同じ友人 | 6. ボランティア等の活動での友人 |
| 7. その他(具体的に:) | 8. いない |

(11) 趣味はありますか(○は1つ)

- | |
|-----------------|
| 1. 趣味あり(具体的に:) |
| 2. 思いつかない |

(12) 生きがいがありますか(○は1つ)

- | |
|-------------------|
| 1. 生きがいあり(具体的に:) |
| 2. 思いつかない |

(13) どのような情報に関心がありますか(○はいくつでも)

- | | |
|----------------|-------------------|
| 1. 健康づくりや介護予防 | 2. 認知症に関すること |
| 3. 防災／防犯に関すること | 4. 生活に役立つ制度に関すること |
| 5. 地域の活動に関すること | 6. 介護に関すること |
| 7. その他(具体的に:) | 8. 特にない |

(14) 普段、どのような方法で情報を得ていますか(○はいくつでも)

- | | | |
|--------------|-----------------|---------------|
| 1. 市の広報誌や回覧板 | 2. テレビ | 3. ラジオ |
| 4. 新聞 | 5. インターネット | 6. スマートフォン |
| 7. LINE等のSNS | 8. 家族や身近な人 | 9. 地域包括支援センター |
| 10. 民生委員 | 11. その他(具体的に:) | |

問6

地域での活動について



(1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか

※ ①～⑧それぞれに回答してください（それぞれ○は1つ）

	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない
① ボランティアのグループ	1	2	3	4	5	6
② スポーツ関係のグループやクラブ	1	2	3	4	5	6
③ 趣味関係のグループ	1	2	3	4	5	6
④ 学習・教養サークル	1	2	3	4	5	6
⑤ 介護予防のための通いの場	1	2	3	4	5	6
⑥ 老人クラブ	1	2	3	4	5	6
⑦ 町内会・自治会	1	2	3	4	5	6
⑧ 収入のある仕事	1	2	3	4	5	6

(2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか（○は1つ）

1. 是非参加したい
2. 参加してもよい
3. 参加したくない（理由： ）
4. すでに参加している

(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか（○は1つ）

1. 是非参加したい
2. 参加してもよい
3. 参加したくない（理由： ）
4. すでに参加している

問7

就労について



(1) 現在のあなたの就労状態はどれですか（○はいくつでも）

1. 職に就いたことがない 2. 引退した ⇒ (1-1)へ 3. 常勤（フルタイム）
4. 非常勤（パート・アルバイト等） 5. 自営業 6. 求職中
7. その他（具体的に： ）

(1) で「2. 引退した」と回答した方にお伺いします。

(1-1) あなたはいつ引退しましたか（数値を記入）

1. 昭和 年 2. 平成 年 3. 令和 年

問 8

たすけあいについて

あなたとまわりの人の「たすけあい」についてお伺いします

(1) あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人（○はいくつでも）

- | | | |
|----------------|-----------|---------------|
| 1. 配偶者 | 2. 同居の子ども | 3. 別居の子ども |
| 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 5. 近隣 | 6. 友人 |
| 7. その他（ | ） | 8. そのような人はいない |

(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人（○はいくつでも）

- | | | |
|----------------|-----------|---------------|
| 1. 配偶者 | 2. 同居の子ども | 3. 別居の子ども |
| 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 5. 近隣 | 6. 友人 |
| 7. その他（ | ） | 8. そのような人はいない |

(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人（○はいくつでも）

- | | | |
|----------------|-----------|---------------|
| 1. 配偶者 | 2. 同居の子ども | 3. 別居の子ども |
| 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 5. 近隣 | 6. 友人 |
| 7. その他（ | ） | 8. そのような人はいない |

(4) 反対に、看病や世話をしてあげる人（○はいくつでも）

- | | | |
|----------------|-----------|---------------|
| 1. 配偶者 | 2. 同居の子ども | 3. 別居の子ども |
| 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 5. 近隣 | 6. 友人 |
| 7. その他（ | ） | 8. そのような人はいない |

(5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください（○はいくつでも）

- | | |
|------------------|-----------------|
| 1. 自治会・町内会・老人クラブ | 2. 社会福祉協議会・民生委員 |
| 3. ケアマネジャー | 4. 医師・歯科医師・看護師 |
| 5. 地域包括支援センター | 6. 市役所 |
| 7. その他（具体的に： | ） 8. そのような人はいない |

(6) 次の項目で、生活行為ができにくくなっている高齢者に対する手助けとして、あなた自身が支援できる内容はどれですか（○は5つまで）

- | | |
|------------------------|-----------------------|
| 1. 食事の準備・後片付け | 2. 食事の配達 |
| 3. 買い物の代行 | 4. 買い物や病院等への車両による送迎 |
| 5. 病院予約・連絡、薬の受け取り | 6. 掃除 |
| 7. 洗濯 | 8. 布団の洗濯・乾燥 |
| 9. ゴミ出し・分別 | 10. 敷地の手入れ（草刈り、枝の剪定等） |
| 11. 農作業支援 | 12. ストーブへの給油 |
| 13. ペットの世話や預かり | 14. 墓の掃除や管理 |
| 15. 電球交換・住居の軽微な修繕 | 16. 買い物への付き添い |
| 17. 公共機関・通院・金融機関への付き添い | 18. 話し相手、相談相手 |
| 19. 見守りや声掛け | 20. その他（具体的に： |

問9

健康について



(1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか (○は1つ)

1. とてもよい 2. まあよい 3. あまりよくない 4. よくない

(2) あなたは、現在どの程度幸せですか

(※「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、あてはまる点数に○をつけてください)

(とても不幸)					(とても幸せ)					
0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点

(3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか (○は1つ)

1. はい 2. いいえ

(4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか (○は1つ)

1. はい 2. いいえ

(5) お酒は飲みますか (○は1つ)

1. ほぼ毎日飲む 2. 時々飲む
3. ほとんど飲まない 4. もともと飲まない

(6) タバコは吸っていますか (○は1つ)

1. ほぼ毎日吸っている 2. 時々吸っている
3. 吸っていたがやめた 4. もともと吸っていない

(7) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか (○はいくつでも)

- | | |
|----------------------|--------------------------|
| 1. ない | 2. 高血圧 |
| 3. 脳卒中 (脳出血・脳梗塞等) | 4. 心臓病 |
| 5. 糖尿病 | 6. 高脂血症 (脂質異常) |
| 7. 呼吸器の病気 (肺炎や気管支炎等) | 8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気 |
| 9. 腎臓・前立腺の病気 | 10. 筋骨格の病気 (骨粗しょう症、関節症等) |
| 11. 外傷 (転倒・骨折等) | 12. がん (悪性新生物) |
| 13. 血液・免疫の病気 | 14. うつ病 |
| 15. 認知症 (アルツハイマー病等) | 16. パーキンソン病 |
| 17. 目の病気 | 18. 耳の病気 |
| 19. その他 (具体的に： |) |

認知症について

(1) 認知症の症状がある、または家族に認知症の症状がある人がいますか (○は1つ)

1. はい 2. いいえ
-

(2) 認知症に関する相談窓口（地域包括支援センターなど）を知っていますか（○は1つ）

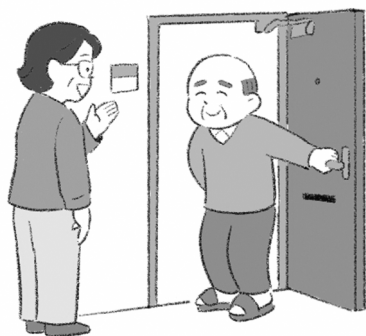
1. はい 2. いいえ

(3) 認知症予防の取組としてどのような活動に参加したいですか（○はいくつでも）

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 生活習慣の改善に関すること | 2. 脳トレ／脳活性化プログラム |
| 3. 散歩等、運動の習慣化 | 4. 趣味活動を通じた仲間づくり |
| 5. ボランティア等の社会貢献 | 6. 健診等でのもの忘れチェック |
| 7. もの忘れ相談会 | 8. その他（具体的に： ） |

(4) あなたが認知症になった時、どのようなことが必要だと思いますか(○はいくつでも)

1. 日常的に気軽に集える認知症カフェ
2. 当事者同士の交流
3. 相談できる窓口・体制の充実
4. 周囲の人が認知症について正しい知識を持っている
5. 認知症であることを周囲に話しておくこと
6. 認知症になっても安心して地域や社会の活動に参加できること
7. 日ごろからの声かけや挨拶、地域での見守りやちょっとした手助け
8. 思いがけない事故などに備える制度
9. その他（具体的に： ）
10. 特にない・わからない



(5) あなたが認知症の家族等を介護する時、どのようなことが必要だと思いますか（〇はいくつでも）

-
1. 家族／介護者向けの介護教室や家族サロン
 2. 日常的に気軽に集える認知症カフェ
 3. 相談できる窓口・体制の充実
 4. 周囲の人が認知症について正しい知識を持っていること
 5. 家族等が認知症であることを周囲に話しておくこと
 6. 日ごろからの声かけや挨拶、地域での見守りやちょっとした手助け
 7. 安心して仕事や社会参加活動等が続けられること
 8. 思いがけない事故などに備える制度
 9. 成年後見制度の利用促進
 10. その他（具体的に： _____）
 11. わからない

(6) 「新しい認知症観※」について知っていますか（〇は1つ）

※「新しい認知症観」とは、令和6年に施行された認知症基本法の基本理念で、認知症になってからも、一人ひとりが個人としてできること・やりたいことがあり、住み慣れた地域で仲間等とつながりながら、希望を持って自分らしく暮らし続けることができるという考え方です。

-
- | | |
|------------|-------------|
| 1. よく知っている | 2. 聞いたことはある |
| 3. 知らない | |

(7) 木津川市の認知症に関する事業を知っていますか（〇はいくつでも）

-
1. 認知症対応型カフェ（認知症の人や認知症について不安のある人及びその家族の交流の場）
 2. 認知症地域支援推進員（認知症に関する支援や地域づくりを担う地域包括支援センターの職員）
 3. 認知症サポーター養成講座（認知症について正しい知識を持ち家族や本人を見守る人を養成）
 4. 認知症高齢者等見守り及び声掛け訓練（認知症への理解を深め、声のかけ方や対応方法を体験的に学ぶ）
 5. 認知症初期集中支援チーム（認知症が疑われる人を医療や支援に繋げる専門職のチーム）
 6. 認知症高齢者等SOSネットワーク事業（行方不明になる恐れのある方が事前に登録し、早期発見につなげる）
 7. 認知症高齢者等見守りステッカー利用補助金制度（みまもりあいステッカー利用初期費用の補助）
 8. 認知症高齢者等位置探索システム利用補助金制度（位置探索サービスのレンタル及び購入費用の補助）
 9. いずれも知らない

問 11

その他

(1) 介護予防についてお伺いします。

(1-1) あなたは、介護予防（介護が必要になることを予防すること）について関心がありますか
（○は1つ）

- | | |
|--------------|---------------|
| 1. 非常に関心がある | } ⇒ (1-1-1) へ |
| 2. やや関心がある | |
| 3. あまり関心がない | } ⇒ (1-2) へ |
| 4. まったく関心がない | |
| 5. わからない | |

(1-1) で「1.」「2.」（関心がある）と回答した方にお伺いします。

(1-1-1) どのような介護予防に関心がありますか（○は3つまで）

- | | | |
|---------------------|--------|---------|
| 1. 運動機能 | 2. 栄養 | 3. 口腔機能 |
| 4. 閉じこもり | 5. 認知症 | 6. うつ |
| 7. その他（具体的に： _____） | | |

すべての方にお伺いします。

(1-2) あなたは次の介護予防事業を利用したことがありますか（それぞれ○は1つ）

	利用している （利用したこ とがある）	知っているが 利用していな い	知らない
① 生きがい対応型デイサービス事業（元気デイ） 閉じこもりの防止や認知症予防、健康維持のための介護予防教室	1	2	3
② 一般高齢者運動器機能向上事業（元気もりもりクラブ） 運動による体力向上や地域交流を目的とし、地域における自発的 な介護予防教室を広げていく	1	2	3
③ 介護予防サポーター養成事業 介護予防体操の指導方法を学び地域で指導ができる人材を養成	1	2	3
④ 地域リハビリテーション活動支援事業 専門職（理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、栄養士、歯科衛 生士）の訪問により、介護予防や重度化防止に向けた助言を行う	1	2	3



(1-3) 介護予防事業を利用するために必要な条件は何だと思いますか (○は3つまで)

- | | |
|---------------------------|--------------------|
| 1. 自宅に近い場所で行われること | 2. 料金が無料または安いこと |
| 3. 一緒に参加する仲間や友人がいること | 4. 参加した効果が実感できること |
| 5. 内容について事前にわかりやすい説明があること | 6. 利用日や時間帯を選択できること |
| 7. 楽しくできる雰囲気があること | 8. 送迎があること |
| 9. その他 (具体的に: _____) | |
| 10. 条件にかかわらず利用したくない | |

(2) 在宅生活を続ける上で、利用したいと考えるサービスはどれですか (○は5つまで)

- | | |
|------------------------|---------------------------------|
| 1. 食事の準備・後片付け | 2. 食事の配達 |
| 3. 買い物の代行 | 4. 買い物や病院等への車両による送迎 |
| 5. 病院予約・連絡、薬の受け取り | 6. 掃除 |
| 7. 洗濯 | 8. 布団の洗濯・乾燥 |
| 9. 紙おむつ券の給付 | 10. ゴミ出し・分別 |
| 11. 敷地の手入れ (草刈り、枝の剪定等) | 12. 農作業支援 |
| 13. ストーブへの給油 | 14. ペットの世話や預かり |
| 15. 墓の掃除や管理 | 16. 電球交換・住居の軽微な修繕 |
| 17. 買い物への付き添い | 18. 公共機関・通院・金融機関への付き添い |
| 19. 話し相手、相談相手 | 20. 見守りや声かけ |
| 21. 体操・運動などの教室 | 22. みんなが交流できる場 |
| 23. 余暇支援やレクリエーションの提供 | 24. 預金の預け払いや振替、公共料金の支払いなど手続きの代行 |
| 25. 公共機関での手続きの代行 | 26. 郵便物の確認、広報誌等の代読、書類の代筆 |
| 27. その他 (具体的に: _____) | |

(3) 今後、日常生活に不安を感じたり、介護が必要になった場合に、どこで介護を受けたいと思いますか。あなたの考えにもっとも近いものを選んでください (○は1つ)

- | |
|---------------------------------------|
| 1. 主に家族の介護を受けながら、自宅で暮らしたい |
| 2. 主に介護サービスを利用して、自宅で暮らしたい |
| 3. 特別養護老人ホーム (介護老人福祉施設) などの介護施設で暮らしたい |
| 4. 介護付き有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅で暮らしたい |
| 5. 医療機関に入院、または医療系の施設に入所したい |
| 6. 家族・親族の判断に任せる |
| 7. その他 (具体的に: _____) |
| 8. わからない |

	名前・制度の内容を知っている	名前を知っている程度	全く知らない
①日常生活自立支援事業	1	2	3
②成年後見制度	1	2	3

	すでに 利用している	今後必要になっ たら利用したい	利用したいと 思わない	わからない
①日常生活自立支援事業	1	2	3	4
②成年後見制度	1	2	3	4

1. つねる、たたく、ける、なぐるなど身体に暴力を加える
2. 閉じ込めたり、戸外に締め出す
3. どなる、悪口を言う、話しかけられても無視をする
4. 食事や入浴、排せつの世話などを十分にしない
5. 治療が必要な場合でも治療を受けさせない
6. 本人に無断で本人の年金を使ってしまう、自由になるお金を持たせない
7. 性的な行為を強要する

1. 地域包括支援センター 3. ケアマネジャー 5. 医療関係者（医師、看護師など） 7. 警察 9. その他（具体的に： ）	2. 市役所 4. 民生委員 6. 木津川市社会福祉協議会 8. 京都府高齢者情報相談センター 10. どこに相談したらよいのか知らない
---	--

1. 被害を受けたことがある、被害にあいそうになったことがある
2. 身近に被害を受けた当事者がいる
3. 身近に当事者はいないが、うわさを耳にしたことがある
4. 受けたことも見聞きしたこともない
5. その他（具体的に： ）

(10) 高齢者が身近な地域や自宅での生活を続けていくために、どのような支援や施策の拡充が重要とお考えですか（〇はいいくつでも）

【健康維持に関すること】

- | | |
|---------------|----------------------|
| 1. 健康づくり対策の充実 | 2. 介護予防対策の推進（健康体操など） |
| 3. 寝たきり予防の充実 | 4. 認知症対策の充実 |

【余暇活動、地域活動に関すること】

- | | |
|----------------------------------|---------------------|
| 5. 高齢者の働く場の確保や就職のあっせん | 6. ボランティア活動のための場の確保 |
| 7. 生涯学習やスポーツ、レクリエーション活動の機会の充実 | 8. 世代間交流の場づくり |
| 9. 高齢者を地域で見守るなど住民による助け合い活動 | 10. 買い物や通院時などの介助や送迎 |
| 11. 電球の交換や窓ふき、ゴミ出しなどの簡単な日常生活への支援 | |

【介護サービスに関すること】

- | | |
|--|---------------------------|
| 12. 訪問サービスの充実 | 13. 通所サービスの充実 |
| 14. 施設入所サービスの充実 | 15. 必要などきに施設に宿泊できるショートステイ |
| 16. 24 時間体制の安心できるサービス | |
| 17. 訪問介護や通所サービスを利用しながら、医師の訪問診療も利用できること | |

【住まいやまちづくりに関すること】

- | | |
|------------------------|--------------------------|
| 18. 高齢者向け住宅の普及 | 19. 手すりの取り付けや段差解消などの住宅改修 |
| 20. 移動手段の充実 | 21. 建物・道路など高齢者に配慮したまちづくり |
| 22. 災害時にも安心して暮らせる地域づくり | |

【その他】

- | | |
|--------------------------------|------------------|
| 23. 契約や財産管理の手続きの援助 | 24. 介護している家族等の支援 |
| 25. 保険制度や介護などについて気軽に相談できる窓口の充実 | |
| 26. その他（具体的に： _____） | |
| 27. 特にない | |

最後に、介護保険や高齢者施策の推進、暮らしやすい地域づくりなどについて、ご意見やご要望などがございましたら、ご記入ください

■■■■以上で調査は終了です。ご協力ありがとうございました。■■■■

- ・長時間のご協力ありがとうございました。記入もれがないか、再度お確かめください
- ・記入した調査票は切り離すことなく、同封した返信用封筒に入れて、
2月13日（金）まで に投函してください
- ・返信用封筒に、この調査票のみを入れてご投函ください

木津川市 在宅介護実態調査（令和7年度）

日頃より、本市の高齢者福祉及び介護保険事業にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

本市では、高齢者福祉施策や介護保険事業の推進に取り組んでおり、3年に一度、現在の心身の状況や、介護保険制度・高齢者福祉サービスに対するお考えや、介護者の方に関する日常生活についてお聞かせいただくため、調査を実施しています。

この調査は、令和8年1月9日時点で、本市にお住まいの方（住民登録されている方）で、在宅で介護保険の更新申請または変更申請等を行い、認定調査を受けた方から無作為に選んだ皆様を対象にしています。調査結果は、高齢者等の適切な在宅生活の継続と家族等介護者の就労継続に向けて、介護サービスのあり方を検討する基礎資料として活用させていただきます。

お忙しい折とは存じますが、調査にご協力をお願いいたします。

木津川市 健康福祉部 高齢介護課

お問い合わせ
(平日8:30~17:15)

TEL 0774-75-1213
FAX 0774-72-0553

記入に際してのお願い

- ご回答にあたってA票は、封筒のあて名ご本人についてお答えいただきますが、ご家族等がご本人の立場にたって回答されてもかまいません。
B票は、主たる介護者の方がお答えください。
- 特に断りのない場合は選択肢の1つに○をつけてください。「いくつでも」等の表記があれば、その内容にしたがって○をつけてください。
- 記入後は調査票を3つ折りにし同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、2月13日(金)までに投函してください。

個人情報の取り扱いについて

個人情報の保護及び活用目的は以下のとおりですので、ご確認ください。

なお、本調査票のご返送をもちまして、下記にご同意いただいたものと見なさせていただきます。

【個人情報の保護及び活用目的について】

- 本調査で得られた情報については、すべて統計的に処理し、本調査の目的以外には利用いたしません。また、当該情報については、木津川市で適切に管理いたします。
- ただし、介護保険事業計画策定時に本調査で得られたデータを活用するにあたり、厚生労働省の管理するデータベース内に情報を登録し、必要に応じて集計・分析することがあります。

○以下、記入をお願いします。

記 入 日	令和 年 月 日
現在、この調査票にご回答を頂いているのは、どなたですか（○はいくつでも）	
1. 調査対象者本人	2. 主な介護者となっている家族・親族
3. 主な介護者以外の家族・親族	4. その他

A票

調査対象者様ご本人について、お伺いします

Q1. 世帯類型について、ご回答ください（○は1つ）

1. 単身世帯 2. 夫婦のみ世帯 3. その他

Q2. ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）（○は1つ）

1. ない 2. 家族・親族の介護はあるが、週に1日より少ない
3. 週に1～2日ある 4. 週に3～4日ある 5. ほぼ毎日ある

Q3. 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください（○は1つ）

1. 入所・入居は検討していない 2. 入所・入居を検討している 3. すでに入所・入居申し込みをしている

※「施設等」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設、介護医療院、特定施設（有料老人ホーム等）、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指します。

Q3-1. Q3で「2.」「3.」（施設入所を希望している）と回答した方にお伺いします。 どのような施設を希望しますか（○はいくつでも）

1. 特別養護老人ホーム（特養）※¹ 2. 老人保健施設（老健）※²
3. 介護医療院※³ 4. 認知症対応型共同生活介護（グループホーム）※⁴
5. 軽費老人ホーム（ケアハウス）※⁵ 6. 有料老人ホーム※⁶
7. サービス付き高齢者向け住宅※⁷ 8. その他（具体的に： ）

施設種類	概 要
※ ¹ 特別養護老人ホーム（特養）	常時の介護が必要な要介護者が入所し、食事、入浴、排せつなどの日常生活上の介護や機能訓練などのサービスを受けられる施設
※ ² 老人保健施設（老健）	症状が安定期にある要介護者が入所し、在宅復帰に向けて医療、看護、医学的な管理のもとで介護や機能訓練などのサービスを受けられる施設
※ ³ 介護医療院	長期療養のための医療と日常生活上の介護を一体的に提供する施設
※ ⁴ 認知症対応型共同生活介護（グループホーム）	地域の中で、認知症を抱えた高齢者が少人数の家庭的な環境の中で暮らし、食事などの介護が受けられる施設
※ ⁵ 軽費老人ホーム（ケアハウス）	低額な料金で施設に入居し、生活支援や介護など日常生活上必要な便宜が受けられる施設
※ ⁶ 有料老人ホーム	特養や軽費老人ホーム以外で、高齢者が入居し、食事などの介護や日常生活上必要なサービスを受けられる施設
※ ⁷ サービス付き高齢者向け住宅	バリアフリー構造等を有し、介護・医療と連携して、食事の提供や生活相談など、高齢者を支援するサービスを提供する住宅



Q 3 - 2. Q3で「2.」「3.」（施設入所を希望している）と回答した方にお伺いします。

あなたが施設での介護を希望される主な理由は、次のうちどれですか

(○は3つまで)

-
1. 専門的な介護が受けられて、安心して生活できるから
 2. 緊急時の対応の面で安心だから
 3. 家族等に介護による負担や迷惑をかけたくないから
 4. 家族が仕事や高齢等の理由で、十分な介護ができないから
 5. 介護のための部屋がない、入浴しにくいなど、住宅の構造に問題があるから
 6. 介護をしてくれる家族等がない、または家族の介護が期待できないから
 7. その他（具体的に： _____）

Q 4. ご本人（調査対象者）が現在抱えている傷病について、ご回答ください

(○はいくつでも)

-
- | | |
|-----------------------------|---------------------------|
| 1. 脳血管疾患（脳卒中） | 2. 心疾患（心臓病） |
| 3. 悪性新生物（がん） | 4. 呼吸器疾患 |
| 5. 腎疾患（透析） | 6. 筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等） |
| 7. 膠原病（関節リウマチ含む） | 8. 変形性関節疾患 |
| 9. 認知症 | 10. パーキンソン病 |
| 11. 難病（パーキンソン病を除く） | 12. 糖尿病 |
| 13. 眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障がいを伴うもの） | |
| 14. その他（具体的に： _____） | |
| 15. ない | 16. わからない |

Q 5. 今後、日常生活に不安を感じたり、要介護状態が進んだ場合に、どこで介護を受けたいと思いますか。あなたの考えにもっとも近いものを選んでください（○は1つ）

-
1. 主に家族の介護を受けながら、自宅で暮らしたい
 2. 主に介護サービスを利用して、自宅で暮らしたい
 3. 特別養護老人ホーム（介護老人福祉施設）などの介護施設で暮らしたい
 4. 介護付き有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅で暮らしたい
 5. 医療機関に入院、または医療系の施設に入所したい
 6. 家族・親族の判断に任せる
 7. その他（具体的に： _____）
 8. わからない



Q 6. 令和8年1月の1か月の間に、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の)介護保険サービスを利用しましたか(○は1つ)

1. 利用した →

Q6-1へ

2. 利用していない →

Q6-2へ

Q 6-1. Q6で「1. 利用している」と回答した方にお伺いします。

以下の介護保険サービスについて、令和8年1月の1か月間の利用状況をご回答ください。対象の介護保険サービスをご利用になっていない場合は、「1. 利用していない」を選択してください(それぞれ○は1つ)

	1週間あたりの利用回数(それぞれ1つに○)					
	利用していない	週1回程度	週2回程度	週3回程度	週4回程度	週5回以上
(※回答例)●●●サービス	1	2	③	4	5	6
A. 訪問介護 (ホームヘルプサービス)	1	2	3	4	5	6
B. 訪問入浴介護	1	2	3	4	5	6
C. 訪問看護	1	2	3	4	5	6
D. 訪問リハビリテーション	1	2	3	4	5	6
E. 通所介護 (デイサービス)	1	2	3	4	5	6
F. 通所リハビリテーション (デイケア)	1	2	3	4	5	6
G. 夜間対応型訪問介護 (訪問のあった回数を回答)	1	2	3	4	5	6

	利用の有無(1つに○)	
H. 定期巡回・随時対応型 訪問介護看護	1. 利用していない	2. 利用した
I. 小規模多機能型 居宅介護	1. 利用していない	2. 利用した
J. 看護小規模多機能型 居宅介護	1. 利用していない	2. 利用した

	1か月あたりの利用日数(1つに○)				
	利用していない	月1～7日程度	月8～14日程度	月15～21日程度	月22日以上
K. ショートステイ	1	2	3	4	5

	1か月あたりの利用回数(1つに○)				
	利用していない	月1回程度	月2回程度	月3回程度	月4回程度
L. 居宅療養管理指導	1	2	3	4	5



Q 6 - 2. Q6で「2. 利用していない」と回答した方にお伺いします。

介護保険サービスを利用していない理由は何ですか（〇はいくつでも）

1. 現状では、サービスを利用するほどの状態ではない
2. 本人にサービス利用の希望がない
3. 家族が介護をするため必要ない
4. 以前、利用していたサービスに不満があった
5. 利用料を支払うのが難しい
6. 利用したいサービスが利用できない、身近にない
7. 住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため
8. サービスを受けたいが手続きや利用方法がわからない
9. その他（具体的に： _____ ）

Q 7. 「介護保険サービス以外」で、現在利用している支援・サービスについて、ご回答ください（〇はいくつでも）

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| 1. 配食 | 2. 調理 |
| 3. 掃除・洗濯 | 4. 買い物（宅配は含まない） |
| 5. ゴミ出し | 6. 紙おむつ券の給付 |
| 7. 外出同行（通院、買い物など） | 8. 移送サービス（介護・福祉タクシー等） |
| 9. 見守り、声かけ | 10. サロンなどの定期的な通いの場 |
| 11. その他（具体的に： _____ ） | 12. 利用していない |

※総合事業に基づく支援・サービスは、「介護保険サービス」に含めます。

Q 8. 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください（〇はいくつでも）

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| 1. 配食 | 2. 調理 |
| 3. 掃除・洗濯 | 4. 買い物（宅配は含まない） |
| 5. ゴミ出し | 6. 紙おむつ券の給付 |
| 7. 外出同行（通院、買い物など） | 8. 移送サービス（介護・福祉タクシー等） |
| 9. 見守り、声かけ | 10. サロンなどの定期的な通いの場 |
| 11. その他（具体的に： _____ ） | 12. 特になし |

※介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスともに含みます。

Q 9. ご本人（調査対象者）は、現在、訪問診療を利用していますか（〇は1つ）

1. 利用している
2. 利用していない

※訪問歯科診療や、医師・歯科医師・管理栄養士等による訪問指導などは含みません。



Q10. 高齢者が身近な地域や自宅での生活を続けていくために、どのような支援や施策の拡充が重要とお考えですか（〇はいくつでも）

【健康維持に関すること】

- | | |
|---------------|----------------------|
| 1. 健康づくり対策の充実 | 2. 介護予防対策の推進（健康体操など） |
| 3. 寝たきり予防の充実 | 4. 認知症対策の充実 |

【余暇活動、地域活動に関すること】

- | | |
|----------------------------------|---------------------|
| 5. 高齢者の働く場の確保や就職のあっせん | 6. ボランティア活動のための場の確保 |
| 7. 生涯学習やスポーツ、レクリエーション活動の機会の充実 | |
| 8. 世代間交流の場づくり | |
| 9. 高齢者を地域で見守るなど住民による助け合い活動 | |
| 10. 買い物や通院時などの介助や送迎 | |
| 11. 電球の交換や窓ふき、ゴミ出しなどの簡単な日常生活への支援 | |

【介護サービスに関すること】

- | | |
|--|---------------------------|
| 12. 訪問サービスの充実 | 13. 通所サービスの充実 |
| 14. 施設入所サービスの充実 | 15. 必要なときに施設に宿泊できるショートステイ |
| 16. 24 時間体制の安心できるサービス | |
| 17. 訪問介護や通所サービスを利用しながら、医師の訪問診療も利用できること | |

【住まいやまちづくりに関すること】

- | | |
|------------------------|--------------------------|
| 18. 高齢者向け住宅の普及 | 19. 手すりの取り付けや段差解消などの住宅改修 |
| 20. 移動手段の充実 | 21. 建物・道路など高齢者に配慮したまちづくり |
| 22. 災害時にも安心して暮らせる地域づくり | |

【その他】

- | | |
|--------------------------------|------------------|
| 23. 契約や財産管理の手続きの援助 | 24. 介護している家族等の支援 |
| 25. 保険制度や介護などについて気軽に相談できる窓口の充実 | |
| 26. その他（具体的に： | ） |
| 27. 特にない | |

Q11. 認知症があっても住み慣れた地域で安心して生活を続けるために、どのようなことが大切だと思いますか（〇はいくつでも）

- | | |
|------------------------------------|---|
| 1. 周囲の人が認知症について正しい知識を持っていること | |
| 2. 認知症であることを周囲に話しておくこと | |
| 3. 家族／介護者向けの介護教室や家族サロン | |
| 4. 当事者同士の交流 | |
| 5. 相談できる窓口・体制の充実 | |
| 6. 日常的に気軽に集える認知症カフェ | |
| 7. 認知症になっても安心して地域や社会の活動に参加することができる | |
| 8. 日頃からの声かけや挨拶、地域での見守りやちょっとした手助け | |
| 9. 思いがけない事故などに備える制度 | |
| 10. その他（具体的に： | ） |



Q12. 「新しい認知症観※」について知っていますか（○は1つ）

※「新しい認知症観」とは、令和6年に施行された認知症基本法の基本理念で、認知症になってからも、一人ひとりが個人としてできること・やりたいことがあり、住み慣れた地域で仲間等とつながりながら、希望を持って自分らしく暮らし続けることができるという考え方です。

1. よく知っている 2. 聞いたことはある 3. 知らない

Q13 災害時の対応について伺います。地震や風水害などの災害時に対し、不安に思うことはありますか（〇はいくつでも）

1. 災害情報・避難情報を入手できるかわからない
2. 安全な場所まで自力で避難できるかわからない
3. 地域の避難場所がどこなのか知らない
4. 地域の危険な箇所がわからない
5. 非常用持ち出し品の準備、非常食などの備蓄をしていない
6. 避難所での生活を送る上で、健康面に不安がある（治療の必要な持病がある、服薬など）
7. その他（具体的に： _____）
8. 不安は特にない

Q14. 災害等で避難が必要な際、頼れる人はいますか（○はいいくつでも）

1. 家族・親族 2. 近所の人 3. 友人・知人
4. 自治会の人 5. 自主防災組織の人 6. 民生委員
7. 社会福祉協議会の人 8. その他（具体的に： ） 9. 頼れる人はいない

Q15. 市では、災害時の避難に支援が必要な方を対象とした名簿（避難行動要支援者名簿）を作成し、災害時の避難の支援や平時からの避難訓練への参加の呼びかけ等に活用しています（木津川市避難行動要支援者名簿登録制度[※]）。

ご自身が避難時に支援を必要とする状態になったとき、名簿に登録したいですか（○は1つ）

1. 登録したい（検討したい） 2. すでに登録している
3. 登録したいとは思わない

※「木津川市避難行動要支援者名簿登録制度」とは、避難行動要支援者名簿に登録され、名簿情報提供の同意が得られた場合、市から避難支援等関係者（民生委員、行政地域、自主防災組織、社会福祉協議会など）へ名簿情報を提供し、平時からの声かけや避難訓練への参加の呼びかけに活用されます。災害時は、名簿情報提供の同意にかかわらず名簿情報を避難支援等関係者に提供します。

■ 最後に、介護保険や高齢者施策の推進、暮らしやすい地域づくりなどについて、ご意見やご要望などがございましたら、ご記入ください

- A票のQ2で「2.」～「5.」（家族や親族の介護を受けている）を選択された場合は、「主な介護者」の方にB票へのご回答・ご記入をお願いします。
- 「主な介護者」の方のご回答・ご記入が難しい場合は、ご本人様（調査対象者様）にご回答・ご記入をお願いします（ご本人様のご回答・ご記入が難しい場合は、無回答で結構です）。

B票

主な介護者の方について、お伺いします

Q 1. ご家族やご親族の中で、ご本人（調査対象者）の介護を主な理由として、過去 1 年の間に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）（〇はいくつでも）

1. 主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）
2. 主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた（転職除く）
3. 主な介護者が転職した
4. 主な介護者以外の家族・親族が転職した
5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない
6. わからない

※自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます。

Q 2. 主な介護者の方は、どなたですか（〇は1つ）

- | | |
|----------|--------|
| 1. 配偶者 | 2. 子 |
| 3. 子の配偶者 | 4. 孫 |
| 5. 兄弟・姉妹 | 6. その他 |

Q 3. 主な介護者の方の性別について、ご回答ください（〇は1つ）

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

Q 4. 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください（〇は1つ）

- | | |
|-----------|-----------|
| 1. 20 歳未満 | 2. 20 代 |
| 3. 30 代 | 4. 40 代 |
| 5. 50 代 | 6. 60 代 |
| 7. 70 代 | 8. 80 歳以上 |
| 9. わからない | |



Q 8. Q7で「1.」「2.」（働いている）と回答した方にお伺いします。

主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか（○はいいくつでも）

-
1. 特に行っていない
 2. 介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている
 3. 介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている
 4. 介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている
 5. 介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている
 6. 主な介護者に確認しないと、わからない

Q 9. Q7で「1.」「2.」（働いている）と回答した方にお伺いします。

主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか（○は3つまで）

-
1. 自営業等のため、勤め先はない
 2. 介護休業・介護休暇等の制度の充実
 3. 制度を利用しやすい職場づくり
 4. 労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）
 5. 働く場所の多様化（在宅勤務・テレワークなど）
 6. 仕事と介護の両立に関する情報の提供
 7. 介護に関する相談窓口・相談担当者の設置
 8. 介護をしている従業員への経済的な支援
 9. その他（具体的に： _____）
 10. 特にない
 11. 主な介護者に確認しないと、わからない

Q10. Q7で「1.」「2.」（働いている）と回答した方にお伺いします。

主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか（○は1つ）

-
1. 問題なく、続けていける
 2. 問題はあるが、何とか続けていける
 3. 続けていくのは、やや難しい
 4. 続けていくのは、かなり難しい
 5. 主な介護者に確認しないと、わからない



■主な介護者以外で介護している方についてお伺いします。

Q11. ご家族やご親族の方（同居していない場合を含む）で、「主な介護者」以外で、あて名の方の介護をされている方に「18 歳未満」の方がいらっしゃいますか。 いらっしゃる場合は、あて名の方との続柄にあてはまる令和 8 年 1 月 1 日現在の年齢をご回答ください（〇はいくつでも）

あて名の方との続柄	12 歳未満	12～15 歳	16～18 歳未満
（※回答例）③ 孫	1	②	3
① 子	1	2	3
② 子の配偶者	1	2	3
③ 孫	1	2	3
④ 孫の配偶者	1	2	3
⑤ その他（ ）	1	2	3

Q11-1. Q11 で「18 歳未満」の方がいると回答された方にお伺いします。
介護のために以下のような経験をしたことはありますか（〇はいくつでも）

- | | |
|------------------|----------------|
| 1. 学校や職場を休んでしまう | 2. 遅刻や早退をしてしまう |
| 3. 宿題など勉強する時間がない | 4. 眠る時間が足りない |
| 5. 友達と遊ぶことができない | 6. 習い事ができない |
| 7. 自分の時間がとれない | 8. その他（ ） |
| 9. 特にない | |

Q11-2. Q11 で「18 歳未満」の方がいると回答された方にお伺いします。
介護をされている 18 歳未満の方は介護の悩みについて相談できる人はいますか（〇はいくつでも）

- | | |
|---------------------|-----------------------|
| 1. 家族（父母、祖父母、兄弟・姉妹） | 2. 親戚 |
| 3. 友人 | 4. 学校の先生、職場の上司 |
| 5. 医師や看護師、その他病院の人 | 6. ヘルパーやケアマネ等福祉サービスの人 |
| 7. 役所の人 | 8. 近所の人 |
| 9. SNSでの知り合い | 10. その他（ ） |
| 11. 特にない | |

■■■以上で調査は終了です。ご協力ありがとうございました。■■■

- ・長時間のご協力ありがとうございました。記入もれがないか、再度お確かめください
- ・記入した調査票は切り離すことなく、同封した返信用封筒に入れて、

2月13日（金）までに投函してください

- ・返信用封筒に、この調査票のみを入れてご投函ください



木津川市 介護人材実態調査 事業所票 【訪問系】

※ 令和8年1月1日現在の状況について、ご回答ください。

問1 該当するサービス種別（介護予防を含む）を、ご回答ください。

あてはまるもの1つに○をつけてください。

※ 本調査票の送付先（宛名となっている事業所）で行うサービスについて、ご回答ください。

- | |
|-----------------------------|
| 1 訪問介護、訪問入浴介護、訪問型サービス（総合事業） |
| 2 訪問看護、訪問リハビリテーション |
| 3 小規模多機能型居宅介護 |

問2 貴事業所（問1で○をつけたサービス種別の事業所）に所属する介護職員について、お伺いします。

※ ここでの「介護職員」は、賃金の支払いを受けている方に限ります。（ボランティアの方は含みません）

問2-1 介護職員の総数を、ご記入ください。（数値を記入）

※前月に出勤のない、長期休暇（育児休業等）中の職員は人数に含めないでください。

※「外国人」には、EPA・技能実習・在留資格「介護」、特定技能により勤務している人数をご記入ください。

介護職員の総数	〔 〕 人	左記のうち常勤職員	〔 〕 人
		左記のうち非常勤職員	〔 〕 人

外国人職員数	〔 〕 人	派遣職員数	〔 〕 人
--------	-------	-------	-------

問2-2 貴事業所は開設から1年以上経過していますか。

あてはまるもの1つに○をつけてください。

1 はい ⇒問2-3へ

2 いいえ ⇒問3へ

問2-3 令和8年1月1日時点で、開設から1年以上を経過している事業所にお伺いします。
過去1年間（令和7年1月1日～令和7年12月31日）の介護職員の採用者数と離職者数常勤・非常勤別にご記入ください。

外国人人材も含めてご回答ください。（数値を記入）

	採用者数	離職者数
常勤職員	〔 〕 人	〔 〕 人
非常勤職員	〔 〕 人	〔 〕 人
合計	〔 〕 人	〔 〕 人

問2-4 問2-3でお答えいただいた離職者数についてご記入ください。（数値を記入）

1 定年による離職 → () 人

2 定年以外の理由による離職 → () 人

問2-5 問2-4で選択肢「2 定年以外の理由による離職」とお答えの事業所にお聞きします。定年以外で離職された方の主な理由について、主なもの3つまでに○をつけてください。

- 1 職場の人間関係
- 2 賃金・待遇
- 3 労働時間・働き方（仕事量が多い、体力がついていかない等を含む）
- 4 ライフイベント（結婚、出産、育児、家族介護等）
- 5 健康上の理由（病気、けが等）
- 6 キャリアアップ・転職（他業種、他事業所への転職）
- 7 その他（ ）
- 8 不明

問2-6 問2-4で選択肢「2 定年以外の理由による離職」とお答えの事業所にお聞きします。定年以外で離職された方の貴事業所での入職後の平均経験年数をご記入ください。（人事異動等で職場を異動した場合、前の職場の年数は含めないでください）

離職者の入職後の平均経験年数

年

問3 採用や人材定着に関する課題をご回答ください。（自由記述）

問4 人材確保に関して木津川市に期待するサポートがあれば、ご回答ください。（自由記述）

■ 貴事業所について

問5 貴事業所の所在地はどこですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|--|--------|
| 1 山城地域 | 2 加茂地域 |
| 3 木津地域（木津地域の場合は、下記のどちらかに○をつけてください） | |
| <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 10px;"> <div style="border-left: 1px dashed black; height: 20px; margin-bottom: 5px;"></div> <div style="border-left: 1px dashed black; height: 20px; margin-bottom: 5px;"></div> <div style="border-left: 1px dashed black; height: 20px; margin-bottom: 5px;"></div> <div style="border-left: 1px dashed black; height: 20px; margin-bottom: 5px;"></div> </div> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 5px;">→</div> <div> 鹿川（中央体育館）より <div style="margin-left: 10px;"> <div style="font-size: 3em; line-height: 1;">{</div> <div style="display: flex; flex-direction: column; gap: 5px;"> <div>1 東側（木津東地域）</div> <div>2 西側（木津西地域）</div> </div> </div> </div> </div> </div> | |

※地域等が分からない場合は、下記に町名を記入してください。

（ ） 例）木津南垣外、木津駅前1丁目

問6 貴事業所が主にサービスを提供している地域についてお答えください。

あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | | |
|---------|------------|---------|
| 1 山城地域 | 2 加茂地域 | 3 木津東地域 |
| 4 木津西地域 | 5 市外（具体的に： | ） |

問6-1 サービス提供が特に困難と感じる地域がありましたら、具体的にお書きください。

問7 貴事業所の運営主体について、あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|---------------------|---------|
| 1 社会福祉法人 | 2 医療法人 |
| 3 営利法人（株式会社・有限会社など） | 4 NPO法人 |
| 5 その他（ | ） |

問8 貴事業所では、介護保険以外で提供しているサービスはありますか。

あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | |
|---------------------------|
| 1 配食サービス |
| 2 家事援助サービス |
| 3 交流の場・通いの場（認知症カフェやサロンなど） |
| 4 介護者支援（家族の集いや教室など） |
| 5 外出支援（移動支援） |
| 6 その他（ |
| 7 特にない |

問9 貴事業所の利用登録数をご記入ください。

利用登録数

人

■ サービスの提供について

問10 貴事業所の今後3年間（令和8～10年度）の利用者数について、どのように見込んでいますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|---------------|-------------------|
| 1 増加すると見込んでいる | 2 横ばいで推移すると見込んでいる |
| 3 減少すると見込んでいる | 4 わからない |

問11 貴事業所の現在の利用者確保の状況について、どのように感じていますか。

あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|-----------------------|----------------|
| 1 利用者が不足しており、受入に余裕がある | 2 概ね適切な利用者数である |
| 3 利用者が多く、新規の受入れが困難 | 4 わからない |

問12 貴事業所では、独居世帯等への緊急時の見守りや対応について、どのような取組を行っていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|------------------------|--------------------|
| 1 定期的な安否確認（電話、訪問等） | 2 緊急通報システムの紹介・設置支援 |
| 3 地域包括支援センターや関係機関等との連携 | 4 家族・親族への定期的な状況報告 |
| 5 特に取組は行っていない | 6 その他（ |

問 13 現在、木津川市内では夜間対応型訪問介護や定期巡回・随時対応型訪問介護看護のサービスがありません。重度の方が住み慣れた地域で暮らし続けるために、これらのサービスの必要性が指摘されています。

貴事業所として、夜間対応型訪問介護や定期巡回・随時対応型訪問介護看護のサービスの提供についてどのようにお考えですか（○は1つ）

- | |
|----------------------|
| 1 現在の状況でも提供を検討できる |
| 2 何らかの支援があれば提供を検討できる |
| 3 支援があっても提供は難しい |

問 13-1 問 13 で選択肢「2」または「3」とお答えの事業所にお聞きします。

貴事業所で、これらのサービスを提供できない理由を教えてください(複数回答可)

- | | |
|-----------------------|-------------------------|
| 1 夜間・早朝に対応できる職員の確保が困難 | 2 オンコール体制の構築が困難 |
| 3 看護職員の確保が困難（定期巡回の場合） | 4 24 時間対応の体制を構築する負担が大きい |
| 5 サービス提供のノウハウがない | 6 採算が見込めない |
| 4 ニーズがあるかどうかわからない | 8 その他（ ） |

問 13-2 問 13 で選択肢「1」または「2」とお答えの事業所にお聞きします。

どのような支援・環境があれば、サービス提供を検討できますか（複数回答可）

- | |
|-------------------------------|
| 1 夜間・早朝対応の職員確保への財政支援（人件費補助等） |
| 2 看護職員確保への支援（定期巡回の場合） |
| 3 複数事業所での連携・協働の仕組み（共同での夜間対応等） |
| 4 I C T ・見守り機器等の導入支援 |
| 5 運営ノウハウの研修・アドバイザー派遣 |
| 6 サービス立ち上げ時の初期費用への補助 |
| 7 一定期間の運営費補助 |
| 8 利用者のニーズに関する情報提供 |
| 9 他事業所との事例共有・情報交換の場 |
| 10 その他（ ） |

■ 職員の確保について

問 14 貴事業所の職員の配置状況について、現在どのような状況ですか。

あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | |
|--|
| 1 大いに不足しており、直ちに人員を確保する必要がある |
| 2 不足しており、常に逼迫している |
| 3 やや不足しており、勤務シフトや休暇等に配慮するための人員を確保したいが、苦慮している |
| 4 現時点で、適当である |
| 5 その他（ ） |

問 15 貴事業所で職員を確保するにあたって、苦慮していることはありますか。
あてはまるもの1つに○をつけてください。

1 はい ⇒ 問 15-1へ 2 いいえ

問 15-1 問 15 で選択肢「1 はい」とお答えの事業所にお聞きします。

どのようなことに苦慮されていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | |
|--------------|
| 1 退職予定者の補充 |
| 2 産休育休者の代替職員 |
| 3 研修派遣者の代替職員 |
| 4 その他（ ） |

問 16 貴事業所では、介護の入門研修等を受講して、介護に係る基礎知識を有している中高年齢者等（子育てを終えた主婦やシニア層）を雇用したいと思いませんか。
あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|-------------|-------------|
| 1 すでに雇用している | 2 雇用したい |
| 3 雇用する予定はない | 4 どちらともいえない |

■ 研修や資格に関することについて

問 17 貴事業所で、職員定着のために行っている取組み、また、現在行ってはいないが、職員定着のために必要と思われる取組みにはどのようなことがありますか。
あてはまるものすべてに○をつけてください。

	行っている 取組み	必要と思わ れる取組み
1 資格取得のための費用の助成	1	1
2 資格取得のための休暇取得の支援	2	2
3 外部研修への費用の助成	3	3
4 外部研修への休暇取得の支援	4	4
5 業務として研修などに派遣	5	5
6 勤務条件（夜勤回数、勤務時間帯など）の改善	6	6
7 給与面での改善	7	7
8 キャリアアップのための人事制度（資格取得や自己研鑽等を評価）の導入	8	8
9 福利厚生面（育休、介護休暇など）での改善	9	9
10 事業所内での研修機会の確保	10	10
11 介護業務支援機器（介護ロボット等）導入	11	11
12 エルダーメンター※導入	12	12
13 ICT導入	13	13
14 その他（ ）	14	14

※エルダーメンター…上司ではなく、経験を積み、業務の知識を持った先輩職員が、身近な立場で新人職員の仕事面でのサポートを行うとともに、精神的な仕事の悩みや人間関係、キャリア形成のサポートを行うこと。

■ 事業所の運営に関することについて

問 18 貴事業所では、地域との交流・連携のために行っている取組みはありますか。
あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|---|-----------------------------------|
| 1 | 利用者以外に対しても介護等の相談に応じている |
| 2 | 事業所の土地や設備を地域住民の交流に活用・提供している |
| 3 | 地域の行事や自治会活動に参加している |
| 4 | 地域住民が行うボランティア活動に、専門知識やノウハウを提供している |
| 5 | 他の福祉施設（介護施設も含む）と交流を図っている |
| 6 | その他（ ） |
| 7 | 特に取組みは行っていない |

【訪問介護事業所のみご回答ください】

問 19 今後、訪問介護のサービス内容を機能ごとに分けて提供することについて、どのようにお考えですか。（例：掃除のみ、買い物のみ、調理のみなど、単独の機能に特化したサービス）あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | | | |
|---|------------------|---|-----------------|
| 1 | 既に実施している | 2 | 実施を検討している |
| 3 | 実施する予定はないが、関心はある | 4 | 実施する予定はなく、関心もない |
| 5 | わからない | | |

問 19-1 問 19 で選択肢「2 実施を検討している」「3 実施する予定はないが、関心はある」とお答えの事業所にお聞きます。どのような機能であれば単独提供が可能ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | | | | | |
|---|----|---|-----|---|--------|
| 1 | 掃除 | 2 | 洗濯 | 3 | 買い物 |
| 4 | 調理 | 5 | 見守り | 6 | その他（ ） |

【すべての事業所がご回答ください】

問 20 貴事業所では、他のサービス事業所とどのような連携を行っていますか。
あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | | | |
|---|--------------------|---|-----------------|
| 1 | 定期的な情報共有（カンファレンス等） | 2 | 利用者の状態変化時の連絡・相談 |
| 3 | サービス提供時間の調整 | 4 | 緊急時の対応に関する事前協議 |
| 5 | 特に連携は行っていない | 6 | その他（ ） |

問 21 利用者の緊急時に対応できる医療機関との連携体制はありますか。
あてはまるもの1つに○をしてください。

- | | | | |
|---|--------------------|---|---------------|
| 1 | 24 時間対応可能な体制がある | ⇒ | 問 21-1、問 22 へ |
| 2 | 日中のみ対応可能な体制がある | ⇒ | 問 21-1、問 22 へ |
| 3 | 連携体制はないが、構築を検討している | ⇒ | 問 22 へ |
| 4 | 連携体制はなく、構築の予定もない | ⇒ | 問 22 へ |

問 21-1 問 21 で選択肢「1」または「2」とお答えの事業所にお聞きします。

貴事業所では、医療機関とはどのような連携をとっていますか。

あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|----------------------------------|---|
| 1 医療機関から利用者の健康管理や処置について助言を受けている | |
| 2 利用者宅への往診や訪問診療を行う医師・医療機関と連携している | |
| 3 ケースカンファレンスに医療機関が参加している | |
| 4 症状急変時の受入れを依頼できる病院を確保している | |
| 5 提携病院があり、入院の受入れを依頼できる | |
| 6 職員への研修講師を医療機関に依頼している | |
| 7 医療機関に併設されており、日常的に連携している | |
| 8 その他（ | ） |

問 22 貴事業所では、利用者のかかりつけ医との連携や情報交換を行っていますか。

あてはまるもの1つに○をしてください。

- | | |
|----------------------------------|---|
| 1 かかりつけ医と連携し利用者の医療情報を把握するようにしている | |
| 2 必要に応じて、かかりつけ医に問い合わせをしている | |
| 3 かかりつけ医との連携の必要性を感じているが、できていない | |
| 4 とりたてて、かかりつけ医との連携の必要性を感じない | |
| 5 その他（ | ） |

問 23 貴事業所等では、サービスの質の向上のために、どのような取組みに最も力を入れていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|-----------------------|-------------------------|
| 1 ケアカンファレンスの定期的な開催 | 2 利用者からの相談窓口の設置 |
| 3 サービス提供マニュアルの作成 | 4 職員・スタッフの継続的な研修・OJTの実施 |
| 5 事業者間での情報交換・交流への参加 | 6 情報開示、第三者評価 |
| 7 サービス自己評価基準による定期的な検証 | |
| 8 その他（ | ） |
| 9 特に何もしていない | |

問 24 貴事業所の運営をする上で、最も連携を強めたい機関・窓口はどこですか。

主なもの3つまでに○をつけてください。

- | | |
|---------------------|----------------|
| 1 自治体の福祉部門 | 2 地域包括支援センター |
| 3 居宅介護支援事業所・ケアマネジャー | 4 在宅介護支援センター |
| 5 訪問看護ステーション | 6 社会福祉協議会 |
| 7 介護実習・普及センター | 8 かかりつけ医など医療機関 |
| 9 NPO・ボランティア等の民間機関 | 10 自治会の役員 |
| 11 民生委員 | 12 近隣住民 |
| 13 その他（ | ） |
| 14 特にない | |

問 25 B C Pの内容や運用状況について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 避難手順・経路を定めている
- 2 代替要員の確保方法を定めている
- 3 備蓄品を確保している（食料、飲料水、医薬品、感染症対策用品等）
- 4 非常用電源を確保している
- 5 他施設・事業所との相互支援協定を締結している
- 6 緊急時の連絡体制を整備している
- 7 利用者の安否確認方法を定めている
- 8 職員への研修を実施している
- 9 訓練（シミュレーション）を実施している
- 10 B C Pの内容を定期的に見直し・更新している
- 11 その他（ ）

問 26 虐待防止対策の実施状況について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 虐待防止委員会の定期開催及びその結果の職員への周知徹底
- 2 虐待防止のための指針の整備
- 3 虐待防止責任者の設置
- 4 虐待等が発生した場合の連絡体制の整備
- 5 虐待防止に係る外部研修への参加
- 6 虐待防止に係る事業所内の研修・説明会の開催
- 7 職員のメンタルヘルスのための研修を実施
- 8 職員のストレスチェックを実施
- 9 その他（ ）
- 10 特になし

問 27 貴事業所の今後3年間の事業継続について、どのようにお考えですか。
あてはまるもの1つに○をしてください。

- 1 事業を拡大したい
- 2 現状を維持したい
- 3 縮小を検討している
- 4 廃止・休止を検討している
- 5 わからない

問 28 貴事業所の運営において、現在最も課題と感じていることは何ですか。
主なもの3つまでに○をつけてください。

- 1 人材の確保
- 2 人材の定着・育成
- 3 利用者の確保
- 4 介護報酬の水準
- 5 経営の安定化（収支改善）
- 6 医療機関との連携
- 7 地域包括支援センターとの連携
- 8 サービスの質の向上
- 9 職員の処遇改善
- 10 事務負担の軽減
- 11 I C T・介護ロボット等の導入
- 12 その他（ ）

問 29 木津川市の介護サービス提供体制の充実に向けて、市に期待することや要望があれば、ご自由にお書きください。

--

○本調査の記入者についてご記入ください。

事業所名	
記入者名	
職 種	1 管理者 2 その他（ ）
連絡先電話番号	
メールアドレス	

アンケート調査は以上です。令和8年2月17日までにご返送ください。
ご協力ありがとうございました。

木津川市 介護人材実態調査 事業所票 【施設系・通所系】

※ 令和8年1月1日現在の状況について、ご回答ください。

問1 該当するサービス種別（介護予防を含む）を、ご回答ください。

あてはまるもの1つに○をつけてください。

※ 本調査票の送付先（宛名となっている事業所等）で行うサービスについて、ご回答ください。

1 施設・居住系サービス

（特別養護老人ホーム（地域密着型含む）、介護老人保健施設、療養型・介護医療院、ショートステイ、グループホーム、特定施設（地域密着型含む）、住宅型有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅、軽費老人ホーム）

2 通所系サービス

（通所介護（地域密着型含む）、通所リハビリテーション、認知症対応型通所介護、通所型サービス（総合事業））

問2 貴事業所等（問1で○をつけたサービス種別の事業所等）に所属する介護職員について、お伺いします。

※ ここでの「介護職員」は、賃金の支払いを受けている方に限ります。（ボランティアの方は含みません）

問2-1 介護職員の総数を、ご記入ください。（数値を記入）

※前月に出勤のない、長期休暇（育児休業等）中の職員は人数に含めないでください。

※「外国人」には、EPA・技能実習・在留資格「介護」、特定技能により勤務している人数をご記入ください。

介護職員の総数	〔 〕 人	左記のうち常勤職員	〔 〕 人
		左記のうち非常勤職員	〔 〕 人

外国人職員数	〔 〕 人	派遣職員数	〔 〕 人
--------	-------	-------	-------

問2-2 貴事業所は開設から1年以上経過していますか。

あてはまるもの1つに○をつけてください。

1 はい ⇒問2-3へ 2 いいえ ⇒問3へ

問2-3 令和8年1月1日時点で、開設から1年以上を経過している事業所等にお伺いします。

過去1年間（令和7年1月1日～令和7年12月31日）の介護職員の採用者数と離職者数を、常勤・非常勤別にご記入ください。外国人人材も含めてご回答ください。（数値を記入）

	採用者数	離職者数
常勤職員	〔 〕 人	〔 〕 人
非常勤職員	〔 〕 人	〔 〕 人
合計	〔 〕 人	〔 〕 人

問2-4 問2-3でお答えいただいた離職者数についてご記入ください。（数値を記入）

1 定年による離職 → () 人 2 定年以外の理由による離職 → () 人

問2-5 問2-4で選択肢「2 定年以外の理由による離職」とお答えの事業所にお聞きします。

定年以外で離職された方の主な理由について、主なもの3つまでに○をつけてください。

- 1 職場の人間関係
- 2 賃金・待遇
- 3 労働時間・働き方（仕事量が多い、体力がついていかない等を含む）
- 4 ライフイベント（結婚、出産、育児、家族介護等）
- 5 健康上の理由（病気、けが等）
- 6 キャリアアップ・転職（他業種、他事業所への転職）
- 7 その他（ ）
- 8 不明

問2-6 問2-4で選択肢「2 定年以外の理由による離職」とお答えの事業所等にお聞きします。

定年以外で離職された方の貴事業所等での入職後の平均経験年数をご記入ください。

(人事異動等で職場を異動した場合、前の職場の年数は含めないでください。)

離職者の入職後の平均経過年数

年

問3 採用や人材定着に関する課題をご回答ください。(自由記述)

--

問4 人材確保に関して木津川市に期待するサポートがあれば、ご回答ください。(自由記述)

--

問5 貴事業所等に所属している介護職員全員（非常勤含む。ボランティアの方を除く）について、お答えください。

回答方法	※ 番号1つ記載				※ 数値を記入		※ 番号1つ記載		
設問	(1)資格の取得、 研修の修了の状況	(2)雇用形態	(3)性別	(4)年齢	(5)過去1週間の 勤務時間	(6)現在の 事業所等での 勤務年数	(7)現在の事業所等に勤務する直前の職場 ※地域密着型を含む	(8)直前の職場について	
選択肢	1.介護福祉士 （認定介護福祉士含む） 2.介護職員実務者研修修了 または （旧）介護職員基礎研修修了 または （旧）ヘルパー1級 3.介護職員初任者研修修了、 または （旧）ヘルパー2級 4.上記のいずれも該当しない	1.常勤職員 2.非常勤職員	1.男性 2.女性	1.20歳未満 2.20代 3.30代 4.40代 5.50代 6.60代 7.70代以上 8.不明	※ 残業時間を 含む。休憩時 間は除く。	1.1年以上 ⇒【回答終了】 2.1年未満 ⇒【(7)へ】	1.現在の職場が初めての勤務先⇒【回答終了】 2.介護以外の職場 ⇒【回答終了】 3.特養、老健、療養型・介護医療院、 ショートステイ、グループホーム、特定施設 4.訪問介護・入浴、夜間対応型 5.小多機、看多機、定期巡回サービス 6.通所介護、通所リハ、認知症デイ 7.住宅型有料、サ高住（特定施設以外） 8.その他の介護サービス ⇒【「3.」～「8.」の場合は(8)へ】	1.現在の 事業所等と、 同一の市区 町村内 2.現在の 事業所等と、 別の市区町 村内	1.現在の 事業所等と、 同一の法人・ グループ 2.現在の 事業所等と、 別の法人・ グループ
	1	1	1	3	40 時間	2	2	1	2
01					時間				
02					時間				
03					時間				
04					時間				
05					時間				
06					時間				
07					時間				
08					時間				
09					時間				
10					時間				
11					時間				
12					時間				
13					時間				
14					時間				
15					時間				
16					時間				
17					時間				
18					時間				
19					時間				
20					時間				
21					時間				
22					時間				
23					時間				
24					時間				
25					時間				
26					時間				
27					時間				
28					時間				
29					時間				
30					時間				
31					時間				
32					時間				
33					時間				
34					時間				
35					時間				
36					時間				
37					時間				
38					時間				
39					時間				
40					時間				
41					時間				
42					時間				
43					時間				
44					時間				
45					時間				
46					時間				
47					時間				
48					時間				
49					時間				
50					時間				

■ 貴事業所等について

問6 貴事業所等の所在地はどこですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|---|------------------------------|
| 1 山城地域 | 2 加茂地域 |
| 3 木津地域（木津地域の場合は、下記のどちらかに○をつけてください） | |
|  鹿川（中央体育館）より | |
| | { 1 東側（木津東地域）
2 西側（木津西地域） |

※地域等が分からない場合は、下記に町名を記入してください。

（ ） 例）木津南垣外、木津駅前1丁目

問7 主にサービスを提供している地域についてお答えください。

あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | | |
|---------|--------------|---------|
| 1 山城地域 | 2 加茂地域 | 3 木津東地域 |
| 4 木津西地域 | 5 市外（具体的に： ） | |

※通所系で送迎を実施している場合は、送迎可能な範囲をお答えください。

※施設系で入所・入居の場合は、主な利用者の居住地域をお答えください。

問7-1 サービス提供が特に困難と感じる地域がありましたら、具体的にお書きください。

問8 貴事業所等の運営主体について、あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|---------------------|---------|
| 1 社会福祉法人 | 2 医療法人 |
| 3 営利法人（株式会社・有限会社など） | 4 NPO法人 |
| 5 その他（ ） | |

問9 貴事業所等では、介護保険以外で提供しているサービスはありますか。

あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|---------------------------|---------------------|
| 1 配食サービス | 2 家事援助サービス |
| 3 交流の場・通いの場（認知症カフェやサロンなど） | 4 介護者支援（家族の集いや教室など） |
| 5 外出支援（移動支援） | |
| 6 その他（ ） | 7 特にない |

問10 貴事業所等の利用定員数をご記入ください。

利用定員

人

※通所系サービスは、1日の定員数を記入。

※短期入所生活介護の空床利用型分は除く。

■ サービスの提供について

問 11 貴事業所の今後3年間（令和8～10年度）の利用者数について、どのように見込んでいますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|---------------|-------------------|
| 1 増加すると見込んでいる | 2 横ばいで推移すると見込んでいる |
| 3 減少すると見込んでいる | 4 わからない |

問 12 貴事業所の現在の利用者確保の状況について、どのように感じていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|------------------------|----------------|
| 1 利用者が不足しており、受入れに余裕がある | 2 概ね適切な利用者数である |
| 3 利用者が多く、新規の受入れが困難 | 4 わからない |

■ 職員の確保について

問 13 貴事業所等の職員の配置状況について、現在どのような状況ですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | |
|--|
| 1 大いに不足しており、直ちに人員を確保する必要がある |
| 2 不足しており、常に逼迫している |
| 3 やや不足しており、勤務シフトや休暇等に配慮するための人員を確保したいが、苦慮している |
| 4 現時点で、適当である |
| 5 その他（ ） |

問 14 貴事業所等で職員を確保するにあたって、苦慮していることはありますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|----------------|-------|
| 1 はい ⇒問 14-1 へ | 2 いいえ |
|----------------|-------|

問 14-1 問 14 で選択肢「1 はい」とお答えの事業所等にお聞きします。

どのようなことに苦慮されていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|--------------|--------------|
| 1 退職予定者の補充 | 2 産休育休者の代替職員 |
| 3 研修派遣者の代替職員 | 4 その他（ ） |

問 15 貴事業所では、介護の入門研修等を受講して、介護に係る基礎知識を有している中高年齢者等（子育てを終えた主婦やシニア層）を雇用したいと思いませんか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|-------------|-------------|
| 1 すでに雇用している | 2 雇用したい |
| 3 雇用する予定はない | 4 どちらともいえない |

■ 研修や資格に関することについて

問 16 貴事業所等で、職員定着のために行っている取組み、また、現在行ってはいないが、職員定着のために必要と思われる取組みにはどのようなことがありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

	行っている 取組み	必要と思わ れる取組み
1 資格取得のための費用の助成	1	1
2 資格取得のための休暇取得の支援	2	2
3 外部研修への費用の助成	3	3
4 外部研修への休暇取得の支援	4	4
5 業務として研修などに派遣	5	5
6 勤務条件（夜勤回数、勤務時間帯など）の改善	6	6
7 給与面での改善	7	7
8 キャリアアップのための人事制度（資格取得や自己研鑽等を評価）の導入	8	8
9 福利厚生面（育休、介護休暇など）での改善	9	9
10 事業所等内での研修機会の確保	10	10
11 介護業務支援機器（介護ロボット等）導入	11	11
12 エルダーメンター※導入	12	12
13 I C T 導入	13	13
14 その他（ ）	14	14

※エルダーメンター…上司ではなく、経験を積み、業務の知識を持った先輩職員が、身近な立場で新人職員の仕事面でのサポートを行うとともに、精神的な仕事の悩みや人間関係、キャリア形成のサポートを行うこと。

■ 事業所等の運営に関することについて

問 17 貴事業所等では、地域との交流・連携のために行っている取組みはありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1 利用者以外に対しても介護等の相談に応じている
2 事業所等の土地や設備を地域住民の交流に活用・提供している
3 地域の行事や自治会活動に参加している
4 地域住民が行うボランティア活動に、専門知識やノウハウを提供している
5 他の福祉施設（介護施設も含む）と交流を図っている
6 その他（ ）
7 特に取組みは行っていない

本ページは（地域密着型）通所介護事業所のみご回答ください

問 18 今後、利用者の多様なニーズや人材不足に対応するため、通所介護の機能を分解し、特定の機能に特化したサービス提供を行うことについて、どのようにお考えですか。
（例：入浴特化型、機能訓練特化型など）あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1 既に実施している | 2 実施を検討している |
| 3 実施する予定はないが、関心はある | 4 実施する予定はなく、関心もない |
| 5 わからない | |

問 18-1 問 18 で選択肢「1」「2」または「3」を選択した事業所にお聞きします。
どのような機能への特化であれば実施可能（または関心がある）ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|--------|-----------|
| 1 入浴 | 2 運動・機能訓練 |
| 3 その他（ | ） |

問 19 貴事業所等では、医療機関とはどのような連携をとっていますか。
あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | |
|---------------------------------|
| 1 医療機関から利用者の健康管理や処置について助言を受けている |
| 2 往診をしてくれる医師・医療機関がある |
| 3 症状急変時の受入れを依頼できる病院を確保している |
| 4 提携病院があり、入院を受け入れてもらっている |
| 5 職員への研修講師などをお願いしている |
| 6 ケースカンファレンスに医療機関に参加してもらっている |
| 7 医療機関を経営しており、連携を取っている |
| 8 その他（ |
| 9 特段の連携を行っていない |

問 20 貴事業所等では、利用者のかかりつけ医との連携や情報交換を行っていますか。
あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | |
|----------------------------------|
| 1 かかりつけ医と連携し利用者の医療情報を把握するようにしている |
| 2 必要に応じて、かかりつけ医に問い合わせをしている |
| 3 かかりつけ医との連携の必要性を感じているが、できていない |
| 4 とりたてて、かかりつけ医との連携の必要性を感じない |
| 5 その他（ |

本ページは施設・居住系サービス事業所のみご回答ください

問 21 貴事業所等では、看取りへの対応について、どのような体制ですか。
あてはまるもの1つに○をつけてください。

- 1 看取りまで対応している
- 2 看取りまで対応できる体制はあるが、実績は少ない
- 3 看取り対応はしていない
- 4 わからない

問 22 貴事業所における医療機関や医療職との連携体制について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 協力医療機関の医師による定期的な診療がある
- 2 配置医師または常勤医師がいる
- 3 施設内に看護職員を配置している
- 4 必要時に外部の訪問看護ステーションと連携できる体制がある
- 5 24時間対応可能な医療機関と連携している
- 6 緊急時の受入れ医療機関が確保されている
- 7 特に連携体制はない
- 8 その他（)

問 23 利用者の緊急時や医療的ケアが必要な場合の対応について、課題と感じていることはありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 夜間・休日の医療機関との連携が困難
- 2 急変時の判断や初期対応に不安がある
- 3 職員の医療的ケアの知識・技術が不足している
- 4 協力医療機関との日常的な連携が不十分
- 5 救急搬送の判断基準が明確でない
- 6 看取り対応への職員の不安が大きい
- 7 医療機関への情報提供・連携が円滑でない
- 8 特に課題はない
- 9 その他（)

本ページ以降はすべての事業所がご回答ください

問 24 貴事業所等では、サービスの質の向上のために、どのような取組みに最も力を入れていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | |
|-------------------------|
| 1 ケアカンファレンスの定期的な開催 |
| 2 利用者からの相談窓口の設置 |
| 3 サービス提供マニュアルの作成 |
| 4 職員・スタッフの継続的な研修・OJTの実施 |
| 5 事業者間での情報交換・交流への参加 |
| 6 情報開示、第三者評価 |
| 7 サービス自己評価基準による定期的な検証 |
| 8 その他（ |
| 9 特に何もしていない |

問 25 貴事業所等の運営をする上で、最も連携を強めたい機関・窓口はどこですか。主なもの3つまでに○をつけてください。

- | | |
|---------------------|----------------|
| 1 自治体の福祉部門 | 2 地域包括支援センター |
| 3 居宅介護支援事業所・ケアマネジャー | 4 在宅介護支援センター |
| 5 訪問看護ステーション | 6 社会福祉協議会 |
| 7 介護実習・普及センター | 8 かかりつけ医など医療機関 |
| 9 NPO・ボランティア等の民間機関 | 10 自治会の役員 |
| 11 民生委員 | 12 近隣住民 |
| 13 その他（ | |
| 14 特にない | |

問 26 BCPの内容や運用状況について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | |
|-----------------------------------|
| 1 避難手順・経路を定めている |
| 2 代替要員の確保方法を定めている |
| 3 備蓄品を確保している（食料、飲料水、医薬品、感染症対策用品等） |
| 4 非常用電源を確保している |
| 5 他施設・事業所との相互支援協定を締結している |
| 6 緊急時の連絡体制を整備している |
| 7 利用者の安否確認方法を定めている |
| 8 職員への研修を実施している |
| 9 訓練（シミュレーション）を実施している |
| 10 BCPの内容を定期的に見直し・更新している |
| 11 その他（ |

問 27 虐待防止対策の実施状況についてあてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|-------------------------------|-------------------|
| 1 虐待防止委員会の定期開催及びその結果の職員への周知徹底 | |
| 2 虐待防止のための指針の整備 | 3 虐待防止責任者の設置 |
| 4 虐待等が発生した場合の連絡体制の整備 | 5 虐待防止に係る外部研修への参加 |
| 6 虐待防止に係る事業所等内の研修・説明会の開催 | |
| 7 職員のメンタルヘルスのための研修を実施 | 8 職員のストレスチェックを実施 |
| 9 その他（ | ） 10 特にな |

問 28 貴事業所等の今後3年間の事業継続について、どのようにお考えですか。
あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 1 事業を拡大したい | 2 現状を維持したい |
| 3 事業規模を縮小する可能性がある | 4 事業継続が困難になる可能性がある |
| 5 わからない | |

問 29 貴事業所の運営において、現在最も課題と感じていることは何ですか。
主なもの3つまでに○をつけてください。

- | | |
|-------------------|-------------|
| 1 人材の確保 | 2 人材の定着・育成 |
| 3 利用者の確保 | 4 介護報酬の水準 |
| 5 経営の安定化（収支改善） | 6 医療機関との連携 |
| 7 地域包括支援センターとの連携 | 8 サービスの質の向上 |
| 9 職員の処遇改善 | 10 事務負担の軽減 |
| 11 ICT・介護ロボット等の導入 | 12 その他（ |

問 30 木津川市の介護サービス提供体制の充実に向けて、市に期待することや要望があれば、
ご自由にお書きください。

--

○本調査の記入者についてご記入ください。

事業所等名	
記入者名	
職 種	1 管理者 2 その他（
連絡先電話番号	
メールアドレス	

アンケート調査は以上です。令和8年2月17日までにご返送ください。
ご協力ありがとうございました。

木津川市 居宅介護支援事業所調査 調査票

※ 令和8年1月1日現在の状況について、ご回答ください。

問1 貴事業所に所属する介護支援専門員の資格状況についてお答えください。
(令和8年1月1日現在)(数値を記入)

①介護支援専門員の総数

常勤	[] 人	非常勤	[] 人	(常勤換算 人)
----	-------	-----	-------	----------

②上記のうち、主任介護支援専門員の人数

常勤	[] 人	非常勤	[] 人
----	-------	-----	-------

問2 事業所全体の担当利用者数についてお答えください。
(令和8年1月1日現在)(数値を記入)

担当利用者数	[] 人		
要介護度別	要支援1 [] 人	要支援2 [] 人	要介護1 [] 人
	要介護2 [] 人	要介護3 [] 人	要介護4 [] 人
	要介護5 [] 人	事業対象者 [] 人	新規申請中 [] 人

問3 貴事業所の介護支援専門員が業務を行う上で、特に負担が大きいと感じている業務はどれですか。主なもの3つまでに○をつけてください。

1 訪問調査	2 課題分析(アセスメント)
3 ケアプラン作成	4 サービス事業者との連絡調整
5 モニタリング	6 給付管理
7 サービス担当者会議	8 その他(具体的に)

問4 介護支援専門員の人材確保の状況についてお答えください。
あてはまるもの1つに○をつけてください。

1 充足している	2 概ね充足している	3 やや不足している	4 大幅に不足している
----------	------------	------------	-------------

問5 直近1年間の採用・離職状況についてお答えください。(数値を記入)

採用者数	[] 人	離職者数	[] 人
------	-------	------	-------

問6 人材確保における課題についてお答えください。
あてはまるものすべてに○をつけてください。

1 応募者が少ない・いない	2 給与等の処遇面で折り合わない
3 経験者の確保が困難	4 主任ケアマネジャーの確保が困難
5 その他(具体的に:)	6 特に課題はない

■ 介護支援専門員としての業務についておたずねします。

問7 貴事業所の介護支援専門員の業務負担の状況についてお答えください。
あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | | | | |
|---|-------------------|---|------|---|
| 1 | 多くの職員が過重な負担を感じている | ⇒ | 問7-1 | へ |
| 2 | 一部の職員に負担が偏っている | ⇒ | 問7-1 | へ |
| 3 | 概ね適正な範囲で業務を行っている | ⇒ | 問8 | へ |
| 4 | 特に負担の問題はない | ⇒ | 問8 | へ |

問7-1 問7で「1」または「2」と答えられた事業所におたずねします。
業務負担が大きい要因は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|---|-------------------------|
| 1 | 担当件数が多い |
| 2 | 医療機関との連絡調整に時間がかかる |
| 3 | サービス担当者会議の開催・調整が困難 |
| 4 | 夜間や休日の相談対応がある |
| 5 | 事務作業（書類作成、給付管理等）に時間がかかる |
| 6 | 困難事例が多い |
| 7 | 職員数が不足している |
| 8 | ICT化が進んでおらず、業務効率が悪い |
| 9 | その他（具体的に：) |

問8 貴事業所では、業務上の課題や困難事例について、どのような相談・支援体制を活用していますか。主なもの3つまでに○をつけてください。

- | | | | |
|---|-------------|---|-------------------|
| 1 | 木津川市 | 2 | 地域包括支援センター |
| 3 | 京都府介護支援専門員会 | 4 | 地域の介護支援専門員連絡会・勉強会 |
| 5 | 法人内の他事業所 | 6 | 事業所内で相談・検討 |
| 7 | 外部のスーパーバイザー | | |
| 8 | その他（具体的に：) | | |
| 9 | 特に相談先がない | | |

問9 介護サービス計画（ケアプラン）を作成するに当たり、市内で量的に不足していると思われるサービスはありますか。あてはまるものすべてに○印をつけてください。

1 訪問介護	2 訪問入浴介護
3 訪問看護	4 訪問リハビリテーション
5 居宅療養管理指導	6 通所介護
7 通所リハビリテーション	8 短期入所生活介護
9 短期入所療養介護	10 福祉用具貸与
11 特定福祉用具購入	12 住宅改修
13 特定施設入居者生活介護	14 定期巡回・随時対応型訪問介護看護
15 夜間対応型訪問介護	16 地域密着型通所介護
17 認知症対応型通所介護	18 小規模多機能型居宅介護
19 認知症対応型共同生活介護	20 地域密着型特定施設入居者生活介護
21 地域密着型介護老人福祉施設	22 看護小規模多機能型居宅介護
23 介護老人福祉施設	24 介護老人保健施設
25 介護療養型医療施設・介護医療院	26 その他（具体的に： _____）

※事業所種別には介護予防サービス事業所を含む

問10 貴事業所では、介護保険以外の高齢者福祉サービスでよく活用したり、利用者に紹介したりしているサービスは何がありますか。あてはまるものすべてに○印をつけてください。

1 配食サービス
2 介護者交流事業
3 ふとん水洗い乾燥サービス
4 緊急通報装置の設置
5 生きがい対応型デイサービス（元気デイサービス）
6 一般高齢者運動器機能向上事業（元気もりもりクラブ）
7 地域リハビリテーション活動支援事業
8 在宅高齢者等紙おむつ券給付
9 高齢者日常生活用具給付
10 家族介護者慰労金の支給
11 認知症高齢者等SOSネットワーク事業
12 認知症対応型カフェ
13 その他（例：住民参加型助け合いサービス等）
（具体的に： _____）
14 特にない

問 11 貴事業所では、サービス担当者会議を開催するにあたってどのような課題がありますか。
主なもの3つまでに○をつけてください。

1 職員が多忙で会議を開催する時間がとりにくい	2 主治医の理解・協力が得られにくい
3 サービス提供事業者の理解・協力が得られにくい	4 利用者や家族の理解・協力が得られにくい
5 会議を開催する場所が確保しにくい	6 オンラインでのサービス担当者会議の活用が進んでいない
7 その他（具体的に：_____）	
8 特に課題はない	

問 12 貴事業所が業務を行う上で課題として考えているのはどのようなことですか。
あてはまるものすべてに○印をつけてください。

1 市内の介護保険サービス・高齢者福祉サービスの種類が少ない
2 サービス事業者に関する情報が少ない
3 利用者および家族がサービスの必要性を理解していない
4 困難事例への対応方法がわからない
5 医療機関との連携がうまくとれない
6 地域包括支援センターとの連携がうまくとれない
7 担当件数が多く、十分なケアマネジメントができない
8 職員の人材確保が困難
9 職員の育成・研修の機会が不足
10 ICT化が進んでおらず、業務効率が悪い
11 その他（具体的に：_____）
12 特に課題はない

問 13 現在担当している市内の利用者のうち、特別養護老人ホームへの入所を希望している方についてお答えください。（数値で記入）

①特別養護老人ホームへの入所を希望している利用者数（実人数）	[] 人
②上記のうち、在宅で生活しており、入所の緊急性が高いと考えられる利用者数	[] 人

※緊急性が高いとは：現在の在宅生活の継続が困難で概ね3～6ヶ月以内に施設入所が必要と考えられる方

問 14 貴事業所におけるICTの活用状況についてお答えください。
あてはまるものすべてに○をつけてください。

1 ケアプラン作成ソフトを導入している
2 タブレット等を活用している
3 オンラインでのサービス担当者会議を実施している
4 介護記録のデジタル化を進めている
5 インカム等のコミュニケーションツールを使用している
6 特に活用していない
7 その他（具体的に：_____）

問 15 高齢者福祉について、貴事業所として今後どのような施策の拡充が重要とお考えですか。
重要と思われるもの主なものを3つまでに○をつけてください。

【健康維持に関すること】	
1	健康づくり対策の充実
2	介護予防対策の推進（健康体操など）
3	寝たきり予防の充実
4	認知症対策の充実
【余暇活動、地域活動等に関すること】	
5	高齢者の働く場の確保や就職のあっせん
6	ボランティア活動のための場の確保
7	生涯学習やスポーツ、レクリエーション活動の機会の充実
8	世代間交流の場づくり
9	高齢者を地域で見守るなど住民による助け合い活動
10	買い物や通院時などの介助や送迎
11	電球の交換や窓ふき、ゴミ出しなどの簡単な日常生活への支援
【介護サービスに関すること】	
12	訪問サービスの充実
13	通所サービスの充実
14	施設入所サービスの充実
15	必要なときに施設に宿泊できるショートステイ
16	24 時間体制の安心できるサービス
17	訪問介護や通所サービスを利用しながら、医師の訪問診療も利用できること
【住まいやまちづくりに関すること】	
18	高齢者向け住宅の普及
19	手すりの取り付けや段差解消などの住宅改修
20	移動手段の充実
21	建物・道路など高齢者に配慮したまちづくり
22	災害時にも安心して暮らせる地域づくり
【その他】	
23	契約や財産管理の手続きの援助
24	介護している家族等の支援
25	保険制度や介護などについて気軽に相談できる窓口の充実
26	その他（具体的に： _____ ）
27	特になし

■ 最後に貴事業所のご意見やご要望をお聞かせください。

問 16 介護保険制度について、ご意見・ご要望がありましたらご自由にご記入ください。

ご協力ありがとうございました。

アンケート調査は以上です。令和8年2月17日までにご提出ください。

木津川市
高齢者実態調査等
結果報告書

令和8年3月

発行：木津川市 健康福祉部 高齢介護課
〒619-0286 京都府木津川市木津南垣外110番地9
T E L 0774-75-1213
F A X 0774-72-0553